

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

纂編處制法院務國

康德六年四月壹日爲度

# 滿洲國法令輯覽追錄

第八拾七號

### 主要新法令

科學審議委員會官制。陸軍軍官學校令。  
國立大學哈爾濱學院官制。財務職員養成  
所官制。豐稷試驗場官制。航空所官制。  
地方職員訓練所官制

### 修正法令

大陸科學院官制。馬疫研究所官制。地質  
調查所官制。國務院各部官制。師道高等  
學校官制。奉天農桑大學官制。哈爾濱工  
業大學官制。新京醫科大學官制。中央師  
道訓練所官制。產業部內臨時職員設置  
農桑試驗場官制。經濟部內臨時職員設置  
制。稅務監督官制。稅捐局官制。稅關官  
制。權度檢定所官制。專賣總局官制。專  
賣官制。專賣工廠官制。交通部內臨時職  
員設置制。中央職業官制。地方師道訓練  
所官制。市臨時職員設置制

滿洲行政學會發行

320

114

内閣文庫  
和書  
入九五〇六号  
冊

告 謹

○就加除整理  
本館乃滿洲國法令輯覽之追録時新定之法令或改訂者加以修補而發行故本館收到時請直接於該原本加除整理爲盼  
追録之加除必須依照追録號數之順序依照添於追録卷首之加除表而加除之加除表上段除去下段爲加入之頁紙數示出矣  
加除整理完畢時請記入第一欄卷頭之加除一覽表爲盼  
○原本中欠葉之時  
原本中發見欠葉、破損、汚損之紙類時請記明其類別目次本文之別頁數向本社請求之  
○遺棄缺號之時  
本館收到後如發見其前號未對之場合請直接通知以便再爲發給未對求數號以前之場合因要索取相當之代價故難先通知之  
○就原本之檢査  
原本中發見生風丁(頁數加增)落丁(頁數脱落)使用上不便之時請將原本全部與未加除之追録全部送同本社不取加除費加除整理檢査後(照正確之原本)爲返上期約須一週間故難先通知之  
○加除整理に就いて  
本館は滿洲國法令輯覽の追録として法令の新定又は改廢せられたるものを修補するたに發行いたします故に本館到着せば直ちに原本に加除整理を御願ひいたします  
追録の加除は必ず追録號數の順に追録の卷頭に添付しある加除表に依つて加除して下さい加除表の上段は除去、下段は加入の頁紙數を示してあります  
加除整理の上は第一欄卷頭の加除一覽表に記入せられる様御願ひいたします  
○原本中欠葉の場合  
原本中に欠葉、破損、汚損の紙類を發見するた場合は類別、目次、本文の別に其の頁數を明記して本社に御請求下さい  
○遺棄缺號の場合  
本館到着後其の前號未對御發見の場合は直ちに御通知下さい、再送いたします若し數號以前に送つて御請求の場合は相當代金申受けることがありますから豫め御承知下さい  
○原本の檢査に就いて  
原本中著しく風丁(頁の入違ひ)落丁(頁の脱落)を生じ使用上不便を生じたる時は原本全部と未加除追録全部を本社へ御送附下さい。加除整理、檢査(正確な原本と照合)の上御返送いたします。期間は約一週間を要しますから豫め御承知下さい

會 學 政 行 州 滿  
號六一一路大安興行別特

〔輯覽八十七號〕

滿洲國法令輯覽追録第八拾七號

(本號輯至康德六年四月壹日爲度)

(康德六年四月壹日現在)

加 除 方 法

一、對於追録内活葉之加除、易生并誤希於整理時、參照加除表。  
一、加除表上段係表示改廢結果應除之活葉、下段係表示應加之活葉。  
一、追録加除一覽表、係爲記入追録號數及其現在内容而設。  
一、凡由加除結果所除下之部分、因其於加除之是否正確及諸規則之沿革、有查閱之必要、應請與追録底面(追録表紙)及加除表等一併編訂、繼續保存。

一、追録ノ加除ハ間違フ生シ易キヲ以テ必ず加除表ヲ參照シテ整理セラレタシ  
一、加除表上段ハ改廢ノ結果除クベキ紙葉ヲ示シ下段ハ加入スベキ紙葉ヲ示ス  
一、加除一覽表ニハ追録號數及内容現在ヲ記入セラレタシ  
一、加除ノ結果抜キ取リタル分ハ加除正確ノ調査及諸規則ノ沿革ヲ知ルニ必要ナルヲ以テ其追録表紙及加除表ト共ニ繼續保存セラレタシ

官制	事由別	紙數	加	紙數
同	一一二	三	同	三
同	七一二	三	同	三

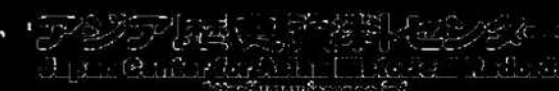
第 壹 卷

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	官制七
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	本文
三〇三—三〇四之二	二九一—二九六	二五五—二八二	二三九—三四四	二三五—二三六	二三五—二三八	二〇七—二三三	一一三—一三八之三	九八之五—九八之八	八九—九八之二	六六之二—六六之三四	五三—五四
二	三	二	三	一	二	八	九	二	七	六	一
同	同	二五五—二七六三七七二六(二)	同	同	同	同	同	同	同	同	五三—五四之六
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
二	四	一	三	一	二	八	九	三	七	六	四

〔冊八十七號〕

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	官制
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	二
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	日本山録別
二〇三—二〇之六	一九—二〇	一六之一—一六之三	九—一四	一—二	一三九—一四〇	一七—一八	九四之七—九四之一〇	九二之一七—九四	九一—九二	七—一〇	一五—三三
二	一	一	三	一	一	一	二	二	一	二	四
同	同	同	同	同	一三九—一四二	同	同	同	同	同	同
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
二	一	一	三	一	二	一	二	二	一	四	四

〔冊八十七號〕







### 官制篇

#### 第一章 尙書府

- 尙書府官制 (康德元・三 帝皇令第一號)

### 官制篇

#### 第一章 尙書府

- 尙書府官制 (康德元・三 帝皇令第一號)……………一

#### 第二章 宮内府及其所管

- 宮内府官制 (康德元・三 帝皇令第二號)
- 宮内府各處分科規程 (康德六・三 政府公報)
- 關於衛長及衛士職務之件 (康德六・三 宮内令第八號)
- 帝皇會計審查局官制 (康德元・三 帝皇令第三號)
- 帝皇會計審查規則 (康德元・七 宮内令第六號)
- 帝皇大典委員會官制 (康德二・一 帝皇令第一號)
- 關於承辦瀧清室陵廟宮殿等之件 (康德六・二 帝皇令第一號)
- 宮内官考査委員會官制 (康德六・二 帝皇令第五號)

#### 第二章 宮内府及其所管

- 宮内府官制 (康德元・三 帝皇令第二號)……………一
- 宮内府各處分科規程 (康德六・三 政府公報)……………八
- 衛長及衛士ノ職務ニ關スル件 (康德六・三 宮内令第八號)……………八之四
- 帝皇會計審查局官制 (康德元・三 帝皇令第三號)……………九
- 帝皇會計審查規則 (康德元・七 宮内令第六號)……………一一
- 帝皇大典委員會官制 (康德二・一 帝皇令第一號)……………一八
- 瀧清室陵廟宮殿等ノ承辦ニ關スル件 (康德六・二 帝皇令第一號)……………二〇
- 宮内官考査委員會官制 (康德六・二 帝皇令第五號)……………二二



第三章 侍從武官處

- 侍從武官處令 (康德元·三 軍令第二號)

第三章之二 軍事諮議院

- 軍事諮議院令 (康德六·一 勅令第二號)
- 設置將軍令 (康德元·一 勅令第一五九號)

第四章 參議府

- 參議府官制 (大同元·四 教令第四號)
- 參議府會議規程 (大同元·四 教令第一八號)
- 暫行參議府會議變通辦法 (大同元·五 教令第二三號)

第五章 立法院

- 暫行立法院秘書廳官制 (大同元·四 教令第一九號)

第三章 侍從武官處

- 侍從武官處令 (康德元·三 軍令第二號)

第三章ノ二 軍事諮議院

- 軍事諮議院令 (康德六·一 勅令第二號)
- 將軍設置令 (康德元·一 勅令第一五九號)

第四章 參議府

- 參議府官制 (大同元·四 教令第四號)
- 參議府會議規程 (大同元·四 教令第一八號)
- 暫行參議府會議變通辦法 (大同元·五 教令第二三號)

第五章 立法院

- 暫行立法院秘書廳官制 (大同元·四 教令第一九號)

〔朝報八十五號〕

〔朝報八十七號〕

- 關於設置滿洲重工業開發株式會社管理委員會之件 (地方制度第一一章) (康德四·二 國訓第一四五號)
- 中央禁煙促進委員會規程 (康德五·一 國訓第一八號)
- 備用軍醫職業輔導委員會規程 (康德五·五 國訓第三〇號)

- 閣任文官給與委員會官制 (康德五·五 勅令第九六號)
- 文官考試委員會官制 (康德五·五 勅令第九七號)
- 文官分限委員會官制 (康德五·五 勅令第九八號)
- 文官懲戒委員會官制 (康德五·五 勅令第九九號)
- 企劃委員會官制 (康德五·七 勅令第一四八號)
- 科學審議委員會官制 (康德六·三 勅令第四〇號)
- 瀋陽古王公審議委員會規程 (康德六·三 院令第八號)

- 滿洲重工業開發株式會社管理委員會設置ニ關スル件 (地方制度第一一章) (康德四·二 國訓第一四五號)
- 中央禁煙促進委員會規程 (康德五·一 國訓第一八號)
- 備用軍醫職業輔導委員會規程 (康德五·五 國訓第三〇號)

- 閣任文官給與委員會官制 (康德五·五 勅令第九六號)
- 文官考試委員會官制 (康德五·五 勅令第九七號)
- 文官分限委員會官制 (康德五·五 勅令第九八號)
- 文官懲戒委員會官制 (康德五·五 勅令第九九號)
- 企劃委員會官制 (康德五·七 勅令第一四八號)
- 科學審議委員會官制 (康德六·三 勅令第四〇號)
- 瀋陽古王公審議委員會規程 (康德六·三 院令第八號)

### 第七章 國務院各部

#### 第一款 國務院各部通則

- 國務院各部官制 (康德四·六 勅令第一二〇號)
- 文官試補設置制 (康德五·九 勅令第二三三號)
- 關於諸官制中委任官待遇職員之件 (康德五·九 勅令第二三四號)
- 關於文官令施行之際現為職員者而兼任任用為委任官者之定員之件 (康德六·一 勅令第三號)

#### 第二款 國務院各部及其所管

##### 第一項 治安部及其所管

- 治安部警務司分科規程 (康德四·七 政府公報)
- 治安部警務司分設規程 (康德四·九 政府公報)
- 治安部內臨時職員設置制 (康德五·二 勅令第三三〇號)
- 陸海軍條例 (大同元·四 軍令第一號)
- 特命檢閱令 (康德元·六 軍令第五號)
- 海軍檢閱令 (康德元·二 軍令第一〇號)
- 被服廠令 (大同元·八 軍令第五號)
- 軍械廠令 (康德五·七 勅令第一七二號)
- 江防艦隊令 (康德元·二 軍令第八號)

### 第七章 國務院各部

#### 第一款 國務院各部通則

- 國務院各部官制 (康德四·六 勅令第一二〇號)
- 文定試補設置制 (康德五·九 勅令第二三三號)
- 諸官制中委任官待遇職員ニ關スル件 (康德五·九 勅令第二三四號)
- 文官令施行ノ際現ニ職員タリシ者ニシテ委任官ニ任用セラルル者ノ定員ニ關スル件 (康德六·一 勅令第三號)

#### 第二款 國務院各部及其所管

##### 第一項 治安部及其所管

- 治安部警務司分科規程 (康德四·六 政府公報)
- 治安部警務司分設規程 (康德四·九 政府公報)
- 治安部內臨時職員設置制 (康德五·二 勅令第三三〇號)
- 陸海軍條例 (大同元·四 軍令第一號)
- 特命檢閱令 (康德元·六 軍令第五號)
- 海軍檢閱令 (康德元·二 軍令第一〇號)
- 被服廠令 (大同元·八 軍令第五號)
- 軍械廠令 (康德五·七 勅令第一七二號)
- 江防艦隊令 (康德元·二 軍令第八號)

〔朝憲八十七號〕

〔朝憲八十五號〕

- 補充隊令 (康德二·二 軍令第五號)
- 艦船令 (康德元·一 軍令第九號)
- 編裝員令 (康德元·二 勅令第一八二號)
- 治安部病院令 (康德三·二 勅令第二三三號)
- 陸軍軍醫處令 (康德三·二 勅令第二三三號)
- 陸軍衛生工廠令 (康德五·四 勅令第六五號)
- 陸軍軍官學校令 (康德六·三 勅令第五〇號)
- 陸軍軍醫學校令 (康德四·三 勅令第二二號)
- 陸軍軍醫學校令 (康德四·六 勅令第一七號)
- 陸軍軍醫學校令 (康德五·三 勅令第二三三號)
- 保安局官制 (康德四·二 勅令第五一〇號)
- 指教管理局官制 (康德六·二 勅令第五號)
- 指教管理局分科規程 (康德六·二 政府公報)
- 國境警務隊官制 (康德五·二 勅令第二七〇號)
- 關於設置國境警務隊之縣之件 (康德五·二 治佈第六號)
- 中央警察學校官制 (大同元·六 勅令第三〇號)
- 中央警察學校規程 (大同二·三 民訓第一四三號)
- 中央警察學校附屬警察官練習所規程 (大同二·三 民訓第一四四號)
- 海上警察隊官制 (康德四·六 勅令第一八六號)

- 補充隊令 (康德二·二 軍令第五號)
- 艦船令 (康德元·一 軍令第九號)
- 編裝員令 (康德元·二 勅令第一八二號)
- 治安部病院令 (康德三·二 勅令第二三三號)
- 陸軍軍醫處令 (康德三·二 勅令第二三三號)
- 陸軍衛生工廠令 (康德五·四 勅令第六五號)
- 陸軍軍官學校令 (康德六·三 勅令第五〇號)
- 陸軍軍醫學校令 (康德四·三 勅令第二二號)
- 陸軍軍醫學校令 (康德四·六 勅令第一七號)
- 陸軍軍醫學校令 (康德五·三 勅令第二三三號)
- 保安局官制 (康德四·二 勅令第五一〇號)
- 指教管理局官制 (康德六·二 勅令第五號)
- 指教管理局分科規程 (康德六·二 政府公報)
- 國境警務隊官制 (康德五·二 勅令第二七〇號)
- 關於設置國境警務隊之縣之件 (康德五·二 治佈第六號)
- 中央警察學校官制 (大同元·六 勅令第三〇號)
- 中央警察學校規程 (大同二·三 民訓第一四三號)
- 中央警察學校附屬警察官練習所規程 (大同二·三 民訓第一四四號)
- 海上警察隊官制 (康德四·六 勅令第一八六號)







- 新東京醫科大學官制 (康德五·五 勅令第一一四號) 九七
- 新東京法政大學官制 (康德五·二 勅令第三二六號) 九八之二
- 國立大學工礦技術院官制 (康德五·二 勅令第三二五號) 九八之三
- 各國立大學工礦技術院定員 (康德五·二 民生令第一〇二號) 九八之五
- 國立大學工礦技術院之名稱及設置場所 (康德五·二 民生令第一〇一號) 九八之五
- 國立大學哈爾濱演習院官制 (康德六·三 勅令第五九號) 九八之六
- 中央師道訓練所官制 (康德五·三 勅令第三六號) 九八之六
- 王爺廟興安學院官制 (康德六·二 勅令第三〇號) 九八之八
- 指定公立小學校官制 (康德四·二 勅令第三六七號) 九八之一〇
- 指定公立小學校之名稱 (康德五·四 民生令第五八號) 九八之一〇
- 留學生預備校官制 (康德五·三 勅令第三二號) 九八之一一
- 留學生認可考試委員會規程 (康德五·七 民生令第七八號) 九八之一二
- 工業實習所官制 (康德五·五 勅令第一一九號) 九八之一四
- 工業實習所之名稱及設置場所 (康德五·六 民生令第六五號) 一〇〇
- 國立中央博物館官制 (康德五·二 勅令第三二七號) 一〇〇

(續前六十七號)

- 特許發明局官制 (康德三·四 勅令第四五號) 一五七
  - 特許發明局分科規程 (康德三·五 政府公報) 一六〇
  - 國立綿羊改良場官制 (康德五·二 勅令第三三四號) 一六一
  - 省立綿羊改良場官制 (本編第八章第一款) 一六一
  - 國立綿羊改良場之名稱、位置及管轄區域 (康德五·二 勅令第四八號) 一六四
  - 林野局官制 (康德四·六 勅令第一二五號) 一六五
  - 林野局分科規程 (康德六·二 政府公報) 一六七
  - 營林署官制 (康德四·一〇 勅令第二九九號) 一七〇
  - 營林署分科規程 (康德六·二 政府公報) 一七二
  - 營林署分科規程第一條及第六條之指定事項 (康德六·二 產佈第六號) 一七四
  - 營林署之名稱、位置及管轄區域 (康德五·六 產佈第三三號) 一七六
  - 營林署分署之名稱及位置 (康德五·六 產佈第三三四號) 一七九
  - 開拓總局官制 (康德五·二 勅令第三三〇號) 一八一
  - 開拓總局分科規程 (康德六·一 政府公報) 一八三
- 第五項 經濟部及其所管**
- 經濟部分科規程 (康德四·七 政府公報) 二〇七
  - 經濟部內臨時職員設置制 (康德四·六 勅令第二〇〇號) 二一五
  - 稅務監督官制 (大同元·七 敕令第四三號) 二一六
  - 稅務監督分科規程 (大同元·七 政府公報) 二一九
  - 稅務監督出張所設置之關スル件 (康德三·二 財令第五五號) 二二四

(續前八十五號)





- 稅捐局官制 (大同元・七 敕令第四四號)……………二二六
- 稅捐局分課規程 (康德四・四 財訓第六四號)……………二二七
- 稅關官制 (大同二・八 敕令第六五號)……………二四〇
- 稅關分科規程 (康德四・六 政府公報)……………二四四
- 稅關管轄區域 (康德元・四 財令第八號)……………二四八
- 稅關分關之名稱及位置 (康德四・六 財令第二八號)……………二五〇
- 羅津我國稅關官吏事務所之名稱、位置 (康德二・一〇 財佈第九號)……………二五一
- 阿片專賣籌備委員會官制 (大同元・九 敕令第九一號)……………二五二
- 滿洲中央銀行監理官章程 (大同元・七 敕令第四五號)……………二五三
- 財務職員訓練所官制 (康德六・三 勅令第七二號)……………二五五
- 權度檢定所官制 (康德四・六 勅令第一五九號)……………二五七
- 權度檢定所分科規程 (康德四・七 政府公報)……………二六〇
- 權度檢定所分所之名稱及位置 (康德六・三 經令第一二二號)……………二六一
- 專賣總局官制 (康德四・六 勅令第一七〇號)……………二六二
- 專賣總局分科規程 (康德六・三 政府公報)……………二六四
- 專賣署官制 (康德二・四 勅令第二八號)……………二七〇
- 專賣署分科規程 (康德六・三 專總訓第一〇三號)……………二七三
- 關於專賣署私員定員之件 (康德二・四 財令第一一號)……………二八三
- 專賣署之名稱、位置及管轄區域並專賣局之名稱、位置 (康德三・一二 財令第五六號)……………二八三

〔朝覽八十七號〕

- 專賣工廠官制 (康德二・四 勅令第二九號)……………二九二
- 關於專賣工廠位置之件 (康德二・四 財令第九號)……………二九四
- 依照康德元年勅令第一百五十號之評價委員會官制 (康德元・一二 勅令第一八九號)……………二九四
- 鹽業試驗場官制 (康德六・三 勅令第七一號)……………二九四

〔朝覽八十七號〕

- 專賣工廠官制 (康德二・四 勅令第二九號)……………二九二
- 專賣工廠ノ位置ニ關スル件 (康德二・四 財令第九號)……………二九四
- 康德元年勅令第一百五十號ニ依ル評價委員會官制 (康德元・一二 勅令第一八九號)……………二九四
- 鹽業試驗場官制 (康德六・三 勅令第七一號)……………二九四

第六項 交通部及其所管

- 交通部分科規程 (康德四・七 政府公報)……………二九六
- 交通部內臨時職員設置制 (康德四・六 勅令第二〇一號)……………三〇三
- 郵政總局官制 (康德四・六 勅令第一二七號)……………三〇五
- 郵政總局分科規程 (康德四・七 政府公報)……………三〇七
- 郵政管理局官制 (大同二・九 敕令第六九號)……………三一〇
- 郵政管理局分科規程 (康德四・二 政府公報)……………三一三
- 郵政管理局管轄區域 (康德四・二 交佈第二七四號)……………三一六
- 郵政局官制 (康德四・二 勅令第三九四號)……………三一七
- 郵政局分課規程 (康德四・二 政府公報)……………三一七

本出別目録 官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(交通部)

第六項 交通部及其所管

- 交通部分科規程 (康德四・七 政府公報)……………二九六
- 交通部內臨時職員設置制 (康德四・六 勅令第二〇一號)……………三〇三
- 郵政總局官制 (康德四・六 勅令第一二七號)……………三〇五
- 郵政總局分科規程 (康德四・七 政府公報)……………三〇七
- 郵政管理局官制 (大同二・九 敕令第六九號)……………三一〇
- 郵政管理局分科規程 (康德四・二 政府公報)……………三一三
- 郵政管理局管轄區域 (康德四・二 交佈第二七四號)……………三一六
- 郵政局官制 (康德四・二 勅令第三九四號)……………三一七
- 郵政局分課規程 (康德四・二 政府公報)……………三一七



事由別目録 官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(交通部)

- 郵政辦事所規則 (康德四・一一 交令第六四號)……三三三
- 關於監獄事務指定局之件 (康德元・三 交令第六號)……三二七
- 郵政職員訓練所官制 (康德六・二 勅令第三九號)……三二八
- 航務局官制 (康德四・六 勅令第一七三號)……三三〇
- 航務局分科規程 (康德四・七 政府公報)……三四一
- 關於依航務局官制第八條規定之航務局長所管事務之委任之件 (康德四・七 政府公報)……三四一
- 關於依航務局官制第八條之規定航務局長所管事務之委任事務之件 (以上輯錄交通部通信第二卷)……三四一
- 交通部設置土木建設處之件 (康德四・六 勅令第一七六號)……三四二
- 土木建設處之位置、名稱及管轄區域 (康德四・七 交令第三九號)……三四三
- 治水調査處及治水工程處設置之件 (康德五・三 交令第六號)……三四四
- 治水工程處設置之件 (康德六・三 交令第三號)……三四四
- 中央觀察官制 (大同二・一一 敕令第八五號)……三四五
- 中央觀察分科規程 (康德元・九 政府公報)……三四七
- 地方觀察官之名稱及位置 (康德元・五 實令第四號)……三四九
- 地方觀察官及地方觀察所之名稱及位置 (康德二・五 實令第四號)……三五〇
- 地方觀察官及地方觀察所名稱及位置 (續前八十七號)

- 地方觀察官及地方觀察所之名稱及位置 (康德二・七 實令第九號)……三五〇
- 地方觀察官之名稱及位置 (康德三・九 實令第三三號)……三五二
- 地方觀察所名稱及位置 (康德二・八 實令第三三號)……三五二
- 地方觀察所名稱及位置 (康德三・五 實令第一六號)……三五二
- 地方觀察所之名稱及位置 (康德四・一〇 實令第一七號)……三五三
- 地方觀察官及地方觀察所之名稱及位置之件 (康德四・一二 實令第二五號)……三五三
- 地方觀察官及地方觀察所之名稱及位置 (康德五・一〇 實令第四三號)……三五四
- 航空所官制 (康德六・三 勅令第四八號)……三五五
- 航空所之名稱、位置及管轄區域 (康德六・三 交令第四號)……三五六

- 地方觀察官及地方觀察所名稱及位置 (康德二・七 實令第九號)……三五〇
- 地方觀察官之名稱及位置 (康德三・九 實令第三三號)……三五二
- 地方觀察所名稱及位置 (康德二・八 實令第三三號)……三五二
- 地方觀察所名稱及位置 (康德三・五 實令第一六號)……三五二
- 地方觀察所名稱及位置 (康德四・一〇 實令第一七號)……三五三
- 地方觀察官及地方觀察所名稱及位置之件 (康德四・一二 實令第二五號)……三五三
- 地方觀察官及地方觀察所名稱及位置 (康德五・一〇 實令第四三號)……三五四
- 航空所官制 (康德六・三 勅令第四八號)……三五五
- 航空所名稱、位置及管轄區域 (康德六・三 交令第四號)……三五六

事由別目録 官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(交通部)

### 第八章 省 特別市及首都警察廳 (輯錄興安各省)

#### 第一款 省

- 省官制 (康德元・一〇 勅令第一二四號)
- 省、黑河省及興安各省臨時職員設置制 (康德五・三 勅令第三五號)
- 從事衛生警察事務之各省、黑河省及興安各省員額 (康德五・八 治令第四二號)
- 關於從事伴隨防備法施行之警察計畫事務之臨時職員設置之件 (康德五・八 勅令第二〇八號)
- 依省官制第十二條第二項及第三項之省指定之件 (康德五・二二 院令第四九號)
- 關於首都警察廳及省廳置之警察官員額之件 (康德四・六 勅令第一八四號)
- 各省警察官員額 (康德五・二二 治訓警第九九號)
- 關於警尉補、警長及警士員額之件 (康德四・二二 勅令第四二二號)
- 黑河省官制 (康德四・二二 勅令第三九八號)
- 黑河省分科規程 (康德五・二二 政府公報)

### 第八章 省 特別市及首都警察廳 (興安各省ヲ輯ム)

#### 第一款 省

- 省官制 (康德元・一〇 勅令第一二四號)……………一
- 省、黑河省及興安各省臨時職員設置制 (康德五・三 勅令第三五號)……………一二
- 衛生警察事務ニ從事スル各省、黑河省及各省員額 (康德五・八 治令第四二號)……………一四
- 防備法施行ニ伴フ警察計畫事務ニ從事スル臨時職員設置ニ關スル件 (康德五・八 勅令第二〇八號)……………一四之一
- 省官制第十二條第二項及第三項ニ依ル省指定ノ件 (康德五・二二 院令第四九號)……………一四之二
- 首都警察廳及省ニ置クベキ警察官員額ニ關スル件 (康德四・六 勅令第一八四號)
- 各省警察官員額 (康德五・二二 治訓警第九九號)……………一五
- 警尉補、警長及警士ノ定員ニ關スル件 (康德四・二二 勅令第四二二號)……………一六
- 黑河省官制 (康德四・二二 勅令第三九八號)……………一六之一
- 黑河省分科規程 (康德五・二二 政府公報)……………一六之七

(輯錄八十二號)

(輯錄八十七號)

- 地方警察學校官制 (康德二・七 勅令第七六號)
- 關於各地方警察學校定員之件 (康德四・二二 治令第三九號)
- 省立編年改良場官制 (康德五・二二 勅令第三三五號)
- 地方土地委員會官制 (康德三・三 勅令第二二號)
- 地方土地委員會處務規則 (康德五・四 院令第七七號)
- 地方職員訓練所官制 (康德六・三 勅令第五七號)
- 地方師道訓練所官制 (康德五・三 勅令第三七號)
- 奉天省公署分科規程 (大同元・九 政府公報)
- 吉林省公署分科規程 (康德三・一 政府公報)
- 熱河省分科規程 (康德五・九 政府公報)
- 浙江省公署分科規程 (康德二・五 政府公報)
- 三江省公署分科規程 (康德二・九 政府公報)
- 間島省分科規程 (康德五・一〇 政府公報)
- 牡丹江省分科規程 (康德五・一二 政府公報)

- 地方警察學校官制 (康德二・七 勅令第七六號)……………一六之九
- 各地方警察學校ノ定員ニ關スル件 (康德四・二二 治令第三九號)……………一六之一
- 省立編年改良場官制 (康德五・二二 勅令第三三五號)……………一六之一五
- 地方土地委員會官制 (康德三・三 勅令第二二號)……………一七
- 地方土地委員會處務規則 (康德五・四 院令第七七號)……………一九
- 地方職員訓練所官制 (康德六・三 勅令第五七號)……………二〇
- 地方師道訓練所官制 (康德五・三 勅令第三七號)……………二〇之二
- 奉天省公署分科規程 (大同元・九 政府公報)……………二二
- 吉林省公署分科規程 (康德三・一 政府公報)……………三三
- 熱河省分科規程 (康德五・九 政府公報)……………四〇
- 浙江省公署分科規程 (康德二・五 政府公報)……………四八
- 三江省公署分科規程 (康德二・九 政府公報)……………五六
- 間島省分科規程 (康德五・一〇 政府公報)……………六二
- 牡丹江省分科規程 (康德五・一二 政府公報)……………六二之七

#### 第二款 興安各省

- 興安各省官制 (康德二・九 勅令第一一〇號)
- 興安東省分科規程 (康德二・九 政府公報)

- 興安各省官制 (康德二・九 勅令第一一〇號)……………六三
- 興安東省分科規程 (康德二・九 政府公報)……………七一

#### 第二款 興安各省



- 興安西省分科規程 (康德二・九 政府公報) 七三
- 興安南省分科規程 (康德二・九 政府公報) 七六
- 興安北省分科規程 (康德二・九 政府公報) 七九
- 興安各省公署定員 (康德三・二 勅令第一二二號) 八二
- 不設置警務廳之省 (康德二・九 勅令第一二二號) 八三
- 興安東省林務署暫行規程 (康德三・四 興安東令第二號) 八三
- 興安北省林務署暫行規程 (康德三・三 興安北令第二號) 八六

- 興安西省分科規程 (康德二・九 政府公報) 七三
- 興安南省分科規程 (康德二・九 政府公報) 七六
- 興安北省分科規程 (康德二・九 政府公報) 七九
- 興安各省公署定員 (康德三・二 勅令第一二二號) 八二
- 警務廳ヲ置カザル省 (康德二・九 勅令第一二二號) 八三
- 興安東省林務署暫行規程 (康德三・四 興安東令第二號) 八三
- 興安北省林務署暫行規程 (康德三・三 興安北令第二號) 八六

### 第三款 特別市

- 新京特別市官制 (康德四・六 勅令第一七九號) 八九
- 新京特別市分科規程 (康德五・三 政府公報) 九三
- 臨時國都建設局官制 (康德四・二 勅令第四六八號) 九四之五
- 臨時國都建設局分科規程 (康德五・三 政府公報) 九四之七
- 關於新京特別市、市、縣及旗設置執行不動產登錄事務之職員之件 (康德五・八 勅令第一八六號) 九四之九

### 第三款 特別市

- 新京特別市官制 (康德四・六 勅令第一七九號) 八九
- 新京特別市分科規程 (康德五・三 政府公報) 九三
- 臨時國都建設局官制 (康德四・二 勅令第四六八號) 九四之五
- 臨時國都建設局分科規程 (康德五・三 政府公報) 九四之七
- 新京特別市、市、縣及旗ニ不動產登錄事務ヲ行フ職員設置ニ關スル件 (康德五・八 勅令第一八六號) 九四之九

樂長及樂士承上司之命從事奏樂 (第六三三號本條改正)

第十五條 刪 除 (第三三號)

第十六條 關於衛長及衛士之規程由宮內府大臣定之 (第六三三號本條改正)

第十七條 刪 除 (第三三號)

第十八條 宮內府大臣得經勅裁置顧問官顧問官爲特任官待遇或簡任官待遇之名譽官備宮內府大臣之諮問 (第四四二號本條改正)

附 則 本令自康德元年三月一日施行  
大同元年執政府令第一號執政府官制廢止之

- 附 則 (康德二年三月十四日勅令第七號) 本令公布日施行
- 附 則 (康德二年七月三〇日勅令第一二號) 本令公布日施行
- 附 則 (康德三年二月二十八日勅令第二號) 本令公布日施行
- 附 則 (康德四年一月一日施行) 本令公布日施行
- 附 則 (康德四年五月七日勅令第二號) 本令公布日施行
- 附 則 (康德六年二月二十八日勅令第二號) 本令公布日施行
- 附 則 (康德六年三月一日施行) 本令公布日施行
- 附 則 (康德二年勅令第十二號) 本令公布日施行

### 官制 第二章 宮內府及其所屬

〔附則八十五號〕

樂長及樂士ハ上司ノ命ヲ承ケ奏樂ニ從事ス (第六三三號本條改正)

第十五條 刪 除 (第三三號)

第十六條 衛長及衛士ニ關スル規程ハ宮內府大臣之ヲ定ム (第六三三號本條改正)

第十七條 刪 除 (第三三號)

第十八條 宮內府大臣ハ勅裁ヲ經テ顧問官ヲ置クコトヲ得顧問官ハ特任官待遇若ハ簡任官待遇ノ名譽官トシ宮內府大臣ノ諮問ニ應ズ (第四四二號本條改正)

附 則 本令ハ康德元年三月一日ヨリ之ヲ施行ス  
大同元年執政府令第一號執政府官制ハ之ヲ廢止ス

- 附 則 (康德二年三月十四日勅令第七號) 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 附 則 (康德二年七月三〇日勅令第一二號) 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 附 則 (康德三年二月二十八日勅令第二號) 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 附 則 (康德四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス) 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 附 則 (康德四年五月七日勅令第二號) 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 附 則 (康德六年二月二十八日勅令第二號) 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 附 則 (康德六年三月一日ヨリ之ヲ施行ス) 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 附 則 (康德二年勅令第十二號) 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス



●宮内府各處分科規程

(康徳六年三月十七日 政府公報)

茲規定宮内府各處分科規程如左

宮内府各處分科規程

- 第一章 總務處
- 第一條 總務處置綜理科及文書科
- 第二條 綜理科掌管左列事務
  - 一 關於巡幸事項
  - 二 關於贈賜、賞賽事項
  - 三 關於救濟慈善事項
  - 四 關於清獻事項
  - 五 關於機密事項
  - 六 關於職員之任免、進退及其他身分事項
  - 七 關於職員之紀律及賞罰事項
  - 八 關於職員之給與、恩給及共濟事項
  - 九 關於宿衛事項
  - 十 關於職員之出登及請假事項
  - 十一 前各款之外不屬於他科事項
- 第三條 文書科掌管左列事務
  - 一 關於詔書、勅書、帝室令及其他原本保護事項
  - 二 關於管守官印事項

●宮内府各處分科規程

(康徳六年三月十七日 政府公報)

茲ニ宮内府各處分科規程ヲ左ノ如ク定ム

宮内府各處分科規程

- 第一章 總務處
- 第一條 總務處ニ綜理科及文書科ヲ置ク
- 第二條 綜理科ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
  - 一 巡幸ニ關スル事項
  - 二 贈賜、賞賽ニ關スル事項
  - 三 救濟慈善ニ關スル事項
  - 四 清獻ニ關スル事項
  - 五 機密ニ關スル事項
  - 六 職員ノ任免、進退其ノ他身分ニ關スル事項
  - 七 職員ノ紀律及賞罰ニ關スル事項
  - 八 職員ノ給與、恩給及共濟ニ關スル事項
  - 九 宿衛ニ關スル事項
  - 十 職員ノ出登及請假ニ關スル事項
  - 十一 前各款ノ外他科ニ屬セザル事項
- 第三條 文書科ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
  - 一 詔書、勅書、帝室令其ノ他ノ原本ノ尙藏ニ關スル事項
  - 二 官印ノ管守ニ關スル事項

(附覽八十七號)

[附覽八十七號]

- 三 關於文書之收發事項
- 四 關於文書及圖書之編纂、整理、保管事項
- 五 關於統計、記錄及報告事項
- 六 關於翻譯及譯寫事項
- 七 關於法規之立案、整理事項
- 八 關於會議事項
- 第二章 內務處
- 第一條 內務處置需用科、會計科及管料科
- 第二條 需用科掌管左列事務
  - 一 關於物品之購入、保管及出納事項
  - 二 關於預備品事項
  - 三 關於運送事項
  - 四 關於自動車之運用及整備事項
  - 五 關於馬匹之飼養及飼養事項
  - 六 關於不用物件之處分事項
  - 七 前各款之外不屬於他科事項
- 第三條 會計科掌管左列事務
  - 一 關於預算及決算事項
  - 二 關於收入及支出事項
  - 三 關於預備品資金事項
  - 四 關於宿衛財產之管理事項
  - 五 關於貯蓄事項
  - 六 關於義務儲金及其他委託徵收金事項

官制 第二章 宮内府及其所管

- 三 文書ノ接受、發送ニ關スル事項
- 四 文書及圖書ノ編纂、整理、保管ニ關スル事項
- 五 統計、記錄及報告ニ關スル事項
- 六 翻譯及譯寫ニ關スル事項
- 七 法規ノ立案、整理ニ關スル事項
- 八 會議ニ關スル事項
- 第二章 內務處
- 第一條 內務處ニ需用科、會計科及管料科ヲ置ク
- 第二條 需用科ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
  - 一 物品ノ購入、保管及出納ニ關スル事項
  - 二 預備品ニ關スル事項
  - 三 運送ニ關スル事項
  - 四 自動車ノ運用及整備ニ關スル事項
  - 五 馬匹ノ飼養及飼養ニ關スル事項
  - 六 不用物件ノ處分ニ關スル事項
  - 七 前各款ノ外他科ニ屬セザル事項
- 第三條 會計科ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
  - 一 預算及決算ニ關スル事項
  - 二 收入支出ニ關スル事項
  - 三 預備品資金ニ關スル事項
  - 四 宿衛財產ノ管理ニ關スル事項
  - 五 貯蓄ニ關スル事項
  - 六 義務儲金其ノ他委託徵收金ニ關スル事項



官制 第二章 宮内府及其所管

- 第七條 營繕科掌管左列事務
  - 一 關於建築物之保管及整修事項
  - 二 關於建築、土木、機械、燈房等之工事、營繕事項
  - 三 關於家具及室內裝飾之設計及敷設事項
  - 四 關於建築物修繕事項
  - 五 關於電話事項
  - 六 關於水道、瓦斯及電氣事項
  - 七 關於府內之園掃、撒水及除雪事項
- 第三章 近侍處
  - 第八條 近侍處置承應科及典守科
  - 第九條 承應科掌管左列事務
    - 一 關於內廷之隨從事項
    - 二 關於內廷之醫藥及衛生事項
    - 三 關於內廷職員事項
    - 四 關於其他內廷事項
    - 五 前各款之外不屬於他科事務
  - 第十條 典守科掌管左列事務
    - 一 關於御物管理事項
    - 二 關於殿庭管理事項
    - 三 關於園藝及庭苑事項
    - 四 關於墳廟及陵寢事項
- 第四章 掌禮處
  - 第十一條 掌禮處置典禮科及交際科

〔附覽八十七號〕

- 第七條 營繕科ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
  - 一 建築物ノ保管及整修ニ關スル事項
  - 二 建築、土木、機械、燈房等ノ工事、營繕ニ關スル事項
  - 三 家具及室内裝飾ノ設計及敷設ニ關スル事項
  - 四 建築物修繕ニ關スル事項
  - 五 電話ニ關スル事項
  - 六 水道、瓦斯及電氣ニ關スル事項
  - 七 構内ノ園掃、撒水及除雪ニ關スル事項
- 第三章 近侍處
  - 第八條 近侍處ニ承應科及典守科ヲ置ク
  - 第九條 承應科ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
    - 一 内廷ノ隨從ニ關スル事項
    - 二 内廷ノ醫藥及衛生ニ關スル事項
    - 三 内廷職員ニ關スル事項
    - 四 其ノ他内廷ニ關スル事項
    - 五 前各款ノ外他科ニ屬セザル事項
  - 第十條 典守科ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
    - 一 御物管理ニ關スル事項
    - 二 殿庭管理ニ關スル事項
    - 三 園藝及庭苑ニ關スル事項
    - 四 墳廟及陵寢ニ關スル事項
- 第四章 掌禮處
  - 第十一條 掌禮處ニ典禮科及交際科ヲ置ク

〔附覽八十七號〕

- 第十二條 典禮科掌管左列事務
  - 一 關於典禮祭祀事項
  - 二 關於宴會及賜餐事項
  - 三 關於宮中席次事項
  - 四 關於管樂事項
  - 五 關於宴會用器典禮用各器具之保管事項
  - 六 關於典禮記錄事項
  - 七 前各款之外不屬於他科事務
- 第十三條 交際科掌管左列事務
  - 一 關於親電、親書事項
  - 二 關於交際事項
  - 三 拜謁、謁見事項
  - 四 關於進講事項
  - 五 關於進講事項
- 第五章 皇宮近衛處
  - 第十四條 皇宮近衛處置總務科、警備科及保安科
  - 第十五條 總務科掌管左列事務
    - 一 關於庶務事項
    - 二 關於企業事項
    - 三 關於教育事項
    - 四 前各款之外不屬於他科事項
  - 第十六條 警備科掌管左列事務
    - 一 關於警備、警備事項

官制 第二章 宮内府及其所管

- 第十二條 典禮科ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
  - 一 典禮祭祀ニ關スル事項
  - 二 宴會及賜餐ニ關スル事項
  - 三 宮中席次ニ關スル事項
  - 四 管樂ニ關スル事項
  - 五 宴會用器及典禮用器具ノ保管ニ關スル事項
  - 六 典禮記錄ニ關スル事項
  - 七 前各款ノ外他科ニ屬セザル事項
- 第十三條 交際科ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
  - 一 親電、親書ニ關スル事項
  - 二 御交際ニ關スル事項
  - 三 拜謁、謁見ニ關スル事項
  - 四 進講ニ關スル事項
  - 五 御通譯ニ關スル事項
- 第五章 皇宮近衛處
  - 第十四條 皇宮近衛處ニ總務科、警備科及保安科ヲ置ク
  - 第十五條 總務科ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
    - 一 庶務ニ關スル事項
    - 二 企業ニ關スル事項
    - 三 教育ニ關スル事項
    - 四 前各款ノ外他科ニ屬セザル事項
  - 第十六條 警備科ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
    - 一 警備、警備ニ關スル事項

官制 第二章 宮内府及其所管

- 二 關於門體事項
- 三 關於諸門之開閉及出入者之取締事項
- 四 關於搬出入物件之取締事項
- 五 關於武器彈藥事項
- 六 關於情報事項
- 七 關於其他警備事項

第十七條 保安科掌管左列事務  
 一 關於防空事項  
 二 關於消防事項  
 三 關於衛生事項  
 四 關於防疫事項  
 第十八條 事務上有必要時經宮内府大臣之認可得於科内設設

附則  
 本規程自康維六年三月一日施行

●關於衛長及衛士職務之件

(康維六年三月二日)  
 宮内府令第八號  
 茲制定關於衛長及衛士職務之件如左  
 關於衛長及衛士職務之件  
 衛長關於宮内府官制第十一條規定事項承上司之指揮從事執行

- 二 門體ニ關スル事項
- 三 諸門ノ開閉及出入者ノ取締ニ關スル事項
- 四 搬出入物件ノ取締ニ關スル事項
- 五 武器彈藥ニ關スル事項
- 六 情報ニ關スル事項
- 七 其ノ他警備ニ關スル事項

第十七條 保安科ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル  
 一 防空ニ關スル事項  
 二 消防ニ關スル事項  
 三 衛生ニ關スル事項  
 四 防疫ニ關スル事項  
 第十八條 事務上有必要アルトキハ宮内府大臣ノ認可ヲ經テ科内ニ設テ設タルコトヲ得

附則  
 本規程ハ康維六年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

●衛長及衛士ノ職務ニ關スル件

(康維六年三月二日)  
 宮内府令第八號  
 茲ニ衛長及衛士ノ職務ニ關スル件ヲ左ノ通制定ス  
 衛長及衛士ノ職務ニ關スル件  
 衛長ハ宮内府官制第十一條ニ規定スル事項ニ關シ上司ノ指揮ヲ承ケ執

(觀覽八十七號)

行務ニ從事シ兼テ衛士ヲ教導ス  
 衛士ハ宮内府官制第十一條ニ規定スル事項ニ關シ上司ノ指揮ヲ承ケ執  
 行務ニ從事ス  
 附則  
 本令ハ康維六年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

●帝室會計審査局官制

(康維元年三月一日)  
 帝室令第三號  
 朕經諮詢參議府裁可帝室會計審査局官制若即公布  
 (宮内府、國務總理大臣)

帝室會計審査局官制  
 第一條 宮内府置帝室會計審査局  
 官制 第二章 宮内府及其所管

●帝室會計審査局官制

(康維元年三月一日)  
 帝室令第三號  
 朕參議府ノ諮詢ヲ經テ帝室會計審査局官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
 (宮内府、國務總理大臣)

帝室會計審査局官制  
 第一條 宮内府ニ帝室會計審査局ヲ置テ

官制 第二章 宮内府及其所管

第二條 帝室會計審査局掌管關於帝室會計審査事務

第三條 帝室會計審査局置左列職員

- 局長 簡任
- 審査官 二人 薦任
- 屬官 二人 委任

第四條 局長掌理局務指揮監督所屬職員其任免及賞罰

經官內府大臣上奏之委任官以下則專行之

關於會計之審査不受官內府大臣之指揮監督

第五條 局長得要求主管部局長官提出關於會計審査上

所必要之文件或按照格式提出必要之報告

第六條 局長認為會計上有不明瞭或不合法規之處時得

對於主管部局長官發質問書要求其說明

第七條 局長得派審査官前往主管部局檢査文件帳簿計

算表現金物件及工程實況等項

第八條 審査官承局長之命分掌會計審査事務

第九條 屬官承上司之命辦理庶務

第二條 帝室會計審査局ハ帝室ノ會計審査ニ關スル事務ヲ掌管ス

第三條 帝室會計審査局ニ左ノ職員ヲ置ク

- 局長 簡任
- 審査官 二人 薦任
- 屬官 二人 委任

第四條 局長ハ局務ヲ掌理シ所部ノ職員ヲ指揮監督シ其ノ任免

及賞罰ハ官內府大臣ヲ經テ上奏シ委任官以下ハ之ヲ專行ス

會計ノ審査ニ付テハ官內府大臣ノ指揮監督ヲ受クルコトナシ

第五條 局長ハ主管ノ部局長官ニ會計ノ審査上必要ナル書類ノ

提出ヲ求メ又ハ式樣ヲ示シテ必要ナル報告ヲ求ムルコトヲ得

第六條 局長ハ會計上不明瞭又ハ不合法規ノ件アルコトヲ認メタ

ルトキハ主管ノ部局長官ニ推問書ヲ發シ辯明ヲ求ムルコトヲ

得

第七條 局長ハ審査官ヲシテ主管ノ部局ニ就キ書類帳簿計算表

現金物件及工事ノ實況等ヲ檢査セシムルコトヲ得

第八條 審査官ハ局長ノ命ヲ承ケ會計審査ノ事務ヲ分掌ス

第九條 屬官ハ上司ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス

本令自公布日施行

大陸科學院官制

(廣應二年三月二十二日 勅令第一八八號)

改正 廣應四年六月勅令第一三八號、二月廿四日一八號

廣應五年四月勅令第七二號

廣應六年三月勅令第四一號

朕經諮詢參議府裁可大陸科學院官制著即公布

(國務總理大臣)

大陸科學院官制

第一條 大陸科學院屬國務總理大臣之管理掌以資源

開發利用爲目的之科學上研究事項

大陸科學院以不妨礙依前項規定之研究爲限關於資源

開發利用之研究認爲於產業開發上有所裨益者或分

析、試驗或鑑定得應一般之委託(廣應二年三月二十二日勅令第一八八號)

第二條 大陸科學院置左列職員

- 院長 特任或簡任
- 研究官 十四人 薦任(其中六人得爲簡任)
- 理事官 一人 薦任
- 事務官 二人 薦任
- 副研究官 二十七人 薦任
- 屬官 十四人 委任
- 研究士 五十七人 委任(廣應二年三月二十二日勅令第一八八號)

官制 第六章 國務院及其所管

(廣應八十七號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大陸科學院官制

(廣應二年三月二十二日 勅令第一八八號)

改正 廣應四年六月勅令第一三八號、二月廿四日一八號

廣應五年四月勅令第七二號

廣應六年三月勅令第四一號

朕參議府ノ諮詢ヲ經テ大陸科學院官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セ

シム(國務總理大臣)

大陸科學院官制

第一條 大陸科學院ハ國務總理大臣ノ管理ニ屬シ資源ノ開發利

用ヲ目的トスル科學的研究ニ關スル事項ヲ掌ル

大陸科學院ハ前項ノ規定ニ依ル研究ニ妨ナキ限り資源ノ開發

利用ニ關スル研究ニシテ產業開發上裨益スル所アリト認ムル

モノ又ハ分析試驗若ハ鑑定ニ付一般ノ依頼ニ應ズルコトヲ得

(廣應二年三月二十二日勅令第一八八號)

第二條 大陸科學院ニ左ノ職員ヲ置ク

- 院長 特任若ハ簡任
- 研究官 十四人 薦任(內六人ヲ簡任ト爲スコトヲ得)
- 理事官 一人 薦任
- 事務官 二人 薦任
- 副研究官 二十七人 薦任
- 屬官 十四人 委任
- 研究士 五十七人 委任(廣應二年三月二十二日勅令第一八八號)

官制 第六章 國務院及其所管

（一）第一號本館中條正

第三條 院長承國務總理大臣之指揮監督綜理院務指揮監督所屬職員關於其進退及賞罰呈請國務總理大臣其委任官以下專行之

第四條 研究官承院長之命掌研究理事官及事務官承上司之命掌事務

副研究官輔佐研究官掌研究

屬官承上司之指揮辦理事務

第五條 大陸科學院之分科由院長定之

附則

本令自公布日施行

附則（廣發四年六月二十四日勅令第一三八號）

本令自公布日施行（廣發四年二月一日勅令第四一八號）

本令自公布日施行（廣發四年十二月一日勅令第一八號）

本令自公布日施行（廣發五年四月三〇日勅令第七二號）

本令自公布日施行（廣發六年三月九日勅令第一號）

本令自公布日施行

大陸科學院分科規程

（廣發四年九月十五日）  
政 府 公 報

茲制定大陸科學院分科規程如左

大陸科學院分科規程

第一條 大陸科學院置總務科、院長研究室及左列十一研究室、

〔附則八十七號〕

（改正）

第三條 院長ハ國務總理大臣ノ指揮監督ヲ承ケ院務ヲ總理シ所屬職員ヲ指揮監督ス其ノ進退賞罰ニ關シテハ國務總理大臣ニ具狀シ委任官以下ハ之ヲ專行ス

第四條 研究官ハ院長ノ命ヲ承ケ研究ヲ掌ル理事官及事務官ハ上司ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

副研究官ハ研究官ヲ佐ケ研究ヲ掌ル

屬官ハ上司ノ指揮ヲ承ケ事務ニ從事ス

第五條 大陸科學院ノ分科ハ院長之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則（廣發四年六月二十四日勅令第一三八號）

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令ハ廣發四年十二月一日勅令第一八號

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大陸科學院分科規程

（廣發四年九月十五日）  
政 府 公 報

茲ニ大陸科學院分科規程ヲ左ノ通定ム

大陸科學院分科規程

第一條 大陸科學院ニ總務科、院長研究室及左ノ十一研究室、四試驗室一

〔附則七十號〕

ニ依リ研究ヲ進メ得ザル場合ハ其ノ全部又ハ一部ヲ擴展スコトアル

第六條 大陸科學院ハ研究ノ結果ニ付其ノ報告書ヲ委託者ニ交付スベシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則

研究 依 頼 書

（受附月日）廣發 年 月 日 號

委託研究事項	
委託研究ノ目的	
備考	

右研究相成度及御依頼候也

住所

年 月 日

大陸科學院長 殿

氏 名

九二二一七

能進行研究時或有退還其全部或一部

第六條 大陸科學院對於研究之結果應將其報告書交付於委託人

附則

本令自公布日施行

附則

附則

附則

附則

附則

附則

附則

附則

附則

附則

附則

附則

附則

附則

附則

附則

附則

附則

附則

附則

附則

附則

附則

附則

附則

附則

附則

附則

附則

附則

附則

附則

附則

附則

附則

附則

附則

官制 第六章 國務院及其所管

●馬疫研究處官制

(康慶四年二月十八日) 勅令第一三三號

改正 康慶五年四月勅令第七三號

康慶六年三月勅令第五一號

朕經諮詢參議府裁可馬疫研究處官制著即公布

(國務總理大臣) 署

馬疫研究處官制

- 第一條 馬疫研究處屬於大陸科學院長之管理關於馬疫掌管左列事項
  - 一 關於病源檢索及研究事項
  - 二 關於預防及治療方法之研究及講習事項
  - 三 關於血清及預防液類之製造事項 (康慶六年五月一號本條修正)
- 第二條 馬疫研究處置左列職員
  - 處長 一人 薦任(其中一人得爲簡任)
  - 研究官 五人 薦任

●馬疫研究處官制

(康慶四年二月十八日) 勅令第一三三號

改正 康慶五年四月勅令第七三號

康慶六年三月勅令第五一號

朕參議府ノ諮詢ヲ經テ馬疫研究處官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム(國務總理大臣) 署

馬疫研究處官制

- 第一條 馬疫研究處ハ大陸科學院長ノ管理ニ屬シ馬疫ニ關シ左ノ事項ヲ掌ル
  - 一 病源檢索及研究ニ關スル事項
  - 二 豫防及治療方法ノ研究及講習ニ關スル事項
  - 三 血清及豫防液類ノ製造ニ關スル事項 (康慶六年五月一號本條修正)
- 第二條 馬疫研究處ニ左ノ職員ヲ置ク
  - 處長 一人 薦任(內一人ヲ簡任ト爲スコトヲ得)
  - 研究官 五人 薦任

[附覽八十七號]

[附覽八十七號]

- 事務官 一人 薦任
- 副研究官 四人 薦任
- 屬官 四人 委任
- 研究士 十一人 委任
- 處長以研究官充之 (康慶五年七月三號本條修正、六號五一號本條修正)
- 第三條 處長承大陸科學院長之指揮監督總理處務指揮監督所屬職員關於其進退及賞罰呈請大陸科學院長 (康慶五年七月三號本條修正)
- 第四條 研究官承處長之命掌研究
  - 事務官承處長之命掌事務
  - 副研究官輔佐研究官掌研究
  - 屬官承上司之指揮辦理事務
  - 研究士承上司之指揮從事研究 (康慶五年七月三號本條修正)
- 第五條 馬疫研究處分科規程由大陸科學院長定之

附則

本令自公布日施行

附則 (康慶五年四月三〇日勅令第七三號)

本令公布日施行

官制 第六章 國務院及其所管

- 事務官 一人 薦任
- 副研究官 四人 薦任
- 屬官 四人 委任
- 研究士 十一人 委任
- 處長ハ研究官ヲ以テ之ニ充ツ (康慶五年七月三號本條修正、六號五一號本條修正)
- 第三條 處長ハ大陸科學院長ノ指揮監督ヲ承ケ處務ヲ總理シ所屬職員ヲ指揮監督シ其ノ進退及賞罰ニ關シ大陸科學院長ニ上申ス (康慶五年七月三號本條修正)
- 第四條 研究官ハ處長ノ命ヲ承ケ研究ヲ掌ル
  - 事務官ハ處長ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル
  - 副研究官ハ研究官ヲ佐ケ研究ヲ掌ル
  - 屬官ハ上司ノ指揮ヲ承ケ事務ニ從事ス
  - 研究士ハ上司ノ指揮ヲ承ケ研究ニ從事ス (康慶五年七月三號本條修正)
- 第五條 馬疫研究處分科規程ハ大陸科學院長之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (康慶五年四月三〇日勅令第七三號)

本令公布日施行



附 則 (康德六年三月二十六日勅令第五一號)  
本令公布日施行

●馬疫研究處分科規程

(康德四年十二月四日 政 府 公 報)

茲制定馬疫研究處分科規程如左

馬疫研究處分科規程

第一條 馬疫研究處置總務科及左列四研究室

細菌研究室

病理研究室

化學研究室

製劑研究室

第二條 總務科掌管左列事項

一 關於御容及昭書體本事項

二 關於官印之典守事項

三 關於機密事項

四 關於人事事項

五 關於文書事項

六 關於會計事項

七 關於研究之發表事務事項

附 則 (康德六年三月二十六日勅令第五一號)  
本令公布日施行

●馬疫研究處分科規程

(康德四年十二月四日 政 府 公 報)

馬疫研究處分科規程ヲ左ノ通定ム

馬疫研究處分科規程

第一條 馬疫研究處ニ總務科及左ノ四研究室ヲ置ク

細菌研究室

病理研究室

化學研究室

製劑研究室

第二條 總務科ハ左ノ事項ヲ掌ル

一 御容及昭書體本ニ關スル事項

二 官印ノ管守ニ關スル事項

三 機密ニ關スル事項

四 人事ニ關スル事項

五 文書ニ關スル事項

六 會計ニ關スル事項

七 研究ノ發表事務ニ關スル事項

(附 則 八十七號)

(附 則 八十五號)

第六條 化驗科ノ職掌左ノ如シ

一 保健衛生ニ關スル化學的檢査ニ關スル事項

二 藥品ノ理化學的試驗並ニ鑑定ニ關スル事項

第七條 製劑科ノ職掌左ノ如シ

一 常備藥ノ製造ニ關スル事項

第六條 化驗科ノ職掌如左

一 關於與保健衛生有關係之理化學的檢査事項

二 關於藥品之理化學的試驗及鑑定事項

第七條 製劑科ノ職掌如左

一 關於常備藥之製造事項

●地質調査所官制

(康徳五年三月三十一日 勅令第四四號)

改正 康徳六年三月勅令第五二號  
朕經諮詢參議府裁可地質調査所官制著即公布

(國務總理大臣 署名)

地質調査所官制

第一條 地質調査所屬於大陸科學院長之管理掌關於地質之調査及研究事項

第二條 地質調査所置左列職員

所長

研究官 四人 薦任(其中一人得爲簡任)

事務官 一人 薦任

副研究官 十一人 薦任

屬官 三人 委任

研究士 十六人 委任

所長以研究官充之(康徳六年三月三十一日勅令第五二號)

第三條 所長承大陸科學院長之指揮監督綜理所務指揮

●地質調査所官制

(康徳五年三月三十一日 勅令第四四號)

改正 康徳六年三月勅令第五二號  
朕參議府ノ諮詢ヲ經テ地質調査所官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム(國務總理大臣 署名)

地質調査所官制

第一條 地質調査所ハ大陸科學院長ノ管理ニ屬シ地質ノ調査及研究ニ關スル事項ヲ掌ル

第二條 地質調査所ニ左ノ職員ヲ置ク

所長

研究官 四人 薦任(内一人ヲ簡任ト爲スコトヲ得)

事務官 一人 薦任

副研究官 十一人 薦任

屬官 三人 委任

研究士 十六人 委任

所長ハ研究官ヲ以テ之ニ充ツ(康徳六年三月三十一日勅令第五二號)

第三條 所長ハ大陸科學院長ノ指揮監督ヲ承ケ所務ヲ綜理シ所

(附覽八十七號)

(附覽八十七號)

監督所屬職員關於其進退及賞罰呈請大陸科學院長

第四條 研究官承所長之命掌調査及研究

事務官承所長之命掌事務

副研究官輔佐研究官掌調査及研究

屬官承上司之指揮辦理事務

研究士承上司之指揮從事調査及研究

第五條 地質調査所之分科規程由大陸科學院長定之

附則

本令自康徳五年四月一日施行

附則 (康徳六年三月二十六日勅令第五二號)

本令自公布日施行

職員ヲ指揮監督シ其ノ進退及賞罰ニ關シ大陸科學院長ニ上申ス

第四條 研究官ハ所長ノ命ヲ受ケ調査及研究ヲ掌ル

事務官ハ所長ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

副研究官ハ研究官ヲ佐ケ調査及研究ヲ掌ル

屬官ハ上司ノ指揮ヲ承ケ事務ニ從事ス

研究士ハ上司ノ指揮ヲ承ケ調査及研究ニ從事ス

第五條 地質調査所ノ分科規程ハ大陸科學院長之ヲ定ム

附則

本令ハ康徳五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (康徳六年三月二十六日勅令第五二號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●土地制度調査會官制

(康德三年三月二十六日 勅令第一六六號)

朕經諮詢參議府裁可土地制度調査會官制即公布

(國務總理大臣 署名)

土地制度調査會官制

第一條 土地制度調査會屬於國務總理大臣之監督備其諮問調査審議關於土地制度之重要事項

土地制度調査會關於前項事項得建議於國務總理大臣

第二條 土地制度調査會以會長一人及委員二十人以内組織之

第三條 會長以國務總理大臣充之

委員就關係各部局高等官及有學識經驗者中山會長派充或委囑之

第四條 會長綜理會務

會長有事故時由會長所指定之委員中一人代行其職務

●土地制度調査會官制

(康德三年三月二十六日 勅令第一六六號)

朕參議府ノ諮詢ヲ經テ土地制度調査會官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

(國務總理大臣 署名)

土地制度調査會官制

第一條 土地制度調査會ハ國務總理大臣ノ監督ニ屬シ其ノ諮問ニ應ジ土地制度ニ關スル重要事項ヲ調査審議ス

土地制度調査會ハ前項ノ事項ニ關シ國務總理大臣ニ建議スルコトヲ得

第二條 土地制度調査會ハ會長一人及委員二十人以内ヲ以テ之ヲ組織ス

第三條 會長ハ國務總理大臣ヲ以テ之ニ充ツ

委員ハ關係各部局高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ會長之ヲ命シ又ハ委囑ス

第四條 會長ハ會務ヲ綜理ス

會長事故アルトキハ會長ノ指名スル委員ノ一人其ノ職務ヲ代

行ス

(勅令八十五號)

(勅令八十七號)

●審計局分科規程

(康德四年七月一日 政府公報)

茲制定審計局分科規程如左

審計局分科規程

第一條 第一處置左列四班

第一班

第二班

第三班

第四班

第二條 第一班掌左開範圍之審計

一 總務廳所管(但屬於第一處第四班之所管者除外)

二 滿洲中央銀行

三 奉天、熱河、錦州、安東各省內地方團體(但屬於第二處第三班之所管者除外)

第三條 第二班掌左開範圍之審計

一 治安部所管

二 龍江、黑河、興安各省內地方團體(但屬於第二處第三班之所管者除外)

第四條 第三班掌左開範圍之審計

一 產業部所管

官制 第六章 國務院及其所管

●審計局分科規程

(康德四年七月一日 政府公報)

茲ニ審計局分科規程ヲ左ノ通定ム

審計局分科規程

第一條 第一處ニ左ノ四班ヲ置ク

第一班

第二班

第三班

第四班

第二條 第一班ハ左開範圍ノ審計ヲ掌ル

一 總務廳所管(但シ第一處第四班ノ所管ニ屬スルモノヲ除ク)

二 滿洲中央銀行

三 奉天、熱河、錦州、安東各省內地方團體(但シ第二處第三班ノ所管ニ屬スルモノヲ除ク)

第三條 第二班ハ左開範圍ノ審計ヲ掌ル

一 治安部所管

二 龍江、黑河、興安各省內地方團體(但シ第二處第三班ノ所管ニ屬スルモノヲ除ク)

第四條 第三班ハ左開範圍ノ審計ヲ掌ル

一 產業部所管

官制 第六章 國務院及其所管

二 吉林、開島、通化各省內地方團體（但屬於第二處第三

班之所管者除外）

第五條 第四班掌左開範圍之審計

一 交通部所管及總務廳所管之中營糧備品局

二 濱江、三江、牡丹江各省內地方團體（但屬於第二處第

三班之所管者除外）

第六條 第二處置左列三班

第一班

第二班

第三班

第七條 第一班掌左開範圍之審計

一 民生部所管及司法部所管

第八條 第二班掌左開範圍之審計

一 經濟部所管

第九條 第三班掌左開範圍之審計

一 補助團體、特約保證團體及特依法律所規定之團體

二 新京特別市及各市

附 則

本規程自康維六年三月四日施行

二 吉林、開島、通化各省內地方團體（但シ第二處第三班ノ所管ニ屬

スルモノヲ除ク）

第五條 第四班ハ左記範圍ノ審計ヲ掌ル

一 交通部所管及總務廳所管ノ中營糧備品局

二 濱江、三江、牡丹江各省內地方團體（但シ第二處第三班ノ所管ニ

屬スルモノヲ除ク）

第六條 第二處ニ左ノ三班ヲ置ク

第一班

第二班

第三班

第七條 第一班ハ左記範圍ノ審計ヲ掌ル

一 民生部所管及司法部所管

第八條 第二班ハ左記範圍ノ審計ヲ掌ル

一 經濟部所管

第九條 第三班ハ左記範圍ノ審計ヲ掌ル

一 補助團體、特約保證團體及法律ニ依リ特ニ規定セラレタル團體

二 新京特別市及各市

附 則

本規程ハ康維六年三月四日ヨリ之ヲ施行ス

〔附則八十七號〕

〔附則七十三號〕

第三條 企業委員會ハ會長及委員若干人ヲ以テ之ヲ組織ス

委員ハ之ヲ一般委員及特別委員ニ分ツ

第四條 會長ハ總務長官ヲ以テ之ニ充ツ

一般委員ハ關係各廳簡任官ノ中ヨリ國務總理大臣之ヲ命ズ

之

特別委員ハ關係各廳簡任官、特殊銀行會社理事者又ハ知識經

驗アル者ノ中ヨリ國務總理大臣之ヲ命ジ又ハ委囑ス

第五條 會長ハ會務ヲ綜理シ一般委員及關係アル特別委員ヲ招

集シ會議ヲ主宰ス

會長有事故アルトキハ國務總理大臣ノ指名スル委員共ノ職務ヲ

代理ス

第六條 一般委員ハ各政策別委員會ノ委員ト爲ル

特別委員ハ特ニ指定セラレタル政策別委員會ノ委員ト爲ル

第七條 企業委員會ニ幹事長及幹事若干人ヲ置ク

幹事ハ之ヲ一般幹事及特別幹事ニ分ツ

幹事長ハ總務廳企業處長ヲ以テ之ニ充ツ會長ノ指揮ヲ承ケ庶

務ヲ掌理ス

幹事ハ國務總理大臣之ヲ命ジ又ハ委囑ス上司ノ指揮ヲ承ケ庶

官制 第六章 國務院及其所管

幹事由國務總理大臣任命或委囑之承上司之指揮整理

幹事長以總務廳企業處長充之承會長之指揮掌理庶務

幹事分爲一般幹事及特別幹事

第七條 企業委員會置幹事長及幹事若干人

特別委員爲特所指定政策別之委員會之委員

第六條 一般委員爲各政策別之委員會之委員

會長有事故時由國務總理大臣指名之委員代理其職務

員主宰會議

第五條 會長綜理會務召集一般委員及有關係之特別委

員

或有知識經驗者由國務總理大臣任命或委囑之

特別委員就關係各官署簡任官、特殊銀行會社理事者

一般委員就關係各官署簡任官中由國務總理大臣任命

之

第四條 會長以總務長官充之

第三條 企業委員會以會長及委員若干人組織之

委員ハ之ヲ一般委員及特別委員ニ分ツ

第四條 會長ハ總務長官ヲ以テ之ニ充ツ

一般委員ハ關係各廳簡任官ノ中ヨリ國務總理大臣之ヲ命ズ

之

特別委員ハ關係各廳簡任官、特殊銀行會社理事者又ハ知識經

驗アル者ノ中ヨリ國務總理大臣之ヲ命ジ又ハ委囑ス

第五條 會長ハ會務ヲ綜理シ一般委員及關係アル特別委員ヲ招

集シ會議ヲ主宰ス

會長有事故アルトキハ國務總理大臣ノ指名スル委員共ノ職務ヲ

代理ス

第六條 一般委員ハ各政策別委員會ノ委員ト爲ル

特別委員ハ特ニ指定セラレタル政策別委員會ノ委員ト爲ル

第七條 企業委員會ニ幹事長及幹事若干人ヲ置ク

幹事ハ之ヲ一般幹事及特別幹事ニ分ツ

幹事長ハ總務廳企業處長ヲ以テ之ニ充ツ會長ノ指揮ヲ承ケ庶

務ヲ掌理ス

幹事ハ國務總理大臣之ヲ命ジ又ハ委囑ス上司ノ指揮ヲ承ケ庶

庶務

附 則

本令自公布日施行

科學審議委員會官制

(康德六年三月九日 勅令第四〇號)

朕經諮詢參議府裁可科學審議委員會官制即公布

(國務總理大臣 副國務總理大臣)

科學審議委員會官制

第一條 科學審議委員會屬於國務總理大臣之監督調查審議關於以資源之開發利用及厚生爲目的之科學的研究及其應用之重要事項

科學審議委員會對於前項之事項得應關係各大臣之諮問或向其建議

第二條 科學審議委員會以會長、委員長及委員若干人組織之除前項委員外爲使調查審議特別事項得置特別委員

第三條 會長以國務院長充之 委員長以大陸科學院長充之 委員及特別委員以關係官署高等官及有學識經驗者中由國務總理大臣任命或委充之

第四條 會長輔佐會長有事故時代理其職務 第五條 科學審議委員會爲使分掌所管事項置部及分科會其組織由會長經國務總理大臣之承認定之 第六條 科學審議委員會得以前部之決議爲其決議 第七條 科學審議委員會有必要時得於分科會置專門委員 專門委員以關係官署高等官及有學識經驗者中由國務總理大臣任命或委充之 第八條 關於科學審議委員會之事務由大陸科學院掌管之 附 則 本令自公布日施行

務ヲ整理ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

科學審議委員會官制

(康德六年三月九日 勅令第四〇號)

朕參議府ノ諮詢ヲ經テ科學審議委員會官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

(國務總理大臣 副國務總理大臣)

科學審議委員會官制

第一條 科學審議委員會ハ國務總理大臣ノ監督ニ屬シ資源ノ開發利用及厚生ヲ目的トスル科學ノ研究及其ノ應用ニ關スル重要事項ヲ調査審議ス

科學審議委員會ハ前項ノ事項ニ付關係各大臣ノ諮問ニ應ジ又ハ之ニ建議スルコトヲ得

第二條 科學審議委員會ハ會長、委員長及委員若干人ヲ以テ之ヲ組織ス前項委員ノ外特別ノ事項ヲ調査審議セシムル爲特別委員ヲ置クコトヲ得

第三條 會長ハ國務院長ヲ以テ之ニ充ツ 委員長ハ大陸科學院長ヲ以テ之ニ充ツ 委員及特別委員ハ關係官署高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ國務總理大臣之ヲ命ジ又ハ委充ス

第四條 會長ハ會務ヲ整理ス 委員長ハ會長ヲ佐ケ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス 第五條 科學審議委員會ニ所管事項ヲ分掌セシムル爲部及分科會ヲ置ク其ノ組織ハ國務總理大臣ノ承認ヲ經テ會長之ヲ定ム 第六條 科學審議委員會ハ部ノ決議ヲ以テ其ノ決議ト爲スコトヲ得 第七條 科學審議委員會ハ必要アルトキハ分科會ニ專門委員ヲ置クコトヲ得 專門委員ハ關係官署高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ國務總理大臣之ヲ命ジ又ハ委充ス 第八條 科學審議委員會ニ關スル事務ハ大陸科學院ニ於テ之ヲ掌ル 附 則 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四條 會長總理會務 委員長輔佐會長有事故時代理其職務 第五條 科學審議委員會爲使分掌所管事項置部及分科會其組織由會長經國務總理大臣之承認定之 第六條 科學審議委員會得以前部之決議爲其決議 第七條 科學審議委員會有必要時得於分科會置專門委員 專門委員以關係官署高等官及有學識經驗者中由國務總理大臣任命或委充之 第八條 關於科學審議委員會之事務由大陸科學院掌管之 附 則 本令自公布日施行

舊蒙古王公審議委員會規程

(康德六年三月八日 院令第八號)

茲將舊蒙古王公審議委員會規程制定如左

舊蒙古王公審議委員會規程

第一條 舊蒙古王公審議委員會屬於國務總理大臣之監督應其諮問審議關於舊蒙古王公之資格及衛生公債利息之處分事項

第二條 舊蒙古王公審議委員會以委員長一人及委員若干人組織之

官制 第六章 國務院及其所管

(續覽八十七號)

(續覽八十七號)

第四條 會長ハ會務ヲ整理ス 委員長ハ會長ヲ佐ケ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス 第五條 科學審議委員會ニ所管事項ヲ分掌セシムル爲部及分科會ヲ置ク其ノ組織ハ國務總理大臣ノ承認ヲ經テ會長之ヲ定ム 第六條 科學審議委員會ハ部ノ決議ヲ以テ其ノ決議ト爲スコトヲ得 第七條 科學審議委員會ハ必要アルトキハ分科會ニ專門委員ヲ置クコトヲ得 專門委員ハ關係官署高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ國務總理大臣之ヲ命ジ又ハ委充ス 第八條 科學審議委員會ニ關スル事務ハ大陸科學院ニ於テ之ヲ掌ル 附 則 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

舊蒙古王公審議委員會規程

(康德六年三月八日 院令第八號)

茲ニ舊蒙古王公審議委員會規程ヲ左ノ通制定ス

舊蒙古王公審議委員會規程

第一條 舊蒙古王公審議委員會ハ國務總理大臣ノ監督ニ屬シ其ノ諮問ニ應ジ舊蒙古王公ノ資格及衛生公債利息ノ處分ニ關スル事項ヲ審議ス

第二條 舊蒙古王公審議委員會ハ委員長一人及委員若干人ヲ以テ之ヲ組織ス



官制 官制第六章 國務院及其所屬

第三條 委員長以與安局總裁充之總理會務  
委員長有事故時由國務總理大臣所指定之委員一人代理其職務

第四條 委員由國務總理大臣就國務院高等官及舊蒙古王公中任命或委命之

第五條 舊蒙古王公審議委員會設幹事長一人及幹事若干人  
幹事長由國務總理大臣就與安局參事官中、幹事就與安局高等官中任命之

幹事長承委員長之命整理會務  
幹事承幹事長之指揮辦理庶務

附 則  
本令自公布日施行

一四二

第三條 委員長ハ與安局總裁ヲ以テ之ニ充テ會務ヲ總理ス  
委員長事故アルトキハ國務總理大臣ノ指定スル委員ノ一人其ノ職務ヲ代理ス

第四條 委員ハ國務院高等官及舊蒙古王公ノ中ヨリ國務總理大臣之ヲ任命又ハ委命ス

第五條 舊蒙古王公審議委員會ニ幹事長一人及幹事若干人ヲ置ク  
幹事長ハ與安局參事官ノ中ヨリ、幹事ハ與安局高等官ノ中ヨリ國務總理大臣之ヲ任命ス

幹事長ハ委員長ノ命ヲ承ケ會務ヲ整理ス  
幹事ハ幹事長ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

附 則  
本令ハ公布ノ日ヨリ施行ス

〔朝覽八十七號〕

第七章 國務院各部

第一款 國務院各部通則

●國務院各部官制

(康德四年六月五日) 勅令第一二〇號

修正 康德四年九月勅令第二七五號、二月廿四日、九月廿四日、七月廿七日、  
康德五年二月勅令第一四號、三月廿八號、五月廿八號、六月廿九日、  
七月廿九日、七月廿九日、第一八二號、二月廿三〇九號、第一  
三一九號、  
康德六年二月勅令第三三號、三月廿四日、五月廿六日、第六三號

朕經諮詢參議府裁可國務院各部官制著即公布  
(國務總理、各部大臣)

(國務總理、各部大臣)

國務院各部官制

第一章 通 則

第一條 各部大臣承國務總理大臣之統督掌理主管事務  
任其責

關於主管不明瞭之事務或涉於二部以上之事務應呈請  
國務總理大臣受其裁定

第二條 各部大臣關於其主管事務認爲有制定、廢止或  
修正法律或勅令之必要時應具案提出於國務總理大臣

第三條 各部大臣關於其主管事務得要求國務院會議

官制 第七章 國務院各部 第一款 國務院各部通則

〔朝覽八十七號〕

第七章 國務院各部

第一款 國務院各部通則

●國務院各部官制

(康德四年六月五日) 勅令第一二〇號

改正 康德四年九月勅令第二七五號、二月廿四日、九月廿四日、七月廿七日、  
康德五年二月勅令第一四號、三月廿八號、五月廿八號、六月廿九日、  
七月廿九日、七月廿九日、第一八二號、二月廿三〇九號、第一  
三一九號、  
康德六年二月勅令第三三號、三月廿四日、五月廿六日、第六三號

朕參議府ノ諮詢ヲ經テ國務院各部官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セ  
シム(國務總理、各部大臣)

(國務總理、各部大臣)

國務院各部官制

第一章 通 則

第一條 各部大臣ハ國務總理大臣ノ統督ヲ承ケ主管事務ヲ掌理  
シ其ノ責ニ任ズ

主管ノ不明瞭ナルザル事務又ハ二部以上ニ渉ル事務ニ付テハ國  
務總理大臣ニ上申シテ其ノ裁定ヲ受クベシ

第二條 各部大臣ハ其ノ主管事務ニ關シ法律又ハ勅令ノ制定、  
廢止又ハ改正ヲ要スルモノアリト認ムルトキハ案ヲ具シ國務  
總理大臣ニ提出スベシ

第三條 各部大臣ハ其ノ主管事務ニ關シ國務院會議ヲ要求スル  
コトヲ得

一

官制 第七章 國務院各部 第一款 國務院各部通則

第四條 各部大臣關於其主管事務得依其職權或特別委任發部令

第五條 各部大臣關於其主管事務指揮監督省長、特別市長及警察總監認為其命令或處分有違反成規妨害公益時得停止或取消之但關於重要事項須承國務總理大臣之指揮

第六條 各部大臣指揮監督所屬官吏關於其進退及賞罰呈請國務總理大臣其委任官以下專行之

第七條 各部置次長一人爲簡任次長輔佐大臣監督官房及各司局之事務大臣有事故時代理其職務

第八條 各部置大臣官房及分掌部務之司  
第九條 官房掌管左列事項但特使屬於司之所管者不在此限

- 一 屬於機密事項
- 二 關於重要部務之聯絡調整事項
- 三 關於考査行政事項
- 四 關於總動員計畫事項
- 五 關於官吏之進退、賞罰及身分事項
- 六 關於管守官印事項

〔附覽七十號〕

官制 第七章 國務院各部 第一款 國務院各部通則

第四條 各部大臣ハ其ノ主管事務ニ關シ職權又ハ特別ノ委任ニ依リ部令ヲ發スルコトヲ得

第五條 各部大臣ハ其ノ主管事務ニ關シ省長、特別市長及警察總監ヲ指揮監督シ其ノ命令又ハ處分ニシテ成規ニ違ヒ公益ヲ害スルモノアリト認ムルトキハ之ヲ停止シ又ハ取消スコトヲ得但シ重要ナル事項ニ付テハ國務總理大臣ノ指揮ヲ承クルコトヲ要ス

第六條 各部大臣ハ所部ノ官吏ヲ指揮監督シ其ノ進退及賞罰ニ關シ國務總理大臣ニ具狀シ委任官以下ハ之ヲ專行ス

第七條 各部ニ次長一人ヲ置ク簡任トス  
次長ハ大臣ヲ佐ケ官房及各司局ノ事務ヲ監督シ大臣事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

第八條 各部ニ大臣官房及部務ヲ分掌セシムル爲司ヲ置ク  
第九條 官房ニ於テハ左ノ事項ヲ管掌ス但シ特ニ司ノ所管ニ屬セシメタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 機密ニ屬スル事項
- 二 重要部務ノ聯絡調整ニ關スル事項
- 三 行政ノ考査ニ關スル事項
- 四 總動員計畫ニ關スル事項
- 五 官吏ノ進退、賞罰及身分ニ關スル事項
- 六 官印ノ管守ニ關スル事項

〔附覽七十號〕

技士 五人 委任(第五條一三九號本條中修正)

第二十九條 司長承大臣之命掌理國務

參事官參事官及掌承特命事項  
理事官及事務官承上司之命掌理事務  
秘書官承大臣之命掌機密事項

技佐承上司之命掌技術  
屬官承上司之指揮辦理事務  
技士承上司之指揮從事技術

第三十條 司法部置左列三司  
民事司  
刑事司  
行刑司

第三十一條 民事司掌管左列事項  
一 關於民事及非訟事件事項  
二 關於民事及非訟事件之裁判事務事項  
三 關於提存、調停及公證事項  
四 關於民籍、地籍及登記事項

第三十二條 刑事司掌管左列事項  
一 關於刑事事項

官制 第七章 國務院各部 第一款 國務院各部通則

技士 五人 委任(第五條一三九號本條中修正)

第二十九條 司長ハ大臣ノ命ヲ承ケ司務ヲ掌理ス

參事官ハ部務ニ參畫シ及特ニ命ゼラレタル事項ヲ掌ル  
理事官及事務官ハ上司ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル  
秘書官ハ大臣ノ命ヲ承ケ機密事項ヲ掌ル

技佐ハ上司ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル  
屬官ハ上司ノ指揮ヲ承ケ事務ニ從事ス  
技士ハ上司ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス

第三十條 司法部ニ左ノ三司ヲ置ク  
民事司  
刑事司  
行刑司

第三十一條 民事司ハ左ノ事項ヲ管掌ス  
一 民事及非訟事件ニ關スル事項  
二 民事及非訟事件ノ裁判事務ニ關スル事項  
三 提存、調停及公證ニ關スル事項  
四 民籍、地籍及登記ニ關スル事項

第三十二條 刑事司ハ左ノ事項ヲ管掌ス  
一 刑事ニ關スル事項

- 二 關於刑事之裁判事務及檢察事務事項
- 三 關於恩赦事項
- 四 關於引渡犯罪人事項

- 二 刑事ノ裁判事務及檢察事務ニ關スル事項
- 三 恩赦ニ關スル事項
- 四 犯罪人引渡ニ關スル事項

- 第三十三條 行刑司掌管左列事項
  - 一 關於刑之執行事項
  - 二 關於監獄事項
  - 三 關於監獄作業事項
  - 四 關於矯正少年事項

- 第三十三條 行刑司ハ左ノ事項ヲ掌管ス
  - 一 刑ノ執行ニ關スル事項
  - 二 監獄ニ關スル事項
  - 三 監獄作業ニ關スル事項
  - 四 少年矯正ニ關スル事項

第五章 産業部

第五章 産業部

第三十四條 産業部大臣掌理關於農、林、畜産（除關於馬、騾、驢及駱駝事項）水産、鑛、工、開拓、植民及其他資源之利用、開發及保有事項（第五、第三、九號本條改正）

第三十四條 産業部大臣ハ農、林、畜産（馬、騾、驢及駱駝ニ關スル事項ヲ除ク）水産、鑛、工、開拓、植民其ノ他資源ノ利用、開發及保有ニ關スル事項ヲ掌理ス（第五、第三、九號本條改正）

第三十五條 産業部置左列職員

第三十五條 産業部ニ左ノ職員ヲ置ク

- 司 長 三人 簡任
  - 參事官 四人 薦任
  - 理事官 十四人 薦任
- （其中一人得爲簡任）

- 司 長 三人 簡任
  - 參事官 四人 薦任
  - 理事官 十四人 薦任
- （内一人ヲ簡任ト爲スコトヲ得）

〔附則八十七號〕

（其中二人得爲簡任）

（内一人ヲ簡任ト爲スコトヲ得）

〔附則八十七號〕

- 技 正 七人 薦任
- 秘書官 一人 薦任
- 事務官 四十二人 薦任
- 技 佐 三十八人 薦任
- 屬 官 百十七人 委任
- 技 士 九十五人 委任

- 技 正 七人 薦任
- 秘書官 一人 薦任
- 事務官 四十二人 薦任
- 技 佐 三十八人 薦任
- 屬 官 百十七人 委任
- 技 士 九十五人 委任

第三十六條 司長承大臣之命掌理司務

第三十六條 司長ハ大臣ノ命ヲ承ケ司務ヲ掌理ス

參事官參事部務及掌承特命事項  
理事官及事務官承上司之命掌事務  
技正及技佐承上司之命掌技術  
秘書官承大臣之命掌機密事項  
屬官承上司之指揮辦理事務  
技士承上司之指揮從事技術

參事官ハ部務ニ參畫シ及特ニ命セラレタル事項ヲ掌ル  
理事官及事務官ハ上司ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル  
技正及技佐ハ上司ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル  
秘書官ハ大臣ノ命ヲ承ケ機密事項ヲ掌ル  
屬官ハ上司ノ指揮ヲ承ケ事務ニ從事ス  
技士ハ上司ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス

- 第三十七條 産業部置左列三司
  - 農務司
  - 鑛工司
  - 畜産司

- 第三十七條 産業部ニ左ノ三司ヲ置ク
  - 農務司
  - 鑛工司
  - 畜産司



官制 第七章 國務院各部

第一款 國務院各部通則

第三十八條 農務司掌管左列事項

- 一 關於農事事項
- 二 關於農地事項
- 三 關於水產事項

第三十九條 鑛工司掌管左列事項

- 一 關於鑛業及地質事項
- 二 關於工業事項

第四十條 畜產司掌管左列事項

- 一 關於電氣事業及瓦斯事業事項
- 二 關於畜產事項

第四十一條 關於牧野事項

- 一 關於牧野事項 (附五條三一九號本條修正)
- 二 關於牧野事項 (附五條三一九號)

第六章 經濟部

第四十二條 經濟部大臣掌理關於貨幣、金融、國債、投資、商事、貿易、權度、租稅、專賣及國有財產事項

第四十三條 經濟部置左列職員

- 司長 三人 簡任
- 參事官 四人 薦任 (其中一人得為簡任)
- 理事官 十二人 薦任
- 技正 二人 簡任或薦任 (但簡任不得逾一人)
- 秘書官 一人 薦任

第三十八條 農務司ハ左ノ事項ヲ管掌ス

- 一 農事ニ關スル事項
- 二 農地ニ關スル事項
- 三 水産ニ關スル事項

第三十九條 鑛工司ハ左ノ事項ヲ管掌ス

- 一 鑛業及地質ニ關スル事項
- 二 工業ニ關スル事項

第四十條 畜產司ハ左ノ事項ヲ管掌ス

- 一 畜産ニ關スル事項
- 二 牧野ニ關スル事項 (附五條三一九號本條修正)

第六章 經濟部

第四十二條 經濟部大臣ハ貨幣、金融、國債、投資、商事、貿易、權度、租稅、專賣及國有財產ニ關スル事項ヲ掌理ス

第四十三條 經濟部ニ左ノ職員ヲ置ク

- 司長 三人 簡任
- 參事官 四人 薦任 (内一人ヲ簡任ト爲スコトヲ得)
- 理事官 十二人 薦任
- 技正 二人 簡任若ハ薦任 (但シ簡任ハ一人ヲ得ズ)
- 秘書官 一人 薦任

(附五八十七號)

事務官 三十七人 薦任

技佐 四人 薦任

屬官 百七十九人 委任

技士 十二人 委任 (附六・第六三號本條修正)

第四十四條 司長ハ大臣ノ命ヲ受ケ事務ヲ掌理ス

參事官ハ事務ニ參預シ及特ニ命セラレタル事項ヲ掌理ス

理事官及事務官ハ上司ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌理ス

技正及技佐ハ上司ノ命ヲ受ケ技術ヲ掌理ス

秘書官ハ大臣ノ命ヲ受ケ機密事項ヲ掌理ス

屬官ハ上司ノ指揮ヲ承ケ事務ニ從事ス

技士ハ上司ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス

第四十五條 經濟部置左列三司

金融司

商務司

稅務司

第四十六條 金融司掌管左列事項

- 一 關於貨幣事項
- 二 關於金融事項
- 三 關於外國匯兌事項

官制 第七章 國務院各部

第一款 國務院各部通則

官制 第七章 國務院各部 第一款 國務院各部通則

- 四 關於監督金融機關事項
- 五 關於國債之事務及地方債之監督事項
- 六 關於投資事項
- 七 關於管理國有財產事項

第四十七條 商務司掌管左列事項

- 一 關於商業及交易事項
- 二 關於貿易事項
- 三 關於保險事項
- 四 關於倉庫事項

第四十八條 稅務司掌管左列事項

- 一 關於內國稅之賦課徵收事項
- 二 關於稅務行政事項
- 三 關於關稅及噸稅之賦課徵收事項
- 四 關於關稅及噸稅行政事項
- 五 關於調整公租公課事項
- 六 關於租稅外諸收入事項

第七章 交通部

第四十九條 交通部大臣掌理關於鐵道、道路、河川、港灣、公有水面、水運、航空、郵務、電信、電話其他交通及通信事項並關於觀象事項（第五節三一九條本條修正）

官制 第七章 國務院各部 第一款 國務院各部通則

- 四 金融機關ノ監督ニ關スル事項
- 五 國債ノ事務及地方債ノ監督ニ關スル事項
- 六 投資ニ關スル事項
- 七 國有財產ノ管理ニ關スル事項

第四十七條 商務司ハ左ノ事項ヲ管掌ス

- 一 商業及取引ニ關スル事項
- 二 貿易ニ關スル事項
- 三 保險ニ關スル事項
- 四 倉庫ニ關スル事項

第四十八條 稅務司ハ左ノ事項ヲ管掌ス

- 一 內國稅ノ賦課徵收ニ關スル事項
- 二 稅務行政ニ關スル事項
- 三 關稅及噸稅ノ賦課徵收ニ關スル事項
- 四 關稅及噸稅行政ニ關スル事項
- 五 公租公課ノ調整ニ關スル事項
- 六 租稅外諸收入ニ關スル事項

第七章 交通部

第四十九條 交通部大臣ハ鐵道、道路、河川、港灣、公有水面、水運、航空、郵務、電信、電話其他交通及通信ニ關スル事項並ニ觀象ニ關スル事項ヲ掌理ス（第五節三一九條本條修正）

查處及治水工程處  
治水調査處及治水工程處置處長以技正充之  
（第五節二八條本條追加）

附則

- 本令自康德四年七月一日施行
- 附則（康德四年九月一七日勅令第二七五號）  
本令自公布日施行
- 附則（康德四年二月一日勅令第四一九號）  
本令自康德五年一月一日施行
- 附則（康德四年二月二七日勅令第四七七號）  
本令自康德五年一月一日施行
- 附則（康德五年二月一〇日勅令第二八號）  
本令自公布日施行
- 附則（康德五年三月一〇日勅令第二八號）  
本令自公布日施行
- 附則（康德五年五月五日勅令第八〇號）  
本令自公布日施行
- 附則（康德五年六月三〇日勅令第一三九號）  
本令自公布日施行
- 附則（康德五年七月二八日勅令第一七八號）  
本令自公布日施行
- 附則（康德五年七月二八日勅令第一八一號）  
本令自公布日施行
- 附則（康德五年二月二三日勅令第三〇九號）  
本令自康德六年一月一日施行
- 附則（康德五年二月二四日勅令第三一九號）  
本令自康德六年一月一日施行

官制 第七章 國務院各部 第一款 國務院各部通則

（附則八十二號）

水工程處ヲ設クルコトヲ得  
治水調査處及治水工程處ニ處長ヲ置キ技正ヲ以テ之ニ充ツ  
（第五節二八條本條追加）

附則

- 本令ハ康德四年七月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 附則（康德四年九月一七日勅令第二七五號）  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 附則（康德四年二月一日勅令第四一九號）  
本令ハ康德四年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 附則（康德四年二月二七日勅令第四七七號）  
本令ハ康德五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 附則（康德五年二月一〇日勅令第二八號）  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 附則（康德五年三月一〇日勅令第二八號）  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 附則（康德五年五月五日勅令第八〇號）  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 附則（康德五年六月三〇日勅令第一三九號）  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 附則（康德五年七月二八日勅令第一七八號）  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 附則（康德五年七月二八日勅令第一八一號）  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 附則（康德五年二月二三日勅令第三〇九號）  
本令ハ康德六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 附則（康德五年二月二四日勅令第三一九號）  
本令ハ康德六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス



官制 第七章 國務院各部 第一款 國務院各部通則

一六之三

- 本令自康德五年一月一日起施行
- 附 則 (康德五年二月三日勅令第三三號)
- 本令自公布日施行
- 附 則 (康德五年三月九日勅令第四五號)
- 本令自公布日施行
- 附 則 (康德五年三月三〇日勅令第六三號)
- 本令自公布日施行

●文官試補設置制

(康德五年九月二十二日勅令第二三三號)

朕經諮詢參議府裁可文官試補設置制著即公布

(國務總理、治安部、民生部、司法部、陸軍部、海軍部、內務部、大藏部、農商部、文部省、勸業部、交通部長官、交通部長官)

文官試補設置制

各官署共置文官試補為額外員

試補得依主管部大臣之所定執行與命其勤務之官署委任官同一之職務 (康德五年二月一五日勅令第二八七號)

附 則

本令自康德五年十月一日起施行  
附 則 (康德五年二月一五日勅令第二八七號)

- 本令ハ康德六年一月一日ヨリ施行ス
- 附 則 (康德六年二月二三日勅令第三三號)
- 本令ハ公布ノ日ヨリ施行ス
- 附 則 (康德六年三月九日勅令第四五號)
- 本令ハ公布ノ日ヨリ施行ス
- 附 則 (康德六年三月三〇日勅令第六三號)
- 本令ハ公布ノ日ヨリ施行ス

●文官試補設置制

(康德五年九月二十二日勅令第二三三號)

朕參議府ノ諮詢ヲ經テ文官試補設置制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セ

シム (國務總理、治安部、民生部、司法部、陸軍部、海軍部、內務部、大藏部、農商部、文部省、勸業部、交通部長官、交通部長官)

文官試補設置制

各官署ニ通ジテ文官ノ試補ヲ置ク定員外トス

試補ハ主管部大臣ノ定ムル所ニ依リ其ノ勤務ヲ命ゼラレタル官署ノ委任官ト同一ノ職務ヲ行フコトヲ得 (康德五年二月一五日勅令第二八七號)

附 則

本令ハ康德五年十月一日ヨリ之ヲ施行ス  
附 則 (康德五年二月一五日勅令第二八七號)

(附則八十七號)

- 五 關於思想、勞働其他社會運動事項
- 六 關於外事警察事項
- 七 關於檢閱警察事項
- 八 關於其他特務警察事項
- 第五條 保安科掌左列事項
  - 一 關於安寧事項
  - 二 關於營業警察事項
  - 三 關於風紀警察事項
  - 四 關於交通警察事項
  - 五 關於水消防防事項
  - 六 關於其他保安警察事項
- 第六條 刑事科掌左列事項
  - 一 關於犯罪預防事項
  - 二 關於犯罪搜查及檢舉事項
  - 三 關於犯罪即決事項
  - 四 關於指紋事項
  - 五 關於其他一般鑑識事項
  - 六 關於其他刑事警察事項
- 第七條 教養警察科掌左列事項
  - 一 關於警察學校事項
  - 二 關於現地教養事項
  - 三 關於警察官吏留學觀察事項
  - 四 關於警察教科書及教養資料事項

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(治安部)

一九

- 五 思想、勞働其ノ他社會運動ニ關スル事項
- 六 外事警察ニ關スル事項
- 七 檢閱警察ニ關スル事項
- 八 其ノ他特務警察ニ關スル事項
- 第五條 保安科ハ左ノ事項ヲ掌ル
  - 一 安寧ニ關スル事項
  - 二 營業警察ニ關スル事項
  - 三 風紀警察ニ關スル事項
  - 四 交通警察ニ關スル事項
  - 五 水消防防ニ關スル事項
  - 六 其ノ他保安警察ニ關スル事項
- 第六條 刑事科ハ左ノ事項ヲ掌ル
  - 一 犯罪預防ニ關スル事項
  - 二 犯罪搜查及檢舉ニ關スル事項
  - 三 犯罪即決ニ關スル事項
  - 四 指紋ニ關スル事項
  - 五 其ノ他一般鑑識ニ關スル事項
  - 六 其ノ他刑事警察ニ關スル事項
- 第七條 教養警察科ハ左ノ事項ヲ掌ル
  - 一 警察學校ニ關スル事項
  - 二 現地教養ニ關スル事項
  - 三 警察官吏ノ留學觀察ニ關スル事項
  - 四 警察教科書及教養資料ニ關スル事項

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(治安部)

二〇

- 五 關於警察之警察事項
- 六 關於警察巡邏事項
- 七 特別被命事項
- 第八條 削除
- 第九條 兵事恩賞掌左列事項
- 一 關於兵事事項
- 二 關於恩賞事項

本規程自康維五年四月一日施行  
 附 則 (康維五年)〇月一日治安部頒令第八一號  
 本規程自康維五年十月一日施行

- 五 警察ノ警察ニ關スル事項
- 六 警察巡邏ニ關スル事項
- 七 特ニ命セラレタル事項
- 第八條 削除
- 第九條 兵事恩賞掌ハ左ノ事項ヲ掌ル
- 一 兵事ニ關スル事項
- 二 恩賞ニ關スル事項

本規程ハ康維五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス  
 附 則 (康維五年)〇月一日治安部頒令第八一號  
 本規程ハ康維五年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

●治安部警務司分股規程

(康維四年九月十四日 政 府 公 報)

- 改正 康維四年二月一日  
 康維五年四月一日、八月一日、十月一日、十一月二十九日  
 康維六年三月三十一日
- 第一條 警務司各科ニ股ヲ置キ事務ヲ分掌セシム
  - 第二條 警務科ニ左ノ四股ヲ置ク
  - 總 務 股
  - 人 事 股

[附登八十七號]

[附登七十九號]

- 四 警察施設ニ關スル事項
- 五 警察全般ノ指導方針ニ關スル事項
- 六 文書(法令)ノ審議ニ關スル事項
- 七 會議議案ニ關スル事項
- 八 其ノ他重要企畫ニ關スル事項
- 第八條 警備科ニ左ノ三股ヲ置ク
- 警 備 股
- 清 鄉 股
- 銃 器 股
- 第九條 警備股ノ主掌左ノ如シ
- 一 警備ニ關スル事項
- 二 防衛ニ關スル事項
- 三 資源調査ニ關スル事項
- 四 警備動員ニ關スル事項
- 五 森林警備ニ關スル事項
- 六 警備力統制運用ニ關スル事項
- 七 警備通信ノ計畫運用ニ關スル事項
- 八 鳩通信ニ關スル事項
- 九 其ノ他警備ニ關スル事項
- 十 科内ノ庶務ニ關スル事項
- 第十條 清鄉股ノ主掌左ノ如シ
- 一 治安矯正ニ關スル事項
- 二 情報連絡委員會ニ關スル事項

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(治安部)

二〇三三

- 三 集團部落ニ關スル事項
- 四 警備道路ニ關スル事項
- 五 勸業著作取締ニ關スル事項
- 六 保甲制度ニ關スル事項
- 七 市町村自治ニ關スル事項
- 八 戸口調査ニ關スル事項
- 第十一條 銃器股ノ主宰左ノ如シ
  - 一 官有銃器彈藥統制整備ニ關スル事項
  - 二 官有銃器彈藥管理出納ニ關スル事項
  - 三 移民團用銃器彈藥管理統制出納ニ關スル事項
  - 四 民間銃器彈藥回收ニ關スル事項
  - 五 其ノ他警察裝備ニ關スル事項
- 第十二條 削除
- 第十三條 削除
- 第十四條 特務科ニ左ノ三股ヲ置ク
  - 特務股
  - 思想股
  - 檢閱股
- 第十五條 削除
- 第十六條 特務股ノ主宰左ノ如シ
  - 一 御眞影御容及御紋章ニ關スル事項
  - 二 一般政治警察ニ關スル事項
  - 三 結社集會及多業運動ニ關スル事項

〔附覽八十七號〕

- 四 宗教警察ニ關スル事項
- 五 民族、移民及經濟關係情報蒐集ニ關スル事項
- 六 一般社會問題ニ關スル事項
- 七 外國労働者入國取締ニ關スル事項
- 八 労働問題ニ關スル事項
- 九 労働者ノ保護取締ニ關スル事項
- 十 國外駐在ニ關スル事項
- 十一 特務警察ノ諸調査研究ニ關スル事項
- 十二 科内ノ庶務ニ關スル事項
- 十三 他股ニ屬セザル事項
- 第十七條 思想股ノ主宰左ノ如シ
  - 一 思想運動ニ關スル事項
  - 二 思想對策ニ關スル事項
  - 三 労働運動ニ關スル事項
  - 四 軍國保護法ノ施行ニ關スル事項
  - 五 外國人ノ保護取締ニ關スル事項
- 第十八條 檢閱股ノ主宰左ノ如シ
  - 一 出版物、活字機、レコード及映畫檢閲ニ關スル事項
  - 二 著作權保護ニ關スル事項
  - 三 著作權保護ニ關スル事項
  - 四 其ノ他檢閱警察ニ關スル事項
- 第十九條 保安科ニ左ノ二股ヲ置ク
  - 保安股

〔附覽八十七號〕

交通 股

第二十二條 刑除

- 第二十一條 保安股ノ主掌左ノ如シ
  - 一 銃砲火藥類ニ關スル事項
  - 二 原動力、昇降機、電氣、瓦斯其ノ他危險物ニ關スル事項
  - 三 引火質物ニ關スル事項
  - 四 建築工場ニ關スル事項
  - 五 水火消防及災害ニ關スル事項
  - 六 講習、無礙有價證券圖章販賣等ノ取締ニ關スル事項
  - 七 暴利取締ニ關スル事項
  - 八 寄附募集取締ニ關スル事項
  - 九 遺失物漂流物ニ關スル事項
  - 十 競馬賭博富籤其ノ他射倖行爲ノ取締ニ關スル事項
  - 十一 興行及興行場ニ關スル事項
  - 十二 藝妓酌船取締ニ關スル事項
  - 十三 形像繪畫彫刻ニ關スル事項
  - 十四 廣告ニ關スル事項
  - 十五 保安關係諸營業ニ關スル事項
  - 十六 其ノ他保安警察ニ關スル事項
- 第二十二條 刑除
- 第二十三條 交通股ノ主掌左ノ如シ
- 一 陸上、水上、空中交通ニ關スル事項
  - 二 交通關係諸營業ニ關スル事項

〔朝憲七十八號〕

〔朝憲六十六號〕

衛生材料、獸醫材料及蹄鐵之購買、製造、修理、貯藏及補給擔任陸軍司藥軍士兵之養成並執行關於陸軍衛生材料、獸醫材料及蹄鐵之試驗

第二條 陸軍衛生工廠置左列職員

- 廠長
- 廠員
- 軍士
- 屬官
- 技士
- 譯官

除前項職員外得應必要置准尉官、司藥兵及獸醫務兵

第三條 廠長隸於治安部大臣綜理廠務指揮監督所屬職員

第四條 廠員承廠長之命掌廠務

第五條 准尉官、軍士、兵、屬官及技士承上官之指揮從事事務或技術

第六條 譯官承上官之指揮從事繕譯及傳譯

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(治安部)

料、獸醫材料及蹄鐵ノ購買、製造、修理、貯藏及補給ヲ掌リ陸軍司藥軍士兵ノ養成ニ任ジ且陸軍衛生材料、獸醫材料及蹄鐵ニ關スル試驗ヲ行フ

第二條 陸軍衛生工廠ニ左ノ職員ヲ置ク

- 廠長
- 廠員
- 軍士
- 屬官
- 技士
- 譯官

前項職員ノ外必要ニ應ジ准尉官、司藥兵及獸醫務兵ヲ置クトヲ得

第三條 廠長ハ治安部大臣ニ隸シ廠務ヲ綜理シ所屬職員ヲ指揮監督ス

第四條 廠員ハ廠長ノ命ヲ承ケ廠務ヲ掌ル

第五條 准尉官、軍士、兵、屬官及技士ハ上官ノ指揮ヲ承ケ事務又ハ技術ニ從事ス

第六條 譯官ハ上官ノ指揮ヲ承ケ繕譯及通稱ニ從事ス

附 則

本令自公布日施行、  
陸軍衛生材料廠令廢止之

●陸軍軍官學校令

(康徳六年三月十日)  
勅令第五〇號

朕經諮詢參議府裁可陸軍軍官學校令著即公布

(國務總理、治安部大臣)  
署名

陸軍軍官學校令

第一條 陸軍軍官學校屬於治安部大臣之管理教育將爲各兵科(除憲兵科)軍官及軍需部軍官之生徒及使學生修得其所必要之諸學術以之普及於各隊並行此等諸學術之調査及研究以圖各兵教育之進步且行兵器及其他軍用資料之研究  
陸軍軍官學校除前項所定者外得應必要教育軍官、准尉官、軍士及兵  
第二條 陸軍軍官學校之生徒分爲豫科生徒及本科生徒

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
陸軍衛生材料廠令ハ之ヲ廢止ス

●陸軍軍官學校令

(康徳六年三月十日)  
勅令第五〇號

朕參議府ノ諮詢ヲ經テ陸軍軍官學校令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム(國務總理、治安部大臣)

陸軍軍官學校令

第一條 陸軍軍官學校ハ治安部大臣ノ管理ニ屬シ各兵科(憲兵科ヲ除ク)軍官及軍需部軍官ト爲スベキ生徒ヲ教育シ併セテ學生ニ必要ナル諸學術ヲ修得セシメ之ヲ各隊ニ普及シ是等諸學術ノ調査及研究ヲ行ヒ以テ各兵教育ノ進步ヲ圖リ且兵器其ノ他軍用資料ノ研究ヲ行フ所トス  
陸軍軍官學校ニ於テハ前項ニ定ムルモノノ外必要ニ應ジ軍官、准尉官、軍士及兵ヲ教育スルコトヲ得  
第二條 陸軍軍官學校ノ生徒ヲ分チテ豫科生徒及本科生徒トス

[編覽八十七號]

豫科生徒以志願爲軍官而及格於採用考試者充之

本科生徒以各兵科(除江上兵科)軍官候補生修得其本務所必要之隊附勤務者充之

第三條 陸軍軍官學校之學生以各兵科(除江上兵科)校尉官及各兵科(除憲兵科及江上兵科)少尉候補者充之

第四條 生徒、學生及第一條第二項所規定軍官、准尉官、軍士及兵之教育分爲調育並學科及術科教育其教育綱領及入退學、修業年限、規律及其他必要事項由治安部大臣定之

前項所規定教育之實施依照教則其教則由校長經治安部大臣之認可基於教育綱領定之

第五條 陸軍軍官學校置研究部、教育部及教導隊其業務之分擔由治安部大臣定之

第六條 陸軍軍官學校置左列職員

校長  
幹事

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(治安部)

豫科生徒ハ軍官タルコトヲ志願シ採用考試ニ及格シタル者ヲ以テ之ニ充ツ

本科生徒ハ各兵科(江上兵科ヲ除ク)軍官候補生ニシテ其ノ本務ニ必要ナル隊附勤務ヲ修得シタル者ヲ以テ之ニ充ツ

第三條 陸軍軍官學校ノ學生ハ各兵科(江上兵科ヲ除ク)校尉官及各兵科(憲兵科及江上兵科ヲ除ク)少尉候補者ヲ以テ之ニ充ツ

第四條 生徒、學生及第一條第二項ニ規定スル軍官、准尉官、軍士及兵ノ教育ヲ分チテ調育並ニ學科及術科ノ教育トシ其ノ教育綱領及入退學、修業年限、規律其ノ他必要ナル事項ハ治安部大臣之ヲ定ム

前項ニ規定スル教育ノ實施ハ教則ニ依ル其ノ教則ハ教育綱領ニ基キ治安部大臣ノ認可ヲ受ケ校長之ヲ定ム

第五條 陸軍軍官學校ニ研究部、教育部及教導隊ヲ置ク其ノ業務ノ分擔ハ治安部大臣之ヲ定ム

第六條 陸軍軍官學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長  
幹事





第十二條 研究部附承研究部長之命各掌其擔任之業務

第十二條 研究部附ハ研究部長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十三條 教育部長承校長之命掌理學生及生徒之教育

第十三條 教育部長ハ校長ノ命ヲ承ケ學生及生徒ノ教育ヲ掌理ス

第十四條 教育部附承教育部長之命各掌其擔任之業務

第十四條 教育部附ハ教育部長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

第十五條 教官、教授及助教授承教育部長之命分擔學術科教育及其關聯之訓育

第十五條 教官、教授及助教授ハ教育部長ノ命ヲ承ケ學術科教育及之ニ關聯スル訓育ヲ分擔ス

第十六條 學生隊長及生徒隊長承教育部長之命統理各該隊掌其訓育及術科教育

第十六條 學生隊長及生徒隊長ハ教育部長ノ命ヲ承ケ當該隊ヲ統ベ其ノ訓育及術科教育ヲ掌ル

第十七條 學生隊副官及生徒隊副官承各該隊長之命掌

第十七條 學生隊副官及生徒隊副官ハ當該隊長ノ命ヲ承ケ庶務

第十八條 生徒隊連長承生徒隊長之命擔任訓育及術科

第十八條 生徒隊連長ハ生徒隊長ノ命ヲ承ケ訓育及術科教育ヲ擔任ス

教育

第十九條 學生隊附及生徒隊附承各該隊長之命各掌其

第十九條 學生隊附及生徒隊附ハ當該隊長ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

擔任之業務

第二十條 教導隊長ハ校長ニ隸シ教導隊ヲ統ベ其ノ教育ヲ掌理ス

〔訓令八十七號〕

〔訓令八十七號〕

第二十二條 關於教導隊職員之服務準用軍隊內務之定

第二十二條 教導隊職員ノ服務ニ就テハ軍隊內務ノ定則ヲ準用ス

則

第二十二條 事務官及翻譯官承上官之命各掌其擔任之

第二十二條 事務官及翻譯官ハ上官ノ命ヲ承ケ各其ノ擔任ノ業務ヲ掌ル

業務

第二十三條 准尉官、軍士、屬官及譯官承上官之指揮

第二十三條 准尉官、軍士、屬官及譯官ハ上官ノ指揮ヲ承ケ業務ニ從事ス

從事業務

附 則

附 則

本令自公布日施行

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●陸軍軍醫學校令

(康維四年三月四日) 勅令第二一四號

改正 康維四年六月勅令第一四三號

康維五年三月勅令第二四號

朕經諮詢參議府裁可陸軍軍醫學校令著即公布

(國務總理、軍政部長大臣)

陸軍軍醫學校令

第一條 陸軍軍醫學校屬於治安部大臣之管理對生徒及學生施以軍醫勤務所必要之教育並掌理關於軍事醫學、軍事衛生之調查、研究、試驗及圖書之編纂  
陸軍軍醫學校為資前項之教育、調查及研究得行一般患者之診療

關於前項診療之規定經治安部大臣之認可由陸軍軍醫學校長定之

第二條 生徒以陸軍軍醫候補生採用考試及格入學者充

[觀覽八十七號]

●陸軍軍醫學校令

(康維四年三月四日) 勅令第二一四號

改正 康維四年六月勅令第一四三號

康維五年三月勅令第二四號

朕參議府ノ諮詢ヲ經テ陸軍軍醫學校令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム(國務總理、軍政部長大臣)

陸軍軍醫學校令

第一條 陸軍軍醫學校ハ治安部大臣ノ管理ニ屬シ生徒及學生ニ軍醫トシテノ勤務ニ必要ナル教育ヲ施シ軍事醫學學並ニ軍事衛生ニ關スル調査、研究、試驗及圖書ノ編纂ヲ爲ス所トス  
陸軍軍醫學校ハ前項ノ教育、調査及研究ニ資スル爲一般患者ノ診療ヲ行フコトヲ得

前項ノ診療ニ關スル規定ハ治安部大臣ノ認可ヲ承ケ陸軍軍醫學校長之ヲ定ム

第二條 生徒ハ陸軍軍醫候補生採用試驗ニ合格シ入學シタル者

[觀覽八十七號]

[觀覽八十七號]

第二八號 第二九號 五月三十一日 六月三十一日 七月三十一日 八月三十一日 九月三十一日 十月三十一日 十一月三十一日 十二月三十一日

康維六年一月第一號、二月第四號、三月第五號、第六號

茲按鐵道警備總隊官制第二條、第三條將鐵道警備本隊、鐵道警備隊之名稱、編成管轄區域及鐵道警備總隊總監部、鐵道警備本隊本部之位置制定如左

關於鐵道警備總隊各機關名稱管轄區域編成位置之件

第一條 鐵道警備本隊、鐵道警備隊之名稱、編成管轄區域及鐵道警備總隊總監部、鐵道警備本隊本部之位置如別表

第二條 鐵道警備總隊總監部於其管內設置警備隊分所

附 則

本令自康維五年一月一日起施行

附 則 (康維五年三月二日治安部令第一號)

本令自康維五年三月二日施行

附 則 (康維五年三月三日治安部令第一號)

本令自公布日施行

附 則 (康維五年三月三日治安部令第二號)

本令自公布日施行

附 則 (康維五年四月八日治安部令第二號)

本令自公布日施行

附 則 (康維五年四月二日治安部令第三號)

本令自公布日施行

附 則 (康維五年五月二日治安部令第三號)

本令自公布日施行

二九號、五月三十一日、六月三十一日、七月三十一日、八月三十一日、九月三十一日、十月三十一日、十一月三十一日、十二月三十一日

康維六年一月第一號、二月第四號、三月第五號、第六號

茲按鐵道警備總隊官制第二條、第三條、依ル鐵道警備本隊、鐵道警備隊ノ名稱、編成管轄區域及鐵道警備總隊總監部、鐵道警備本隊本部ノ位置ヲ左ノ通定ム

鐵道警備總隊各機關ノ名稱管轄區域編成位置ニ關スル件

第一條 鐵道警備本隊、鐵道警備隊ノ名稱、編成管轄區域及鐵道警備總隊總監部、鐵道警備本隊本部ノ位置ハ別表ノ通トス

第二條 鐵道警備總隊總監部ハ其管內ニ警備隊分所ヲ置クコトヲ得

附 則

本令ハ康維五年一月一ヨリ之ヲ施行ス

附 則 (康維五年三月二日治安部令第一號)

本令ハ康維五年三月二日之ヲ施行ス

附 則 (康維五年三月三日治安部令第一號)

本令ハ公布日之ヲ施行ス

附 則 (康維五年三月三日治安部令第二號)

本令ハ康維五年四月八日之ヲ施行ス

附 則 (康維五年四月二日治安部令第三號)

本令ハ公布日之ヲ施行ス

附 則 (康維五年五月二日治安部令第三號)

本令ハ公布日之ヲ施行ス







官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(治安部)

		吉林									
		吉林									
		吉林									
興道	圖們	朝陽川		敦化	新站			吉林			
興道	圖們	朝陽川		敦化	新站			吉林			
圖佳線	圖佳線	京開線	京圖線	京圖線	拉濱線	小新道線	京圖線	龍圖線	京圖線	奉吉線	
(天廟)八五〇〇〇〇	(圖)〇〇〇〇〇〇	(京)五〇〇〇〇〇	(京)四〇〇〇〇〇	(京)三〇〇〇〇〇	(拉)二六五、四八六、九六六	(小)九〇九、八三五	(京)八六〇〇〇〇	(龍)二二、六二〇	(京)八六〇〇〇〇	(奉)四四七、三三三、六	
(石)八七〇〇〇〇	(天)八五〇〇〇〇	(京)五〇〇〇〇〇	(京)四〇〇〇〇〇	(京)三〇〇〇〇〇							
	包含自動車路線東滿線圖們東興 鐵道及大興滿鐵子溝山線春慶與 橋間		包含自動車路線敦海線海拉爾綏 化線及官地綏化綏化綏化綏化 綏化綏化綏化綏化綏化綏化綏化				包含自動車路線伊通綏化綏化 綏化綏化綏化綏化綏化綏化綏化			包含自動車路線京吉線九臺綏化 九臺白旗屯間、下九臺四營嘴子 間及其塔木上河灣間伊通綏化 綏化綏化綏化綏化綏化綏化綏化	

〔附錄八十七號〕

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(治安部)

		吉林									
		吉林									
		吉林									
興道	圖們	朝陽川		敦化	新站			吉林			
興道	圖們	朝陽川		敦化	新站			吉林			
圖佳線	圖佳線	京開線	京圖線	京圖線	拉濱線	小新道線	京圖線	龍圖線	京圖線	奉吉線	
(天廟)八五〇〇〇〇	(圖)〇〇〇〇〇〇	(京)五〇〇〇〇〇	(京)四〇〇〇〇〇	(京)三〇〇〇〇〇	(拉)二六五、四八六、九六六	(小)九〇九、八三五	(京)八六〇〇〇〇	(龍)二二、六二〇	(京)八六〇〇〇〇	(奉)四四七、三三三、六	
(石)八七〇〇〇〇	(天)八五〇〇〇〇	(京)五〇〇〇〇〇	(京)四〇〇〇〇〇	(京)三〇〇〇〇〇							
	包含自動車路線東滿線圖們東興 鐵道及大興滿鐵子溝山線春慶與 橋間		包含自動車路線敦海線海拉爾綏 化線及官地綏化綏化綏化綏化 綏化綏化綏化綏化綏化綏化綏化				包含自動車路線伊通綏化綏化 綏化綏化綏化綏化綏化綏化綏化			包含自動車路線京吉線九臺綏化 九臺白旗屯間、下九臺四營嘴子 間及其塔木上河灣間伊通綏化 綏化綏化綏化綏化綏化綏化綏化	

〔附錄八十七號〕

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(治安部)

哈爾濱									
哈爾濱									
黑河	北安	海倫	綏化	五常	五	松	三	濱	濱
黑河	北安	海倫	綏化	五常		松	三	濱	濱
黑河埠頭線	北黑線	齊北線	北黑線	濱北線	濱北線	拉濱線	三頭線	濱江線	濱北線
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(治安部)

		牡丹江							
		牡丹江							
	綏芬河	河濱子道	虎林	密山	佳木斯	勃利	林口	牡丹江	牡丹江
	綏芬河	河濱子道	虎林	密山	佳木斯	勃利	林口	牡丹江	牡丹江
拉濱線	梨樹線	濱綏線	濱綏線	虎林線	密山線	圖佳線	圖佳線	圖佳線	圖佳線
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



學年	學年	齊北線	中	五六〇〇〇	北	二二四〇〇	包含自動車路線約黑線布西約河開及拜察安海山明水阿克山明察安外海倫依安開
學年	學年	寧	寧	九二〇〇〇	老	九二〇〇〇	克山北與開拜察安開
學年	學年	寧	寧	〇〇〇〇	老	〇〇〇〇	克山北與開拜察安開
學年	學年	寧	寧	九二〇〇〇	老	九二〇〇〇	克山北與開拜察安開
學年	學年	齊	齊	一八、五八九	老	一八、五八九	克山北與開拜察安開
學年	學年	齊	齊	九二〇〇〇	老	九二〇〇〇	克山北與開拜察安開
學年	學年	齊	齊	九二〇〇〇	老	九二〇〇〇	克山北與開拜察安開
學年	學年	齊	齊	九二〇〇〇	老	九二〇〇〇	克山北與開拜察安開
學年	學年	齊	齊	九二〇〇〇	老	九二〇〇〇	克山北與開拜察安開

〔續前八十五號〕

●教科書編審委員會官制

(大正元年七月七日 教令第五七七號)

修正 陸軍部三年三月勅令第一一號(本法案廢止後)第三條第一項(參照) 四年六月第一三四號  
 茲經諮詢參議府制定教科書編審委員會官制即公布施行此令(國務總理)  
 教科書編審委員會官制  
**第一條** 教科書編審委員會屬於民生部之管理掌教科用圖書之編輯及審查  
**第二條** 教科書編審委員會以委員長一人副委員長一人委員十五人組織之  
**第三條** 委員長副委員長及委員由民生部大臣呈請國務總理大臣任命之  
**第四條** 委員長綜理會務  
 副委員長輔佐委員長長有事故時代代理其職務  
**第五條** 編審官於教科書編審委員會有為委員之地位及官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(民生部)

●教科書編審委員會官制

(大正元年七月七日 教令第五七七號)

修正 陸軍部三年三月勅令第一一號(本法案廢止後)第三條第一項(參照) 四年六月第一三四號  
 茲經諮詢參議府制定教科書編審委員會官制即公布施行此令(國務總理)  
 教科書編審委員會官制  
**第一條** 教科書編審委員會屬於民生部之管理ニ屬シ教科用圖書ノ編輯及審查ヲ掌ル  
**第二條** 教科書編審委員會ハ委員長一人副委員長一人委員十五人ヲ以テ之ヲ組織ス  
**第三條** 委員長副委員長及委員ハ民生部大臣ノ上申ニ依リ國務總理大臣之ヲ任命ス  
**第四條** 委員長ハ會務ヲ綜理ス  
 副委員長ハ委員長ヲ輔佐シ委員長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス  
**第五條** 編審官ハ教科書編審委員會ニ於テ委員タル地位及職權ヲ

デジタル化推進センター  
 Digital Library Center



職權

- 第六條 委員長有必要時得委囑臨時委員
- 第七條 教科書編審委員會置幹事三人  
幹事由民生部大臣於民生部職員中任命之承委員長之命掌事務
- 第八條 委員長按事務之繁簡得任用屬官五人以內屬官承長官之指揮從事庶務
- 第九條 關於教科書編審委員會會議事規則由民生部大臣定之
- 第十條 本官制自公布之日施行

●師道高等學校官制

(康總五年五月二十六日勅令第一一五號)

改正 康總六年三月勅令第四二號

朕經諮詢參議府裁可師道高等學校官制著即公布

(國務總理、民生部大臣)

第一條 師道高等學校屬於民生部大臣之管理

第二條 師道高等學校置左列職員

- 校長 簡任
- 教授 二十五人 薦任(其中二人得爲簡任)
- 學監 一人 薦任
- 事務官 一人 薦任
- 助教 二十三人 薦任或委任(但委任不得過十人)
- 屬官 四人 委任
- 司書 一人 委任
- 助手 十一人 委任(第六、第四、二、四、本條中修正)

- 第三條 校長承民生部大臣之監督綜理校務統轄所屬職員關於其進退賞罰呈請民生部大臣核辦
- 第四條 教授及助教授承校長之命掌學生之教育
- 第五條 學監承校長之命掌學生之訓育及舍務
- 第六條 事務官承校長之命掌庶務會計
- 第七條 屬官承上司之指揮辦理事務
- 第八條 司書承上司之指揮辦理關於圖書記錄之整理保存及閱覽事務
- 第九條 助手承上司之指揮從事授業及實驗實習之補助

官制 第七章 國務院各部

第二款 國務院各部及其所管(民生部)

ヲ有スルモノトス

- 第六條 委員長ハ必要アルトキハ臨時委員ヲ委囑スルコトヲ得
- 第七條 教科書編審委員會ニ幹事三名ヲ置ク  
幹事ハ民生部職員中ヨリ民生部大臣之ヲ任命シ委員長ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル
- 第八條 委員長ハ事務ノ繁簡ニ應ジ屬官五人以內ヲ任用スルコトヲ得屬官ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス
- 第九條 教科書編審委員會ノ議事ニ關ヘル規則ハ民生部大臣之ヲ定ム
- 第十條 本官制ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●師道高等學校官制

(康總五年五月二十六日勅令第一一五號)

改正 康總六年三月勅令第四二號

朕參議府ノ諮詢ヲ經テ師道高等學校官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布

セシム(國務總理、民生部大臣)

第一條 師道高等學校ハ民生部大臣ノ管理ニ屬ス

第二條 師道高等學校ニ左ノ職員ヲ置ク

- 校長 簡任
- 教授 二十五人 薦任(内二人ヲ簡任ト爲スコトヲ得)
- 學監 一人 薦任
- 事務官 一人 薦任
- 助教 二十三人 薦任又ハ委任(但シ委任ハ十人ヲ超ユルコトヲ得ズ)
- 屬官 四人 委任
- 司書 一人 委任
- 助手 十一人 委任(第六、第四、二、四、本條中修正)

- 第三條 校長ハ民生部大臣ノ監督ヲ承ケ校務ヲ綜理シ所屬職員ヲ統轄シ其ノ進退賞罰ニ關シテハ民生部大臣ニ上申ス
- 第四條 教授及助教授ハ校長ノ命ヲ受ケ學生ノ教育ヲ掌ル
- 第五條 學監ハ校長ノ命ヲ承ケ學生ノ訓育及舍務ヲ掌ル
- 第六條 事務官ハ校長ノ命ヲ承ケ庶務會計ヲ掌ル
- 第七條 屬官ハ上司ノ指揮ヲ承ケ事務ニ從事ス
- 第八條 司書ハ上司ノ指揮ヲ承ケ圖書記錄ノ整理保存及閱覽ニ關スル事務ニ從事ス
- 第九條 助手ハ上司ノ指揮ヲ承ケ授業及實驗實習ノ補助ニ從事ス

[附覽八十七號]

[附覽八十七號]





第十條 校長有必要時得聘川講師

第十一條 師道高等學校之設置地址由民生部大臣定之

附 則

本令自公布日施行

高等師範學校官制廢止之

師道高等學校迄至本令施行之際現於高等師範學校在學之學生畢業併掌關於依舊制之高等師範學校之教育事項

本令施行之際現任左表上欄所載之官者如不另受任命狀或指敕令時即爲被任命各該相當下欄所載之官者仍與以各該同官等俸給

高等師範學校校長	師道高等學校校長
高等師範學校教授	師道高等學校教授
高等師範學校學監	師道高等學校學監
高等師範學校事務官	師道高等學校事務官
高等師範學校助教	師道高等學校助教

第十條 校長ハ必要アル場合ニ於テハ講師ヲ囑託スルコトヲ得

第十一條 師道高等學校ノ設置場所ハ民生部大臣之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

高等師範學校官制ハ之ヲ廢止ス

師道高等學校ハ本令施行ノ際現ニ高等師範學校ニ在學スル學生ノ卒業スル迄舊制ニ依ル高等師範學校ノ教育ニ關スル事項ヲ併セ掌ル

本令施行ノ際現ニ左表上欄ニ掲グル官ニ在ル者別ニ附令ヲ發セザルトキハ各其ノ相當下欄ニ掲グル官ニ同官等俸給ヲ以テ任ゼラレタルモノトス

高等師範學校校長	師道高等學校校長
高等師範學校教授	師道高等學校教授
高等師範學校學監	師道高等學校學監
高等師範學校事務官	師道高等學校事務官
高等師範學校助教	師道高等學校助教

〔附則七十號〕

〔附則八十七號〕

高等師範學校屬官	師道高等學校屬官
高等師範學校司書	師道高等學校司書
高等師範學校助手	師道高等學校助手

附 則 (民國六年三月九日勅令第四二號)  
本令自公布日施行

高等師範學校屬官	師道高等學校屬官
高等師範學校司書	師道高等學校司書
高等師範學校助手	師道高等學校助手

附 則 (民國六年三月九日勅令第四二號)  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●師道高等學校之設置地址

(康德五年六月二十四日)  
(民生部令第七一號)

茲依師道高等學校官制第十一條規定師道高等學校之設置地址如左

師道高等學校之設置地址	設置地址
區 別	吉林
師道高等學校男子部	吉林
師道高等學校女子部	新京

附 則  
本令自康德五年五月二十六日施行之

●師道高等學校ノ設置ノ場所

(康德五年六月二十四日)  
(民生部令第七一號)

茲ニ師道高等學校官制第十一條ニ依リ師道高等學校ノ設置ノ場所ヲ左ノ通定ム

師道高等學校ノ設置ノ場所	設置ノ場所
區 別	吉林
師道高等學校男子部	吉林
師道高等學校女子部	新京

附 則  
本令ハ康德五年五月二十六日ヨリ之ヲ施行ス

(研察七十三號)

●奉天農業大學官制

(康德五年五月二十六日)  
(勅令第一一二二號)

修正 康德六年三月勅令第四三號

朕經諮詢參議府裁可奉天農業大學官制著即公布

(國務總理、民生部大臣 署)

奉天農業大學官制

第一條 奉天農業大學屬於民生部大臣之管理

第二條 奉天農業大學置左列職員

學 長	簡任
教 授	十七人 薦任(其中一人得爲簡任)
學 監	一人 薦任
事務官	一人 薦任
助教授	十四人 薦任或委任(但薦任不得逾七人)
屬 官	五人 委任
司 書	一人 委任
助 手	九人 委任(第六第四三號本條中修正)

第三條 學長承民生部大臣之監督綜理學務統督所屬職員

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(民生部)

(研察八十七號)

●奉天農業大學官制

(康德五年五月二十六日)  
(勅令第一一二二號)

修正 康德六年三月勅令第四三號

朕參議府ノ諮詢ヲ經テ奉天農業大學官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布

セシム(國務總理、民生部大臣 署)

奉天農業大學官制

第一條 奉天農業大學ハ民生部大臣ノ管理ニ屬ス

第二條 奉天農業大學ニ左ノ職員ヲ置ク

學 長	簡任
教 授	十七人 薦任(内一人ヲ簡任ト爲スコトヲ得)
學 監	一人 薦任
事務官	一人 薦任
助教授	十四人 薦任又ハ委任(但シ薦任ハ七人ヲ超ユルコトヲ得ズ)
屬 官	五人 委任
司 書	一人 委任
助 手	九人 委任(第六第四三號本條中修正)

第三條 學長ハ民生部大臣ノ監督ヲ承ケ學務ヲ綜理シ所屬職員

九三

自關於其進退賞罰呈請民生部大臣核辦

第四條 教授及助教授承學長之命掌學生之教育

第五條 學監承學長之命掌學生之訓育及舍務

第六條 事務官承學長之命掌庶務會計

第七條 屬官承上司之指揮辦理事務

第八條 司書承上司之指揮辦理關於圖書記錄之整理保存及閱覽事務

第九條 助手承上司之指揮從事授業及實驗實習之補助

第十條 學長有必要時得聘用講師

附 則

本令自公布日施行

高等農業學校官制廢止之

本令施行之際現任左表上欄所載之官者如不另受任命狀或指敕令時即爲被任命各該相當下欄所載之官者仍與以各該同官等俸給

高等農業學校校長	奉天農業大學長
高等農業學校教授	奉天農業大學教授

〔附則八十七號〕

ヲ統督シ其ノ進退賞罰ニ關シテハ民生部大臣ニ上申ス

第四條 教授及助教授ハ學長ノ命ヲ承ケ學生ノ教育ヲ掌ル

第五條 學監ハ學長ノ命ヲ承ケ學生ノ訓育及舍務ヲ掌ル

第六條 事務官ハ學長ノ命ヲ承ケ庶務會計ヲ掌ル

第七條 屬官ハ上司ノ指揮ヲ承ケ事務ニ從事ス

第八條 司書ハ上司ノ指揮ヲ承ケ圖書記錄ノ整理保存及閱覽ニ關スル事務ニ從事ス

第九條 助手ハ上司ノ指揮ヲ承ケ授業及實驗實習ノ補助ニ從事ス

第十條 學長ハ必要アル場合ニ於テハ講師ヲ囑託スルコトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

高等農業學校官制ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際現任左表上欄ニ掲グル官ニ在ル者別ニ附令ヲ發セラレザルトキハ各其ノ相當下欄ニ掲グル官ニ同官等俸給ヲ以テ任ゼラレタルモノトス

高等農業學校校長	奉天農業大學長
高等農業學校教授	奉天農業大學教授

附 則 (廣義六年三月九日勅令第四三號)  
本令自公布日施行

高等農業學校學監	奉天農業大學學監
高等農業學校事務官	奉天農業大學事務官
高等農業學校助教授	奉天農業大學助教授
高等農業學校屬官	奉天農業大學屬官
高等農業學校助手	奉天農業大學助手

●哈爾濱工業大學官制

(廣義五年五月二十六日勅令第一一三號)

修正 廣義六年三月勅令第六〇號

朕經諮詢參議府裁可哈爾濱工業大學官制著即公布

(國務總理、民生部大臣)

哈爾濱工業大學官制

第一條 哈爾濱工業大學屬於民生部大臣之管理

第二條 哈爾濱工業大學置左列職員

學長 簡任

教授 二十六人 薦任(其中二人得爲簡任)

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(民生部)

〔附則八十七號〕

附 則 (廣義六年三月九日勅令第四三號)  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

高等農業學校學監	奉天農業大學學監
高等農業學校事務官	奉天農業大學事務官
高等農業學校助教授	奉天農業大學助教授
高等農業學校屬官	奉天農業大學屬官
高等農業學校助手	奉天農業大學助手

●哈爾濱工業大學官制

(廣義五年五月二十六日勅令第一一三號)

修正 廣義六年三月勅令第六〇號

朕參議府ノ諮詢ヲ經テ哈爾濱工業大學官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム(國務總理、民生部大臣)

哈爾濱工業大學官制

第一條 哈爾濱工業大學ハ民生部大臣ノ管理ニ屬ス

第二條 哈爾濱工業大學ニ左ノ職員ヲ置ク

學長 簡任

教授 二十六人 薦任(内二人ヲ簡任ト爲スコトヲ得)

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(民生部)

學監 一人 薦任  
 事務官 一人 薦任  
 助教授 二十一人 薦任或委任(但國任不得逾十人)  
 屬官 六人 委任  
 司書 一人 委任  
 助手 二十六人 委任 (附六〇〇〇以下本條中修正)

第三條 學長承民生部大臣之監督綜理學務統轄所屬職員關於其進退賞罰呈請民生部大臣核辦

第四條 教授及助教授承學長之命掌學生之教育

第五條 學監承學長之命掌學生之訓育及舍務

第六條 事務官承學長之命掌庶務會計

第七條 屬官承上司之指揮辦理事務

第八條 司書承上司之指揮辦理關於圖書記錄之整理保存及閱覽事務

第九條 助手承上司之指揮從事授業及實驗實習之補助

第十條 學長有必要時得聘用講師

附則

〔附則八十七號〕

學監 一人 薦任  
 事務官 一人 薦任  
 助教授 二十一人 薦任又ハ委任(但シ國任ハ十人ヲ超スルコトヲ得ズ)  
 屬官 六人 委任  
 司書 一人 委任  
 助手 二十六人 委任 (附六〇〇〇以下本條中修正)

第三條 學長ハ民生部大臣ノ監督シ承ケ學務ヲ綜理シ所屬職員ヲ統轄シ其ノ進退賞罰ニ關シテハ民生部大臣ニ上申ス

第四條 教授及助教授ハ學長ノ命ヲ承ケ學生ノ教育ヲ掌ル

第五條 學監ハ學長ノ命ヲ承ケ學生ノ訓育及舍務ヲ掌ル

第六條 事務官ハ學長ノ命ヲ承ケ庶務會計ヲ掌ル

第七條 屬官ハ上司ノ指揮ヲ承ケ事務ニ從事ス

第八條 司書ハ上司ノ指揮ヲ承ケ圖書記錄ノ整理保存及閱覽ニ關スル事務ニ從事ス

第九條 助手ハ上司ノ指揮ヲ承ケ授業及實驗實習ノ補助ニ從事ス

第十條 學長ハ必要アル場合ニ於テハ講師ヲ囑託スルコトヲ得

附則

〔附則八十七號〕

本令自公布日施行

高等工業學校官制廢止之

本令施行之際現任左表上欄所載之官者如不另受任命狀或指敕令時即爲被任命各該相當下欄所載之官者仍與以各該同官等俸給

高等工業學校校長	哈爾濱工業大學長
高等工業學校教授	哈爾濱工業大學教授
高等工業學校學監	哈爾濱工業大學學監
高等工業學校事務官	哈爾濱工業大學事務官
高等工業學校助教授	哈爾濱工業大學助教授
高等工業學校屬官	哈爾濱工業大學屬官
高等工業學校助手	哈爾濱工業大學助手

附則 (附則六年三月三〇日勅令第六三號)  
 本令自公布日施行

●新東京醫科大學官制

(康總五年五月二十六日勅令第一一四號)

修正 附則六年三月三〇日勅令第四四號

官制 第七章 國務院各部

第二款 國務院各部及其所管(民生部)

修正 附則六年三月三〇日勅令第四四號

●新東京醫科大學官制

(康總五年五月二十六日勅令第一一四號)

九七

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

高等工業學校官制ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際現任左表上欄ニ掲グル官ニ在ル者別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ各其ノ相當下欄ニ掲グル官ニ同官等俸給ヲ以テ任セラレタルモノトス

高等工業學校校長	哈爾濱工業大學長
高等工業學校教授	哈爾濱工業大學教授
高等工業學校學監	哈爾濱工業大學學監
高等工業學校事務官	哈爾濱工業大學事務官
高等工業學校助教授	哈爾濱工業大學助教授
高等工業學校屬官	哈爾濱工業大學屬官
高等工業學校助手	哈爾濱工業大學助手

附則 (附則六年三月三〇日勅令第六三號)  
 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕經諮詢參議府裁可新東京醫科大學官制著即公布  
(國務總理、民生部大臣)

新東京醫科大學官制

第一條 新東京醫科大學屬於民生部大臣之管理  
第二條 新東京醫科大學置左列職員

- 學長 簡任
  - 教授 八人 薦任
  - 學監 一人 薦任
  - 事務官 一人 薦任
  - 助教授 八人 薦任或委任(但委任不得逾四人)
  - 屬官 四人 委任
  - 助手 三人 委任(廣六條四條四條中條也)
- 第三條 學長承民生部大臣之監督綜理學務統督所屬職員關於其進退賞罰呈請民生部大臣核辦
- 第四條 教授及助教授承學長之命掌學生之教育
- 第五條 學監承學長之命掌學生之訓育及舍務
- 第六條 事務官承學長之命掌庶務會計
- 第七條 屬官承上司之指揮辦理事務

朕參議府諮詢經新東京醫科大學官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布  
セシム(國務總理、民生部大臣)

新東京醫科大學官制

- 第一條 新東京醫科大學ハ民生部大臣ノ管理ニ屬ス
  - 第二條 新東京醫科大學ニ左ノ職員ヲ置ク
  - 學長 簡任
  - 教授 八人 薦任
  - 學監 一人 薦任
  - 事務官 一人 薦任
  - 助教授 八人 薦任又ハ委任(但シ委任ハ四人ヲ超セザルコトヲ得ズ)
  - 屬官 四人 委任
  - 助手 三人 委任(廣六條四條四條中條也)
- 第三條 學長ハ民生部大臣ノ監督ヲ承ケ學務ヲ綜理シ所屬職員ヲ統督シ其ノ進退賞罰ニ關シテハ民生部大臣ニ上申ス
- 第四條 教授及助教授ハ學長ノ命ヲ承ケ學生ノ教育ヲ掌ル
- 第五條 學監ハ學長ノ命ヲ承ケ學生ノ訓育及舍務ヲ掌ル
- 第六條 事務官ハ學長ノ命ヲ承ケ庶務會計ヲ掌ル
- 第七條 屬官ハ上司ノ指揮ヲ承ケ事務ニ從事ス

第七條之二 助手承上司之指揮從事授業及實驗實習之補助(廣六條四條四條中條也)

第八條 學長有必要時得聘用講師

附則

本令自公布日施行  
新東京醫科大學官制廢止之  
本令施行之際現任左表上欄所載之官者如不另受任命狀或指敕令時即爲被任命各該相當下欄所載之官者仍與以前各該同官等俸給

新東京醫學校校長	新東京醫科大學長
新東京醫學校教授	新東京醫科大學教授
新東京醫學校事務官	新東京醫科大學事務官
新東京醫學校助教授	新東京醫科大學助教授
新東京醫學校屬官	新東京醫科大學屬官

附則 (廣六條四條四條中條也)  
本令自公布日施行

〔附則八十七號〕

第七條ノ二 助手ハ上司ノ指揮ヲ承ケ授業及實驗實習ノ補助ニ從事ス(廣六條四條四條中條也)

第八條 學長ハ必要アル場合ニ於テハ講師ヲ囑託スルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
新東京醫學校官制ハ之ヲ廢止ス  
本令施行之際現任左表上欄ニ掲グル官ニ在ル者別ニ附令ヲ發セラレザルトキハ各其ノ相當下欄ニ掲グル官ニ同官等俸給ヲ以テ任セラレタルモノトス

新東京醫學校校長	新東京醫科大學長
新東京醫學校教授	新東京醫科大學教授
新東京醫學校事務官	新東京醫科大學事務官
新東京醫學校助教授	新東京醫科大學助教授
新東京醫學校屬官	新東京醫科大學屬官

附則 (廣六條四條四條中條也)  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス





●新京法政大學官制

(康慶五年十二月二十四日 勅令第三二六號)

朕經諮詢參議府擬可新京法政大學官制謹此公布

(國務總理、民生部大臣)

新京法政大學官制

第一條 新京法政大學屬於民生部大臣之管理

第二條 新京法政大學置左列職員

學 長 一人 簡任(其中二人得爲簡任)

學 監 一人 簡任

學 務 官 一人 簡任

助 教 授 十人 簡任或委任

助 教 授 (但簡任不得逾七人)

副 官 四人 委任

司 書 一人 委任

助 手 五人 委任

第三條 學長、民生部大臣之監督總理學務統籌所屬職員關於其進退賞罰由民生部大臣核辦

第四條 教授及助教承學長之命掌學生之教育

第五條 學監承學長之命掌學生之訓育及舍務

第六條 學務官承學長之命掌庶務會計

第七條 副官承上司之指揮辦理庶務

●新京法政大學官制

(康慶五年十二月二十四日 勅令第三二六號)

朕經諮詢參議府擬可新京法政大學官制謹此公布

(國務總理、民生部大臣)

新京法政大學官制

第一條 新京法政大學ハ民生部大臣ノ管理ニ屬ス

第二條 新京法政大學ニ左ノ職員ヲ置ク

學 長 九人 簡任(内二人ヲ簡任ト爲スコトヲ得)

學 監 一人 簡任

學 務 官 一人 簡任

助 教 授 十人 簡任又ハ委任

助 教 授 (但シ簡任ハ七八ヲ超ユルコトヲ得ズ)

副 官 四人 委任

司 書 一人 委任

助 手 五人 委任

第三條 學長ハ民生部大臣ノ監督ヲ承ケ學務ヲ總理シ所屬職員ヲ統籌シ其ノ進退賞罰ニ關シテハ民生部大臣ニ上申ス

第四條 教授及助教ハ學長ノ命ヲ承ケ學生ノ教育ヲ掌ル

第五條 學監ハ學長ノ命ヲ承ケ學生ノ訓育及舍務ヲ掌ル

第六條 學務官ハ學長ノ命ヲ承ケ庶務會計ヲ掌ル

第七條 副官ハ上司ノ指揮ヲ承ケ事務ニ從事ス

滿洲工礦技術員養成所助手

國立大學工礦技術院助手

(朝憲八十五號)

●各國立大學工礦技術院定員

(康慶五年十二月二十四日 民生部令第一〇二號)

茲依國立大學工礦技術院官制第二條規定將各國立大學工礦技術院定員規定如左

附 則

本令自康慶六年一月一日起施行

各國立大學工礦技術院定員

學校別	官制	院 長	教 授	學 監	學 務 官	助 教 授	副 官	助 手
國立大學	官制	一人	三七人	一人	一人	一六人	四人	一〇人
新立大學	官制	一人	一四人	一人	一人	七人	二人	三人
奉天工礦技術院	官制	二人	五一人	二人	二人	二三人	六人	一三人
計								

●各國立大學工礦技術院定員

(康慶五年十二月二十四日 民生部令第一〇二號)

茲依國立大學工礦技術院官制第二條ノ規定ニ依リ各國立大學工礦技術院ノ定員左ノ通定ム

附 則

本令ハ康慶六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●國立大學工礦技術院之名稱及設置場所

(康慶五年十二月二十四日 民生部令第一〇一號)

茲依國立大學工礦技術院官制第十條之規定將國立大學工礦技術院之名稱及設置場所制定如左

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(民生部)

九八之五

●國立大學工礦技術院ノ名稱及設置場所

(康慶五年十二月二十四日 民生部令第一〇一號)

茲依國立大學工礦技術院官制第十條ノ規定ニ依リ國立大學工礦技術院ノ名稱及設置場所ヲ左ノ通制定ス

官制 第七章 國務院各部

第二款 國務院各部及其所管(民生部)

九八之六

國立大學工礦技術院之名稱及設置場所  
名 稱 設置場所  
國立大學新東京工礦技術院 新京特別市  
國立大學奉天工礦技術院 奉天市

附 則  
本令自康德六年一月一日施行

●國立大學哈爾濱學院官制

(康德六年三月三十日)  
勅令第五九號

除經諮詢參議府裁可國立大學哈爾濱學院官制著即公布

(國務總理、民生部大臣)

國立大學哈爾濱學院官制  
第一條 國立大學哈爾濱學院屬於民生部大臣之管理

[附費八十七號]

●國立大學哈爾濱學院官制

(康德六年三月三十日)  
勅令第五九號

除參議府諮詢經參議府裁可國立大學哈爾濱學院官制著即公布

セシム(國務總理、民生部大臣)

國立大學哈爾濱學院官制  
第一條 國立大學哈爾濱學院ハ民生部大臣ノ管理ニ屬ス

第二條 國立大學哈爾濱學院左列職員

院長 簡任  
教授 十五人 簡任(其中二人得爲簡任)

事務官 一人 簡任

助教授 二人 委任

屬官 四人 委任

助手 二人 委任

第三條 院長ハ民生部大臣ノ監督ヲ承ケ院務ヲ綜理シ所屬職員ヲ統督シ其進退賞罰呈請民生部大臣核辦

第四條 教授及助教授ハ院長ノ命ヲ承ケ學生ノ教育ヲ掌ル

事務官ハ院長ノ命ヲ承ケ庶務會計ヲ掌ル

屬官ハ上司ノ指揮ヲ受ケ事務ニ從事ス

助手ハ上司ノ指揮ヲ受ケ院務ノ補助ニ從事ス

第五條 教授ノ中ヨリ學監ヲ選補シ特ニ學生ノ訓育及舍務ニ當ラシム

第六條 院長ハ必要アル場合ニ於テハ講師ヲ囑託スルコトヲ得

附 則  
本令自康德六年四月一日施行

[附費八十七號]

第二條 國立大學哈爾濱學院ニ左ノ職員ヲ置ク

院長 簡任  
教授 十五人 簡任(内二人ヲ簡任ト爲スコトヲ得)

事務官 一人 簡任

助教授 二人 委任

屬官 四人 委任

助手 二人 委任

第三條 院長ハ民生部大臣ノ監督ヲ承ケ院務ヲ綜理シ所屬職員ヲ統督シ其進退賞罰ニ關シテハ民生部大臣ニ上申ス

第四條 教授及助教授ハ院長ノ命ヲ承ケ學生ノ教育ヲ掌ル

事務官ハ院長ノ命ヲ承ケ庶務會計ヲ掌ル

屬官ハ上司ノ指揮ヲ受ケ事務ニ從事ス

助手ハ上司ノ指揮ヲ受ケ院務ノ補助ニ從事ス

第五條 教授ノ中ヨリ學監ヲ選補シ特ニ學生ノ訓育及舍務ニ當ラシム

第六條 院長ハ必要アル場合ニ於テハ講師ヲ囑託スルコトヲ得

附 則  
本令ハ康德六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●中央師道訓練所官制

(康德五年三月十七日)  
勅令第三六號

修正 康德六年三月勅令第六號

官制 第七章 國務院各部

第二款 國務院各部及其所管(民生部)

九八之六之一

●中央師道訓練所官制

(康德五年三月十七日)  
勅令第三六號

修正 康德六年三月勅令第六號

朕經諮詢參議府裁可中央師道訓練所官制著即公布

(國務總理、民生部大臣 署)

中央師道訓練所官制

第一條 中央師道訓練所屬於民生部大臣之管理養成訓練將爲初等教育教師及中等教育教師之幹部者並視學

第二條 中央師道訓練所置左列職員

所長 一人 委任

助 教 官 八人 聘任

助 教 四 人 委任

屬 官 二人 委任

司 書 一人 委任

第三條 所長承民生部大臣之監督綜理所務統督所屬職員關於其進退及賞罰呈請民生部大臣(第六條第一項本條中修正)

第四條 所長有事故時由教官中一人承命代理其職務(第六條第一項本條修正)

第五條 教官承所長之命掌教育

第六條 所長得就教官中選派學監特令擔任訓育指導

第七條 助教承上司之指揮從事教育

第八條 屬官承上司之指揮從事事務

第八條之二 司書承上司之指揮辦理關於圖書記錄之整理保存及閱覽事務(第六條第一項本條追加)

朕參議府ノ諮詢ヲ經テ中央師道訓練所官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシ

(國務總理、民生部大臣 署)

中央師道訓練所官制

第一條 中央師道訓練所ハ民生部大臣ノ管理ニ屬シ初等教育教師及中等教育教師ノ幹部タルベキ者並ニ視學ヲ養成訓練スル所トス

第二條 中央師道訓練所ニ左ノ職員ヲ置ク

所長 一人 聘任

助 教 官 八 人 聘任

助 教 四 人 委任

屬 官 二人 委任

司 書 一人 委任

第三條 所長ハ民生部大臣ノ監督ヲ承ケ所務ヲ綜理シ所屬職員ヲ統督シ其ノ進退及賞罰ニ關シテハ民生部大臣ニ上申ス(第六條第一項本條中修正)

第四條 所長事故アルトキハ教官ノ一人命ヲ承ケ其ノ職務ヲ代理ス(第六條第一項本條修正)

第五條 教官ハ所長ノ命ヲ承ケ教育ヲ掌ル

第六條 所長ハ教官ノ中ヨリ學監ヲ選補シ特ニ訓育指導ニ當ラシムルコトヲ得

第七條 助教ハ上司ノ指揮ヲ承ケ教育ニ從事ス

第八條 屬官ハ上司ノ指揮ヲ承ケ事務ニ從事ス

第八條ノ二 司書ハ上司ノ指揮ヲ承ケ圖書記錄ノ整理保存及閱覽ニ關スル事務ニ從事ス(第六條第一項本條追加)

〔附置八十七號〕

〔附置八十七號〕

第九條 所長認爲有必要時得聘請講師

第十條 中央師道訓練所設置處所、修業期間、學科目、入學資格及其他本令無所規定之事項由民生部大臣定之

附 則

本令自公布日施行

教員講習所官制廢止之

附 則 (附置六年三月三〇日勅令第六一號)

本令自公布日施行

第九條 所長ハ必要ニ應ジ講師ヲ僱用スルコトヲ得

第十條 中央師道訓練所ノ設置處所、修業期間、學科目、入所資格其ノ他本令ニ規定ナキ事項ハ民生部大臣之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

教員講習所官制ハ之ヲ廢止ス

附 則 (附置六年三月三〇日勅令第六一號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●王爺廟興安學院官制

(康德六年二月二十三日) 勅令第三〇號

除經諮詢參議府認可王爺廟興安學院官制著即公布 (國務總理、民生部大臣)

王爺廟興安學院官制

第一條 王爺廟興安學院屬於民生部大臣之管理對於從事實業者教授其所備之智識技能及養成將爲初等教育教師者之所

第二條 王爺廟興安學院置左列職員

院長 一人 聘任  
主事 十四人 委任(其中二人得爲兼任)  
庶官 二人 委任

院長以興安省長充之

第三條 院長承民生部大臣之監督綜理院務統轄所屬職員關於其進退賞罰呈請民生部大臣核辦

第四條 主事輔佐院長承其命掌教務及訓育院長有事故時代理其職務

教官承院長之命掌學生之教育

第五條 院長有重要時得聘用講師

第六條 關於王爺廟興安學院之分科、修業年限、學科目、入

●王爺廟興安學院官制

(康德六年二月二十三日) 勅令第三〇號

除參議府諮詢經王爺廟興安學院官制認可之ヲ公布セシム (國務總理、民生部大臣)

王爺廟興安學院官制

第一條 王爺廟興安學院ハ民生部大臣ノ管理ニ屬シ實業ニ從事スル者ニ須要ナル智識技能ヲ授ケ及初等教育教師タルベキ者ヲ養成スル所

第二條 王爺廟興安學院ニ左ノ職員ヲ置ク

院長 一人 聘任  
主事 十四人 委任(内二人ヲ聘任ト爲スコトヲ得)  
庶官 二人 委任

院長ハ興安省長ヲ以テ之ニ充ツ

第三條 院長ハ民生部大臣ノ監督ヲ承ケ院務ヲ綜理シ所屬職員ヲ統轄シ其ノ進退賞罰ニ關シテハ民生部大臣ニ上申ス

第四條 主事ハ院長ヲ輔佐シ其ノ命ヲ承ケ教務及訓育ヲ掌リ院長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

教官ハ院長ノ命ヲ承ケ學生ノ教育ヲ掌ル

第五條 院長ハ必要ニ應ジ講師ヲ囑託スルコトヲ得

第六條 王爺廟興安學院ノ分科、修業年限、學科目、入學資格其ノ他

第四項 產業部及其所管

●產業部分科規程

(康德四年七月一日) 政府公報

修正 康德六年三月九日  
茲制定產業部分科規程如左

產業部分科規程

第一條 大臣官房置左列五科

人事科  
文書科  
會計科  
資料科  
物質調查科

第二條 人事科掌左開事項

- 一 關於 御容及昭書牒本事項
- 二 關於 交際及儀禮事項
- 三 關於 職員之任免進退及身分事項
- 四 關於 職員之規律及賞罰事項
- 五 關於 職員之給與及待遇事項
- 六 關於 職員之定員事項

官制 第七章 國務院各部

第二款 國務院各部及其所管(產業部)

第四項 產業部及其所管

●產業部分科規程

(康德四年七月一日) 政府公報

修正 康德六年三月九日  
茲ニ產業部分科規程ヲ左ノ通定ス

產業部分科規程

第一條 大臣官房ニ左ノ五科ヲ置ク

人事科  
文書科  
會計科  
資料科  
物質調查科

第二條 人事科ハ左ノ事項ヲ掌ル

- 一 御容及昭書牒本ニ關スル事項
- 二 交際及儀禮ニ關スル事項
- 三 職員ノ任免、進退及身分ニ關スル事項
- 四 職員ノ規律及賞罰ニ關スル事項
- 五 職員ノ給與及待遇ニ關スル事項
- 六 職員ノ定員ニ關スル事項

官制 第七章 國務院各部

第二款 國務院各部及其所管(產業部)

- 七 關於職員之養成及訓練事項
  - 八 關於恩賞事項
  - 九 關於賜金及恤金事項
  - 十 關於職員之共濟事項
- 第三條 文書科掌左開事項
- 一 關於官署印及官印之管守事項
  - 二 關於總動員事項
  - 三 關於行政考察事項
  - 四 關於情報及宣傳事項
  - 五 關於文書之收發及編纂保存事項
  - 六 關於文書之審查及進達事項
  - 七 關於部令訓令等之公布事項
  - 八 關於公報之登載及其他公示事項
  - 九 關於分科及處務規程事項
  - 十 關於會議事項
  - 十一 不屬於他科主管事項
- 第四條 會計科掌左開事項
- 一 關於預算及決算事項
  - 二 關於收入及支出事項

- 七 職員ノ養成及訓練ニ關スル事項
  - 八 恩賞ニ關スル事項
  - 九 賜金及恤金ニ關スル事項
  - 十 職員ノ共濟ニ關スル事項
- 第三條 文書科ハ左ノ事項ヲ掌ル
- 一 官署印及官印ノ管守ニ關スル事項
  - 二 總動員ニ關スル事項
  - 三 行政考察ニ關スル事項
  - 四 情報及宣傳ニ關スル事項
  - 五 文書ノ收發及編纂保存ニ關スル事項
  - 六 文書ノ審查及進達ニ關スル事項
  - 七 部令訓令等ノ公布ニ關スル事項
  - 八 公報掲載其ノ他公示ニ關スル事項
  - 九 分科及處務規程ニ關スル事項
  - 十 會議ニ關スル事項
  - 十一 他科ノ主管ニ屬セザル事項
- 第四條 會計科ハ左ノ事項ヲ掌ル
- 一 豫算及決算ニ關スル事項
  - 二 收入及支出ニ關スル事項

〔附電四十八號〕

〔附電八十七號〕

- 三 關於用度、營繕及租地租房事項
  - 四 關於會計之監督事項
  - 五 關於財產之管理事項
  - 六 關於部保管之現款及有價證券事項
  - 七 關於不屬於他科主管之契約事項
  - 八 關於廳舍之管理及廳內之取締事項
  - 九 關於義務儲金事項
  - 十 關於電話及自動車事項
  - 十一 關於備人事項
  - 十二 關於主管官舍事項
- 第五條 資料科掌左開事項
- 一 關於統計事項
  - 二 關於資料之蒐集及統括整理事項
  - 三 關於圖書及刊行物事項
- 第五條之二 物質調查科掌左列事項
- 一 關於物質之調整事務之連絡及統轄事項
  - 二 關於物資供給之調査及集計等事項
- 第六條 農務司置左列四科並農林技術員養成所
- 農政科

- 三 用度、營繕及借地借家ニ關スル事項
  - 四 會計ノ監督ニ關スル事項
  - 五 財產ノ管理ニ關スル事項
  - 六 部保管ノ現金及有價證券ニ關スル事項
  - 七 他科ノ主管ニ屬セザル契約ニ關スル事項
  - 八 廳舍ノ管理及廳内ノ取締ニ關スル事項
  - 九 義務貯金ニ關スル事項
  - 十 電話及自動車ニ關スル事項
  - 十一 備人ニ關スル事項
  - 十二 所管官舍ニ關スル事項
- 第五條 資料科ハ左ノ事項ヲ掌ル
- 一 統計ニ關スル事項
  - 二 資料ノ蒐集及統括整理ニ關スル事項
  - 三 圖書及刊行物ニ關スル事項
- 第五條ノ二 物質調査科ハ左ノ事項ヲ掌ル
- 一 物資ノ調整事務ノ連絡及統轄ニ關スル事項
  - 二 物資ノ供給ノ調査及集計等ニ關スル事項
- 第六條 農務司ニ左ノ四科並農林技術員養成所ヲ置ク
- 農政科

官制 第七章 國務院各部

第二款 國務院各部及其所管(產業部)



農産科  
特産科  
水産科

- 第七條 農政科掌左開事項
- 一 關於農政上各般之調查事項
  - 二 關於農業經營之改善事項
  - 三 關於特殊會社之監督事項
  - 四 關於農產物之需要促進事項
  - 五 關於農業之振興開發上必要之統制事項
  - 六 關於農事合作社及其他農業團體事項
  - 七 關於模範農民之養成事項
  - 八 關於農倉庫事項
  - 九 關於農地及佃耕事項
  - 十 關於未墾地利用開發之統制及助成事項
  - 十一 不屬於他科主管事項
- 第八條 農産科掌左開事項
- 一 關於農產物(內除特産物以下做之)之改良増殖事項
  - 二 關於農產物之生産及消費數目之調査事項
  - 三 關於農產物之檢查事項

農産科  
特産科  
水産科

- 第七條 農政科ハ左ノ事項ヲ掌ル
- 一 農政上諸般ノ調査ニ關スル事項
  - 二 農業經營ノ改善ニ關スル事項
  - 三 特殊會社ノ監督ニ關スル事項
  - 四 農產物ノ需要促進ニ關スル事項
  - 五 農業ノ振興開發上必要ナル統制ニ關スル事項
  - 六 農事合作社其ノ他農業團體ニ關スル事項
  - 七 模範農民ノ養成ニ關スル事項
  - 八 農倉庫ニ關スル事項
  - 九 農地及小作ニ關スル事項
  - 十 未墾地利用開發ノ統制及助成ニ關スル事項
  - 十一 他科ノ主管ニ屬セザル事項
- 第八條 農産科ハ左ノ事項ヲ掌ル
- 一 農產物(特産物ヲ除ク以下同ジ)ノ改良増殖ニ關スル事項
  - 二 農產物ノ生産及消費高ノ調査ニ關スル事項
  - 三 農產物ノ檢查ニ關スル事項

(附登八十七號)

(附登八十七號)

- 四 關於肥料事項
- 五 關於病蟲害、風水旱害及雹霜害事項
- 六 關於農事試驗機關事項
- 七 關於農業用器具、機械事項
- 八 關於農家副業事項

第九條 特産科掌左開事項

- 一 關於特産物之改良増殖事項
  - 二 關於特産物之生産及消費數目之調査事項
  - 三 關於特産物之檢查事項
  - 四 關於特産物之統制事項
  - 五 關於特産物需要之促進事項
  - 六 關於特産業之團體事項
- 第十條 水産科掌左開事項
- 一 關於水産事項
  - 二 關於水産試驗機關事項
  - 三 關於水産團體事項
  - 四 關於水産業振興開發上必要之統制事項
  - 五 關於製鹽事項

第十一條 農林技術員養成所掌關於農業及林業技術之傳習

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(畜産部)

- 四 肥料ニ關スル事項
- 五 病蟲害、風水旱害及雹霜害ニ關スル事項
- 六 農事試驗機關ニ關スル事項
- 七 農業用器具、機械ニ關スル事項
- 八 農家副業ニ關スル事項

第九條 特産科ハ左ノ事項ヲ掌ル

- 一 特産物ノ改良増殖ニ關スル事項
  - 二 特産物ノ生産及消費高ノ調査ニ關スル事項
  - 三 特産物ノ檢查ニ關スル事項
  - 四 特産物ノ統制ニ關スル事項
  - 五 特産物ノ需要ノ促進ニ關スル事項
  - 六 特産業ノ團體ニ關スル事項
- 第十條 水産科ハ左ノ事項ヲ掌ル
- 一 水産ニ關スル事項
  - 二 水産試驗機關ニ關スル事項
  - 三 水産團體ニ關スル事項
  - 四 水産業ノ振興開發上必要ナル統制ニ關スル事項
  - 五 製鹽ニ關スル事項

第十一條 農林技術員養成所ハ農業及林業ニ關スル技術ノ傳習ヲ掌ル

第十二條 鑛工司左列五科

- 工政科
- 重工業科
- 工業科
- 電氣科
- 鑛務科

第十三條 工政科掌左開事項

- 一 關於工政上各般之調查事項
- 二 關於工業振興之計畫事項
- 三 關於重要產業統制法施行事項
- 四 關於工業之振興開設上必要之統制事項
- 五 關於工業之振興促進事項
- 六 關於不屬於他科主管特殊會社之監督事項
- 七 關於工業團體事項
- 八 不屬於他科主管事項

第十四條 重工業科掌左開事項

- 一 關於鑛鋼及液體燃料之各般調查事項
- 二 關於鑛鋼及液體燃料事業之振興開設上必要之統制事項
- 三 關於鑛鋼及液體燃料事業之獎勵事項

〔附費八十七號〕

第十二條 鑛工司ニ左ノ五科ヲ設ク

- 工政科
- 重工業科
- 工業科
- 電氣科
- 鑛務科

第十三條 工政科ハ左ノ事項ヲ掌ル

- 一 工政上諸般ノ調査ニ關スル事項
- 二 工業振興ノ計畫ニ關スル事項
- 三 重要産業統制法ノ施行ニ關スル事項
- 四 工業ノ振興開設上必要ナル統制ニ關スル事項
- 五 工業ノ振興ノ促進ニ關スル事項
- 六 他科ノ主管ニ屬セザル特殊會社ノ監督ニ關スル事項
- 七 工業團體ニ關スル事項
- 八 他科ノ主管ニ屬セザル事項

第十四條 重工業科ハ左ノ事項ヲ掌ル

- 一 鑛鋼及液體燃料ノ諸般ノ調査ニ關スル事項
- 二 鑛鋼及液體燃料事業ノ振興開設上必要ナル統制ニ關スル事項
- 三 鑛鋼及液體燃料事業獎勵ニ關スル事項

〔附費八十七號〕

〔附費八十七號〕

四 鑛鋼及液體燃料ニ關スル特殊會社ノ監督ニ關スル事項

五 鋼材規格ノ統一ニ關スル事項

六 其ノ他鑛鋼及液體燃料ニ關スル事項

第十五條 工業科ハ左ノ事項ヲ掌ル

- 一 工業ノ指導獎勵ニ關スル事項
- 二 工業品ノ検査及取締ニ關スル事項
- 三 工業品ノ規格統一ニ關スル事項
- 四 工業能率ニ關スル事項
- 五 瓦斯事業ニ關スル事項
- 六 工業ニ關スル試驗所及講習所ニ關スル事項

第十六條 電氣科ハ左ノ事項ヲ掌ル

- 一 發電及送電ノ計畫ニ關スル事項
- 二 電氣事業ノ監督ニ關スル事項
- 三 家用電氣工作物施設ノ監督ニ關スル事項
- 四 電氣團體ニ關スル事項
- 五 電氣工作物主任技術者ニ關スル事項
- 六 電氣工事人取締ニ關スル事項
- 七 電氣用品規格及試驗ニ關スル事項
- 八 發電用原動機取締ニ關スル事項

四 關於鑛鋼及液體燃料特殊會社之監督事項

五 關於鋼材規格之統一事項

六 除以上外關於所有鑛鋼及液體燃料事項

第十五條 工業科掌左開事項

- 一 關於工業之指導獎勵事項
- 二 關於工業品之検査及取締事項
- 三 關於工業品之規格統一事項
- 四 關於工業能率事項
- 五 關於瓦斯事業事項
- 六 關於工業試驗所及講習所事項

第十六條 電氣科掌左開事項

- 一 關於發電及送電之計畫事項
- 二 關於電氣事業之監督事項
- 三 關於家用電氣工作物施設之監督事項
- 四 關於電氣團體事項
- 五 關於電氣工作物主任技術者事項
- 六 關於電氣工程人之取締事項
- 七 關於電氣用品規格及試驗事項
- 八 關於發電用原動機之取締事項

第十七條 鑛務科掌左開事項

- 一 關於鑛業行政上各般之調查事項
- 二 關於鑛業法之施行事項
- 三 關於鑛業之振興開發上必要之指導獎勵及統制事項
- 四 關於特殊鑛業會社之監督事項
- 五 關於鑛業資源之調查事項
- 六 關於鑛業團體事項
- 七 關於地質事項
- 八 關於鑛業試驗機關及精鍊事項
- 九 關於國有鑛區之管理及經營事項

第十八條 畜產司置左列三科及畜產技術員養成所

- 畜政科
- 畜產科
- 獸疫科

畜產技術員養成所置於奉天

第十九條 畜政科掌左列事項

- 一 關於畜政上諸般之企畫事項
- 二 關於畜產經營之改善事項
- 三 關於家畜及畜產物之交易及統制事項

第十七條 鑛務科ハ左ノ事項ヲ掌ル

- 一 鑛業行政上諸般ノ調査ニ關スル事項
- 二 鑛業法ノ施行ニ關スル事項
- 三 鑛業ノ振興開發上必要ナル指導、獎勵及統制ニ關スル事項
- 四 鑛業ニ關スル特殊會社ノ監督ニ關スル事項
- 五 鑛業資源ノ調査ニ關スル事項
- 六 鑛業團體ニ關スル事項
- 七 地質ニ關スル事項
- 八 鑛業試驗機關及精鍊ニ關スル事項
- 九 國有鑛區ノ管理及經營ニ關スル事項

第十八條 畜產司ニ左ノ三科及畜產技術員養成所ヲ置ク

- 畜政科
- 畜產科
- 獸疫科

畜產技術員養成所ハ之ヲ奉天ニ置ク

第十九條 畜政科ハ左ノ事項ヲ掌ル

- 一 畜政上諸般ノ企畫ニ關スル事項
- 二 畜產經營ノ改善ニ關スル事項
- 三 家畜及畜產物ノ取引及統制ニ關スル事項

〔附表八十七號〕

〔附表八十七號〕

四 畜產ニ關スル團體ニ關スル事項

- 五 牧野ニ關スル事項
- 六 家畜、畜產物及飼料ノ調査統計ニ關スル事項
- 七 畜產技術員ノ養成訓練ニ關スル事項
- 八 獸醫師ノ免許ニ關スル事項
- 九 他科ノ主管ニ屬セザル事項

第二十條 畜產科ハ左ノ事項ヲ掌ル

- 一 家畜ノ改良増殖ニ關スル事項
- 二 種畜ニ關スル事項
- 三 綿羊改良場、種畜場及畜產試驗機關ニ關スル事項
- 四 畜產物ノ利用加工ニ關スル事項
- 五 飼料ニ關スル事項
- 六 畜產共進會ニ關スル事項

第二十一條 獸疫科ハ左ノ事項ヲ掌ル

- 一 家畜ノ衛生防疫ニ關スル事項
- 二 家畜及畜產物ノ檢疫検査ニ關スル事項
- 三 家畜ノ檢疫機關ニ關スル事項
- 四 屠宰及乳肉衛生ニ關スル事項

第二十二條 畜產技術員養成所ハ畜產及獸醫ニ關スル技術ノ傳習ヲ掌

四 關於畜產之團體事項

- 五 關於牧野事項
- 六 關於家畜、畜產物及飼料之調查統計事項
- 七 關於畜產技術員之養成訓練事項
- 八 關於獸醫師之免許事項
- 九 不屬於他科主管事項

第二十條 畜產科掌左列事項

- 一 關於家畜之改良増殖事項
- 二 關於種畜事項
- 三 關於綿羊改良場、種畜場及畜產試驗機關事項
- 四 關於畜產物之利用加工事項
- 五 關於飼料事項
- 六 關於畜產共進會事項

第二十一條 獸疫科掌左列事項

- 一 關於家畜之衛生及防疫事項
- 二 關於家畜及畜產物之檢疫檢查事項
- 三 關於家畜之檢疫機關事項
- 四 關於屠宰及乳肉衛生事項

第二十二條 畜產技術員養成所掌傳習關於畜產及獸醫之技術

本規則自康維四年七月一日施行

本規則ハ康維四年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

附 則

附 則

●産業部内臨時職員設置制 (康維四年六月二十七日 勅令第一九九九號)

改正 康維四年二月勅令第三八九號  
全改 康維五年五月勅令第八一號  
改正 康維五年八月勅令第二〇九號、九月第三二八號、二月第二八三號  
全改 康維五年二月勅令第三二九號  
改正 康維六年三月勅令第四六號、第五三號  
朕經諮詢參議府裁可産業部内臨時職員設置制者即公布  
(國務總理、民政部、軍政部、實業部、農政部長官)

産業部内臨時職員設置制修正之件  
産業部内臨時職員設置制修正如左  
産業部内臨時職員設置制  
第一條 産業部臨時増置左列職員  
一 從事關於産業技術員之講習及養成事務者  
技 佐 六人 委任  
屬 官 五人 委任  
技 士 十七人 委任  
二 從事關於農産物之増殖事務者  
技 佐 五人 委任  
屬 官 一人 委任  
技 士 六人 委任  
三 從事關於地力更生事務者  
官 制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(産業部)

〔附則八十七號〕

●産業部内臨時職員設置制 (康維四年六月二十七日 勅令第一九九九號)

改正 康維四年二月勅令第三八九號  
全改 康維五年五月勅令第八一號  
改正 康維五年八月勅令第二〇九號、九月第三二八號、二月第二八三號  
全改 康維五年二月勅令第三二九號  
改正 康維六年三月勅令第四六號、第五三號  
朕參議府ノ諮詢ヲ經テ産業部内臨時職員設置制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布  
セシム(國務總理、民政部、軍政部、實業部、農政部長官)

産業部内臨時職員設置制改正ノ件  
産業部内臨時職員設置制ヲ左ノ通改正ス  
産業部内臨時職員設置制  
第一條 産業部ニ臨時左ノ職員ヲ増置ス  
一 産業技術員ノ講習及養成ニ關スル事務ニ従事スル者  
技 佐 六人 委任  
屬 官 五人 委任  
技 士 十七人 委任  
二 農産物ノ増殖ニ關スル事務ニ従事スル者  
技 佐 五人 委任  
屬 官 一人 委任  
技 士 六人 委任  
三 地力更生ニ關スル事務ニ従事スル者  
官 制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(産業部)

〔附則八十七號〕

- 技 佐 一人 團任
- 技 士 十二人 委任
- 四 從事關於產業調查事務者
  - 事務官 二人 團任
  - 技 佐 一人 團任
  - 技 官 一人 委任
  - 技 士 四人 委任
  - 技 士 七人 委任
- 五 從事關於家畜之檢疫事務者
  - 技 佐 一人 團任
  - 技 士 五人 委任
- 六 從事關於水産之増殖事務者
  - 技 士 二人 委任 (附六第四六號本條中改正)
- 第二條 鑛業監督臨時増置左列職員
  - 一 從事關於鑛業權之臨時審查事務者
    - 技 官 八人 委任
    - 技 士 十八人 委任
  - 二 從事關於鑛產地圍根三角設置事務者
    - 技 士 五人 委任
- 第三條 林野局爲令從事關於林野調查事務時臨時増置左列職員
  - 事務官 一人 團任
  - 技 官 一人 委任
  - 技 士 一人 委任

- 技 佐 一人 團任
- 技 士 十二人 委任
- 四 産業調査ニ關スル事務ニ從事スル者
  - 事務官 二人 團任
  - 技 佐 一人 團任
  - 技 官 一人 委任
  - 技 士 四人 委任
  - 技 士 七人 委任
- 五 家畜ノ檢疫ニ關スル事務ニ從事スル者
  - 技 佐 一人 團任
  - 技 士 五人 委任
- 六 水産ノ増殖ニ關スル事務ニ從事スル者
  - 技 士 二人 委任 (附六第四六號本條中改正)
- 第二條 鑛業監督臨時左ノ職員ヲ増置ス
  - 一 鑛業權ノ臨時審查ニ關スル事務ニ從事スル者
    - 技 官 八人 委任
    - 技 士 十八人 委任
  - 二 鑛産地圍根三角設置ニ關スル事務ニ從事スル者
    - 技 士 五人 委任
- 第三條 林野局ニ林野調査ニ關スル事務ニ從事セシムル爲臨時左ノ職員ヲ増置ス
  - 事務官 一人 團任
  - 技 官 一人 委任
  - 技 士 一人 委任

(附置八十七號)

第四條 開拓總局臨時増置左列職員

- 一 從事關於未利用地之取得事務者
  - 事務官 十三人 團任
  - 技 佐 五人 團任
  - 技 官 八十五人 委任
  - 技 士 二十五人 委任
- 二 從事關於移民地之調查事務者
  - 技 佐 十一人 團任
  - 技 士 二十二人 委任
- 三 從事關於土地之改良調查事務者
  - 技 佐 十五人 團任
  - 技 士 三十二人 委任
- 四 從事關於移民之輔導事務者
  - 技 官 五人 委任
- 五 從事關於特殊移民事務者
  - 事務官 一人 團任
  - 技 官 一人 委任
  - 技 士 一人 委任
- 六 從事關於給水調查事務者
  - 技 正 一人 團任
  - 技 佐 一人 團任
  - 技 官 二人 委任
  - 技 士 十九人 委任 (附六第五三號本條中改正)

(附置八十七號) 第四條 開拓總局ニ臨時左ノ職員ヲ増置ス

- 一 未利用地取得ニ關スル事務ニ從事スル者
  - 事務官 十三人 團任
  - 技 佐 五人 團任
  - 技 官 八十五人 委任
  - 技 士 二十五人 委任
- 二 移民地調査ニ關スル事務ニ從事スル者
  - 技 佐 十一人 團任
  - 技 士 二十二人 委任
- 三 土地改良調査ニ關スル事務ニ從事スル者
  - 技 佐 十五人 團任
  - 技 士 三十二人 委任
- 四 移民輔導ニ關スル事務ニ從事スル者
  - 技 官 五人 委任
- 五 特殊移民ニ關スル事務ニ從事スル者
  - 事務官 一人 團任
  - 技 官 一人 委任
  - 技 士 一人 委任
- 六 給水調査ニ關スル事務ニ從事スル者
  - 技 正 一人 團任
  - 技 佐 一人 團任
  - 技 官 二人 委任
  - 技 士 十九人 委任 (附六第五三號本條中改正)



第五條 特許發明局爲令從事關於特許意匠呈請之臨時審查事務臨時增設左列職員

- 技 佐 四人 薦任
- 技 士 七人 委任

附 則 (續前五年二月二十四日勅令第三三九號)

本令自康德六年一月一日起施行

附 則 (續前六年三月九日勅令第四六號)

本令自公布日施行

附 則 (續前六年三月一六日勅令第五三號)

本令自公布日施行

●農事試驗場官制

(大同三年一月十八日) 敕令第三三號

修正 續前元年三月勅令第一號(其本條第四條第二項第一號第一號) 六月十八日勅令第一〇九號

八月三號 八月一〇九號

續前二年二月勅令第一四九號

續前三年五月勅令第五九號

續前四年六月勅令第一六二號

續前五年三月勅令第五〇號

續前六年三月勅令第四七號

茲經諮詢參議府制定農事試驗場官制著即公布此令 (國務總理、實業部總長) (副國務總理、實業部總長)

[續前八十七號]

●農事試驗場官制

(大同三年一月十八日) 敕令第三三號

修正 續前元年三月勅令第一號(其本條第四條第二項第一號第一號) 六月十八日勅令第一〇九號

八月三號 八月一〇九號

續前二年二月勅令第一四九號

續前三年五月勅令第五九號

續前四年六月勅令第一六二號

續前五年三月勅令第五〇號

續前六年三月勅令第四七號

茲ニ參議府ノ諮詢ヲ經テ農事試驗場官制ヲ制定シ之ヲ公布セシム (國務總理、實業部總長) (副國務總理、實業部總長)

[續前八十七號]

農事試驗場官制修正之件

農事試驗場官制修正如左

農事試驗場官制

第一條 農事試驗場屬於產業部大臣之管理掌左列事項

- 一 關於農產(包含養蠶以下同)、畜產及林產改良增殖之試驗及調査
- 二 土壤、肥料、農產物、畜產物、林產物及與農業有關係者之分析、鑑定及調査
- 三 關於農產、畜產及林產加工製造之試驗及調査
- 四 關於對農產、畜產及林產病蟲害之豫防遏止之試驗及調査
- 五 種苗、蠶種、種畜及樹苗之育成及配布
- 六 農業、蠶業、畜產業及林業之指導
- 七 農事經營之試驗及研究
- 八 實習生及見習生之養成

第二條 農事試驗場共置左列職員

- 場 長 一人 薦任(其中四人得爲簡任)
- 技 正 十六人 薦任(其中四人得爲簡任)

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(農務部)

農事試驗場官制改正ノ件

農事試驗場官制ヲ左ノ通改正ス

農事試驗場官制

第一條 農事試驗場ハ產業部大臣ノ管理ニ屬シ左ノ事項ヲ掌ル

- 一 農產(養蠶ヲ含ム以下同シ)、畜產及林產ノ改良增殖ニ關スル試驗及調査
- 二 土壤、肥料、農產物、畜產物、林產物及農業ニ關係アルモノノ分析、鑑定及調査
- 三 農產、畜產及林產ノ加工製造ニ關スル試驗及調査
- 四 農產、畜產及林產ノ病蟲害ニ對スル豫防制遏ニ關スル試驗及調査
- 五 種苗、蠶種、種畜及樹苗ノ育成及配付
- 六 農業、蠶業、畜產業及林業ノ指導
- 七 農事經營ノ試驗及研究
- 八 實習生及見習生ノ養成

第二條 農事試驗場ニ通ジテ左ノ職員ヲ置ク

- 場 長 一人 薦任(內四人ヲ簡任トナスコトヲ得)
- 技 正 十六人 薦任(內四人ヲ簡任トナスコトヲ得)

事務官 三人 薦任  
 技佐 五十五人 薦任  
 屬官 十六人 委任  
 技士 九十二人 委任

場長以技正充之(前六前四七號本條改正)

第三條 場長承產業部大臣之指揮監督綜理場務指揮監督所屬職員

第四條 技正承上司之命掌技術

第五條 事務官承上司之命掌事務

第六條 技佐承上司之命掌技術

第七條 屬官承上司之指揮辦理事務

第八條 技士承上司之指揮從事技術

第九條 產業部大臣得於必要之地設置農事試驗場之分場及試驗所使分掌本場之事務

第十條 農事試驗場並其分場及試驗所之位置及名稱由產業部大臣定之

附則 (農務五年三月三一日勅令第五〇號)

本令自康德五年四月一日施行

事務官 二人 薦任  
 技佐 五十五人 薦任  
 屬官 十六人 委任  
 技士 九十二人 委任

場長ハ技正ヲ以テ之ヲ充ツ(前六前四七號本條改正)

第三條 場長ハ產業部大臣ノ指揮監督ヲ承ケ場務ヲ綜理シ所屬職員ヲ指揮監督ス

第四條 技正ハ上司ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第五條 事務官ハ上司ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

第六條 技佐ハ上司ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第七條 屬官ハ上司ノ指揮ヲ承ケ事務ニ從事ス

第八條 技士ハ上司ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス

第九條 產業部大臣ハ必要ト認ムル地ニ農事試驗場ノ分場及試驗所ヲ置キ本場ノ事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

第十條 農事試驗場並ニ其ノ分場及試驗所ノ位置及名稱ハ產業部大臣之ヲ定ム

附則 (農務五年三月三一日勅令第五〇號)

本令ハ康德五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔附覽八十七號〕

附則 (農務六年三月九日勅令第四十七號)

本令自公布日施行

●農事試驗場並其分場及試驗所之名稱及位置

(康德五年四月一日 產業部令第二一號)

茲依農事試驗場官制第十條之規定農事試驗場並其分場及試驗所之名稱及位置如左

名稱	位置
農事試驗場	龍江省克山縣
克山農事試驗場	龍江省克山縣
錦州農事試驗場	錦州省錦縣
佳木斯農事試驗場	三江省樺川縣
哈爾濱農事試驗場	濱江省哈爾濱市
王爺廟農事試驗場	興安南省科爾沁右翼前旗
公主嶺農事試驗場	吉林省懷德縣
公主嶺農事試驗場押木營子分場	興安南省科爾沁右翼前旗
公主嶺農事試驗場遼陽棉花試驗所	奉天省遼陽縣
公主嶺農事試驗場鳳凰城燧草試驗所	安東省鳳城縣

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(產業部)

〔附覽八十七號〕

附則 (農務六年三月九日勅令第四十七號)

本令ハ公布日ヨリ之ヲ施行ス

●農事試驗場並其分場及試驗所之名稱及位置

(康德五年四月一日 產業部令第二一號)

茲ニ農事試驗場官制第十條ノ規定ニ依リ農事試驗場並ニ其ノ分場及試驗所ノ名稱及位置ヲ左ノ通定ス

名稱	位置
農事試驗場	龍江省克山縣
克山農事試驗場	龍江省克山縣
錦州農事試驗場	錦州省錦縣
佳木斯農事試驗場	三江省樺川縣
哈爾濱農事試驗場	濱江省哈爾濱市
王爺廟農事試驗場	興安南省科爾沁右翼前旗
公主嶺農事試驗場	吉林省懷德縣
公主嶺農事試驗場押木營子分場	興安南省科爾沁右翼前旗
公主嶺農事試驗場遼陽棉花試驗所	奉天省遼陽縣
公主嶺農事試驗場鳳凰城燧草試驗所	安東省鳳城縣

一三八之一

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(畜產部)

公主嶺農事試驗場 洮南農事試驗所 龍江省洮南縣  
龍江省農事試驗場 奉天省蓋平縣  
興城農事試驗場 錦州省興城縣

附則

本令自康維五年四月一日起施行  
康維四年七月一日畜產部令第一號廢止之

一三八之二  
龍江省洮南縣  
奉天省蓋平縣  
錦州省興城縣

●國立原種圃之名稱及位置

(康維四年六月二十五日 實業部佈告第四號)

爲佈告事茲設置左開國立原種圃仰即週知此佈

國立原種圃之名稱及位置

名稱	位置
國立哈爾濱水稻原種圃	哈爾濱特別市
國立佳木斯水稻原種圃	三江省穆稜縣
國立哈爾濱小麥原種圃	哈爾濱特別市
國立齊安小麥原種圃	三江省齊安縣
國立佳木斯小麥原種圃	三江省穆稜縣
國立克山小麥原種圃	龍江省克山縣
國立黑河小麥原種圃	黑河省瑗瑗縣
國立龍江小麥原種圃	龍江省龍江縣

●國立原種圃之名稱及位置

(康維四年六月二十五日 實業部佈告第四號)

茲二國立原種圃ヲ左ノ通設置ス

名稱	位置
國立哈爾濱燕麥原種圃	哈爾濱特別市
國立哈爾濱亞麻原種圃	哈爾濱特別市
國立克山亞麻原種圃	龍江省克山縣
國立懷德牧草原種圃	吉林省懷德縣
國立哈爾濱牧草原種圃	哈爾濱特別市
國立龍江牧草原種圃	龍江省龍江縣
國立錦縣鹿麻原種圃	錦州省錦縣

(附錄七十五號)

第五項 經濟部及其所管

●經濟部分科規程

(康維四年七月一日 政府公報)

修正 康維六年三月二十五日

茲制定經濟部分科規程如左

經濟部分科規程

第一條 大臣官房置左列四科

- 人事科
- 文書科
- 會計科
- 資料科

第二條 人事科掌左開事項

- 一 關於 御容及詔書牒本事項
- 二 關於 交際及儀禮事項
- 三 關於 職員之任免進退及身分事項
- 四 關於 職員之規律及賞罰事項
- 五 關於 職員之給與及待遇事項
- 六 關於 職員之給與及待遇事項
- 七 關於 職員之養成及訓練事項

官制 第七章 國務院各部

第二款 國務院各部及其所管(經濟部)

二〇七

第五項 經濟部及其所管

●經濟部分科規程

(康維四年七月一日 政府公報)

修正 康維六年三月二十五日

茲二經濟部分科規程ヲ左ノ通定ム

經濟部分科規程

第一條 大臣官房ニ左ノ四科ヲ置ク

- 人事科
- 文書科
- 會計科
- 資料科

第二條 人事科ハ左ノ事項ヲ掌ル

- 一 御容及詔書牒本ニ關スル事項
- 二 交際及儀禮ニ關スル事項
- 三 職員ノ任免進退及身分ニ關スル事項
- 四 職員ノ規律及賞罰ニ關スル事項
- 五 職員ノ給與及待遇ニ關スル事項
- 六 職員ノ定員ニ關スル事項
- 七 職員ノ養成及訓練ニ關スル事項

- 八 關於恩賞事項
- 九 關於賜金及恤金事項
- 十 關於職員之共濟事項
- 第三條 文書科掌左開事項
  - 一 關於官署印及官印之管守事項
  - 二 關於總動員事項
  - 三 關於行政考察事項
  - 四 關於情報及宣傳事項
  - 五 關於文書之收發及編纂保存事項
  - 六 關於文書之審查及進達事項
  - 七 關於部令訓令等之公布事項
  - 八 關於公報登載及其他公示事項
  - 九 關於分科及處務規程事項
  - 十 關於會議事項
  - 十一 不屬於他科主管事項
- 第四條 會計科掌左開事項
  - 一 關於預算及決算事項
  - 二 關於收入及支出事項
  - 三 關於用度、營繕及租地租房事項

〔附錄四十八款〕

- 八 恩賞ニ關スル事項
- 九 賜金及恤金ニ關スル事項
- 十 職員ノ共濟ニ關スル事項
- 第三條 文書科ハ左ノ事項ヲ掌ル
  - 一 官署印及官印ノ管守ニ關スル事項
  - 二 總動員ニ關スル事項
  - 三 行政考察ニ關スル事項
  - 四 情報及宣傳ニ關スル事項
  - 五 文書ノ收發及編纂保存ニ關スル事項
  - 六 文書ノ審查及進達ニ關スル事項
  - 七 部令訓令等ノ公布ニ關スル事項
  - 八 公報掲載其ノ他公示ニ關スル事項
  - 九 分科及處務規程ニ關スル事項
  - 十 會議ニ關スル事項
  - 十一 他科ノ主管ニ屬セザル事項
- 第四條 會計科ハ左ノ事項ヲ掌ル
  - 一 豫算及決算ニ關スル事項
  - 二 收入及支出ニ關スル事項
  - 三 用度、營繕及借地借家ニ關スル事項

〔附錄八十七款〕

- 四 關於會計之監督事項
- 五 關於印紙類之調製及出納保管事項
- 六 關於財產之管理事項
- 七 關於部保管之現款及有價證券事項
- 八 關於不屬於他科主管之契約事項
- 九 關於廳舍之管理及廳內之取繕事項
- 十 關於債務儲金事項
- 十一 關於電話及自動車事項
- 十二 關於備人事項
- 十三 關於主管官舍事項
- 第五條 資料科掌左開事項
  - 一 關於統計事項
  - 二 關於資料之蒐集及統括整理事項
  - 三 關於圖書及刊行物事項
  - 四 關於財政史編纂事項
- 第六條 金融司置左列四科
  - 金融科
  - 銀行科
  - 爲替科
  - 管財科
- 第七條 金融科掌左開事項
  - 一 關於金融統制事項
  - 二 關於滿洲中央銀行事項

- 四 會計ノ監督ニ關スル事項
- 五 印紙類ノ調製及出納保管ニ關スル事項
- 六 財產ノ管理ニ關スル事項
- 七 部保管ノ現金及有價證券ニ關スル事項
- 八 他科ノ主管ニ屬セザル契約ニ關スル事項
- 九 廳舍ノ管理及廳內ノ取繕ニ關スル事項
- 十 債務貯金ニ關スル事項
- 十一 電話及自動車ニ關スル事項
- 十二 備人ニ關スル事項
- 十三 所管官舍ニ關スル事項
- 第五條 資料科ハ左ノ事項ヲ掌ル
  - 一 統計ニ關スル事項
  - 二 資料ノ蒐集及統括整理ニ關スル事項
  - 三 圖書及刊行物ニ關スル事項
  - 四 財政史編纂ニ關スル事項
- 第六條 金融司ハ左ノ四科ヲ置ク
  - 金融科
  - 銀行科
  - 爲替科
  - 管財科
- 第七條 金融科ハ左ノ事項ヲ掌ル
  - 一 金融統制ニ關スル事項
  - 二 滿洲中央銀行ニ關スル事項

- 三 關於貨幣事項
  - 四 關於紙幣類似證券之取締事項
  - 五 關於國債事務事項
  - 六 關於地方債之監督事項
  - 七 關於有獎債券事項
  - 八 關於投資特別會計事項
  - 九 關於國際收支及金融事情之調查事項
  - 十 關於金融統計之作成事項
  - 十一 不屬於他科主管事項
- 第八條 銀行科掌左開事項
- 一 關於滿洲興業銀行事項
  - 二 關於普通銀行事項
  - 三 關於金融合作社及金融合作社聯合會事項
  - 四 關於金融會及金融聯合會事項
  - 五 關於合作社金融事項
  - 六 關於無獎會社事項
  - 七 關於信託業事項
  - 八 關於庶民金融機關事項
  - 九 關於彩票事項
- 第九條 爲替科掌左開事項
- 一 關於外國匯兌事項
  - 二 關於產金收買事項
  - 三 關於外國匯兌及產金收買事情之調查事項

- 三 貨幣ニ關スル事項
  - 四 紙幣類似證券ノ取締ニ關スル事項
  - 五 國債ノ事務ニ關スル事項
  - 六 地方債ノ監督ニ關スル事項
  - 七 有獎債券ニ關スル事項
  - 八 投資特別會計ニ關スル事項
  - 九 國際收支及金融事情ノ調査ニ關スル事項
  - 十 金融統計ノ作成ニ關スル事項
  - 十一 他科ノ主管ニ屬セザル事項
- 第八條 銀行科ハ左ノ事項ヲ掌ル
- 一 滿洲興業銀行ニ關スル事項
  - 二 普通銀行ニ關スル事項
  - 三 金融合作社及金融合作社聯合會ニ關スル事項
  - 四 金融會及金融聯合會ニ關スル事項
  - 五 組合金融ニ關スル事項
  - 六 無獎會社ニ關スル事項
  - 七 信託業ニ關スル事項
  - 八 庶民金融機關ニ關スル事項
  - 九 彩票ニ關スル事項
- 第九條 爲替科ハ左ノ事項ヲ掌ル
- 一 外國爲替ニ關スル事項
  - 二 產金買上ニ關スル事項
  - 三 外國爲替及產金買上事情ノ調査ニ關スル事項

〔附覽八十七號〕

〔附覽八十七號〕

- 四 關於外國匯兌及產金收買統計之作成事項
- 第十條 管財科掌左開事項
- 一 關於國有財產之總括事項
  - 二 關於國有財產之調查及整理事項
  - 三 關於雜種財產之管理及處分事項
  - 四 關於監督雜種財產之管理事務事項
  - 五 關於國有財產整理資金特別會計人事及經理之調查事項
- 第十一條 商務司置左列三科
- 商 事 科
  - 貿 易 科
  - 調 査 科
- 第十二條 商事科掌左開事項
- 一 關於物貨之輸給調節事項
  - 二 關於物價統制事項
  - 三 關於公司事項
  - 四 關於商團體事項
  - 五 關於商事合作社事項
  - 六 關於消費合作社事項
  - 七 關於市場事項
  - 八 關於交易所事項
  - 九 關於保險業事項
  - 十 關於倉庫業事項

- 四 外國爲替及產金買上統計ノ作成ニ關スル事項
- 第十條 管財科ハ左ノ事項ヲ掌ル
- 一 國有財產ノ總括ニ關スル事項
  - 二 國有財產ノ調査及整理ニ關スル事項
  - 三 雜種財產ノ管理及處分ニ關スル事項
  - 四 雜種財產ノ管理事務ノ監督ニ關スル事項
  - 五 國有財產整理資金特別會計ニ關スル人事及經理ノ調査ニ關スル事項
- 第十一條 商務司ニ左ノ三科ヲ置ク
- 商 事 科
  - 貿 易 科
  - 調 査 科
- 第十二條 商事科ハ左ノ事項ヲ掌ル
- 一 物貨ノ輸給調節ニ關スル事項
  - 二 物價統制ニ關スル事項
  - 三 公司ニ關スル事項
  - 四 商團體ニ關スル事項
  - 五 商事組合ニ關スル事項
  - 六 消費組合ニ關スル事項
  - 七 市場ニ關スル事項
  - 八 取引所ニ關スル事項
  - 九 保險業ニ關スル事項
  - 十 倉庫業ニ關スル事項



- 十一 不屬於他科主管事項
- 第十三條 貿易科掌左開事項
  - 一 關於貿易統制事項
  - 二 關於通商政策事項
  - 三 關於輸出振興事項
  - 四 關於貿易團體事項
  - 五 關於貿易合作事項
  - 六 關於貿易統計之編造事項
- 第十四條 調查科掌左開事項
  - 一 關於物價及經濟交易事情之調查事項
  - 二 關於通商事情之調查事項
  - 三 關於博覽會及機本市事項
- 第十五條 稅務司置左列三科
  - 國稅科
  - 關稅科
  - 經理科
- 第十六條 國稅科掌左開事項
  - 一 關於內國稅及地方稅(包含公共合作社費及其他之公租公課以下之)之賦課減免事項
  - 二 關於內國稅及地方稅違犯者之處罰或處分事項
  - 三 關於內國稅及地方稅制度之調查事項
  - 四 關於稅務職員之指導監督事項
  - 五 關於內國稅及地方稅事務之管理監督事項

- 十一 他科ノ主管ニ屬セザル事項
- 第十三條 貿易科ハ左ノ事項ヲ掌ル
  - 一 貿易統制ニ關スル事項
  - 二 通商政策ニ關スル事項
  - 三 輸出振興ニ關スル事項
  - 四 貿易團體ニ關スル事項
  - 五 貿易組合ニ關スル事項
  - 六 貿易統計ノ作成ニ關スル事項
- 第十四條 調查科ハ左ノ事項ヲ掌ル
  - 一 物價及經濟取引事情ノ調査ニ關スル事項
  - 二 通商事情ノ調査ニ關スル事項
  - 三 博覽會及見本市ニ關スル事項
- 第十五條 稅務司ニ左ノ三科ヲ置ク
  - 國稅科
  - 關稅科
  - 經理科
- 第十六條 國稅科ハ左ノ事項ヲ掌ル
  - 一 內國稅及地方稅(公共組合費其他ノ公租公課ヲ含ム以下同ジ)ノ賦課減免ニ關スル事項
  - 二 內國稅及地方稅ノ犯罰者ノ處罰又ハ處分ニ關スル事項
  - 三 內國稅及地方稅制度ノ調査ニ關スル事項
  - 四 稅務職員ノ指導監督ニ關スル事項
  - 五 內國稅及地方稅事務ノ管理監督ニ關スル事項

〔附覽八十七號〕

- 六 關於交付金及退還金之調查事項
- 七 關於對內國稅及地方稅課稅物件之試驗、分析及鑑定事項
- 八 關於調查內國稅及地方稅之稅源事項
- 九 關於內國稅及地方稅徵收費之經理之調查事項
- 十 關於印紙類之發行、樣式、售賣及取締事項
- 第十七條 關稅科掌左開事項
  - 一 關於關稅及噸稅之賦課減免及退還事項
  - 二 關於關稅各手續費事項
  - 三 關於保稅區域事項
  - 四 關於輸出入、轉口及保稅物品並其運搬具之取締事項
  - 五 關於開港、稅關停車場、稅關飛行場及通關局事項
  - 六 關於通關代辦人事項
  - 七 關於關稅及噸稅法令違犯者之處分事項
  - 八 關於輸出入物品之調查及鑑定事項
  - 九 關於關稅率及關稅制度之調查事項
  - 十 關於稅關職員之指導監督事項
  - 十一 關於稅關事務之管理監督事項
  - 十二 關於稅關經費經理之調查事項
- 第十八條 經理科掌左開事項
  - 一 關於租稅及租稅以外各收入之預算決算之調查事項
  - 二 關於租稅之徵收及租稅以外各收入之收納並監察事項
  - 三 關於稅務統計之作成事項

官制 第七章 國務院各部

第二款 國務院各部及其所管(經濟部)

- 六 交付金及退還金ノ調査ニ關スル事項
- 七 內國稅及地方稅ノ課稅物件ノ試驗、分析及鑑定ニ關スル事項
- 八 內國稅及地方稅ノ稅源調査ニ關スル事項
- 九 內國稅及地方稅徵收費ノ經理ノ調査ニ關スル事項
- 十 印紙類ノ發行、樣式、賣下及取締ニ關スル事項
- 第十七條 關稅科ハ左ノ事項ヲ掌ル
  - 一 關稅及噸稅ノ賦課減免及拂戻シニ關スル事項
  - 二 關稅諸手数料ニ關スル件
  - 三 保稅區域ニ關スル事項
  - 四 輸出入、轉口及保稅物品並其ノ運搬具ノ取締ニ關スル事項
  - 五 開港、稅關停車場、稅關飛行場及通關局ニ關スル事項
  - 六 通關代辦人ニ關スル事項
  - 七 關稅及噸稅法令犯罰者處分ニ關スル事項
  - 八 輸出入物品ノ調査及鑑定ニ關スル事項
  - 九 關稅率及關稅制度ノ調査ニ關スル事項
  - 十 稅關職員ノ指導監督ニ關スル事項
  - 十一 稅關事務ノ管理監督ニ關スル事項
  - 十二 稅關經費ノ經理ノ調査ニ關スル事項
- 第十八條 經理科ハ左ノ事項ヲ掌ル
  - 一 租稅及租稅外諸收入ノ預算決算ノ調査ニ關スル事項
  - 二 租稅ノ徵收及租稅外諸收入ノ收納並監察ニ關スル事項
  - 三 稅務統計ノ作成ニ關スル事項

〔附覽八十七號〕



官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(經濟部)  
四 不屬於他科主管事項  
附則  
本規程自康德四年七月一日施行

●經濟部內臨時職員設置制  
(康德四年六月二十七日 勅令第二〇〇號)

改正 康德四年八月勅令第二五二號  
康德五年八月勅令第二〇三號 二月三十一日施行  
附則 康德六年三月勅令第六四號  
朕經諮詢參議府裁可經濟部內臨時職員設置制著即公布  
(國務總理、財政部大臣 署)

- 經濟部內臨時職員設置制
- 第一條 經濟部臨時增設左列職員
  - 一 從事關於稅制整理之調查事務者  
事務官 三人 應任  
技 佐 一人 應任
  - 二 從事關於國民獎券事務者  
技 官 十六人 委任  
技 士 十四人 委任
  - 三 從事關於匯兌之管理事務者  
屬 官 一人 委任  
理事官 一人 應任

四 他科ノ主管ニ屬セザル事項  
附則  
本規程ハ康德四年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

●經濟部內臨時職員設置制  
(康德四年六月二十七日 勅令第二〇〇號)

改正 康德四年八月勅令第二五二號  
康德五年八月勅令第二〇三號 二月三十一日施行  
附則 康德六年三月勅令第六四號  
朕參議府ノ諮詢ヲ經テ經濟部內臨時職員設置制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布  
セシム(國務總理、財政部大臣 署)

- 經濟部內臨時職員設置制
- 第一條 經濟部ニ臨時左ノ職員ヲ增設ス
  - 一 稅制整理ノ調査ニ關スル事務ニ從事スル者  
事務官 三人 應任  
技 佐 一人 應任
  - 二 國民獎券ニ關スル事務ニ從事スル者  
技 官 十六人 委任  
技 士 十四人 委任
  - 三 爲替管理ニ關スル事務ニ從事スル者  
屬 官 一人 委任  
理事官 一人 應任

〔附則八十七號〕

- 事務官 五人 應任  
技 佐 一人 應任  
屬 官 二十四人 委任  
技 士 二人 委任
- 四 從事關於國有財產事務者  
事務官 一人 應任  
屬 官 十四人 委任  
技 士 十人 委任 (康四第二五二號、五五二號、  
三三三號、三三三號、六四  
六四號本條修正)
- 第二條 爲令從事關於國有財產事務稅務監督及稅捐局臨時  
共增設左列職員
- 理事官 三人 應任
  - 事務官 四人 應任
  - 屬 官 八十三人 委任
  - 技 士 六人 委任 (康五第三三三號本條修正)

本令自康德四年七月一日施行  
附則 (康德四年八月十九日勅令第二五二號)  
本令自康德四年七月一日施行  
附則 (康德五年八月十六日勅令第二〇三號)  
本令自康德六年一月一日施行  
附則 (康德五年二月二十二日勅令第三三三號)  
本令自康德六年一月一日施行  
附則 (康德六年三月三十日勅令第六四號)  
本令自公布之日施行

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(經濟部)

〔附則八十七號〕

- 事務官 五人 應任  
技 佐 一人 應任  
屬 官 二十四人 委任  
技 士 二人 委任
- 四 國有財產ニ關スル事務ニ從事スル者  
事務官 一人 應任  
屬 官 十四人 委任  
技 士 十人 委任 (康四第二五二號、五五二號、  
三三三號、三三三號、六四  
六四號本條修正)
- 第二條 國有財產ニ關スル事務ニ從事セシムル爲稅務監督及稅捐局  
ニ通ジテ臨時左ノ職員ヲ增設ス
- 理事官 三人 應任
  - 事務官 四人 應任
  - 屬 官 八十三人 委任
  - 技 士 六人 委任 (康五第三三三號本條修正)

本令ハ康德四年七月一日ヨリ之ヲ施行ス  
附則 (康德四年八月十九日勅令第二五二號)  
本令ハ康德四年七月一日ヨリ之ヲ施行ス  
附則 (康德五年八月十六日勅令第二〇三號)  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
附則 (康德五年二月二十二日勅令第三三三號)  
本令ハ康德六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス  
附則 (康德六年三月三十日勅令第六四號)  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

二二五

●稅務監督署官制

(大同元年七月二日 敕令第四三號)

修正 大正元年八月敕令第七八號  
大正三年一月敕令第四號  
大正五年八月敕令第一八三號  
大正六年三月敕令第六五號  
附 則 (大正元年六月三日勅令第七四號)  
附 則 (大正三年二月二六日勅令第二〇四號)  
附 則 (大正四年八月二二日勅令第二四七號)  
附 則 (大正五年八月二二日勅令第三八五號)  
附 則 (大正六年三月三日勅令第六五號)

茲經諮詢參議府制定稅務監督署官制即公布施行此令

(國務總理 署名)

稅務監督署官制

第一條 稅務監督署屬於經濟部大臣之管理監督關於內國稅事務(第五第一八三號本條修正)  
第二條 各稅務監督署共置左列職員  
署長 五人 簡任  
副署長 五人 簡任 (其中二人得爲簡任)  
理事官 十二人 簡任  
事務官 三十一人 簡任  
技佐 二人 簡任  
屬官 三百六十人 委任  
技士 十人 委任 (第五第一八三號本條修正)  
第三條 署長承經濟部大臣之指揮監督辦理稅務監督事務

●稅務監督署官制

(大同元年七月二日 敕令第四三號)

修正 大正元年八月敕令第七八號  
大正三年一月敕令第四號  
大正五年八月敕令第一八三號  
大正六年三月敕令第六五號  
附 則 (大正元年六月三日勅令第七四號)  
附 則 (大正三年二月二六日勅令第二〇四號)  
附 則 (大正四年八月二二日勅令第二四七號)  
附 則 (大正五年八月二二日勅令第三八五號)  
附 則 (大正六年三月三日勅令第六五號)

茲經諮詢參議府諮詢參議府制定稅務監督署官制即公布施行此令

(國務總理 署名)

稅務監督署官制

第一條 稅務監督署ハ經濟部大臣ノ管理ニ屬シ内國稅ニ關スル事務ヲ監督ス(第五第一八三號本條修正)  
第二條 各稅務監督署ニ通シテ左ノ職員ヲ置ク  
署長 五人 簡任  
副署長 五人 簡任 (内二人ヲ簡任ト爲スコトヲ得)  
理事官 十二人 簡任  
事務官 三十一人 簡任  
技佐 二人 簡任  
屬官 三百六十人 委任  
技士 十人 委任 (第五第一八三號本條修正)  
第三條 署長ハ經濟部大臣ノ指揮監督ヲ承ケ署務ヲ綜理シ稅捐局長共

(朝野八十七號)

(國策八十七號)

捐局長及其他所屬徵稅機關

第四條 署長對於稅捐局長及其他所屬徵稅機關之處分應爲違背法律命令時得取消之  
第五條 署長得使部下官吏執行關於內國稅之檢查事務  
第六條 署長監督部下官吏關於稅務監督署及稅捐局委任官之進退及賞罰呈請經濟部大臣核辦  
第七條 副署長輔佐署長署長若有事故時代理其職務  
第八條 理事官及事務官承上司之命掌事務  
技佐承上司之命掌技術  
屬官承上司之指揮辦理事務  
第九條 稅務監督署之名稱、位置及管轄區域依附表(第五第一八三號本條修正)  
第十條 稅務監督署之分科規程由經濟部大臣定之(第五第一八三號本條修正)  
附 則 (大正元年六月三日勅令第七四號)  
附 則 (大正三年二月二六日勅令第二〇四號)  
附 則 (大正四年八月二二日勅令第二四七號)  
附 則 (大正五年八月二二日勅令第三八五號)  
附 則 (大正六年三月三日勅令第六五號)

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(經濟部)

二一七

ノ他所管徵稅機關ヲ指揮監督ス

第四條 署長ハ稅捐局長共ノ他所管徵稅機關ノ處分法律命令ニ違反スト認ムルトキハ之ヲ取消スコトヲ得  
第五條 署長ハ部下ノ官吏ヲシテ内國稅ニ關スル檢查ヲ行ハシムルコトヲ得  
第六條 署長ハ部下ノ官吏ヲ監督シ稅務監督署及稅捐局委任官ノ進退及賞罰ニ關シテハ經濟部大臣ニ申請ス  
第七條 副署長ハ署長ヲ輔佐シ署長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス  
第八條 理事官及事務官ハ上司ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル  
技佐ハ上司ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル  
屬官ハ上司ノ指揮ヲ承ケ事務ニ從事ス(第五第一八三號本條修正)  
第九條 稅務監督署ノ名稱、位置及管轄區域ハ別表ニ依ル(第五第一八三號本條修正)  
第十條 稅務監督署ノ分科規程ハ經濟部大臣之ヲ定ム(第五第一八三號本條修正)  
附 則 (大正元年七月一日勅令第七四號)  
附 則 (大正三年二月二六日勅令第二〇四號)  
附 則 (大正四年八月二二日勅令第二四七號)  
附 則 (大正五年八月二二日勅令第三八五號)  
附 則 (大正六年三月三日勅令第六五號)



官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(經濟部)

本令自公布日施行  
 附 則 (總務六年三月三〇日勅令第六五號)  
 本令自公布日施行

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
 附 則 (總務六年三月三〇日勅令第六五號)  
 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

稅務監督署名稱位置及管轄區域表 (第三三〇四號本表修正、四、第二四七號第二四七號本表修正)

稅務監督署名稱位置及管轄區域表 (第三三〇四號本表修正、四、第二四七號本表修正)

名稱	位置	管轄區域
奉天稅務監督署	奉天市	奉天省、錦州省、安東省、通化省、興安南省
吉林稅務監督署	吉林市	吉林省、開島省、新京特別市
濱江稅務監督署	哈爾濱特別市	濱江省、三江省、牡丹江省
龍江稅務監督署	齊齊哈爾市	龍江省、黑龍省、興安東省、興安北省
熱河稅務監督署	承德	熱河省、興安西省

〔總務八十七號〕

●稅務監督署分科規程

(大同元年七月十六日 政 府 公 報)

修正 總務元年二月一〇日  
 茲規定稅務監督署分科規程如左  
 稅務監督署分科規程  
 第一條 稅務監督署置左開六科

官制 第七章 國務院各部

第二款 國務院各部及其所管(經濟部)

●稅務監督署分科規程

(大同元年七月十六日 政 府 公 報)

修正 總務元年二月一〇日  
 茲ニ稅務監督署分科規程ヲ左ノ如ク規定ス  
 稅務監督署分科規程  
 第一條 稅務監督署ニ左ノ六科ヲ置ク

〔總務八十七號〕

總務科  
經理科  
徵權第一科  
徵權第二科  
監察科  
國有財產科

第二條 總務科掌管左開事項

- 一 關於機關事項
  - 二 關於職員之進退賞罰及身分事項
  - 三 關於署長副署長之官印及他官印之保管事項
  - 四 關於稅捐局一般監督事項
  - 五 關於文書接受發送編纂及保存事項
  - 六 關於統計及報告事項
  - 七 關於揭載公報事項
  - 八 關於通譯及通譯事項
  - 九 關於宿直事項
  - 十 關於他科主管事務中之特別重要事項
  - 十一 不屬於他科主管事項
- 第三條 經理科掌管左開事項

總務科  
經理科  
徵權第一科  
徵權第二科  
監察科  
國有財產科

第二條 總務科ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 機關ニ關スル事項
  - 二 職員ノ進退賞罰及身分ニ關スル事項
  - 三 署長印副署長印其ノ他官印ノ管守ニ關スル事項
  - 四 稅捐局ノ一般監督ニ關スル事項
  - 五 文書ノ接受發送編纂及保存ニ關スル事項
  - 六 統計及報告ニ關スル事項
  - 七 公報揭載ニ關スル事項
  - 八 通譯及通譯ニ關スル事項
  - 九 宿直ニ關スル事項
  - 十 他科ニ屬スル事務中特ニ重要ナル事項
  - 十一 他科ノ主管ニ屬セサル事項
- 第三條 經理科ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

〔附費五十二號〕

〔附費八十七號〕

- 一 關於歲入概算及決算事項
- 二 關於歲出預算及決算事項
- 三 關於會計事項
- 四 關於金錢物品之出納保管事項
- 五 關於圖書印刷物事項
- 六 關於印花票類之出納保管傳賣事項
- 七 關於票類之調製出納保管事項
- 八 關於有價證券之保管事項
- 九 關於建築物之維持及保存事項
- 十 關於庫內取納事項
- 十一 關於備入事項
- 十二 關於國有財產整理資金特別會計及投資特別會計之收入事項

第四條 徵權第一科掌管左開事項

- 一 關於第一類稅之賦課徵收及減免事項
  - 二 關於第一類稅之訴訟事項
  - 三 關於第一類稅之犯則處分事項
  - 四 關於租稅外諸收入事項
- 第五條 徵權第二科掌管左開事項

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(經濟部)

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(經濟部)

- 一 歲入概算及決算ニ關スル事項
- 二 歲出預算及決算ニ關スル事項
- 三 會計ニ關スル事項
- 四 金錢及物品ノ出納保管ニ關スル事項
- 五 圖書及印刷物ニ關スル事項
- 六 印花票類ノ出納保管及賣割ニ關スル事項
- 七 票類ノ調製出納及保管ニ關スル事項
- 八 有價證券ノ保管ニ關スル事項
- 九 建築物ノ維持及保存ニ關スル事項
- 十 庫內取納ニ關スル事項
- 十一 備入ニ關スル事項
- 十二 國有財產整理資金特別會計及投資特別會計ノ收入ニ關スル事項

第四條 徵權第一科ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 第一類稅ノ賦課徵收及減免ニ關スル事項
  - 二 第一類稅ノ訴訟ニ關スル事項
  - 三 第一類稅ノ犯則處分ニ關スル事項
  - 四 租稅外諸收入ニ關スル事項
- 第五條 徵權第二科ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル



官制 第七章 國務院各部

第二款 國務院各部及其所管(經濟部)

- 一 關於第一類稅之賦課徵收減免事項
  - 二 關於第二類稅之訴願事項
  - 三 關於第二類稅之犯則處分事項
  - 四 關於交付金及退還金事項
  - 五 關於課稅物件之試驗分析及鑑定事項
- 第六條 前二條之第一類稅及第二類稅之區分依照附表
- 第七條 監察科掌管左開事項
- 一 關於稅務事務之機密監督事項
  - 二 關於課稅物件之審查事項
  - 三 關於指導稅務官吏事項
  - 四 關於內國稅制度之調查事項
- 第七條之二 國有財產科掌管左開事務
- 一 關於雜項財產之管理及處分事項
  - 二 關於國有財產之調查及整理事項
  - 三 關於國有地處分執照發給事項
- 第八條 本令自公布之日施行
- 附 則 (康德元年二月一〇日)
- 本令自康德元年十二月一日施行
- 附表 依稅務監督學分科規程第六條類稅區分表

- 一 第二類稅ノ賦課徵收及減免ニ關スル事項
  - 二 第二類稅ノ訴願ニ關スル事項
  - 三 第二類稅ノ犯則處分ニ關スル事項
  - 四 交付金及拂戻金ニ關スル事項
  - 五 課稅物件ノ試驗分析及鑑定ニ關スル事項
- 第六條 前二條ノ第一類稅及第二類稅ノ區分ハ別表ニ依ル
- 第七條 監察科ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一 稅務事務ノ機密監督ニ關スル事項
  - 二 課稅物件ノ秘密調査ニ關スル事項
  - 三 稅務官吏ノ指導ニ關スル事項
  - 四 內國稅制度ノ調査ニ關スル事項
- 第七條ノ二 國有財產科ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一 雜種財產ノ管理及處分ニ關スル事項
  - 二 國有財產ノ調査及整理ニ關スル事項
  - 三 國有地處分執照發給ニ關スル事項
- 第八條 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 附 則 (康德元年二月一〇日)
- 本令ハ康德元年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 別 表 稅務監督學分科規程第六條ニ依ル稅類區分表

〔附則四十八號〕

〔附則六十二號〕

前項屬官之員額由稅務監督署長適宜決定之

第四條 所長承稅務監督署長之指揮監督綜理所務並指揮監督所屬職員

第五條 屬官承所長之指揮從事庶務及檢查

附 則

本令自康德四年一月一日施行

大同三年財政部令第二號關於稅務監督署出張所設置之件廢止之

附 則 (康德四年八月一日經濟部令第一二號)

本令自公布日施行

附 則 (康德四年二月二八日經濟部令第一〇四號)

本令自公布日施行

前項屬官ノ員數ハ稅務監督署長適宜之ヲ定ム

第四條 所長ハ稅務監督署長ノ指揮監督ヲ承ケ所務ヲ綜理シ所屬職員ヲ指揮監督ス

第五條 屬官ハ所長ノ指揮ヲ承ケ庶務及檢查ニ從事ス

附 則

本令ハ康德四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

大同三年財政部令第二號稅務監督署出張所設置ニ關スル件ハ之ヲ廢止ス

附 則 (康德四年八月一日經濟部令第一二號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 (康德四年二月二八日經濟部令第一〇四號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

別表 (第四・第一〇四號本表修正)

稅務監督署名	出張所名
奉天稅務監督署	通化出張所
吉林稅務監督署	安東出張所
濱江稅務監督署	錦州出張所
	延吉出張所
	牡丹江出張所
	佳木斯出張所

位 置	管轄區域
通化省通化縣通化	通化省
安東省安東市	安東省
錦州省錦州市	錦州省
間島省延吉縣延吉	間島省
牡丹江省牡丹江市	牡丹江省
三江省佳木斯市	三江省

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(經濟部)

●税捐局官制

(大同元年七月二日) 敕令第四四號

全條 讀德元年一〇月勅令第一二五號  
修正 讀德二年九月勅令第一一三號  
讀德三年二月勅令第二〇五號  
讀德四年六月勅令第一二九號 第一四三號 二月第三八六號  
讀德五年八月勅令第一八四號  
讀德六年三月勅令第六六號

茲經諮詢參議府制定税捐局官制著即公布施行此令

(國務總理 署名)

税捐局官制

第一條 税捐局屬於經濟部大臣之管理執行關於內國稅事務

第二條 各税捐局共置左列職員

- 司稅官 五十六人 薦任
- 理事官 一百零三人 薦任
- 司稅 七百三十六人 委任
- 稅佐 一千八百三十四人 委任
- 技士 三人 委任 (讀德第六六號本條修正)

[附覽八十七號]

●税捐局官制

(大同元年七月二日) 敕令第四四號

全條 讀德元年一〇月勅令第一二五號  
修正 讀德二年九月勅令第一一三號  
讀德三年二月勅令第二〇五號  
讀德四年六月勅令第一二九號 第一四三號 二月第三八六號  
讀德五年八月勅令第一八四號  
讀德六年三月勅令第六六號

茲參議府諮詢經諮詢參議府制定之公布施行此令

(國務總理 署名)

税捐局官制

第一條 税捐局ハ經濟部大臣ノ管理ニ屬シ内國稅ニ關スル事務ヲ執行ス

第二條 各税捐局ニ通ジテ左ノ職員ヲ置ク

- 司稅官 五十六人 薦任
- 理事官 百三人 薦任
- 司稅 七百三十六人 委任
- 稅佐 千八百三十四人 委任
- 技士 三人 委任 (讀德第六六號本條修正)

[附覽七十三號]

第三條 税捐局置局長以司稅官或理稅官充之

第四條 局長承稅務監督署長之指揮監督綜理局務指揮監督所屬職員

第五條 税捐局得置副局長以理稅官或司稅充之

第六條 副局長輔佐局長局長有事故時代理其職務

第七條 理稅官除爲局長或副局長者外承上司之命掌事務

司稅除爲副局長者外承上司之指揮辦理庶務及檢查

稅佐承上司之指揮辦理庶務及檢查

技士承上司之指揮從事技術 (讀五第一八四號本條修正)

第八條 税捐局之名稱、位置及管轄區域依另表 (讀五第一八四號本條修正)

第九條 經濟部大臣因令分掌税捐局事務得置税捐局分局

稅務監督署長經濟部大臣認可因令分掌税捐局或稅局

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(經濟部)

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(經濟部)

捐局分局事務得置稅捐局分所 (第五、第一八四號本條修正)

局ノ事務ヲ分掌セシムル爲稅捐局分所ヲ置クコトヲ得 (第五、第一八四號本條修正)

附 則 (續前) 第一〇月二二日勅令第二三五號

本令自公布日施行

附 則 (續前) 第一〇月二二日勅令第二三五號

附 則 (續前) 第一〇月二二日勅令第二三五號

附 則 (續前) 第一〇月二二日勅令第二三五號

附 則 (續前) 第一〇月二二日勅令第二三五號

附 則 (續前) 第一〇月二二日勅令第二三五號

附 則 (續前) 第一〇月二二日勅令第二三五號

附 則 (續前) 第一〇月二二日勅令第二三五號

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
 附 則 (續前) 第一〇月二二日勅令第二三五號  
 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
 附 則 (續前) 第一〇月二二日勅令第二三五號  
 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
 附 則 (續前) 第一〇月二二日勅令第二三五號  
 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
 附 則 (續前) 第一〇月二二日勅令第二三五號  
 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
 附 則 (續前) 第一〇月二二日勅令第二三五號  
 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
 附 則 (續前) 第一〇月二二日勅令第二三五號

(別表) (別表) 稅捐局名稱、位置及管轄區域表

稅捐局名稱	位置	管轄區域
奉天城內稅捐局	奉天省奉天市瀋陽區	奉天市之一部
奉天大和稅捐局	奉天市大和區	奉天市之一部
奉天鐵西稅捐局	奉天市鐵西區	奉天市之一部、瀋陽縣
撫順稅捐局	撫順市	撫順市、撫順縣
本溪稅捐局	本溪縣本溪湖街	本溪縣

(續前八十七號)

稅捐局名稱	位置	管轄區域
甘南稅捐局	龍江省甘南縣甘南	甘南縣、興安東省阿榮旗
訥河稅捐局	同 訥河縣訥河	訥河縣、興安東省莫力達瓦旗
嫩江稅捐局	同 嫩江縣嫩江	嫩江縣、興安東省巴彥旗
北安稅捐局	同 北安縣北安	北安縣、通北縣、克東縣、德都縣
克山稅捐局	同 克山縣克山	克山縣、依克明安旗
拜泉稅捐局	同 拜泉縣拜泉	拜泉縣
明水稅捐局	同 明水縣明水	明水縣
依安稅捐局	同 依安縣依安	依安縣
林甸稅捐局	同 林甸縣林甸	林甸縣、泰康縣之一部、杜爾伯特旗之一部
泰來稅捐局	同 泰來縣泰來	泰來縣、泰康縣之一部、杜爾伯特旗之一部
大寶稅捐局	同 大寶縣大寶	大寶縣
白城稅捐局	同 白城縣白城子	白城縣、安廣縣、鎮賚縣
洮南稅捐局	同 洮南縣洮南	洮南縣、瞻榆縣
開通稅捐局	同 開通縣開通	開通縣、瞻榆縣
黑河稅捐局	黑河省黑河	黑河省
扎蘭屯稅捐局	興安東省布特哈旗扎蘭屯	布特哈旗、喜扎嘎爾旗
海拉爾稅捐局	興安北省海拉爾縣	海拉爾縣、索倫旗、新巴爾虎左翼旗之一部、陳巴爾虎旗之一部、額爾克納右翼旗、額爾克納右翼旗
滿洲里稅捐局	興安北省滿洲里市	滿洲里市、新巴爾虎右翼旗、新巴爾虎左翼旗之一部、陳巴爾虎旗之一部

(續前八十七號)

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(經濟部)

署	監督	稅務	河	熱
承 讓 稅 捐 局	熱河省承德縣承德	承德縣、興隆縣		
灤 平 稅 捐 局	灤平縣灤平	灤平縣		
豐 寧 稅 捐 局	豐寧縣豐寧	豐寧縣		
隆 化 稅 捐 局	隆化縣隆化	隆化縣		
圍 場 稅 捐 局	圍場縣圍場	圍場縣		
赤 峰 稅 捐 局	赤峰縣赤峰	赤峰縣、烏丹縣		
建 平 稅 捐 局	建平縣建平	新惠縣、建平縣		
凌 源 稅 捐 局	建昌縣凌源	建昌縣		
平 泉 稅 捐 局	寧城縣平泉	寧城縣、寧城縣		
林 西 稅 捐 局	興安西省林西縣林西	林西縣、巴林右翼旗、巴林左翼旗		
開 魯 稅 捐 局	開魯縣開魯	開魯縣、阿魯科爾沁旗、扎魯特右翼旗、扎魯特左翼旗、奈曼旗		
經 辦 稅 捐 局	同 克什克騰旗經辦	克什克騰旗		

【附錄七十三號】

泥稅、取引稅、印花稅

第五條 經理課掌管左開事項

- 一 關於內國稅及附加稅或附加捐之徵收及稅外收入事項
- 二 關於關於滯納處分之訴訟及訴訟事項
- 三 關於退還款項及退還納還之事項
- 四 關於經費事項
- 五 關於金錢及有價證券之出納保管事項
- 六 關於物品之出納保管事項
- 七 關於照類之出納保管事項
- 八 關於登錄事項
- 九 關於統計及報告事項
- 十 關於文書事項
- 十一 關於揭載公報事項
- 十二 關於儲入事項
- 十三 關於衙內取納及宿留事項
- 十四 不屬於他課主管事項

第六條 爲便分掌關於分析鑑定事項得置鑑定課

第七條 按稅捐局之情形得置徵權課使兼掌徵權第一課及徵權

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(經濟部)

【附錄六十二號】

引稅、印花稅

第五條 經理課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 內國稅及附加稅又ハ附加捐ノ徵收及稅外收入ニ關スルコト
- 二 滯納處分ニ係ル訴訟及訴訟ニ關スルコト
- 三 拂戻及退納下戻ニ關スルコト
- 四 經費ニ關スルコト
- 五 金錢及有價證券ノ出納保管ニ關スルコト
- 六 物品ノ出納及保管ニ關スルコト
- 七 照類ノ出納保管ニ關スルコト
- 八 登錄ニ關スルコト
- 九 統計及報告ニ關スルコト
- 十 文書ニ關スルコト
- 十一 公報揭載ニ關スルコト
- 十二 儲入ニ關スルコト
- 十三 廳內取納及宿直ニ關スルコト
- 十四 他課ニ屬セザルコト

第六條 分析鑑定ニ關スル事務ヲ分掌セシムル爲メ鑑定課ヲ置クコトヲ得

第七條 稅捐局ノ狀況ニ依リ徵權課ヲ置キ徵權第一課及徵權第二課ノ

二三九

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(經濟部)

二四〇

第二課主管之事項

第八條 稅捐局辦事細則經財政部大臣認可由稅務監督署長定之

附則

本令自康維四年五月一日施行  
從前之稅捐局分課規程自本令施行之日廢止之

●稅關官制

(大同二年八月二日)  
敕令第六五號

修正 康維元年三月勅令第一一號(本條)及康維二年第一號(第四條)六月第七號  
康維二年四月勅令第二五號、六月第六〇號  
康維三年四月勅令第五六號  
康維四年六月勅令第一六九號  
康維五年八月勅令第二〇四號  
康維六年三月勅令第六七號

茲經諮詢參議府制定稅關官制著即公布此令

(國務總理、財政部總長 署)

稅關官制

第一條 稅關屬於經濟部大臣之管理掌管左列事項

- 一 關於徵收關稅、噸稅及稅關諸收入之事項
- 二 關於保稅區域及其他關稅法令上有取締必要之區域事項
- 三 關於取締輸出、輸入、轉運、積戾、經由外國運

(附覽八十七號)

事務分掌セシムルコトヲ得

第八條 稅捐局處務細則ハ財政部大臣ノ認可ヲ經テ稅務監督署長之ヲ定ム

附則

本令ハ康維四年五月一日ヨリ之ヲ施行ス  
從前ノ稅捐局分課規程ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

●稅關官制

(大同二年八月二日)  
敕令第六五號

修正 康維元年三月勅令第一一號(本條)及康維二年第一號(第四條)六月第七號  
康維二年四月勅令第二五號、六月第六〇號  
康維三年四月勅令第五六號  
康維四年六月勅令第一六九號  
康維五年八月勅令第二〇四號  
康維六年三月勅令第六七號

茲ニ參議府ノ諮詢ヲ經テ稅關官制ヲ制定シ之ヲ公布セシム

(國務總理、財政部總長 署)

稅關官制

第一條 稅關ハ經濟部大臣ノ管理ニ屬シ左ノ事項ヲ掌管ス

- 一 關稅、噸稅及稅關諸收入ノ徵收ニ關スル事項
- 二 保稅區域其ノ他ノ關稅法令上取締ヲ必要トスル區域ニ關スル事項
- 三 輸出、輸入、轉運、積戾、外國經由運送及保稅物品ノ取

(附覽八十七號)

送及保稅物品事項

- 四 關於就船舶、航空機、車輛及其他運搬具爲執行
- 上列各款所揭事項所必要之取締事項

(附覽七十五號)

縮ニ關スル事項

- 四 船舶、航空機、車輛其ノ他ノ運搬具ニ關シ前各號ニ揭ケル事項ノ執行ノ爲必要ナル取締ニ關スル事項

- 五 關於通關代辦人事項
- 六 關於處分違反關稅及噸稅法令者事項
- 七 關於貿易統計事項
- 八 關於開港港則事項
- 九 關於檢疫開港之船舶事項

- 五 通關代辦人ニ關スル事項
- 六 關稅及噸稅法令違反者處分ニ關スル事項
- 七 貿易統計ニ關スル事項
- 八 開港港則ニ關スル事項
- 九 開港ニ於ケル船舶ノ檢疫ニ關スル事項

第二條 左列各地設稅關

第二條 左ノ各地ニ稅關ヲ置ク

大連 安東 營口 奉天 新京 哈爾濱 圖們 山海關

大連 安東 營口 奉天 新京 哈爾濱 圖們 山海關

第三條 各稅關之管轄區域由經濟部大臣定之

第三條 各稅關ノ管轄區域ハ經濟部大臣之ヲ定ム

第四條 稅關共置左列職員

第四條 稅關ニ通ジテ左ノ職員ヲ置ク

- 稅關長 八人 簡任或薦任(但簡任不得過七人)
- 副稅關長 二人 簡任或薦任
- 理事官 十七人 薦任
- 技正 五人 薦任 (其中一人得爲兼任)
- 醫官 三人 薦任

- 稅關長 八人 簡任若ハ薦任(但簡任ハ七人ヲ超スルコトヲ得)
- 副稅關長 二人 簡任若ハ薦任
- 理事官 十七人 薦任
- 技正 五人 薦任 (其一人ハ兼任ト爲スコトヲ得)
- 醫官 三人 薦任

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(經濟部)

二四一



事務官 四十六人 薦任  
技 佐 四十七人 薦任  
屬 官 四百四十一人 委任  
技 士 四百三十四人 委任  
監 吏 六百五十四人 委任

徵收手續費常時派遣於保稅區域及其他關稅上為特殊處理場所之稅關官吏不在員額內 (第五五條(四)第四項、第六七條(本條中修正))

第五條 稅關長承經濟部大臣之指揮監督執行法律命令總理稅關事務但關於各部所管之事務須承各該主管部大臣之指揮監督

稅關長指揮監督所屬職員關於其進退及賞罰呈請經濟部大臣

第六條 副稅關長輔佐稅關長監督各科事務稅關長有事故時代理其職務

第七條 稅關長或稅關長及副稅關長均有事故時經濟部大臣得令理事官或事務官中一人代理稅關長之職務

第八條 理事官及事務官承上司之命掌事務

事務官 四十六人 薦任  
技 佐 四十七人 薦任  
屬 官 四百四十一人 委任  
技 士 四百三十四人 委任  
監 吏 六百五十四人 委任

手数料ヲ徴シテ保稅區域其ノ他關稅上特殊ノ取扱ヲ爲ス場所ニ常時派出スル稅關官吏ハ之ヲ定員外トス (第五五條(四)第四項、第六七條(本條中修正))

第五條 稅關長ハ經濟部大臣ノ指揮監督ヲ承ケ法律命令ヲ執行シ稅關ノ事務ヲ總理ス但シ各部所管ノ事務ニ付テハ各其ノ主管部大臣ノ指揮監督ヲ承ケ

稅關長ハ所屬職員ヲ指揮監督シ其ノ進退及賞罰ニ關シ經濟部大臣ニ具狀ス

第六條 副稅關長ハ稅關長ヲ佐ケ各科ノ事務ヲ監督シ稅關長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

第七條 稅關長又ハ稅關長及副稅關長共ニ事故アルトキハ經濟部大臣ハ理事官又ハ事務官ノ一人ヲシテ稅關長ノ職務ヲ代理セシムルコトヲ得

第八條 理事官及事務官ハ上司ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

〔舊第七十五號〕

技正及技佐承上司之命掌物品之檢查及鑑定

醫官承上司之命掌檢疫

屬官承上司之指揮辦理事務

技士承上司之指揮從事技術

監吏承上司之指揮從事關稅警察其他事務及技術

第九條 經濟部大臣得於認為必要之地設稅關分關

第十條 稅關分關置稅關分關長以理事官、事務官或屬官充之

第十一條 稅關分關長承稅關長之命掌理稅關分關事務

第十二條 稅關之分科規程由經濟部大臣定之

第十三條 稅關分關之事務分掌由稅關長經經濟部大臣認可定之

第十四條 稅關長得經經濟部大臣認可在認為必要之地設稅關分卡令其分掌稅關事務

附 則 (昭和四年六月二十七日勅令第一六九號)

本令自康德四年七月一日施行

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(經濟部)

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(經濟部)

〔舊七十五號〕

技正及技佐ハ上司ノ命ヲ承ケ物品ノ檢查及鑑定ヲ掌ル

醫官ハ上司ノ命ヲ承ケ檢疫ヲ掌ル

屬官ハ上司ノ指揮ヲ承ケ事務ニ從事ス

技士ハ上司ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス

監吏ハ上司ノ指揮ヲ承ケ關稅警察其ノ他ノ事務及技術ニ服ス

第九條 經濟部大臣ハ必要ト認ムル地ニ稅關分關ヲ置クコトヲ得

第十條 稅關分關ニ稅關分關長ヲ置キ理事官、事務官又ハ屬官ヲ以テ之ニ充ツ

第十一條 稅關分關長ハ稅關長ノ命ヲ承ケ稅關分關ノ事務ヲ掌理ス

第十二條 稅關ノ分科規程ハ經濟部大臣之ヲ定ム

第十三條 稅關分關ノ事務分掌ハ經濟部大臣ノ認可ヲ經テ稅關長之ヲ定ム

第十四條 稅關長ハ經濟部大臣ノ認可ヲ經テ必要ト認ムル地ニ稅關分卡ヲ置キ稅關ノ事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

附 則 (昭和四年六月二十七日勅令第一六九號)

本令ハ康德四年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(經濟部)

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(經濟部)

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(經濟部)

二四四

本令施行之際現任左表上欄所載之官者如不另受任命狀或指敕令時即爲被任命各該相當下欄所載之官者仍與以各該同官等俸給

本令施行之際現任左表上欄ニ掲グル官ニ在ル者別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ各其ノ相當下欄ニ掲グル官ニ同官等俸給ヲ以テ任ゼラレタルモノトス

稅關	監	查	官	稅關	事	技	官
稅關	監	視	官	稅關	務	官	佐
稅關	亦	務	官	稅關	屬	官	
稅關	監	視	官	稅關	屬	官	
稅關	查	官	佐	稅關	技	士	

附 則 (康德五年八月二十六日勅令第二〇四號)  
本令自公布日施行  
附 則 (康德六年三月三〇日勅令第六七號)  
本令自公布日施行

附 則 (康德五年八月二十六日勅令第二〇四號)  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
附 則 (康德六年三月三〇日勅令第六七號)  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●稅關分科規程

(康德四年六月三十日 政府公報)

茲將稅關分科規程修正如左

茲ニ稅關分科規程ヲ左ノ通改正ス

稅關分科規程  
第一條 稅關置稅關長官房、稅務科、鑑查科、監視科及會計科

稅關分科規程  
第一條 稅關ニ稅關長官房、稅務科、鑑查科、監視科及會計科ヲ置ク

●稅關分科規程

(康德四年六月三十日 政府公報)

[附覽八十七號]

令或章程或有害公益之行為時應速呈報經濟部大臣請示指揮

[附覽八十七號]

第七條 滿洲中央銀行監理官關於該行將來之方針或業務之改善或章程及其他規定之改正有意見時須呈請經濟部大臣核辦

シ又ハ公益ヲ害スル行為アリト認ムルトキハ速ニ經濟部大臣ニ具申シ其ノ指揮ヲ請フベシ

第七條 滿洲中央銀行監理官ハ該行將來ノ方針又ハ業務ノ改善若ハ定款其ノ他規定ノ改正ニ付意見アルトキハ之ヲ經濟部大臣ニ具申スベシ

第八條 滿洲中央銀行監理官凡關於對該行之核准及其他之命令受主管司處之合議

第八條 滿洲中央銀行監理官ハ滿洲中央銀行ニ對スル認可其ノ他ノ命令ニ關シ主任司處ノ合議ヲ受クルモノトス

第九條 本令自公布之日施行

第九條 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●財務職員訓練所官制

(康德六年三月三十日 勅令第七二二號)

除經諮詢參議府裁可財務職員訓練所官制者即公布

除參議府ノ諮詢ヲ經テ財務職員訓練所官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

財務職員訓練所官制  
第一條 財務職員訓練所屬於經濟部大臣之管理爲訓練養成財務職員之所

財務職員訓練所官制  
第一條 財務職員訓練所ハ經濟部大臣ノ管理ニ屬シ財務職員ヲ訓練養成スル所トス

第二條 財務職員訓練所置於新京特別市

第二條 財務職員訓練所ハ之ヲ新京特別市ニ置ク

第三條 財務職員訓練所置左列職員

第三條 財務職員訓練所ニ左ノ職員ヲ置ク

官制 第七章 國務院各部

第二款 國務院各部及其所管(經濟部)

二五五

所長 十一人 四任  
 主事 一人 四任  
 事務官 一人 四任  
 翻譯官 一人 四任  
 助教 四人 委任  
 屬官 二人 委任  
 譯官 八人 委任

第四條 所長以經濟部次長充之  
 所長承經濟部大臣之監督總理所務指揮監督所屬職員關於其進退賞罰昇降經濟部大臣核辦

第五條 主事以教育中一人充之  
 主事輔佐所長所長有事故時代理其職務

第六條 教官及助教承所長之命掌教育  
 事務官承所長之命掌事務  
 翻譯官承所長之命掌翻譯  
 屬官承上司之指揮辦理事務  
 譯官承上司之指揮從事翻譯

第七條 就教育中選派學監一人特使其擔當訓育及會務

第八條 關於財務職員訓練所之分科、修業年限、學科目及其他必要事項由經濟部大臣定之

附則  
 本令自公布日施行

所長 十一人 四任  
 主事 一人 四任  
 事務官 一人 四任  
 翻譯官 一人 四任  
 助教 四人 委任  
 屬官 二人 委任  
 譯官 八人 委任

第四條 所長ハ經濟部次長ヲ以テ之ニ充ツ  
 所長ハ經濟部大臣ノ監督ヲ承ケ所務ヲ總理シ所屬職員ヲ指揮監督シ其ノ進退賞罰ニ關シ經濟部大臣ニ上申ス

第五條 主事ハ教育ノ一人ヲ以テ之ニ充ツ  
 主事ハ所長ヲ輔佐シ所長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

第六條 教官及助教ハ所長ノ命ヲ承ケ教育ヲ掌ル  
 事務官ハ所長ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル  
 翻譯官ハ所長ノ命ヲ承ケ翻譯ヲ掌ル  
 屬官ハ上司ノ指揮ヲ承ケ事務ニ從事ス  
 譯官ハ上司ノ指揮ヲ承ケ翻譯ニ從事ス

第七條 教育ノ中ヨリ學監一人ヲ選補シ特ニ訓育及會務ニ當ラシム

第八條 財務職員訓練所ノ分科、修業年限、學科目其ノ他必要ナル事項ニ關シテハ經濟部大臣之ヲ定ム

附則  
 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔附則八十七號〕

財務職員養成所官制廢止之  
 本令施行之際現在左表上欄所載之官若如不另受任命狀或指授令時即爲委任命各該相當下欄所載之官若仍與以前該同官等俸給

財務職員養成所主事	財務職員訓練所主事
財務職員養成所教授	財務職員訓練所教授
財務職員養成所助教	財務職員訓練所助教
財務職員養成所學監	財務職員訓練所學監
財務職員養成所事務官	財務職員訓練所事務官
財務職員養成所翻譯官	財務職員訓練所翻譯官
財務職員養成所助教	財務職員訓練所助教
財務職員養成所屬官	財務職員訓練所屬官
財務職員養成所譯官	財務職員訓練所譯官

●權度檢定所官制

(勅令第一五九號)  
 康德四年六月二十七日

改正 康德四年八月勅令第二五九號、二月第三八八號  
 康德五年七月勅令第一四九號  
 康德六年三月勅令第七三號

朕詔諮詢參議府裁可權度檢定所官制者即公布

官制 第七軍 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(經濟部)

財務職員養成所官制ハ之ヲ廢止ス  
 本令施行之際現在左表上欄ニ掲グル官ニ在ル者別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ各其ノ相當下欄ニ掲グル官ニ同官等俸給ヲ以テ任セラレタルモノトス

財務職員養成所主事	財務職員訓練所主事
財務職員養成所教授	財務職員訓練所教授
財務職員養成所助教	財務職員訓練所助教
財務職員養成所學監	財務職員訓練所學監
財務職員養成所事務官	財務職員訓練所事務官
財務職員養成所翻譯官	財務職員訓練所翻譯官
財務職員養成所助教	財務職員訓練所助教
財務職員養成所屬官	財務職員訓練所屬官
財務職員養成所譯官	財務職員訓練所譯官

●權度檢定所官制

(勅令第一五九號)  
 康德四年六月二十七日

改正 康德四年八月勅令第二五九號、二月第三八八號  
 康德五年七月勅令第一四九號  
 康德六年三月勅令第七三號

朕詔諮詢參議府裁可權度檢定所官制ヲ裁可シ茲之ヲ公布セシム

官制 第七軍 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(經濟部)





●權度檢定所分科規程

(康維四年七月一日)  
(政 府 公 報)

茲制定權度檢定所分科規程如左

權度檢定所分科規程

第一條 權度檢定所置左列三科

庶務科

第一檢量科

第二檢量科

第二條 庶務科掌左開事項

一 關於 御容及昭信牒本事項

二 關於 人事事項

三 關於 官署印及官印之管守事項

四 關於 文書事項

五 關於 會計事項

六 關於 財產之管理事項

七 關於 度量衡原器及計量標準器之保持事項

八 關於 度量衡原器及計量標準器之型式及公差事項

九 關於 度量衡原器及計量標準器之製作、修理、輸入及販賣之許可事項

十 關於 度量衡原器及計量標準器之販賣價格事項

十一 關於 滿洲計器股份有限公司之監督事項

十二 關於 度量衡及計量之普及宣傳及取締事項

●權度檢定所分科規程

(康維四年七月一日)  
(政 府 公 報)

茲二權度檢定所分科規程ヲ左ノ通定ム

權度檢定所分科規程

第一條 權度檢定所ニ左ノ三科ヲ置ク

庶務科

第一檢量科

第二檢量科

第二條 庶務科ハ左ノ事項ヲ掌ル

一 御容及昭信牒本ニ關スル事項

二 人事ニ關スル事項

三 官署印及官印ノ管守ニ關スル事項

四 文書ニ關スル事項

五 會計ニ關スル事項

六 財產ノ管理ニ關スル事項

七 度量衡原器及計量標準器ノ保持ニ關スル事項

八 度量衡原器及計量標準器ノ型式及公差ニ關スル事項

九 度量衡原器及計量標準器ノ製作、修理、輸入及販賣ノ許可ニ關スル事項

十 度量衡原器及計量標準器ノ販賣價格ニ關スル事項

十一 滿洲計器股份有限公司ノ監督ニ關スル事項

十二 度量衡及計量ノ普及宣傳及取締ニ關スル事項

(續覽八十七號)

(續覽八十七號)

十三 關於 單本位之調查及研究事項

十四 關於 度量衡器及計量標準器之調查及研究事項

十五 關於 度量衡器及計量標準器之調整試驗事項

十六 關於 權度檢定所分所及辦事處事項

十七 關於 度量衡及計量檢定員之養成事項

十八 關於 統計事項

十九 不屬於他科主管事項

第三條 第一檢量科掌左開事項

一 關於 度量衡器之檢定事項

二 關於 度量衡器檢定用具之保持事項

三 關於 度量衡器之受託試驗事項

第四條 第二檢量科掌左開事項

一 關於 計量器之檢定事項

二 關於 計量器檢定用具之保持事項

三 關於 電氣計器檢定及試驗用標準器之調整試驗事項

四 關於 計量器之受託試驗事項

附 則

本規程自康維四年七月一日施行

●權度檢定所分所之名稱及位置

(康維六年三月三十一日)  
(經濟部令第一二二號)

茲依權度檢定所官制第六條之規定制定權度檢定所分所之名稱

官制 第七章 國務院各部

第二款 國務院各部及其所管(經濟部)

●權度檢定所分所之名稱及位置

(康維六年三月三十一日)  
(經濟部令第一二二號)

茲二權度檢定所官制第六條ノ規定ニ依リ權度檢定所分所ノ名稱及位置

官制 第七章 國務院各部

十三 單本位ノ調査及研究ニ關スル事項

十四 度量衡器及計量標準器ノ調査及研究ニ關スル事項

十五 度量衡器及計量標準器ノ調整試驗ニ關スル事項

十六 權度檢定所分所及辦事處ニ關スル事項

十七 度量衡及計量檢定員ノ養成ニ關スル事項

十八 統計ニ關スル事項

十九 他科ノ主管ニ屬セザル事項

第三條 第一檢量科ハ左ノ事項ヲ掌ル

一 度量衡器ノ檢定ニ關スル事項

二 度量衡器ノ檢定用具ノ保持ニ關スル事項

三 度量衡器ノ受託試驗ニ關スル事項

第四條 第二檢量科ハ左ノ事項ヲ掌ル

一 計量器ノ檢定ニ關スル事項

二 計量器ノ檢定用具ノ保持ニ關スル事項

三 電氣計器檢定及試驗用標準器ノ調整試驗ニ關スル事項

四 計量器ノ受託試驗ニ關スル事項

附 則

本規程ハ康維四年七月一日ヨリ之ヲ施行ス



及位置如左

權度檢定所分所之名稱及位置	名	稱	位	置
權度檢定所奉天分所			奉天省	奉天市
權度檢定所哈爾濱分所			浙江省	哈爾濱市
權度檢定所齊齊哈爾分所			龍江省	齊齊哈爾市
權度檢定所安東分所			安東省	安東市
權度檢定所瀋陽分所			間島省	瀋陽市

附則

本令自公布日施行

康德四年經濟部令第一號及康德四年經濟部令第三號廢止之

專賣總局官制

(康德四年六月二十七日 勅令第一七〇號)

修正 康德四年二月勅令第四四七號

康德五年八月勅令第一九二號

康德六年三月勅令第六八號

除參議府諮詢ヲ經テ專賣總局官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

(國務總理、財政部大臣 署)

專賣總局官制

第一條 專賣總局ハ經濟部大臣ノ管理ニ屬シ鹽、石油類、酒精、火柴、油類、酒精、火柴、硝片及麻藥事項 (康德四年四月七號本令修正)

ヲ左ノ通制定ス

權度檢定所分所之名稱及位置	名	稱	位	置
權度檢定所奉天分所			奉天省	奉天市
權度檢定所哈爾濱分所			浙江省	哈爾濱市
權度檢定所齊齊哈爾分所			龍江省	齊齊哈爾市
權度檢定所安東分所			安東省	安東市
權度檢定所瀋陽分所			間島省	瀋陽市

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

康德四年經濟部令第一號及康德四年經濟部令第三號ハ之ヲ廢止ス

專賣總局官制

(康德四年六月二十七日 勅令第一七〇號)

改正 康德四年二月勅令第四四七號

康德五年八月勅令第一九二號

康德六年三月勅令第六八號

除參議府諮詢ヲ經テ專賣總局官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

(國務總理、財政部大臣 署)

專賣總局官制

第一條 專賣總局ハ經濟部大臣ノ管理ニ屬シ鹽、石油類、酒精、火柴、阿片及麻藥ノ專賣ニ關スル事項ヲ管掌ス (康德四年四月七號本令修正)

(勅令八十七號)

(勅令八十七號)

第二條 專賣總局ニ左ノ職員ヲ置ク

局長	一人	簡任
副局長	一人	簡任
理事官	七人	簡任
技正	三人	簡任(内一人ヲ簡任ト爲スコトヲ得)
技佐	七人	簡任
事務官	十三人	簡任
屬官	八十五人	委任
技士	十七人	委任(康德四年四月七號、五月第一九二號、六月八號本令修正)

第三條 局長ハ經濟部大臣ノ指揮監督ヲ承ケ局長ヲ總理ス

局長ハ所屬職員ヲ指揮監督シ其ノ進退及賞罰ニ關シ經濟部大臣ニ具

狀ス

第四條 局長ハ專賣總局長及專賣工場長ヲ指揮監督シ專賣總局長ノ處分ニ

シテ法律命令ニ違反スト認ムルモノアルトキハ之ヲ取消スコトヲ得

第五條 副局長ハ局長ヲ佐ケ局内ノ事務ヲ監督シ局長事故アルトキハ

其ノ職務ヲ代理ス

第六條 理事官及事務官ハ上司ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

技正及技佐ハ上司ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

屬官ハ上司ノ指揮ヲ承ケ事務ニ從事ス

技士ハ上司ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス

第七條 專賣總局ノ分科規程ハ國務總理大臣ノ認可ヲ經テ經濟部大臣

之ヲ定ム

附則

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(經濟部)

二六三

第二條 專賣總局置左列職員

局長	一人	簡任
副局長	一人	簡任
理事官	七人	簡任
技正	三人	簡任(其中一人得爲簡任)
技佐	七人	簡任
事務官	十三人	簡任
屬官	八十五人	委任
技士	十七人	委任(康德四年四月七號、五月第一九二號、六月八號本令修正)

第三條 局長ハ經濟部大臣ノ指揮監督ヲ承ケ局長ヲ總理ス

局長ハ所屬職員ヲ指揮監督シ其ノ進退及賞罰ニ關シ經濟部大臣ニ具

狀ス

第四條 局長ハ專賣總局長及專賣工場長ヲ指揮監督シ專賣總局長ノ處分ニ

シテ法律命令ニ違反スト認ムルモノアルトキハ之ヲ取消スコトヲ得

第五條 副局長ハ局長ヲ佐ケ局内ノ事務ヲ監督シ局長事故アルトキハ

其ノ職務ヲ代理ス

第六條 理事官及事務官ハ上司ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

技正及技佐ハ上司ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

屬官ハ上司ノ指揮ヲ承ケ事務ニ從事ス

技士ハ上司ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス

第七條 專賣總局ノ分科規程ハ國務總理大臣ノ認可ヲ經テ經濟部大臣

之ヲ定ム

附則

本令自康德四年七月一日施行  
專賣總局官制廢止之

諸法令中「專賣總局長」改爲「專賣總局局長」

本令施行之際現在左表上欄所載之官者如不另受任命狀或指徵令時即爲被任命各該相當下欄所載之官者仍與以前各該同官等俸給

專賣總局局長	專賣總局局長
專賣總局理事	專賣總局理事
專賣總局正官	專賣總局正官
專賣總局事務官	專賣總局事務官
專賣總局技官	專賣總局技官
專賣總局佐官	專賣總局佐官
專賣總局屬官	專賣總局屬官
專賣總局技士	專賣總局技士

附則 (康德四年二月九日勅令第四七號)  
本令公布日施行

附則 (康德五年八月一日勅令第一九二號)  
本令公布日施行

附則 (康德六年三月三〇日勅令第六八號)  
本令公布日施行

●專賣總局分科規程

(康德六年三月三十日 政府公報)

●專賣總局分科規程

(康德六年三月三十日 政府公報)

[附則八十七號]

技將專賣總局分科規程修正如左

專賣總局分科規程

第一條 專賣總局置左列七科

- 庶務科
- 經理科
- 燃料科
- 酒精科
- 鹽務科
- 酒類科
- 火柴科

第二條 庶務科掌左開事項

- 一 關於御容及照牌本事項
- 二 關於機密事項
- 三 關於人事事項
- 四 關於政府職員之共濟施設事項
- 五 關於官署印及官印之管守事項
- 六 關於文書事項
- 七 關於統計及資料事項
- 八 關於企業事項
- 九 關於專賣者之事務監査及專賣總局所管特殊會社之監査事項
- 十 關於分科及處務規程事項
- 十一 不屬於他科主管事項

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(經濟部)

[附則八十七號]

技ニ專賣總局分科規程ヲ左ノ通改正ス

專賣總局分科規程

第一條 專賣總局ニ左ノ七科ヲ置ク

- 庶務科
- 經理科
- 燃料科
- 酒精科
- 鹽務科
- 酒類科
- 火柴科

第二條 庶務科ハ左ノ事項ヲ承ル

- 一 御容及照牌本ニ關スル事項
- 二 機密ニ關スル事項
- 三 人事ニ關スル事項
- 四 政府職員ノ共濟施設ニ關スル事項
- 五 官署印及官印ノ管守ニ關スル事項
- 六 文書ニ關スル事項
- 七 統計及資料ニ關スル事項
- 八 企業ニ關スル事項
- 九 專賣者ノ事務監査及專賣總局所管特殊會社ノ監査ニ關スル事項
- 十 分科及處務規程ニ關スル事項
- 十一 他科ノ主管ニ屬セザル事項

第三條 經理科掌左開事項

- 一 關於預算及決算事項
- 二 關於收入及支出事項
- 三 關於資本事項
- 四 關於用度、營繕及租地租房事項
- 五 關於專賣取締職員之服制事項
- 六 關於會計之監督事項
- 七 關於財產之監理事項
- 八 關於局保管之現款、有價證券及證據書類事項
- 九 關於不屬於他科主管之契約事項
- 十 關於廳舍之管理及廳內之取締事項
- 十一 關於備人之取締事項
- 十二 關於主管官舍事項
- 十三 關於政府職員共濟施設之會計事項

第四條 燃料科掌左開事項

- 一 關於煤油類之備給計畫事項
- 二 關於煤油類之製造、收納及購買事項
- 三 關於煤油類之輸入及輸出事項
- 四 關於煤油類之配給、運送、售與及銷售事項
- 五 關於煤油類之出納及保管事項
- 六 關於煤油類之貯藏命令事項
- 七 關於煤油類之製造人及銷售人之許可、指定、取消及監督事項

[附覽八十七號]

第三條 經理科ハ左ノ事項ヲ掌ル

- 一 豫算及決算ニ關スル事項
- 二 收入及支出ニ關スル事項
- 三 資本ニ關スル事項
- 四 用度、營繕及借地借家ニ關スル事項
- 五 專賣取締職員ノ服制ニ關スル事項
- 六 會計ノ監督ニ關スル事項
- 七 財產ノ監理ニ關スル事項
- 八 局保管ノ現金、有價證券及證據書類ニ關スル事項
- 九 他科ノ主管ニ屬セザル契約ニ關スル事項
- 十 廳舍ノ管理及廳内ノ取締ニ關スル事項
- 十一 備人ノ取締ニ關スル事項
- 十二 所管官舍ニ關スル事項
- 十三 政府職員共濟施設ノ會計ニ關スル事項

第四條 燃料科ハ左ノ事項ヲ掌ル

- 一 石油類ノ備給計畫ニ關スル事項
- 二 石油類ノ製造、收納及購買ニ關スル事項
- 三 石油類ノ輸入及輸出ニ關スル事項
- 四 石油類ノ配給、運送、賣下及賣捌ニ關スル事項
- 五 石油類ノ出納及保管ニ關スル事項
- 六 石油類ノ貯藏命令ニ關スル事項
- 七 石油類ノ製造人及賣捌人ノ許可、指定、取消及監督ニ關スル事項

[附覽八十七號]

[附覽八十七號]

八 石油類元卸賣人ノ販賣區域ニ關スル事項

- 九 石油類賣下代金ノ延納ニ關スル事項
- 十 滿洲石油株式會社ノ監督ニ關スル事項
- 十一 石油類ノ檢查及規格ニ關スル事項
- 十二 石油類ノ試驗及研究ニ關スル事項
- 十三 石油類製造業ノ指導及助長ニ關スル事項
- 十四 石油類以外ノ礦物性油ニ關スル事項
- 十五 石油類專賣法令違反行為ノ取締ニ關スル事項

第五條 酒精科ハ左ノ事項ヲ掌ル

- 一 酒精ノ備給計畫ニ關スル事項
- 二 酒精ノ製造、收納及購買ニ關スル事項
- 三 酒精ノ輸入及輸出ニ關スル事項
- 四 酒精ノ配給、運送、賣下及賣捌ニ關スル事項
- 五 酒精ノ出納及保管ニ關スル事項
- 六 酒精ノ貯藏命令ニ關スル事項
- 七 酒精ノ製造人及賣捌人ノ許可、指定、取消及監督ニ關スル事項

八 酒精賣下代金ノ延納ニ關スル事項

- 九 酒精ノ檢查及規格ニ關スル事項
- 十 酒精ノ試驗及研究ニ關スル事項
- 十一 酒精製造業ノ指導及助長ニ關スル事項
- 十二 酒精專賣法令違反行為ノ取締ニ關スル事項

第六條 管燃料ハ左ノ事項ヲ掌ル

- 一 酒精ノ備給計畫ニ關スル事項
- 二 酒精ノ製造、收納及購買ニ關スル事項
- 三 酒精ノ輸入及輸出ニ關スル事項
- 四 酒精ノ配給、運送、賣下及賣捌ニ關スル事項
- 五 酒精ノ出納及保管ニ關スル事項
- 六 酒精ノ貯藏命令ニ關スル事項
- 七 酒精ノ製造人及賣捌人ノ許可、指定、取消及監督ニ關スル事項
- 八 酒精賣下代金ノ延納ニ關スル事項
- 九 酒精ノ檢查及規格ニ關スル事項
- 十 酒精ノ試驗及研究ニ關スル事項
- 十一 酒精製造業ノ指導及助長ニ關スル事項
- 十二 酒精專賣法令違反行為ノ取締ニ關スル事項

第六條 管燃料掌左開事項

- 一 關於煤油類總批發人販賣區域事項
- 二 關於煤油類銷售與價格延納事項
- 三 關於滿洲石油株式會社之監督事項
- 四 關於煤油類之檢查及規格事項
- 五 關於煤油類之試驗及研究事項
- 六 關於煤油類製造業之指導及助長事項
- 七 關於煤油類以外之礦物性油事項
- 八 關於煤油類專賣法令違反行為之取締事項

第五條 酒精科掌左開事項

- 一 關於酒精之備給計畫事項
- 二 關於酒精之製造、收納及購買事項
- 三 關於酒精之輸入及輸出事項
- 四 關於酒精之配給、運送、售與及銷售事項
- 五 關於酒精之出納及保管事項
- 六 關於酒精之貯藏命令事項
- 七 關於酒精之製造人及銷售人之許可、指定、取消及監督事項
- 八 關於酒精與價格之延納事項
- 九 關於酒精之檢查及規格事項
- 十 關於酒精之試驗及研究事項
- 十一 關於酒精製造業之指導及助長事項
- 十二 關於酒精專賣法令違反行為之取締事項

第六條 管燃料掌左開事項

- 一 關於煤油類總批發人販賣區域事項
- 二 關於煤油類銷售與價格延納事項
- 三 關於滿洲石油株式會社之監督事項
- 四 關於煤油類之檢查及規格事項
- 五 關於煤油類之試驗及研究事項
- 六 關於煤油類製造業之指導及助長事項
- 七 關於煤油類以外之礦物性油事項
- 八 關於煤油類專賣法令違反行為之取締事項

- 一 關於鴉片及麻藥之需給計畫事項
- 二 關於鴉片栽培區域及面積之指定事項
- 三 關於鴉片之試作或栽培之指導及監督事項
- 四 關於鴉片及麻藥之製造及收納事項
- 五 關於鴉片及麻藥之輸入及輸出事項
- 六 關於鴉片及麻藥之配給、運送、售與及販賣事項
- 七 關於鴉片及麻藥之出納及保管事項
- 八 關於鴉片吸食器具之製造、輸入及販賣並沒收鴉片吸食器具之售與及保管事項
- 九 關於鴉片吸食器具製造人及鴉片收買人之指定、取消及監督事項
- 十 關於鴉片吸食器具製造人之販賣區域事項
- 十一 關於鴉片吸食器具製造人及鴉片收買人之保證金事項
- 十二 關於鴉片及麻藥之鑑定及規格事項
- 十三 關於鴉片及麻藥之試驗及研究事項
- 十四 關於鴉片及麻藥工場之管理事項
- 十五 關於鴉片及麻藥法令違反行為之取締事項
- 十六 關於查獲私土及查獲鴉片吸食器具之法定公示事項
- 十七 關於鴉片取締獎勵金及特別賞與事項

第七條 國務科掌左開事項

- 一 關於鴉片之需給計畫事項
- 二 關於鴉片之製造及收納事項
- 三 關於鴉片之輸入及輸出事項

〔附費八十七號〕

- 一 阿片及麻藥ノ需給計畫ニ關スル事項
- 二 鴉片ノ栽培區域及面積ノ指定ニ關スル事項
- 三 鴉片ノ試作並ニ栽培ノ指導及監督ニ關スル事項
- 四 阿片及麻藥ノ製造及收納ニ關スル事項
- 五 阿片及麻藥ノ輸入及輸出ニ關スル事項
- 六 阿片及麻藥ノ配給、運送、賣下及販賣ニ關スル事項
- 七 阿片及麻藥ノ出納及保管ニ關スル事項
- 八 阿片吸食器具ノ製造、輸入及販賣並ニ沒收阿片吸食器具ノ賣下及保管ニ關スル事項
- 九 阿片吸食器具製造人及阿片收買人ノ指定、取消及監督ニ關スル事項
- 十 阿片吸食器具製造人ノ販賣區域ニ關スル事項
- 十一 阿片吸食器具製造人及阿片收買人ノ保證金ニ關スル事項
- 十二 阿片及麻藥ノ鑑定及規格ニ關スル事項
- 十三 阿片及麻藥ノ試驗及研究ニ關スル事項
- 十四 阿片及麻藥工場ノ管理ニ關スル事項
- 十五 阿片及麻藥法令違反行為ノ取締ニ關スル事項
- 十六 查獲私土及查獲阿片吸食器具ノ法定公示ニ關スル事項
- 十七 阿片取締獎勵金及特別賞與ニ關スル事項

第七條 國務科ハ左ノ事項ヲ掌ル

- 一 鴉片ノ需給計畫ニ關スル事項
- 二 鴉片ノ製造及收納ニ關スル事項
- 三 鴉片ノ輸入及輸出ニ關スル事項

〔附費八十七號〕

- 四 關於鴉片之配給、運送、售與及銷售事項
- 五 關於鴉片之出納及保管事項
- 六 關於鴉片製造人及鴉片收買人之許可、指定、取消及監督事項
- 七 關於鴉片與價額之延納事項
- 八 關於鴉片之改良、指導及助長事項
- 九 關於滿洲藥業株式會社之監督事項
- 十 關於鴉片之鑑定及規格事項
- 十一 關於鴉片之試驗及研究事項
- 十二 關於鴉片工場之管理事項
- 十三 關於鴉片法令違反行為之取締事項
- 十四 關於鴉片取締獎勵金及特別賞與事項

第八條 火柴科掌左開事項

- 一 關於火柴之需給計畫事項
- 二 關於火柴之製造及收納事項
- 三 關於火柴輸入及輸出事項
- 四 關於火柴之配給、運送、售與及銷售事項
- 五 關於火柴之出納及保管事項
- 六 關於火柴之貯藏命令事項
- 七 關於火柴製造人及火柴銷售人之許可、指定、取消及監督事項
- 八 關於火柴銷售人之販賣區域事項
- 九 關於火柴售與價額之延納事項

- 四 鴉片ノ配給、運送、賣下及販賣ニ關スル事項
- 五 鴉片ノ出納及保管ニ關スル事項
- 六 鴉片製造人及鴉片收買人ノ許可、指定、取消及監督ニ關スル事項
- 七 鴉片下代金ノ延納ニ關スル事項
- 八 鴉片ノ改良、指導及助長ニ關スル事項
- 九 滿洲藥業株式會社ノ監督ニ關スル事項
- 十 鴉片ノ鑑定及規格ニ關スル事項
- 十一 鴉片ノ試驗及研究ニ關スル事項
- 十二 鴉片工場ノ管理ニ關スル事項
- 十三 鴉片法令違反行為ノ取締ニ關スル事項
- 十四 鴉片取締獎勵金及特別賞與ニ關スル事項

第八條 火柴科ハ左ノ事項ヲ掌ル

- 一 火柴ノ需給計畫ニ關スル事項
- 二 火柴ノ製造及收納ニ關スル事項
- 三 火柴ノ輸入及輸出ニ關スル事項
- 四 火柴ノ配給、運送、賣下及販賣ニ關スル事項
- 五 火柴ノ出納及保管ニ關スル事項
- 六 火柴ノ貯藏命令ニ關スル事項
- 七 火柴製造人及火柴銷售人ノ許可、指定、取消及監督ニ關スル事項
- 八 火柴銷售人ノ販賣區域ニ關スル事項
- 九 火柴賣下代金ノ延納ニ關スル事項



- 十 關於火柴之檢查及規格事項
- 十一 關於火柴之試驗及研究事項
- 十二 關於火柴專賣法令違反行為之取締事項

附則

本規程自康德六年三月三十日施行  
康德五年一月一日施行之專賣總局分科規程廢止之

●專賣署官制

(康德二年四月一日 勅令第二八號)

- 修正 康德二年九月勅令第一一五號
- 康德三年八月勅令第一三二號、二月第二〇七號
- 康德四年六月勅令第一四三號、第一七〇號、二月第三八七號、第四四八號
- 康德五年八月勅令第一九三號
- 康德六年三月勅令第六九號

朕經諮詢參議府裁可專賣署官制著即公布

(國務總理、財政部大臣 署)

專賣署官制

第一條 專賣署屬於經濟部大臣之管理執行關於專賣鹽、煤油類、酒精、火柴、鴉片及麻藥事務 (康三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百)

第二條 專賣署共置左列職員

(朝覽八十七號)

專賣署官制

第一條 專賣署ハ經濟部大臣ノ管理ニ屬シ鹽、石油類、酒精、火柴、阿片及麻藥ノ專賣ニ關スル事務ヲ執行ス (康三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百)

第二條 專賣署ニ通ジテ左ノ職員ヲ置ク

(朝覽八十七號)

(朝覽八十七號)

- 署長 十四人 薦任 (内二人ヲ簡任トナスコトヲ得)
- 副署長 十四人 薦任 (内二人ヲ簡任トナスコトヲ得)
- 理事官 七人 薦任
- 事務官 六十人 薦任
- 技佐 三人 薦任
- 屬官 千六百六十三人 委任 (康六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百)
- 技士 五十四人 委任 (康六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百)

署長 十四人 薦任 (其中二人得爲簡任)  
副署長 十四人 薦任 (其中二人得爲簡任)  
理事官 七人 薦任  
事務官 六十人 薦任  
技佐 三人 薦任  
屬官 一千一百六十三人 委任 (康六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百)  
技士 五十四人 委任 (康六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百)

第三條 署長承專賣總局長之指揮監督綜理事務指揮監督所屬官吏 (康四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百)

第四條 副署長輔佐署長署長有事故時代理其職務

第五條 理事官及事務官承上司之命掌理事務 (康三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百)

第六條 屬官承上司之命辦理庶務

第七條 技士承上司之命從事技術

第八條 副除 (康五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百)

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(經濟部)



第九條 專賣署之名稱、位置及管轄區域由經濟部大臣定之

經濟部大臣爲使分掌專賣事務得於必要之地設專賣局 (第三〇七號本條修正)

第十條 專賣局置局長以事務官或屬官充之

局長承上司之命掌理局務 (第三〇七號本條修正)

第十一條 刪除 (第三〇七號)

第十二條 專賣署之分科由專賣總局長定之 (第四〇一七〇號本條修正)

附則

本令自公布日施行

本令施行時現任左表上欄所列之官在專賣署辦事者如未另受任命狀及指敕令者視爲以同等官俸給仍任其相當下欄所列之官

專賣公署 事務官	專賣署 事務官
專賣公署 屬官	專賣署 屬官
專賣公署 技士	專賣署 技士

附則 (第三〇九二〇日勅令第一一五號)

第九條 專賣署ノ名稱、位置及管轄區域ハ經濟部大臣之ヲ定ム

經濟部大臣ハ專賣署ノ事務ヲ分掌セシムル爲必要ト認ムル地ニ專賣局ヲ設クルコトヲ得 (第三〇七號本條修正)

第十條 專賣局ニ局長ヲ置キ事務官又ハ屬官ヲ以テ之ニ充ツ局長ハ上司ノ命ヲ承ケ局務ヲ掌ル (第三〇七號本條修正)

第十一條 刪除 (第三〇七號)

第十二條 專賣署ノ分科ハ專賣總局長之ヲ定ム (第四〇一七〇號本條修正)

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ左表ノ上欄ニ掲グル官ニ在ル者ニシテ專賣署勤務ノ者別ニ附令ヲ發セラレザルトキハ各其ノ相當下欄ニ掲グル官ニ同官等俸給ヲ以テ任セラレタルモノトス

專賣公署 事務官	專賣署 事務官
專賣公署 屬官	專賣署 屬官
專賣公署 技士	專賣署 技士

附則 (第三〇九二〇日勅令第一一五號)

〔附錄八十七號〕

本令自公布日施行

附則 (第三〇九二〇日勅令第一一五號)

本令自公布日施行

附則 (第三〇九二〇日勅令第一一五號)

本令施行時現任左表上欄所列之官在專賣署辦事者如未另受任命狀及指敕令者視爲以同等官俸給仍任其相當下欄所列之官

鹽務署及權運署 事務官	專賣署 事務官
鹽務署及權運署 技佐	專賣署 技佐
鹽務署及權運署 屬官	專賣署 屬官
鹽務署及權運署 技士	專賣署 技士

附則 (第三〇九二〇日勅令第一一五號)

本令自公布日施行

附則 (第三〇九二〇日勅令第一一五號)

本令自公布日施行

附則 (第三〇九二〇日勅令第一一五號)

本令自公布日施行

●專賣署分科規程

(昭和六年三月十六日)

專賣總局訓令第一〇三號

外務省官制第二〇三號

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(經濟部)

〔附錄八十七號〕

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (第三〇九二〇日勅令第一一五號)

本令自公布日施行

附則 (第三〇九二〇日勅令第一一五號)

本令施行時現任左表上欄所列之官在專賣署辦事者如未另受任命狀及指敕令者視爲以同等官俸給仍任其相當下欄所列之官

鹽務署及權運署 事務官	專賣署 事務官
鹽務署及權運署 技佐	專賣署 技佐
鹽務署及權運署 屬官	專賣署 屬官
鹽務署及權運署 技士	專賣署 技士

附則 (第三〇九二〇日勅令第一一五號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (第三〇九二〇日勅令第一一五號)

本令自公布日施行

附則 (第三〇九二〇日勅令第一一五號)

本令自公布日施行

●專賣署分科規程

(昭和六年三月十六日)

專賣總局訓令第一〇三號

外務省官制第二〇三號

第一條 專賣署置左列四科

- 一 庶務科
- 二 收納科
- 三 販賣科
- 四 監視科

第二條 庶務科掌管左列事項

- 一 關於機密及人事事項
- 二 關於官印管守事項
- 三 關於文書接受、發送及編纂、保存並圖書之保管事項
- 四 關於統計及報告事項
- 五 關於資源調查事項
- 六 關於廳中取締、值宿及警備事項
- 七 關於預算、決算及收入支出事項
- 八 關於金庫、有價證券及證書之出納、保管事項
- 九 關於共濟及義務貯金事項
- 十 關於資本事項
- 十一 關於專賣品及其他物品之出納、保管事項
- 十二 關於專賣品之回送計費事項
- 十三 關於專賣品之運送契約及其他契約事項
- 十四 關於專賣品之包裝作業事項
- 十五 關於專賣品之運送外事項
- 十六 關於用度、營繕及租地租房事項
- 十七 關於國有財產事項

第一條 專賣署ニ左ノ四科ヲ置ク

- 一 庶務科
- 二 收納科
- 三 販賣科
- 四 監視科

第二條 庶務科ハ左ノ事項ヲ掌ル

- 一 機密及人事ニ關スル事項
- 二 官印管守ニ關スル事項
- 三 文書ノ接受、發送及編纂、保存並圖書ノ保管ニ關スル事項
- 四 統計及報告ニ關スル事項
- 五 資源調査ニ關スル事項
- 六 廳中取締、宿直及警備ニ關スル事項
- 七 預算、決算及收入、支出ニ關スル事項
- 八 金庫、有價證券及證書ノ出納、保管ニ關スル事項
- 九 共濟及義務貯金ニ關スル事項
- 十 資本ニ關スル事項
- 十一 專賣品及其他ノ物品ノ出納、保管ニ關スル事項
- 十二 專賣品ノ回送計費ニ關スル事項
- 十三 專賣品ノ運送契約及其他ノ契約ニ關スル事項
- 十四 專賣品ノ包裝作業ニ關スル事項
- 十五 專賣品ノ運送ニ關スル外事項
- 十六 用度、營繕及借地借家ニ關スル事項
- 十七 國有財產ニ關スル事項

〔附錄八十七號〕

〔附錄八十七號〕

十八 不屬他科主管事項

第三條 收納科掌管左列事項

- 一 關於專賣品之生產及收納計費事項
- 二 關於專賣品之檢查、鑑定、收納及輸入事項
- 三 關於專賣品之生產指導及試驗研究事項
- 四 關於專賣品製造人及製造人組織之組合事項
- 五 關於專賣品之運送外事項
- 六 關於專賣品之運送外事項

十八 他科ノ主管ニ屬セザル事項

- 一 專賣品ノ生產及收納計費ニ關スル事項
- 二 專賣品ノ生產及收納計費ニ關スル事項
- 三 專賣品ノ檢查、鑑定、收納及輸入ニ關スル事項
- 四 專賣品ノ生產指導及試驗研究ニ關スル事項
- 五 專賣品製造人及製造人ノ組織ニ關スル事項
- 六 專賣品ノ運送ニ關スル外事項

第四條 販賣科掌管左列事項

- 一 關於專賣品之售與計費事項
- 二 關於專賣品之售與輸出事項
- 三 關於專賣品銷售人及銷售人組織之組合事項
- 四 關於專賣品售與價金之延納事項
- 五 關於專賣品之商況調查事項

- 一 專賣品ノ賣下計費ニ關スル事項
- 二 專賣品ノ賣下及輸出ニ關スル事項
- 三 專賣品銷售人及賣捌人ノ組織ニ關スル事項
- 四 專賣品賣下代金ノ延納ニ關スル事項
- 五 專賣品ノ商況調査ニ關スル事項

第五條 監視科掌管左列事項

- 一 關於違反專賣法令及其他關係法令之取締事項
- 二 關於專賣取締事實事項
- 三 關於取締職員之指導事項

- 一 專賣法令及其他關係法令違反取締ニ關スル事項
- 二 專賣取締事實ニ關スル事項
- 三 取締職員ノ指導ニ關スル事項

第六條 附則

通化、四平街、延吉、牡丹江及佳木斯各專賣署不置收納科  
奉天、四平街、新京、吉林、牡丹江、佳木斯、哈爾濱及齊齊哈爾各專賣署不置監視科

通化、四平街、延吉、牡丹江及佳木斯各專賣署ニハ收納科ヲ置カズ  
奉天、四平街、新京、吉林、牡丹江、佳木斯、哈爾濱及齊齊哈爾各專賣署ニハ監視科ヲ置カズ

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(經濟部)

二七六〇七七一三三三三

屬於前項二科之主管事項由販賣科掌管之  
本規程自康德六年四月一日施行  
康德三年十二月二十八日專賣總務訓令總字第二一〇四號廢止之

前項二科ノ主管ニ屬スル事項ハ販賣科ニ於テ掌ル  
本規程ハ康德六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス  
康德三年十二月二十八日專賣總務訓令總字第二一〇四號ハ之ヲ廢止ス

〔附費八十七號〕

承 讓 專 賣 場	
國場專賣局	國 場
赤嶽專賣局	赤 嶽
林西專賣局	林 西
大板專賣局	大 板
經湖專賣局	經 湖
建平專賣局	建 平
豐寧專賣局	豐 寧

〔附費八十二號〕

附 則

本令自康德四年一月一日施行  
康德二年財政部令第八號廢止之

- 本令自康德四年三月一〇日財政部令第一二號
- 本令自公布日施行 (康德四年五月三十一日財政部令第二六號)
- 本令自公布日施行 (康德四年八月六日經濟部令第一〇號)
- 本令自康德五年一月一日起施行 (康德四年二月七日經濟部令第五四號)
- 本令自康德五年一月一日起施行 (康德四年二月八日經濟部令第八九號)
- 本令自康德五年一月一日起施行 (康德四年二月八日經濟部令第九〇號)
- 本令自康德五年一月一日起施行 (康德四年二月八日經濟部令第九一號)
- 本令自康德五年一月一日起施行 (康德四年二月八日經濟部令第九二號)
- 本令自康德五年一月一日起施行 (康德四年二月八日經濟部令第九三號)
- 本令自康德五年一月一日起施行 (康德四年二月八日經濟部令第九四號)
- 本令自康德五年一月一日起施行 (康德四年二月八日經濟部令第九五號)
- 本令自康德五年一月一日起施行 (康德四年二月八日經濟部令第九六號)
- 本令自康德五年一月一日起施行 (康德四年二月八日經濟部令第九七號)
- 本令自康德五年一月一日起施行 (康德四年二月八日經濟部令第九八號)
- 本令自康德五年一月一日起施行 (康德四年二月八日經濟部令第九九號)
- 本令自康德五年一月一日起施行 (康德四年二月八日經濟部令第一〇〇號)

附 則

本令ハ康德四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス  
康德二年財政部令第八號ハ之ヲ廢止ス

- 本令ハ康德四年三月一〇日財政部令第一二號
- 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス (康德四年五月三十一日財政部令第二六號)
- 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス (康德四年八月六日經濟部令第一〇號)
- 本令ハ康德五年一月一日起之ヲ施行ス (康德四年二月七日經濟部令第五四號)
- 本令ハ康德五年一月一日起之ヲ施行ス (康德四年二月八日經濟部令第八九號)
- 本令ハ康德五年一月一日起之ヲ施行ス (康德四年二月八日經濟部令第九〇號)
- 本令ハ康德五年一月一日起之ヲ施行ス (康德四年二月八日經濟部令第九一號)
- 本令ハ康德五年一月一日起之ヲ施行ス (康德四年二月八日經濟部令第九二號)
- 本令ハ康德五年一月一日起之ヲ施行ス (康德四年二月八日經濟部令第九三號)
- 本令ハ康德五年一月一日起之ヲ施行ス (康德四年二月八日經濟部令第九四號)
- 本令ハ康德五年一月一日起之ヲ施行ス (康德四年二月八日經濟部令第九五號)
- 本令ハ康德五年一月一日起之ヲ施行ス (康德四年二月八日經濟部令第九六號)
- 本令ハ康德五年一月一日起之ヲ施行ス (康德四年二月八日經濟部令第九七號)
- 本令ハ康德五年一月一日起之ヲ施行ス (康德四年二月八日經濟部令第九八號)
- 本令ハ康德五年一月一日起之ヲ施行ス (康德四年二月八日經濟部令第九九號)
- 本令ハ康德五年一月一日起之ヲ施行ス (康德四年二月八日經濟部令第一〇〇號)

官 制

第七章 國務院各部

第二款

國務院各部及其所管(經濟部)

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(經濟部)

二九二

附 則 (廣德五年六月三日經海部令第二七號)
本令自廣德五年六月十六日施行
附 則 (廣德五年八月十九日經海部令第三三五號)
本令自廣德五年八月十六日施行
附 則 (廣德五年二月二日經海部令第五〇號)
本令自公布日施行

專賣工廠官制

(廣德二年四月一日)
勅令第二九號

修正 廣德四年六月勅令第一四三號、第一七〇號、二月四日四九號

廣德五年八月勅令第一九四號、二月二日四五五號

廣德六年三月勅令第七〇號

朕經諮詢參議府裁可專賣工廠官制著即公布

(國務總理、財政部大臣)
(副)

專賣工廠官制

第一條 專賣工廠屬於經濟部大臣之管理掌管關於鴉片及麻藥之製造及試驗並藥局方酒精之製造及適合證明之事項

第二條 專賣工廠左列職員

- 廠長 一人 聘任
事務官 一人 聘任
技佐 四人 聘任
屬官 十四人 委任

(附覽八十七號)

專賣工廠官制

(廣德二年四月一日)
勅令第二九號

修正 廣德四年六月勅令第一四三號、第一七〇號、二月四日四九號

廣德五年八月勅令第一九四號、二月二日四五五號

廣德六年三月勅令第七〇號

朕參議府諮詢參議府裁可專賣工廠官制著即公布

(國務總理、財政部大臣)
(副)

專賣工廠官制

第一條 專賣工廠ハ經濟部大臣ノ管理ニ屬シ阿片及麻藥ノ製造及試驗並ニ藥局方酒精ノ製造及適合證明ニ關スル事項ヲ掌ル

第二條 專賣工廠ニ左ノ職員ヲ置ク

- 廠長 一人 聘任
事務官 一人 聘任
技佐 四人 聘任
屬官 十四人 委任

(附覽八十七號)

技 士 二十六人 委任(廣德四年四月九號、五月九號)
第三條 廠長ハ專賣總局長ノ指揮監督ヲ承ケ廠務ヲ綜理シ所屬官吏ヲ指揮監督ス
第四條 事務官ハ上司ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル
第五條 技佐ハ上司ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル
第六條 屬官ハ上司ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス
第七條 技士ハ上司ノ命ヲ承ケ技術ニ從事ス
第八條 專賣工廠ノ分科ハ專賣總局長之ヲ定ム

附 則

本令公布日施行
本令施行時現在左表上欄所列之官在工廠辦事者如未另受任命狀及指發令者爲以同官等俸給仍任相當下欄所列之官

Table with 4 columns: 專賣公署事務官, 專賣工廠事務官, 專賣公署技佐, 專賣工廠技佐, 專賣公署屬官, 專賣工廠屬官, 專賣公署技士, 專賣工廠技士

附 則 (廣德四年二月九日勅令第四四九號)
本令公布日施行
附 則 (廣德五年八月二日勅令第一九四號)
本令公布日施行

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(經濟部)

二九三

技 士 二十六人 委任(廣德四年四月九號、五月九號)
第三條 廠長ハ專賣總局長ノ指揮監督ヲ承ケ廠務ヲ綜理シ所屬官吏ヲ指揮監督ス
第四條 事務官ハ上司ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル
第五條 技佐ハ上司ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル
第六條 屬官ハ上司ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス
第七條 技士ハ上司ノ命ヲ承ケ技術ニ從事ス
第八條 專賣工廠ノ分科ハ專賣總局長之ヲ定ム

附 則

本令公布日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行ノ際現在左表ノ上欄ニ掲グル官ニ在ル者ニシテ工廠勤務ノ者別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ各其ノ相當下欄ニ掲グル官ニ同官等俸給ヲ以テセラレタルモノトス

Table with 4 columns: 專賣公署事務官, 專賣工廠事務官, 專賣公署技佐, 專賣工廠技佐, 專賣公署屬官, 專賣工廠屬官, 專賣公署技士, 專賣工廠技士

附 則 (廣德四年二月九日勅令第四四九號)
本令公布日ヨリ之ヲ施行ス
附 則 (廣德五年八月二日勅令第一九四號)
本令公布日ヨリ之ヲ施行ス

二九三

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(經濟部)

二九四

附 則 (康德元年一月七日勅令第二五五號)

本令自公布日施行

附 則 (康德元年三月三〇日勅令第七〇號)

本令自公布日施行

關於專賣工廠位置之件

(康德二年四月二十日 財政部令第九號)

茲制定關於專賣工廠位置之件如左

關於專賣工廠位置之件

專賣工廠置之於奉天市

附 則

本令自康德二年四月一日施行

大同三年財政部令第八號中關於工廠之部分廢止之

專賣工廠ノ位置ニ關スル件

(康德二年四月二十日 財政部令第九號)

茲ニ專賣工廠ノ位置ニ關スル件ヲ左ノ通制定ス

專賣工廠ノ位置ニ關スル件

專賣工廠ハ之ヲ奉天市ニ置ク

附 則

本令ハ康德二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

大同三年財政部令第八號中工場ニ關スル部分ハ之ヲ廢止ス

依照康德元年勅令第一百五十號之評價委員會官制

(康德元年十二月二十一日 勅令第一八九號)

修正 康德元年六月勅令第一四三號

除諮詢參議府外可依照康德元年勅令第一百五十號之評價委員會官制即公布(國務總理、財政部大臣)

依照康德元年勅令第一百五十號之評價委員會官制

第一條 評價委員會屬於經濟部大臣之管理決議依康德元年勅

康德元年勅令第五百十號ニ依ル評價委員會官制

(康德元年十二月二十一日 勅令第一八九號)

改正 康德元年六月勅令第一四三號

除參議府ノ諮詢ヲ經テ康德元年勅令第五百十號ニ依ル評價委員會官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム(國務總理、財政部大臣)

康德元年勅令第五百十號ニ依ル評價委員會官制

第一條 評價委員會ハ經濟部大臣ノ管理ニ屬シ康德元年勅令第五百十

(勅令八十七號)

(勅令八十七號)

令第一百五十號第一條政府所收買之煤油類既在營業者設備之範圍及其收買價格

第二條 委員會以會長一人、副會長一人及委員十五人以內組織之

除前項之員額外如有必要時得置臨時委員

第三條 會長以經濟部大臣充之

副會長以經濟部次長充之

委員由經濟部大臣就左列者中任命或委囑之

一 有關係之各官署高等官

二 有學識經驗者

第四條 會長兼經理職務

會長有事故時副會長代理其職務如會長副會長俱有事故時由經濟部大臣所指定之委員代理其職務

第五條 委員會非有委員總數三分之一以上出席不得開會

委員會議事以出席委員之過半數決定之如可否同數時即由會長決定之

第六條 委員會置幹事若干人由經濟部大臣任命或委囑之

幹事承會長之指揮辦理庶務

附 則

本令自公布日施行

本令自公布日施行

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(經濟部)

二九四之一

第一條 依リ政府ノ買收スル石油類既在營業者ノ設備ノ範圍及買收價格ヲ決議ス

第二條 委員會ハ會長一名、副會長一名及委員十五名以內ヲ以テ之ヲ組織ス

前項定員ノ外必要アルトキハ臨時委員ヲ置クコトヲ得

第三條 會長ハ經濟部大臣ヲ以テ之ニ充ツ

副會長ハ經濟部次長ヲ以テ之ニ充ツ

委員ハ左ニ掲グル者ノ中ヨリ經濟部大臣之ヲ命ジ又ハ委囑ス

一 關係各官署高等官

二 學識經驗アル者

第四條 會長ハ職務ヲ兼理ス

會長有事故アルトキハ副會長、會長副會長共ニ事故アルトキハ經濟部大臣ノ指定スル委員其ノ職務ヲ代理ス

第五條 委員會ハ委員ノ三分ノ一以上出席スルニ非ザレバ會議ヲ開クコトヲ得ズ

委員會ノ議事ハ出席委員ノ多數ニ依リ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ會長之ヲ決ス

第六條 委員會ニ幹事若干名ヲ置キ經濟部大臣之ヲ命ジ又ハ委囑ス

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス



鹽業試驗場官制

(康熈六年三月三十日 勅令第七一號)

朕經諮詢參議府設可鹽業試驗場官制著即公布 (國務總理、經濟部大臣 署)

鹽業試驗場官制

第一條 鹽業試驗場屬於經濟部大臣之管理掌管左列事項

一 關於鹽製造及其副產物利用之試驗及調査

二 試驗鹽田之經營

三 關於鹽製造及其副產物利用之指導

第二條 鹽業試驗場設於奉天省蓋平縣

第三條 鹽業試驗場置左列職員

場長 一人 團任

技正 二人 團任

技佐 三人 委任

技士 七人 委任

場長以技正充之

第四條 場長承專賣總局長之指揮監督經理場務指揮監督所屬職員

第五條 技正及技佐承上司之命掌技術

第六條 屬官承上司之指揮辦理事務

附則

技士承上司之指揮從事技術

第六條 鹽業試驗場之分科規程由專賣總局長定之

附則

本令自公布日施行

鹽業試驗場官制

(康熈六年三月三十日 勅令第七一號)

朕參議府ノ諮詢ヲ經テ鹽業試驗場官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム (國務總理、經濟部大臣 署)

鹽業試驗場官制

第一條 鹽業試驗場ハ經濟部大臣ノ管理ニ屬シ左ノ事項ヲ掌ル

一 鹽ノ製造及其ノ副產物ノ利用ニ關スル試驗及調査

二 試驗鹽田ノ經營

三 鹽ノ製造及其ノ副產物ノ利用ニ關スル指導

第二條 鹽業試驗場ハ之ヲ奉天省蓋平縣ニ置ク

第三條 鹽業試驗場ニ左ノ職員ヲ置ク

場長 一人 團任

技正 二人 團任

技佐 三人 委任

技士 七人 委任

場長ハ技正ヲ以テ之ニ充ツ

第四條 場長ハ專賣總局長ノ指揮監督ヲ承ケ場務ヲ經理シ所屬職員ヲ指揮監督ス

第五條 技正及技佐ハ上司ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第六條 屬官ハ上司ノ指揮ヲ承ケ事務ニ從事ス

附則

技士ハ上司ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス

第六條 鹽業試驗場ノ分科規程ハ專賣總局長之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

[附則八十七號]

[附則八十七號]

第六項 交通部及其所管

●交通部分科規程

(康德四年七月一日 政府公報)

茲制定交通部分科規程如左

交通部分科規程

第一條 大臣官房置左列四科

- 人事科
- 文書科
- 會計科
- 資料科

第二條 人事科掌左開事項

- 一 關於 御容及詔書本事項
- 二 關於交際及儀禮事項
- 三 關於職員之任免進退及身分事項
- 四 關於職員之規律及賞罰事項
- 五 關於職員之給與及待遇事項
- 六 關於職員之負薪事項

第六項 交通部及其所管

●交通部分科規程

(康德四年七月一日 政府公報)

茲ニ交通部分科規程ヲ左ノ通定ム

交通部分科規程

第一條 大臣官房ニ左ノ四科ヲ置ク

- 人事科
- 文書科
- 會計科
- 資料科

第二條 人事科ハ左ノ事項ヲ掌ル

- 一 御容及詔書本ニ關スル事項
- 二 交際及儀禮ニ關スル事項
- 三 職員ノ任免進退及身分ニ關スル事項
- 四 職員ノ規律及賞罰ニ關スル事項
- 五 職員ノ給與及待遇ニ關スル事項
- 六 職員ノ定員ニ關スル事項

(續號四十八號)

●交通部內臨時職員設置制

(康德四年六月二十七日 勅令第二〇一號)

改正 康德四年一〇月勅令第二八九號、二月廿三九一號

康德五年三月勅令第二九號、六月第一四一號、一月廿二六三號

康德六年二月勅令第三四號、三月廿五四號

朕經諮詢參議府裁可交通部內臨時職員設置制著即公布

(國務總理、民政部、交通部大臣)

ヲ公布セシム(國務總理、民政部、交通部大臣)

交通部內臨時職員設置制

第一條 交通部ニ臨時左ノ職員ヲ增置ス

- 一 交通調査ニ關スル事務ニ從事スル者
  - 事務官 二人 薦任
  - 技佐 二人 薦任
  - 屬官 四人 委任
  - 技士 四人 委任
- 二 特殊道路建設事業ニ關スル事務ニ從事スル者
  - 理事官 三人 薦任
  - 技正 六人 薦任 (内三人ヲ簡任ト爲スコトヲ得)
  - 技佐 十七人 薦任
  - 屬官 三十四人 委任
  - 技士 百三人 委任
- 三 水ノ調査ニ關スル事務ニ從事スル者
  - 技佐 一人 薦任

●交通部內臨時職員設置制

(康德四年六月二十七日 勅令第二〇一號)

改正 康德四年一〇月勅令第二八九號、二月廿三九一號

康德五年三月勅令第二九號、六月第一四一號、一月廿二六三號

康德六年二月勅令第三四號、三月廿五四號

朕參議府ノ諮詢ヲ經テ交通部內臨時職員設置制ヲ裁可シ茲ニ之

ヲ公布セシム(國務總理、民政部、交通部大臣)

交通部內臨時職員設置制

第一條 交通部ニ臨時左ノ職員ヲ增置ス

- 一 交通調査ニ關スル事務ニ從事スル者
  - 事務官 二人 薦任
  - 技佐 二人 薦任
  - 屬官 四人 委任
  - 技士 四人 委任
- 二 特殊道路建設事業ニ關スル事務ニ從事スル者
  - 理事官 三人 薦任
  - 技正 六人 薦任 (内三人ヲ簡任ト爲スコトヲ得)
  - 技佐 十七人 薦任
  - 屬官 三十四人 委任
  - 技士 百三人 委任
- 三 水ノ調査ニ關スル事務ニ從事スル者
  - 技佐 一人 薦任

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(交通部)

屬官 三人 委任  
技士 二十人 委任  
技佐 五人 委任  
技士 十五人 委任

四 從事關於特殊道路之調查事務者

五 從事關於治水之調查及直轄治水工程之施行事務者

理事官 一人 薦任  
技正 七人 薦任 (其中二人得爲簡任)  
事務官 五人 薦任  
技佐 二十三人 薦任  
屬官 二十六人 委任  
技士 六十四人 委任

六 從事關於一般道路之調查事務者

技佐 二人 薦任  
屬官 二人 委任  
技士 九人 委任

七 從事關於船員之養成事務者

技佐 一人 薦任  
屬官 一人 委任  
技士 二人 委任

八 從事關於航空基本施設事務者

技佐 八人 薦任  
屬官 二十四人 委任  
技士 七十四人 委任 (第六節三四號、五號、六號、七號)

屬官 三人 委任  
技士 二十人 委任  
技佐 五人 委任  
技士 十五人 委任

四 特殊道路ノ調査ニ關スル事務ニ從事スル者

五 治水調査及直轄治水工事ノ施行ニ關スル事務ニ從事スル者

理事官 一人 薦任  
技正 七人 薦任 (内二人ヲ簡任ト爲スコトヲ得)  
事務官 五人 薦任  
技佐 二十三人 薦任  
屬官 二十六人 委任  
技士 六十四人 委任

六 一般道路ノ調査ニ關スル事務ニ從事スル者

技佐 二人 薦任  
屬官 二人 委任  
技士 九人 委任

七 船員ノ養成ニ關スル事務ニ從事スル者

技佐 一人 薦任  
屬官 一人 委任  
技士 二人 委任

八 航空基本施設ニ關スル事務ニ從事スル者

技佐 八人 薦任  
屬官 二十四人 委任  
技士 七十四人 委任 (第六節三四號、五號、六號、七號)

〔附覽八十七號〕

第二條 爲令從事軍事郵便事務局臨時增置左列職員

事務官 一人 薦任  
屬官 一百人 委任 (第五節一四一號本條修正、五、第二六三號本條修正)

第三條 爲令從事關於通信之監視事務局管理當局臨時增置左列職員

事務官 一人 薦任  
屬官 二十二名 委任  
技士 三人 委任 (第六節三四號本條修正)

第四條 爲令從事關於郵件之檢閱事務局臨時增置左列職員

屬官 七人 委任 (第四節二八九號本條追加)

第五條 爲令從事航路之改修事務局臨時增置左列職員

技正 一人 薦任  
技佐 四人 薦任  
屬官 七人 委任

〔附覽八十五號〕

第二條 軍事郵便事務局ニ從事セシムル爲郵政局ニ臨時左ノ職員ヲ增置ス

事務官 一人 薦任  
屬官 百人 委任 (第五節一四一號本條修正、五、第二六三號本條修正)

第三條 通信ノ監視ニ關スル事務ニ從事セシムル爲郵政管理局ニ臨時左ノ職員ヲ增置ス

事務官 一人 薦任  
屬官 二十二名 委任  
技士 三人 委任 (第六節三四號本條修正)

第四條 郵便物ノ檢閱ニ關スル事務ニ從事セシムル爲郵局ニ臨時左ノ職員ヲ增置ス

屬官 七人 委任 (第四節二八九號本條追加)

第五條 航路改修ノ事務ニ從事セシムル爲航務局ニ通ジテ臨時左ノ職員ヲ增置ス

技正 一人 薦任  
技佐 四人 薦任  
屬官 七人 委任



技士 二十八人 委任 (附第四二八九號本條修正、六、第三四號本條修正)

附則

本令自康德四年七月一日施行

- 附則 (康德四年一月二日勅令第二八九號) 本令公布日施行
- 附則 (康德四年二月一日勅令第三九一號) 本令自康德四年十二月一日施行
- 附則 (康德五年三月一日勅令第二九二號) 本令公布日施行
- 附則 (康德五年六月三日勅令第一四一號) 本令公布日施行
- 附則 (康德五年一月一日勅令第二六三號) 本令公布日施行
- 附則 (康德六年二月二日勅令第三四四號) 本令公布日施行
- 附則 (康德六年三月一日勅令第三三三號) 本令公布日施行

技士 二十八人 委任 (附第四二八九號本條修正、六、第三四號本條修正)

附則

本令ハ康德四年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

- 附則 (康德四年一月二日勅令第二八九號) 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 附則 (康德四年二月一日勅令第三九一號) 本令ハ康德四年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 附則 (康德五年三月一日勅令第二九二號) 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 附則 (康德五年六月三日勅令第一四一號) 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 附則 (康德五年一月一日勅令第二六三號) 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 附則 (康德六年二月二日勅令第三四四號) 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 附則 (康德六年三月一日勅令第三三三號) 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔附則八十七號〕

●土木建設處之位置、名稱及管轄區域

(康德四年七月一日 交通部令第三九號)

修正 康德四年一月二日勅令第五六號  
茲依康德四年七月勅令第一百七十六號規定土木建設處之位置、名稱及管轄區域如左

名稱	位置	管轄區域
交通部牡丹江土木建設處	牡丹江	瀋江省、牡丹江省(除東寧縣之一部)三江省
交通部齊齊哈爾土木建設處	齊齊哈爾	龍江省、黑龍省、興安東省、興安北省、興安南省、科爾沁右翼前旗、科爾沁右翼後旗、扎賚特旗
交通部圖們土木建設處	圖們	開島省、牡丹江省(東寧縣之一部)通化省(長白縣)

附則

本令自公布之日施行之  
康德四年二月民政部令第九號廢止之

〔附則六十六號〕

●土木建設處ノ位置、名稱及管轄區域

(康德四年七月一日 交通部令第三九號)

修正 康德四年一月二日勅令第五六號  
茲依康德四年七月勅令第一百七十六號ニ依リ土木建設處ノ位置、名稱及管轄區域ヲ左ノ通定ム

名稱	位置	管轄區域
交通部牡丹江土木建設處	牡丹江	瀋江省、牡丹江省(東寧縣ノ一部ヲ除ク)三江省
交通部齊齊哈爾土木建設處	齊齊哈爾	龍江省、黑龍省、興安東省、興安北省、興安南省、科爾沁右翼前旗、科爾沁右翼後旗、扎賚特旗
交通部圖們土木建設處	圖們	開島省、牡丹江省(東寧縣ノ一部)通化省(長白縣)

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
康德四年二月民政部令第九號ハ之ヲ廢止ス



●治水調査處及治水工程處設置之件

(康總五年三月十四日) 交通部令第六號

茲依國務院各部官制第五十七條規定設置治水調査處及治水工程處如左

交通部遼河治水調査處  
交通部彰武治水工程處

位 置  
新京特別市  
錦州省彰武街

本令自康總五年三月十五日施行

本令ハ康總五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

●治水調査處及治水工程處設置ノ件

(康總五年三月十四日) 交通部令第六號

茲ニ國務院各部官制第五十七條ノ規定ニ依リ治水調査處及治水工程處ヲ左ノ通設置ス

名 稱  
交通部遼河治水調査處  
交通部彰武治水工程處

附 則  
本令ハ康總五年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

●治水工程處設置之件

(康總六年三月二日) 交通部令第三號

茲依國務院各部官制第五十七條之規定將治水工程處設置如左

名 稱 位 置  
交通部營口治水工程處 奉天省營口市  
交通部錦州治水工程處 錦州省錦州市

附 則  
本令自康總六年三月一日施行

●治水工程處設置ノ件

(康總六年三月二日) 交通部令第三號

茲ニ國務院各部官制第五十七條ノ規定ニ依リ治水工程處ヲ左ノ通設置ス

名 稱 位 置  
交通部營口治水工程處 奉天省營口市  
交通部錦州治水工程處 錦州省錦州市

附 則  
本令ハ康總六年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

(續覽八十七號)

(續覽八十七號)

●中央觀象臺官制

(大同二年十一月一日) 教令第八五號

修正 康總元年三月勅令第一一號(奉天法務部官制第二號第一號參照)六月廿八日號、九月第一一二號  
康總二年二月勅令第一五八號  
康總三年五月勅令第五八號  
康總四年五月勅令第一一六號、六月第一六一號、一〇月第三〇三號、十一月第三九〇號  
康總五年五月勅令第八三號、二月第三三八號  
康總六年三月勅令第四九號

茲經諮詢參議府制定中央觀象臺官制著即公布此令

(國務總理、實業部總長) 署

中央觀象臺官制

第一條 中央觀象臺屬於交通部大臣之管理掌理左列各項事務併

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(交通部)

三四四之一

●中央觀象臺官制

(大同二年十一月一日) 教令第八五號

修正 康總元年三月勅令第一一號(奉天法務部官制第二號第一號參照)六月廿八日號、九月第一一二號  
康總二年二月勅令第一五八號  
康總三年五月勅令第五八號  
康總四年五月勅令第一一六號、五月第一六一號、一〇月第三〇三號、十一月第三九〇號  
康總五年五月勅令第八三號、二月第三三八號  
康總六年三月勅令第四九號

茲ニ參議府ノ諮詢ヲ經テ中央觀象臺官制ヲ制定シ之ヲ公布セシム

(國務總理、實業部總長) 署

中央觀象臺官制

第一條 中央觀象臺ハ交通部大臣ノ管理ニ屬シ左ノ事務ヲ掌リ併セテ



官制 第七章 國務院各部

第二款 國務院各部及其所管(交通部)

三四四之二

統關於氣象天文事務

- 一 一般氣象之觀測、調査、報告及研究
- 二 天氣預報及暴風警報
- 三 高層氣象之觀測及調査並航空路天氣之預測
- 四 關於產業氣象之調査及研究
- 五 地震之觀測及調査
- 六 地磁氣及空中電氣之觀測及調査
- 七 潮汐及河川水位之調査及研究
- 八 氣象機械、天文機位地區機之研究、調査及檢定
- 九 氣象觀測
- 十 曆書編製
- 十一 時間之測定、報時之鐘錶之檢定
- 十二 觀象技術員之養成 (廣四第一六一號、五三三三八號本條中修正)

第二款 中央觀象臺設於新嘉

交通部大臣因令分掌中央觀象臺事務得於必要地方設地方觀象臺及地方觀象所 (廣四第一六一號、五三三三八號本條中修正)

第三款 中央觀象臺左列職員

- 臺長 簡任
- 技正 二人 簡任
- 事務官 一人 簡任
- 技佐 十七人 簡任

(編覽八十七號)

氣象天文ニ關スル事務ヲ統轄ス

- 一 一般氣象ノ觀測、調査、報告及研究
- 二 天氣預報及暴風警報
- 三 高層氣象ノ觀測及調査並航空路ノ天氣預測
- 四 產業氣象ニ關スル調査及研究
- 五 地震ノ觀測及調査
- 六 地磁氣及空中電氣ノ觀測及調査
- 七 潮汐及河川水位ノ調査及研究
- 八 氣象器械、天文器械及地磁器械ノ研究、調査及檢定
- 九 氣象觀測
- 十 曆書編製
- 十一 時ノ測定、報時及時計ノ檢定
- 十二 觀象技術員ノ養成 (廣四第一六一號、五三三三八號本條中修正)

第二款 中央觀象臺ハ之ヲ新嘉ニ置ク

交通部大臣ハ中央觀象臺ノ事務ヲ分掌セシムル爲必要ナル地方ニ地方觀象臺及地方觀象所ヲ設クト得 (廣四第一六一號、五三三三八號本條中修正)

第三款 中央觀象臺ニ左ノ職員ヲ置ク

- 臺長 簡任
- 技正 二人 簡任
- 事務官 一人 簡任
- 技佐 十七人 簡任

(編覽八十七號)

屬官 十八人 委任

技士 二百零三人 委任 (廣六第四九號本條修正)

第四條 中央觀象臺長承交通部大臣之指揮監督總理中央觀象臺之事務  
中央觀象臺長指揮監督所屬職員關於其進退賞罰呈請交通部大臣核辦 (廣六第四九號本條修正)

第五條 技正及技佐承長官之命掌管技術 (廣六第八二號本條修正)

第六條 屬官承長官之命掌管事務 (廣六第四九號本條修正)

第七條 地方觀象臺設臺長以技佐充任 (廣六第八二號本條修正)

第八條 地方觀象臺長或地方觀象所長承中央觀象臺長之指揮監督掌地方觀象臺或地方觀象所之事務

第九條 關於中央觀象臺之分掌事務由交通部大臣定之 (廣四第一六一號、五三三三八號本條修正)

附 則

本官制公布之日施行

附 則 (廣德元年六月三〇日勅令第八二號)

本令自廣德元年七月一日起施行

附 則 (廣德元年九月八日勅令第一二二號)

本令自公布日施行

官制 第七章 國務院各部

第二款 國務院各部及其所管(交通部)

三四五

屬官 十八人 委任

技士 二百三人 委任 (廣六第四九號本條修正)

第四條 中央觀象臺長ハ交通部大臣ノ指揮監督ヲ承ケ中央觀象臺ノ事務ヲ總理ス  
中央觀象臺長ハ所屬職員ヲ指揮監督シ其ノ進退賞罰ニ關シ交通部大臣ニ具狀ス (廣六第四九號本條修正)

第五條 技正及技佐ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル (廣六第八二號本條修正)

第六條 屬官ハ上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル (廣六第四九號本條修正)

第七條 地方觀象臺ニ臺長ヲ置キ技佐ヲ以テ之ニ充ツ (廣六第八二號本條修正)

第八條 地方觀象臺長又ハ地方觀象所長ハ中央觀象臺長ノ指揮監督ヲ承ケ地方觀象臺又ハ地方觀象所ノ事務ヲ掌ル

第九條 中央觀象臺ノ事務分掌ハ交通部大臣之ヲ定ム (廣四第一六一號、五三三三八號本條修正)

附 則

本官制ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 (廣德元年六月三〇日勅令第八二號)

本令ハ廣德元年七月一日起之ヲ施行ス

附 則 (廣德元年九月八日勅令第一二二號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(交通部)

三四六

- 附 則 (康德二年二月二十六日勅令第一五八號)  
本令自公布日施行
- 附 則 (康德三年五月一日勅令第五九號)  
本令自公布日施行
- 附 則 (康德四年五月二十七日勅令第一六六號)  
本令自公布日施行
- 附 則 (康德四年六月二十七日勅令第一六六號)  
本令自公布日施行
- 附 則 (康德四年七月一日勅令第一六六號)  
本令自公布日施行
- 附 則 (康德四年十月二十二日勅令第三〇三號)  
本令自公布日施行
- 附 則 (康德四年十二月一日勅令第三九〇號)  
本令自公布日施行
- 附 則 (康德五年五月五日勅令第八三三號)  
本令自公布日施行
- 附 則 (康德五年二月二十四日勅令第三三八號)  
本令自公布日施行
- 附 則 (康德六年三月九日勅令第四九號)  
本令自公布日施行

- 附 則 (康德二年二月二十六日勅令第一五八號)  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 附 則 (康德三年五月一日勅令第五九號)  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 附 則 (康德四年五月二十七日勅令第一六六號)  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 附 則 (康德四年六月二十七日勅令第一六六號)  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 附 則 (康德四年七月一日勅令第一六六號)  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 附 則 (康德四年十月二十二日勅令第三〇三號)  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 附 則 (康德四年十二月一日勅令第三九〇號)  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 附 則 (康德五年五月五日勅令第八三三號)  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 附 則 (康德五年二月二十四日勅令第三三八號)  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 附 則 (康德六年三月九日勅令第四九號)  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔附號八十七號〕

〔附號八十七號〕

●中央觀象臺分科規程

(康德元年九月八日 政府公報)

- 修正 康德三年五月二日  
茲制定中央觀象臺分科規程如左
- 中央觀象臺分科規程
- 第一條 中央觀象臺置左列五科
- 庶務科
  - 預報科
  - 觀測科
  - 調査科
  - 天文科
- 第二條 庶務科掌左記事項
- 官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(交通部)

●中央觀象臺分科規程

(康德元年九月八日 政府公報)

- 修正 康德三年五月二日  
中央觀象臺分科規程ヲ左ノ通定ム
- 中央觀象臺分科規程
- 第一條 中央觀象臺ニ左ノ五科ヲ置ク
- 庶務科
  - 預報科
  - 觀測科
  - 調査科
  - 天文科
- 第二條 庶務科ハ左ノ事項ヲ掌ル

三四七



- 一 關於官印之管守事項
  - 二 關於人事事項
  - 三 關於文書事項
  - 四 關於預算決算及收入支出事項
  - 五 關於財產管理事項
  - 六 關於用度及營繕事項
  - 七 關於地方觀衆及地方觀衆所事項
  - 八 關於觀衆技術員養成事項
  - 九 不屬他科主管事項
- 第三條 雜報科掌左列事項
- 一 關於天氣預報及暴風警報事項
  - 二 關於氣象電報事項
  - 三 關於航空氣象事項
- 第三條之二 觀測科掌左列事項
- 一 關於新設地方之氣象及地震觀測事項
  - 二 關於高層氣象之觀測及調查事項
  - 三 關於全國地震之調查事項
  - 四 關於地磁氣空中電氣輻射河川水位及潮汐之觀測事項
  - 五 關於觀測器械之保管及檢定事項
  - 六 關於觀測器械之保管及檢定事項
- 第四條 調查科掌左列事項
- 一 關於觀測結果之統計及報告事項
  - 二 關於調查研究及報告事項

- 一 官印ノ管守ニ關スル事項
  - 二 人事ニ關スル事項
  - 三 文書ニ關スル事項
  - 四 預算決算及收入支出ニ關スル事項
  - 五 財產管理ニ關スル事項
  - 六 用度及營繕ニ關スル事項
  - 七 地方觀衆及地方觀衆所ニ關スル事項
  - 八 觀衆技術員養成ニ關スル事項
  - 九 他科ノ主管ニ屬セザル事項
- 第三條 雜報科ハ左ノ事項ヲ掌ル
- 一 天氣預報及暴風警報ニ關スル事項
  - 二 氣象電報ニ關スル事項
  - 三 航空氣象ニ關スル事項
- 第三條ノ二 觀測科ハ左ノ事項ヲ掌ル
- 一 新設地方ノ氣象及地震觀測ニ關スル事項
  - 二 高層氣象ノ觀測及調査ニ關スル事項
  - 三 全國地震ノ調査ニ關スル事項
  - 四 地磁氣空中電氣輻射河川ノ水位及潮汐ノ觀測ニ關スル事項
  - 五 觀測器械ノ保管及檢定ニ關スル事項
  - 六 觀測器械ノ保管及檢定ニ關スル事項
- 第四條 調査科ハ左ノ事項ヲ掌ル
- 一 觀測結果ノ統計及報告ニ關スル事項
  - 二 調査研究及報告ニ關スル事項

〔附錄八十二號〕

●航空所官制

(康維六年三月九日 勅令第四八號)

除國務院參議府裁可航空所官制著即公布 (國務總理、交通部大臣)

- 航空所官制
- 第一條 航空所屬於交通部大臣之管理掌管左列事項
- 一 關於飛行場(包含附屬施設)航空、航法施設及航空專用電氣通信施設之管理事項
  - 二 關於航空機之航行保安事項
  - 三 關於空難之救護及航空事故之調查事項
- 第二條 航空所共置左列職員
- 所長 事務官 四人 廳任  
技佐 三人 廳任  
屬官 三十三人 委任  
技士 四十人 委任
- 所長以事務官或技佐充之
- 第三條 所長承交通部大臣之指揮監督掌理所務指揮監督所屬職員
- 第四條 事務官承上司之命掌事務
- 技佐承上司之命掌技術

〔附錄八十七號〕

●航空所官制

(康維六年三月九日 勅令第四八號)

除參議府ノ諮詢ヲ經テ航空所官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム (國務總理、交通部大臣)

- 航空所官制
- 第一條 航空所ハ交通部大臣ノ管理ニ屬シ左ノ事項ヲ掌ル
- 一 飛行場(附屬施設ヲ含ム)航空法施設及航空專用電氣通信施設ノ管理ニ關スル事項
  - 二 航空機ノ航行保安ニ關スル事項
  - 三 空難ノ救護及航空事故ノ調査ニ關スル事項
- 第二條 航空所ニ通ジテ左ノ職員ヲ置ク
- 所長 事務官 四人 廳任  
技佐 三人 廳任  
屬官 三十三人 委任  
技士 四十人 委任
- 所長ハ事務官又ハ技佐ヲ以テ之ニ充ツ
- 第三條 所長ハ交通部大臣ノ指揮監督ヲ承ケ所務ヲ掌理シ所屬職員ヲ指揮監督ス
- 第四條 事務官ハ上司ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル
- 技佐ハ上司ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

屬官承上司之指揮辦理事務  
 技士承上司之指揮從事技術  
 第五條 航空所之名稱、位置及管轄區域由交通部大臣定之  
 第六條 交通部大臣爲使分掌航空所之事務得於必要之地置其支所  
 第七條 支所置支所長以屬官或技士充之  
 支所長承所長之指揮監督支所之事務

本令自康維六年四月一日施行

●航空所之名稱、位置及管轄區域

(康維六年三月三十一日) 交通部令第四號

茲依航空所官制第五條之規定航空所之名稱、位置及管轄區域制定如左

名稱	位置	管轄區域
新京航空所	新京特別市	新京特別市
奉天航空所	奉天省奉天市	奉天省之内 康平縣、遼源縣、雙山縣、梨樹縣、昌圖縣
齊齊哈爾航空所	龍江省齊齊哈爾市	龍江省之内 齊齊哈爾市、龍江縣、景星縣、甘南縣、富裕縣、訥河縣、嫩江縣、德都縣、龍鎮縣、通北縣、克東縣、克山縣、拜泉縣、明水縣、依安縣、林甸縣、泰康縣、大慶縣、杜爾伯特旗、依克明安旗
奉天航空所	奉天省奉天市	奉天省之内 興安省之内 興安西省之内 興安東省之内 興安北省之内 興安南省之内 興安西省之内 興安東省之内 興安北省之内 興安南省之内
齊齊哈爾航空所	龍江省齊齊哈爾市	龍江省之内 齊齊哈爾市、龍江縣、景星縣、甘南縣、富裕縣、訥河縣、嫩江縣、德都縣、龍鎮縣、通北縣、克東縣、克山縣、拜泉縣、明水縣、依安縣、林甸縣、泰康縣、大慶縣、杜爾伯特旗、依克明安旗
承德航空所	熱河省承德街	熱河省之内 巴林右翼旗、克什克騰旗、林西縣
哈爾濱航空所	濱江省哈爾濱市	濱江省之内 佳木斯市、樺川縣、富錦縣、寶清縣、依蘭縣、方正縣、通河縣、鳳山縣、湯原縣、蘿北縣、綏濱縣、同江縣、撫遠縣
佳木斯航空所	三江省佳木斯市	三江省之内 佳木斯市、樺川縣、富錦縣、寶清縣、依蘭縣、方正縣、通河縣、鳳山縣、湯原縣、蘿北縣、綏濱縣、同江縣、撫遠縣
牡丹江航空所	牡丹江省牡丹江市	牡丹江省之内 勃利縣、饒河縣

本令自康維六年四月一日施行

官制 第七章 國務院各部 第二款 國務院各部及其所管(交通部)

本令自康維六年四月一日より之ヲ施行ス

[朝報八十七號]

[朝報八十七號]

●航空所ノ名稱、位置及管轄區域

(康維六年三月三十一日) 交通部令第四號

茲ニ航空所官制第五條ノ規定ニ依リ航空所ノ名稱、位置及管轄區域ヲ左ノ通制定ス

名稱	位置	管轄區域
新京航空所	新京特別市	新京特別市
奉天航空所	奉天省之内	康平縣、遼源縣、雙山縣、梨樹縣、昌圖縣
齊齊哈爾航空所	龍江省之内	齊齊哈爾市、龍江縣、景星縣、甘南縣、富裕縣、訥河縣、嫩江縣、德都縣、龍鎮縣、通北縣、克東縣、克山縣、拜泉縣、明水縣、依安縣、林甸縣、泰康縣、大慶縣、杜爾伯特旗、依克明安旗
承德航空所	熱河省之内	巴林右翼旗、克什克騰旗、林西縣
哈爾濱航空所	濱江省之内	佳木斯市、樺川縣、富錦縣、寶清縣、依蘭縣、方正縣、通河縣、鳳山縣、湯原縣、蘿北縣、綏濱縣、同江縣、撫遠縣
佳木斯航空所	三江省之内	佳木斯市、樺川縣、富錦縣、寶清縣、依蘭縣、方正縣、通河縣、鳳山縣、湯原縣、蘿北縣、綏濱縣、同江縣、撫遠縣
牡丹江航空所	牡丹江省之内	勃利縣、饒河縣



●地方土地委員會處務規則

(康德五年四月六日 院令第七號)

茲將地方土地委員會處務規則制定如左

地方土地委員會處務規則

第一條 關於地方土地委員會之事務於置有該委員會之省所在之地籍整理局分局(在新京特別市爲地籍整理局)處理之

第二條 委員會受依土地審定法第八條第二項之地籍整理局長之諮問時委員長應即決定開會日期通知該管分局長及委員

第三條 委員會之會期由地籍整理局長定之

第四條 委員長在會期中無論何時得對該管地籍整理局分局長就土地審定法施行令第十九條之文件請求其說明

第五條 土地審定法施行令第二十條之答覆書應依地籍整理局長所定之樣式

第六條 委員會對於諮問事項認爲有須訂正時應將附有理由之意見書添具於答覆書

第七條 答覆書或意見書應附與依土地審定法施行令第十九條之揭示文件相同之複製而編綴送交該管地籍整理局分局長

第八條 委員會之議場除該委員長、委員及地籍整理局職員外

官制 第八章 省特別市及首都警察廳 第二款 省

〔附則六十六號〕

●地方土地委員會處務規則

(康德五年四月六日 院令第七號)

茲將地方土地委員會處務規則之左ノ通制定ス

地方土地委員會處務規則

第一條 地方土地委員會ニ關スル事務ハ當該委員會ヲ置カレタル省所在ノ地籍整理局分局(新京特別市ニ在リテハ地籍整理局)ニ於テ之ヲ處理ス

第二條 委員會土地審定法第八條第二項ニ依ル地籍整理局長ノ諮問ヲ受ケタルトキハ委員長ハ遲滞ナク開會期日ヲ決定シ之ヲ當該分局長及委員ニ通知スベシ

第三條 委員會ノ會期ハ地籍整理局長之ヲ定ム

第四條 委員長ハ會期中何時ニテモ當該地籍整理局分局長ニ對シ土地審定法施行令第十九條ノ書類ニ付其ノ說明ヲ求ムルコトヲ得

第五條 土地審定法施行令第二十條ノ答覆書ハ地籍整理局長ノ定ムル樣式ニ依ルベシ

第六條 委員會ハ諮問事項ニ付訂正ヲ要スルモノアリト認メタルトキハ理由ヲ附シタル意見書ヲ答申書ニ添附スベシ

第七條 答申書又ハ意見書ハ土地審定法施行令第十九條ニ依ル揭示書類ト同一番號ヲ附シテ編綴シ之ヲ當該地籍整理局分局長ニ送付スベシ

第八條 委員會ノ議場ニハ當該委員長、委員及地籍整理局職員ノ外入場



官制 第八章 省特別市及首都警察廳 第一款 省

不得使其入場

第九條 列席委員會者對其職務須嚴守秘密不得洩漏

附則 本令自公布日施行

●地方職員訓練所官制

(康應六年三月三十日) 勅令第五七號

除經諮詢參議府裁可地方職員訓練所官制即公布

(國務總理大臣) 署

地方職員訓練所官制

第一條 地方職員訓練所屬於省長之管理爲教養訓練地方職員之所

第二條 省公署所在地(除與安西省及與安北省)置地方職員訓練所其名稱冠其所屬省名而稱之

第三條 地方職員訓練所共置左列職員

所長

主事 十三人 聘任或委任(但聘任不得逾四人)

屬官 十三人 委任

前項所載職員之各地方職員訓練所員額由國務總理大臣定之

(朝憲八十七號)

セシムルコトヲ得ズ

第九條 委員會ニ列席シタル者ハ其ノ職務ニ付秘密ヲ嚴守シ之ヲ洩漏スベカラズ

附則 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●地方職員訓練所官制

(康應六年三月三十日) 勅令第五七號

除參議府ノ諮詢ヲ經テ地方職員訓練所官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

(國務總理大臣) 署

地方職員訓練所官制

第一條 地方職員訓練所ハ省長ノ管理ニ屬シ地方職員ヲ教養訓練スル所トス

第二條 省公署所在地(與安西省及與安北省ヲ除ク)ニ地方職員訓練所ヲ置ク其ノ名稱ハ當該所屬省ヲ冠稱スルモノトス

第三條 地方職員訓練所ニ通シテ左ノ職員ヲ置ク

所長

主事 十三人 聘任又ハ委任(但シ聘任ハ四人ヲ超ユルコトヲ得ズ)

屬官 十三人 委任

前項ニ掲グル職員ノ各地方職員訓練所ノ定員ハ國務總理大臣之ヲ定

(朝憲八十七號)

(朝憲八十七號)

第四條 所長ハ省次長(與安省ニ在リテハ參與官)ヲ以テ之ニ充ツ

所長ハ省長ノ指揮監督ヲ承ケ所務ヲ綜理シ所屬職員ヲ指揮監督シ其ノ進退賞罰ニ關シ省長ニ具狀ス

第五條 主事ハ教官ノ中ヨリ所長之ヲ命ズ

主事ハ所長ノ命ヲ承ケ所務ヲ掌リ所長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

第六條 教官ハ所長ノ命ヲ承ケ教養及訓練ヲ掌ル

第七條 所長ハ教官ノ中ヨリ學監ヲ選補シ生徒ノ訓育指導及舍務ニ當ラシムルコトヲ得

第八條 屬官ハ上司ノ指揮ヲ承ケ事務ニ從事ス

第九條 地方職員訓練所ノ分科、訓練期間、學科目其ノ他必要ナル事項ハ國務總理大臣ノ認可ヲ得テ省長之ヲ定ム

附則 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令自公布日施行

第四條 所長以省次長(與安省則爲參與官)充之  
所長承省長之指揮監督綜理所務指揮監督所屬職員關於其進退賞罰呈請省長核辦

第五條 主事由所長就教官中任命之  
主事承所長之命掌所務所長有事故時代理其職務

第六條 教官承所長之命掌教養及訓練

第七條 所長得就教官中選派學監使其擔當生徒之訓育指導及舍務

第八條 屬官承上司之指揮辦理事務

第九條 地方職員訓練所之分科、訓練期間、學科目及其他必要事項由省長經國務總理大臣之認可定之

附則 本令自公布日施行

●地方師道訓練所官制

(康徳五年三月十七日 勅令第三十七號)

改正 康徳六年三月勅令第六二號

朕經諮詢參議府裁可地方師道訓練所官制著即公布

(國務總理、民生部大臣 署名)

地方師道訓練所官制

第一條 地方師道訓練所屬於省長之管理對於初等教育教師施

●地方師道訓練所官制

(康徳五年三月十七日 勅令第三十七號)

改正 康徳六年三月勅令第六二號

朕參議府ノ諮詢ヲ經テ地方師道訓練所官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

(國務總理、民生部大臣 署名)

地方師道訓練所官制

第一條 地方師道訓練所ハ省長ノ管理ニ屬シ初等教育教師ニ對シ所製

[續第六十七號]

以所必要之訓練

第二條 地方師道訓練所共置左列職員

所長

教官 五十四人 應任或委任(但應任不得逾五人)

各地方師道訓練所教官之員額由民生部大臣定之 (康徳六年三月勅令第六二號)

(本條中修正)

第三條 所長以省之民生廳長或民政廳長充之

所長承省長之監督綜理所務統督所屬職員關於其進退及賞罰

呈請省長

第四條 教官承所長之指揮從事教育

第五條 所長爲使擔任所務有必要時得囑託主事

第六條 所長認爲有必要時得聘請講師

第七條 地方師道訓練所名稱、設置處所、學科目、入所資格

及其他本令無所規定之事項由民生部大臣定之

附 則

本令自公布日施行

附 則 (康徳六年三月三〇日勅令第六二號)

本令自公布日施行

官制 第八章 省 特別市及首都警察廳 第一款 省

[續第六十七號]

ノ訓練ヲ施ス所トス

第二條 地方師道訓練所ヲ通ジテ左ノ職員ヲ置ク

所長

教官 五十四人 應任又ハ委任(但シ應任ハ五人ヲ超ユルコトヲ得ズ)

各地方師道訓練所ノ教官ノ定員ハ民生部大臣之ヲ定ム (康徳六年三月勅令第六二號)

(本條中修正)

第三條 所長ハ省ノ民生廳長又ハ民政廳長ヲ以テ之ニ充ツ

所長ハ省長ノ監督ヲ承ケ所務ヲ綜理シ所屬職員ヲ統督シ其ノ進退及

賞罰ニ關シ省長ニ上申ス

第四條 教官ハ所長ノ指揮ヲ承ケ教育ニ從事ス

第五條 所長ハ所務ニ當ラシムル爲必要ニ應ジ主事ヲ囑託スルコトヲ得

第六條 所長ハ必要ニ應ジ講師ヲ囑託スルコトヲ得

第七條 地方師道訓練所ノ名稱、設置處所、學科目、入所資格其ノ他本

令ニ規定ナキ事項ハ民生部大臣之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附 則 (康徳六年三月三〇日勅令第六二號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

官制 第八章 省 特別市及首都警察廳 第一款 省

●奉天省公署分科規程

(大同元年九月十九日 政府公報)

茲規定奉天省公署分科規程如左

奉天省公署分科規程

第一章 總務廳

第一條 總務廳置秘書處及左列四科

- 總務科
  - 人事科
  - 財政科
  - 統計科
- 第二條 秘書處之職掌如左
- 一 關於機密事項
  - 二 關於特命辦理事項
- 第三條 總務科之職掌如左
- 一 關於典守省印事項

●奉天省公署分科規程

(大同元年九月十九日 政府公報)

茲定奉天省公署分科規程ヲ左ノ如ク規定ス

奉天省公署分科規程

第一章 總務廳

第一條 總務廳ニ秘書處及左記四科ヲ置ク

- 總務科
  - 人事科
  - 財政科
  - 統計科
- 第二條 秘書處ノ職掌左ノ如シ
- 一 機密ニ關スル事項
  - 二 特命辦理ニ關スル事項
- 第三條 總務科ノ職掌左ノ如シ
- 一 省印ノ管守ニ關スル事項

〔訓令第六十六號〕

〔訓令八十七號〕

第八條 警務科掌管左開事項

- 一 關於警察庶務事項
- 二 關於警察巡閱事項
- 三 關於警察職員之教養事項
- 四 關於警備警備事項
- 五 關於特務警察事項
- 六 關於刑事警察事項
- 七 關於外事警察事項
- 八 關於保安警察事項
- 九 關於保衛、醫務並防疫事項

附 則

本規程自康德二年九月五日施行

●興安西省分科規程

(康德二年九月二十五日 政府公報)

修正 康德四年一月三〇日

興安六年三月二八日

茲制定興安西省分科規程如左

興安西省分科規程

官制 第八章 省特別市及首都警察廳

第二款

興安各省

●興安西省分科規程

(康德二年九月二十五日 政府公報)

修正 康德四年一月三〇日

興安六年三月二八日

茲ニ興安西省分科規程ヲ左ノ通定ス

興安西省分科規程



官制 第八章 省特別市及首都警察廳

第二款 興安各省

七四

- 第一條 總務廳置左開二科
- 總務科
  - 會計科
- 第二條 總務科掌管左開事項
- 一 屬於總務事項
  - 二 關於公文書事項
  - 三 關於管守官印事項
  - 四 關於人事事項
  - 五 關於國費及省地方費預算事項
  - 六 關於省地方費稅之賦課及稅外收入之歲入命令事項
  - 七 關於私報及宣傳事項
  - 八 不屬於他廳科主管事項
- 第三條 會計科掌管左開事項
- 一 關於國費省地方費及其他會計事項
  - 二 關於國有財產管理事項
  - 三 關於用度及營繕事項
  - 四 關於備入事項
  - 五 關於廳內取繕事項
- 第四條 民政廳置左開四科
- 地方科
  - 勸業科
  - 地科
  - 文教科

- 第一條 總務廳ニ左ノ二科ヲ置ク
- 總務科
  - 會計科
- 第二條 總務科ハ左ノ事項ヲ管掌ス
- 一 機密ニ關スル事項
  - 二 公文書ニ關スル事項
  - 三 官印ノ管守ニ關スル事項
  - 四 人事ニ關スル事項
  - 五 國費及省地方費ノ預算ニ關スル事項
  - 六 省地方費稅ノ賦課及稅外收入ノ歲入命令ニ關スル事項
  - 七 弘報及宣傳ニ關スル事項
  - 八 他廳科ノ主管ニ關セザル事項
- 第三條 會計科ハ左ノ事項ヲ管掌ス
- 一 國費省地方費及其ノ他會計ニ關スル事項
  - 二 國有財產ノ管理ニ關スル事項
  - 三 用度及營繕ニ關スル事項
  - 四 備入ニ關スル事項
  - 五 廳內取繕ニ關スル事項
- 第四條 民政廳ニ左ノ四科ヲ置ク
- 地方科
  - 勸業科
  - 地科
  - 文教科

〔朝發八十七號〕

〔朝發七十三號〕

附則 本令自康德三年四月一日施行

附則 (廣德三年七月一日勅令第一四四號)  
本令公布日施行

附則 (廣德四年六月二七日勅令第一八〇號)  
本令公布日施行

附則 (廣德四年七月一日勅令第一八〇號)  
本令公布日施行

附則 (廣德四年七月一日勅令第一八〇號)  
本令公布日施行

附則 (廣德五年七月二三日勅令第一七七號)  
本令公布日施行

附則 本令ハ康德三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (廣德三年七月一日勅令第一四四號)  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (廣德四年六月二七日勅令第一八〇號)  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (廣德四年七月一日勅令第一八〇號)  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (廣德四年七月一日勅令第一八〇號)  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (廣德五年七月二三日勅令第一七七號)  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

特別市	公署	技	士	特別市	公署	技	士
特別市	公署	視	學	特別市	公署	視	學
特別市	公署	佐	官	特別市	公署	佐	官
特別市	公署	務	官	特別市	公署	務	官
特別市	公署	正	官	特別市	公署	正	官
特別市	公署	理	官	特別市	公署	理	官

附則 (廣德四年二月一日勅令第四〇六號)  
本令自廣德四年十二月一日施行

附則 (廣德四年二月二七日勅令第四六七號)  
本令自廣德五年一月一日施行

附則 (廣德五年七月二三日勅令第一七七號)  
本令自公布日施行

附則 (廣德四年二月一日勅令第四〇六號)  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (廣德四年二月二七日勅令第四六七號)  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (廣德五年七月二三日勅令第一七七號)  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

官制 第九章 縣旗市及警察廳 第三款 市

五七

市臨時職員設置制

(康德四年六月二十七日) 勅令第二〇四號

改正 康德四年二月勅令第四〇七號

康德六年三月勅令第五八號

除參議府ノ諮詢ヲ經テ市臨時職員設置制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

(國務總理、民政部大臣) 署

市臨時職員設置制

爲令從事關於郡邑計費事業之事務市臨時職員設置制共增左列職員

- 理事官 三人 聘任
- 技正 六人 聘任
- 事務官 六人 聘任
- 技佐 二十三人 聘任
- 屬官 四十九人 委任
- 技士 一百零七人 委任

附則

本令自康德四年七月一日起施行

附則 (康德四年二月一日勅令第四〇七號)

本令自康德四年十二月一日起施行

附則 (康德六年三月三〇日勅令第五八號)

本令公布日施行

市臨時職員設置制

(康德四年六月二十七日) 勅令第二〇四號

改正 康德四年二月勅令第四〇七號

康德六年三月勅令第五八號

除參議府ノ諮詢ヲ經テ市臨時職員設置制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

(國務總理、民政部大臣) 署

市臨時職員設置制

郡邑計費事業ニ關スル事務ニ從事セシムル爲市ニ通ジテ臨時左ノ職員ヲ増設ス

- 理事官 三人 聘任
- 技正 六人 聘任
- 事務官 六人 聘任
- 技佐 二十三人 聘任
- 屬官 四十九人 委任
- 技士 百七人 委任

附則

本令ハ康德四年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (康德四年二月一日勅令第四〇七號)

本令ハ康德四年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則 (康德六年三月三〇日勅令第五八號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(勅令八十七號)

第二款 商法

- 商人通法 (康德四・六 勅令第一三二號)
- 商人通法施行法 (康德四・一 勅令第三一七號)
- 關於小商人ノ範圍ノ件 (康德四・二 勅令第三七四號)
- 會社法 (康德四・六 勅令第一三二號)
- 會社法施行法 (康德四・一 勅令第三一八號)
- 外國法入法 (康德四・一 勅令第三一八號)
- 關於會社資本ノ件 (康德五・九 勅令第二二六號)
- 關於會社資本ノ件ノ施行ノ件 (康德五・九 經令第四一號)
- 社債擔保信託法 (康德五・八 勅令第二二二號)
- 社債擔保信託法施行規則 (康德五・八 經令第三七號)
- 關於處罰執行法人業務之社員及職員ノ件 (康德四・五 勅令第九〇號)
- 票據法 (康德四・五 勅令第九〇號)
- 支票法 (康德四・五 勅令第九〇號)
- 拒絕證書令 (康德四・九 勅令第二八五號)
- 關於支票提示期間ノ特例ノ件 (康德四・九 勅令第二八六號)

事出別目錄

法務

第二章

民商事法

第二款 商法

- 商人通法 (康德四・六 勅令第一三二號)……一九五
- 商人通法施行法 (康德四・一 勅令第三一七號)……三八之一
- 小商人ノ範圍ニ關スル件 (康德四・二 勅令第三七四號)……三八之四
- 會社法 (康德四・六 勅令第一三二號)……二一九
- 會社法施行法 (康德四・一 勅令第三一八號)……三五二
- 外國法入法 (康德四・一 勅令第三一八號)……三一八
- 會社ノ資本ニ關スル件 (康德五・九 勅令第二二六號)……三二四
- 會社ノ資本ニ關スル件ノ施行ニ關スル件 (康德五・九 經令第四一號)……三三五
- 社債擔保信託法 (康德五・八 勅令第二二二號)……三三六
- 社債擔保信託法施行規則 (康德五・八 經令第三七號)……三三九
- 法人ノ業務ヲ執行スル社員及職員ノ處罰ニ關スル件 (法務部第三章第一款ニ關スル件)
- 手形法 (康德四・五 勅令第九〇號)……三八八
- 小切手法 (康德四・五 勅令第九〇號)……三八八
- 拒絕證書令 (康德四・九 勅令第二八五號)……四一四
- 小切手ノ提示期間ノ特例ニ關スル件 (康德四・九 勅令第二八六號)……四一四之五



- 關於適用支那法與銀行同視之入或施設指定之件 (康德四・九 勅令第二八七號)
- 關於被票據法第八十二條及支票法第六十七條之規定之票據交換所之件 (康德五・六 司令第一〇號)
- 運送法 (康德四・六 勅令第一三三號)
- 關於湖川或港灣與海上境界之件 (康德四・一 交令第六三號)
- 倉庫法 (康德四・六 勅令第一三四號)
- 海商法 (康德四・六 勅令第一三五號)
- 海商法施行法 (康德四・一 勅令第三一九號)
- 關於運送法第三十四條、倉庫法第三十條及海商法第六十二條公售方法之件 (康德四・一 司令第二四號)
- 海商法第二十九條第一項第二號乃至第五號稱載書類之件 (康德四・一 交令第六七號)
- 關於沿岸小航海之範圍之件 (康德四・一 交令第六八號)

第三款 民事訴訟法

- 民事訴訟法 (康德四・六 勅令第二〇六號)

- 小切手法ノ適用ニ付銀行ト同視スベキ人又ハ施設ヲ定ムルノ件 (康德四・九 勅令第二八七號)……四四之六
- 手形法第八十二條及小切手法第六十七條ノ規定ニ依ル手形交換所ニ關スル件 (康德五・六 司令第一〇號)……四四之七
- 運送法 (康德四・六 勅令第一三三號)……四四之八
- 湖川又ハ港灣ト海上トノ境界ニ關スル件 (康德四・一 交令第六三號)……四四之一
- 倉庫法 (康德四・六 勅令第一三四號)……四二五
- 海商法 (康德四・六 勅令第一三五號)……四三三
- 海商法施行法 (康德四・一 勅令第三一九號)……四七八
- 運送法第三十四條、倉庫法第三十條及海商法第六十二條ノ規定ニ依ル公售方法ニ關スル件 (康德四・一 司令第二四號)……四〇之一
- 海商法第二十九條第一項第二號乃至第五號稱載書類ノ件 (康德四・一 交令第六七號)……四〇之一
- 沿岸小航海ノ範圍ニ關スル件 (康德四・一 交令第六八號)……四〇之二

第三款 民事訴訟法

- 民事訴訟法 (康德四・六 勅令第二〇六號)……四八一

(續覽八十七號)

- 民事訴訟法施行法 (康德四・一 勅令第三二一號)
- 關於涉外事件管轄之件 (康德四・一 勅令第三二二號)
- 關於指定依涉外事件之管轄之件第一條所規定之法院之件 (康德四・一 司令第二五號)
- 關於法院分庭之處理涉外事件之件 (康德五・一 司訓第一〇號)
- 就民事訴訟代表國之件 (康德四・一 勅令第三七五號)
- 關於司事事務對於民事訴訟代表國者指定之件 (康德五・二 交令第一號)
- 關於民事訴訟法第二百零八條所定之新期日傳喚之件 (康德六・二 司訓第三七號)
- 實行破産權執行辦法 (大同二・九 教令第七四號)

第四款 強制執行法及拍賣法

- 強制執行法 (康德四・六 勅令第二〇七號)
- 強制執行法施行法 (康德四・一 勅令第三二二號)
- 拍賣法 (康德三・四 勅令第五三號)

事由別目録 法務 第二章 民事訴訟法

(續覽八十七號)

- 民事訴訟法施行法 (康德四・一 勅令第三二一號)……五八六
- 涉外事件ノ管轄ニ關スル件 (康德四・一 勅令第三二二號)……五八九
- 涉外事件ノ管轄ニ關スル件第一條ノ規定ニ依ル法院指定ノ件 (康德四・一 司令第二五號)……五九一
- 法院分庭ニ於ケル涉外事件ノ處理ニ關スル件 (康德五・一 司訓第一〇號)……五九四
- 民事訴訟ニ付國ヲ代表スルノ件 (康德四・一 勅令第三七五號)……五九五
- 司事事務ニ關シ民事訴訟ニ付國ヲ代表スル者ノ指定ニ關スル件 (康德五・二 交令第一號)……五九六
- 民事訴訟法第二百零八條所定ノ新期日傳喚ニ關スル件 (康德六・二 司訓第三七號)……五九六
- 實行破産ノ債權執行辦法 (大同二・九 教令第七四號)……五九八

第四款 強制執行法及拍賣法

- 強制執行法 (康德四・六 勅令第二〇七號)……六〇〇
- 強制執行法施行法 (康德四・一 勅令第三二二號)……六七六
- 拍賣法 (康德三・四 勅令第五三號)……六七八



第五款 調停 仲裁及公證

- 調停法 (康德四・一一 勅令第三三八號)
- 關於調停法之運用之件 (康德五・七 司訓第五二號)
- 關於調停委員及調停補助人之旅費每日津貼並止宿費之件 (康德四・二二 司令第三七號)
- 仲裁手續法 (康德四・一一 勅令第三三三號)
- 公證法 (康德四・一一 勅令第三三九號)
- 公證手續規則 (康德四・一一 勅令第三四〇號)
- 關於證書之確定日期之件 (康德四・一一 勅令第三五二號)

第六款 非訟事件

- 非訟事件法 (康德四・一一 勅令第三三六號)
- 公示催告手續法 (康德四・一一 勅令第三一六號)
- 過料手續法 (康德四・二〇 勅令第二九一號)
- 關於適用過料手續法之件 (康德五・一〇 司訓第六八七號)

第五款 調停 仲裁及公證

- 調停法 (康德四・一一 勅令第三三八號……七二七)
- 調停法ノ運用ニ關スル件 (康德五・七 司訓第五二五號)……七二七
- 調停委員及調停補助者ノ旅費、日當及止宿料ニ關スル件 (康德四・二二 司令第三七號)……七二七
- 仲裁手續法 (康德四・一一 勅令第三三三號)……七二五
- 公證法 (康德四・一一 勅令第三三九號)……七三三
- 公證手續規則 (康德四・一一 勅令第三四〇號)……七三三
- 證書ノ確定日附ニ關スル件 (康德四・一一 勅令第三五二號)……七三三

第六款 非訟事件

- 非訟事件法 (康德四・一一 勅令第三三六號)……七三三
- 公示催告手續法 (康德四・一一 勅令第三一六號)……七三五
- 過料手續法 (康德四・二〇 勅令第二九一號)……七三三
- 過料手續法ノ適用ニ關スル件 (康德五・一〇 司訓第六八七號)……七三七

〔附覽七十七號〕

〔附覽八十七號〕

- 船舶登記法 (康德四・二二 勅令第三七二號)
- 船舶登記法施行規則 (康德四・一一 勅令第二八號)
- 關於不動產登錄、不動產登記、工場財團登記、船舶登記、商業登記、法人登記、金融合作社登記及金融合作社聯合會登記之手數料之件 (康德四・一一 司令第二九號)
- 關於工場財團及商業財團登記事務之辦理之件 (康德五・八 司令第一八號)
- 關於工場財團登錄、商業財團登錄及商業財團登記之手數料之件 (康德五・九 司令第二〇號)
- 關於印鑑證明書交付之件 (康德六・二 司訓第三六號)

第九款 提存 (附錄財務第八章)

第十款 國籍 戶籍

- 戶口調查實施心得及規程 (大同三・二 民訓第一〇六號)
- 婚姻廢給規則 (康德三・二二 財令第四六號) (康德三・二二 民令第三七號) (財務部(下)第二章第四款)

事由別目錄 法務 第二章 民事法

- 船舶登記法 (康德四・二二 勅令第三七二號)……九三二
- 船舶登記法施行規則 (康德四・一一 勅令第二八號)……九三三
- 關於不動產登錄、不動產登記、工場財團登記、商業登記、法人登記、金融合作社登記及金融合作社聯合會登記ニ關スル手續料ノ件 (康德四・一一 司令第二九號)……九三三
- 工場財團及商業財團ノ登記事務取扱ニ關スル件 (康德五・八 司令第一八號)……九三三
- 工場財團登錄、商業財團登錄及商業財團登記ニ關スル手續料ノ件 (康德五・九 司令第二〇號)……九三三
- 印鑑證明書ノ交付ニ關スル件 (康德六・二 司訓第三六號)……九三三

第九款 提存 (財務第八章ニ關スル)

第十款 國籍 戶籍

- 戶口調查實施心得及規程 (大同三・二 民訓第一〇六號)……九三三
- 婚姻廢給規則 (康德三・二二 財令第四六號) (康德三・二二 民令第三七號) (財務部(下)第二章第四款ニ關スル)

第三章 刑事法

第一款 刑法

- 刑法 (康德四・一 勅令第一號)……………一
- 刑法施行法 (康德四・三 勅令第三〇號)……………二之六〇
- 逕令罰基准法 (康德四・六 勅令第二〇八號)……………二之六四
- 逕警罪處罰令 (康德五・三 治令第一七號)……………二之六五
- 暫行懲治叛徒法 (大同元・九 教令第八〇號)……………二之七一
- 懲治叛徒法施行條例 (大同元・二 司指第一九三九號)……………四
- 暫行懲治盜匪法 (大同元・九 教令第八一號)……………五
- 暫行懲治盜匪法施行法 (大同二・一 教令第四號)……………八
- 關於處罰執行法人業務之社員及職員之件 (大同元・一 教令第一〇七號)……………一〇之
- 關於適用行政法規則之件 (康德四・六 勅令第一三六號)……………一〇之
- 重要犯罪罪罰並報告規程 (康德五・九 勅令第二二五號)……………一〇之
- 重要犯罪罪罰並報告細則 (康德四・六 司訓刑字第四一二號)……………一〇之
- 重要犯罪罪罰並報告細則 (康德二・二 司訓第一三六〇號)……………一〇之
- 罪名表示規程 (康德五・六 司訓第三〇一號)……………一一

第三章 刑事法

第一款 刑法

- 刑法 (康德四・一 勅令第一號)……………一
- 刑法施行法 (康德四・三 勅令第三〇號)……………二之六〇
- 逕令罰基准法 (康德四・六 勅令第二〇八號)……………二之六四
- 逕警罪處罰令 (康德五・三 治令第一七號)……………二之六五
- 暫行懲治叛徒法 (大同元・九 教令第八〇號)……………二之七一
- 懲治叛徒法施行條例 (大同元・二 司指第一九三九號)……………四
- 暫行懲治盜匪法 (大同元・九 教令第八一號)……………五
- 暫行懲治盜匪法施行法 (大同二・一 教令第四號)……………八
- 從前ノ犯罪行為處罰ニ關スル件 (大同元・一 教令第一〇七號)……………一〇之
- 法人ノ業務ヲ執行スル社員及職員ノ處罰ニ關スル件 (康德四・六 勅令第一三六號)……………一〇之
- 行政法規ノ罰則適用ニ關スル件 (康德五・九 勅令第二二五號)……………一〇之
- 重要犯罪罪罰並報告規程 (康德四・六 司訓刑字第四一二號)……………一〇之
- 重要犯罪罪罰並報告細則 (康德二・二 司訓第一三六〇號)……………一〇之
- 罪名表示規程 (康德五・六 司訓第三〇一號)……………一一

〔續覽七十二號〕

第二款 刑事訴訟法

- 刑事訴訟法 (康德四・三 勅令第三三號)……………一三
- 刑事訴訟法施行法 (康德四・五 勅令第一〇五號)……………一三
- 關於支給官選辯護人酬勞費及費用之件 (康德四・五 司令第八號)……………一四之三六
- 關於支給證人、鑑定人、通事及翻譯人之酬勞費及其他金額之件 (康德四・五 司令第九號)……………一四之三六
- 關於請求裁判書等之原本及抄本之發給及手續費之件 (康德四・五 司令第一〇號)……………一四之三九
- 刑事交渉法 (康德五・六 勅令 二二四號)……………一四之四〇
- 扣押物處理規程 (康德四・二 司令第一九號)……………一四之四〇
- 逕警罪即決法 (康德四・六 勅令第二〇九號)……………一四之四〇
- 逕警罪即決法細則 (康德四・八 治訓警字第一五八〇號)……………一四之四〇
- 司法警察職務規程 (康德四・二 司令第三八號)……………一四之四〇
- 司法警察事務處理規程 (康德四・二 治訓警字第三〇號)……………一四之四〇
- 關於應行司法警察官吏職務之人及其職務範圍之件 (康德四・七 勅令第二二四號)……………一四之四八
- 關於應交付執行司法警察官吏職務之人之證書之件 (康德四・七 司令第二三號)……………一四之四八
- 關於改廢刑事統計月報季報之件 (康德四・六 司訓刑字第三〇八號)……………一五
- 刑事統計月報作成規程 (康德四・六 司訓刑字第三〇八號)……………一五

事由別目録 法務 第三章 刑事法

第二款 刑事訴訟法

- 刑事訴訟法 (康德四・三 勅令第三三號)……………一三
- 刑事訴訟法施行法 (康德四・五 勅令第一〇五號)……………一三
- 官選辯護人ニ支給スベキ日當及費用ニ關スル件 (康德四・五 司令第八號)……………一四之三六
- 證人、鑑定人、通事及翻譯人ニ支給スベキ日當其他ノ金額ニ關スル件 (康德四・五 司令第九號)……………一四之三六
- 裁判書等ノ原本、抄本交付請求及手数料ニ關スル件 (康德四・五 司令第一〇號)……………一四之三九
- 刑事交渉法 (康德五・六 勅令 二二四號)……………一四之四〇
- 扣押物處理規程 (康德四・二 司令第一九號)……………一四之四〇
- 逕警罪即決法 (康德四・六 勅令第二〇九號)……………一四之四〇
- 逕警罪即決法細則 (康德四・八 治訓警字第一五八〇號)……………一四之四〇
- 司法警察職務規程 (康德四・二 司令第三八號)……………一四之四〇
- 司法警察事務處理規程 (康德四・二 治訓警字第三〇號)……………一四之四〇
- 司法警察官吏ノ職務ヲ行フベキ者及其ノ職務ノ範圍ニ關スル件 (康德四・七 勅令第二二四號)……………一四之四八
- 司法警察官吏ノ職務ヲ行フ者ニ交付スベキ證書ニ關スル件 (康德四・七 司令第二三號)……………一四之四八
- 刑事ニ關スル統計月報、季報改廢ニ關スル件 (康德四・六 司訓刑字第三〇八號)……………一五
- 刑事統計月報作成規程 (康德四・六 司訓刑字第三〇八號)……………一五

一五



● 刑事事件計算規程 (康德四・六 司刑刑字第四〇三號)  
(康德四・七 司刑刑字第四四六號)  
(以上附錄文書統計篇第三章)

● 刑事事件計算規程 (康德四・六 司刑刑字第四〇三號)  
(康德四・七 司刑刑字第四四六號)  
(以上文書統計篇第三章二四八)

第三款 大赦 恩赦

- 恩赦令 (康德元・三 勅令第八號)
- 恩赦令施行規則 (康德元・三 司令第一號)
- 大赦令 (康德元・三 勅令第九號)
- 減刑令 (康德元・三 勅令第一〇號)

第三款 大赦 恩赦

- 恩赦令 (康德元・三 勅令第八號)……………三一
- 恩赦令施行規則 (康德元・三 司令第一號)……………三五
- 大赦令 (康德元・三 勅令第九號)……………三七
- 減刑令 (康德元・三 勅令第一〇號)……………三九

第四款 指紋檢證及犯罪票

- 勞働者指紋事務處理規程 (康德六・三 治訓 警第一一號)
- 指紋分類方式 (康德六・三 治訓 警第一二號)
- 指紋事務處理規程 (康德六・三 治訓 警第一四號)
- 指紋原紙處理須知 (康德六・三 治訓 警第一五號)
- 犯罪票處理規程 (康德三・二 司令第二〇號)
- 關於犯罪票事務處理之件 (康德四・二 司刑刑字第六一號)

第四款 指紋檢證及犯罪票

- 勞働者指紋事務處理規程 (康德六・三 治訓 警第一一號)……………四三
- 指紋分類方式 (康德六・三 治訓 警第一二號)……………六一
- 指紋事務處理規程 (康德六・三 治訓 警第一四號)……………六六之四
- 指紋原紙取扱心得 (康德六・三 治訓 警第一五號)……………六六之三
- 犯罪票處理規程 (康德三・二 司令第二〇號)……………六七
- 犯罪票事務處理ニ關スル件 (康德四・二 司刑刑字第六一號)……………七三

〔附錄八十七號〕

第二編 法院及檢察廳之職員

第一章 審判官及檢察官

第四十八條 審判官及檢察官就有左列資格之一者任用之

- 一 司法科高等官適格考試或可爲審判官及檢察官之司法科高等官資格考試及格者
- 二 作爲教授或助教授在建國大學或司法部法學校擔任法律學講義三年以上者
- 三 執行律師實務五年以上者
- 四 在外國有爲審判官或檢察官之資格者

- 一 司法科高等官適格考試又ハ審判官及檢察官タルベキ司法科高等官資格考試ニ及格シタル者
- 二 教授又ハ助教授トシテ建國大學又ハ司法部法學校ニ於テ三年以上法律學ノ講義ヲ擔任シタル者
- 三 律師トシテ五年以上實務ニ從事シタル者
- 四 外國ニ於テ審判官又ハ檢察官タリ得ベキ資格ヲ有スル者

第四十九條 有左列各款情形之一者不任用爲審判官或檢察官

- 一 被處禁錮以上之刑者
- 二 禁治產人
- 三 準禁治產人
- 四 因懲戒之處分被免官或褫奪律師資格而未復權者

第四十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ之ヲ審判官又ハ檢察官ニ任用セズ

- 一 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
- 二 禁治產者
- 三 準禁治產者
- 四 懲戒ノ處分ニ因リ免官セラレ又ハ律師ノ資格ヲ褫奪セラ

法務 第一章 司法機關

第一款 法院檢察廳及其他之司法機關





在外國受有前項各款情形之一之處分或宣告者亦準於前項(第五十條第三八號本條修正)

第五十條 初任用爲審判官或檢察官者得暫作爲候補審判官或候補檢察官其勤務於區法院、地方法院、區檢察廳或地方檢察廳

候補審判官及候補檢察官除法律另有規定者外執行與其所勤務院廳之審判官或檢察官同一之職務(第五十條第三八號本條修正)

第五十一條 審判官及檢察官爲特任、簡任或薦任(第五十一條第三八號本條修正)

第五十二條 最高法院長以特任審判官特派之最高檢察廳長以特任檢察官特派之

最高法院之次長及庭長、高等法院之院長及次長經司法大臣呈請山國務總理大臣奏請以簡任審判官派之最高檢察廳之次長、高等檢察廳之廳長及次長經司法大臣呈請山國務總理大臣奏請以簡任檢察官派之

前二項以外之審判官及檢察官經司法部大臣呈請山國務

レ未ダ復權セザル者

外國ニ於テ前項各號ノ一ニ該當スル處分又ハ宣告ヲ受ケタル者亦前項ニ準ズ(第五十條第三八號本條修正)

第五十條 新ニ審判官又ハ檢察官ニ任用セラレタル者ハ一時之ヲ候補審判官又ハ候補檢察官トシテ區法院、地方法院、區檢察廳又ハ地方檢察廳ニ勤務セシムルコトヲ得

候補審判官及候補檢察官ハ法律ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外其ノ勤務ヲ命ゼラレタル廳ノ審判官又ハ檢察官ト同一ノ職務ヲ行フ(第五十條第三八號本條修正)

第五十一條 審判官及檢察官ハ特任、簡任又ハ薦任トス(第五十一條第三八號本條修正)

第五十二條 最高法院長ハ特任審判官ヲ以テ之ヲ親補シ最高檢察廳長ハ特任檢察官ヲ以テ之ヲ親補ス

最高法院ノ次長及庭長、高等法院ノ院長及次長ハ司法部大臣ノ具狀ヲ經テ國務總理大臣ノ奏請ニ依リ簡任審判官ヲ以テ之ヲ補シ最高檢察廳ノ次長、高等檢察廳ノ廳長及次長ハ司法部大臣ノ具狀ヲ經テ國務總理大臣ノ奏請ニ依リ簡任檢察官ヲ以テ之ヲ補シ

〔舊第八十七號〕

●關於法院組織法施行之事務處理方法之件

(昭和三年六月二十四日) 司法部訓令第三八四號

令各法院、檢察廳、區司法廳、各地方檢察廳、區檢察廳、區司法廳、區檢察廳

關於法院組織法施行之事務處理方法之件

爲令遵照查因法院組織法之施行從前之法院及檢察廳當然廢止而依該法新設法院及檢察廳其新陳兩機關之組織權限及管轄區域互異之點殊屬非淺故當法院組織法施行時關於司法事務之處理須有深甚之注意至關於過渡的處理難於法院組織法施行法與關於法院之設立及管轄區域檢察廳之設立之件關於法院之分廳及檢察廳之分廳之設置之件有所規定但祇以該法令之條項當處理實務時或不無發生疑義之處本部有鑑及此特補足此等法令之意並示過渡的處理重要事項之過渡的處理要領如左俾於新法施行之當時無遺漏以期司法之整備除分令外合行仰該處遵照辦理此令

法務 第一章 司法機關 第一款 法院檢察廳及其他之司法機關

●法院組織法施行ニ伴フ事務處理ニ關スル件

(昭和三年六月二十四日) 司法部訓令第三八四號

令各法院、檢察廳、區司法廳、各地方檢察廳、區檢察廳、區司法廳、區檢察廳

法院組織法施行ニ伴フ事務處理ニ關スル件

法院組織法ノ施行ニ伴ヒ從前ノ法院、檢察廳ハ當然廢止セラレ新ニ同法ニ依ル法院、檢察廳設立セラルベキトコロ右新舊兩機關ノ組織權限及管轄區域ハ相異ル點殊カラザルヲ以テ法院組織法施行時ニ於ケル司法事務ノ處理ニ付テハ深甚ノ注意ヲ拂ハザルベカラズ、而シテ之レガ過渡的處理ニ付テハ法院組織法施行法、法院ノ設立及管轄區域並ニ檢察廳ノ設立ニ關スル件、法院ノ分廳及檢察廳ノ分廳ノ設置ニ關スル件ニ於テ之ヲ規定シタルモ該法令ノ條項ノミヲ以テハ或ハ實務ノ處理ニ當リ疑義ヲ生ズルコト無キヤラズ尙ル仍テ茲ニ之等法令ノ意ヲ補足シ併テ比較的處理重要事項ノ過渡的處理ニ關シ示適スルヲ以テ新法ノ施行ニ當リ萬遺漏ナキヲ期スベシ



一 以康維三年司法部令第三號雖設有地方法院分庭及高等法院分庭但此種分庭非爲獨立法院僅使處理法院事務之一部爲其法院之一庭或數庭以地址之而分置之者（參照法院組織法第五條）又該部令雖定有分庭之管轄區域但法院之管轄區域爲須以法律定之者（法院組織法第十七條）該部令之所謂管轄區域者乃僅關於分庭之應處理事務之範圍而示以地域的界限故以此決不能排除於康維三年勅令第十六號所定之法院之管轄區域者自無待論例如於海城縣內之地方案件之訴訟於營口地方法院或營口地方法院海城分庭對能起訴但原來之合法辦法只於營口地方法院有所起訴時可基於前述部令得使營口地方法院海城分庭審判該案件

二 關於法院組織法施行前之地方法院分庭、高等法院分庭地方庭或高等法院分庭所受理之案件依康維三年勅令第六十八號附則第二項關於相當法院完結之但康維三年部令第三號附則第二項更定有於其所在地設置之分庭換言之即於應處理前述相當法院事務之一部之分庭而完結之因此須依左記處理之

一 康維三年司法部令第三號ヲ以テ地方法院分庭及高等法院分庭ヲ設置セラレタルガ之等ノ分庭ハ獨立シタル法院ニ非ズシテ單ニ法院ノ事務ノ一部ヲ處理セシムル爲ニ其ノ法院ノ一庭又ハ數庭ガ場所ニ分置セラレタルニ過ギザルモノナリ（法院組織法第五條參照）又該部令ハ分庭ノ管轄區域ヲ定メタルガ法院ノ管轄區域ハ法律ヲ以テ定ムベキモノニシテ（法院組織法第十七條）右部令ニ所謂管轄區域トハ分庭ノ處理スベキ事務ノ範圍ニ付地域的界限ヲ示シタルニ過ギズ之ヲ以テ康維三年勅令第六十八號ニ定ムル法院ノ管轄區域ヲ排除スルモノニ非ザルハ言フ俟タズ從テ例ヘバ海城縣內ニ於ケル地方事件ノ訴ハ營口地方法院又ハ營口地方法院海城分庭ノ何レニ之ヲ提起スルモ固ヨリ適法ニシテ只營口地方法院ニ起訴アリタル場合ニ於テハ右部分ニ基キ該事件ヲ營口地方法院海城分庭ニ於テ審判セシムルコトヲ得ルガ如シ

二 法院組織法施行前ノ地方法院分庭、高等法院分庭地方庭又ハ高等法院分庭ニ於テ受理シタル事件ニ付テハ康維三年勅令第六十八號附則第二項ニ依リ相當法院ニ於テ之ヲ完結スベキモノトセラレタルガ康維三年部令第三號附則第二項ハ更ニ之ヲ其ノ所在地ニ設置シタル分庭換言スレバ右相當法院ノ事務ノ一部ヲ處理スベキ分庭ニ於テ完結スベキ旨ヲ定メタルヲ以テ左記ニ依リ處理スベシ

〔附則八十七號〕

行爲之不適式妨礙其效力

滿洲國人在外國所爲之匯票上及本票上之行爲以其行爲適合於滿洲國法律規定之方式爲限對於他滿洲國人有效力

第八十九條 匯票之承受人及本票之發出人之義務之效力依其證券之支付地所屬國之法律定之

除前項所揭之人由依匯票或本票負債務之人之署名所生之效力依其署名之地所屬國之法律定之但行使請求權之期間就一切之署名人依證券之發出地所屬國之法律定之

第九十條 匯票之所持人取得發出證券之原因之債權與否依證券之發出地所屬國之法律定之

第九十一條 匯票之承受得限制票據金額之一部與否及所持人有承諾一部支付之義務與否依支付地所屬國之法律定之

前項之規定於本票之支付準用之

〔附則四十六號〕

レバ適式ナルトキハ後ノ行爲ハ前ノ行爲ガ不適式ナルコトニ因リ其ノ效力ヲ妨ゲラルコトナシ

滿洲國人ガ外國ニ於テ爲シタル爲替手形上及約束手形上ノ行爲ハ其ノ行爲ガ滿洲國ノ法律ニ規定スル方式ニ適合スル限リ他ノ滿洲國人ニ對シ其ノ效力ヲ有ス

第八十九條 爲替手形ノ引受人及約束手形ノ振出人ノ義務ノ效力ハ其ノ證券ノ支拂地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

前項ニ掲グル者ヲ除キ爲替手形又ハ約束手形ニ依リ債務ヲ負フ者ノ署名ヨリ生ズル效力ハ其ノ署名ヲ爲シタル地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム但シ請求權ヲ行使スル期間ハ一切ノ署名者ニ付證券ノ振出地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第九十條 爲替手形ノ所持人ガ證券ノ振出ノ原因タル債權ヲ取得スルヤ否ヤハ證券ノ振出地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第九十一條 爲替手形ノ引受ヲ手形金額ノ一部ニ制限シ得ルヤ否ヤ及所持人ニ一部支拂ヲ承諾スル義務アリヤ否ヤハ支拂地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

前項ノ規定ハ約束手形ノ支拂ニ之ヲ準用ス

第九十二條 拒絶證書之方式及作成期間其他匯票上或本票上之權利之行使或保存所必要之行為之方式依作成拒絶證書之地或爲其行為之地所屬國之法律定之

第九十三條 於匯票或本票喪失或盜難之情形應爲之手續依支付地所屬國之法律定之

### ●支票法

(康德四年五月十三日勅令第九〇號)

朕依組織法(第四十一條)經諮詢參議府裁可支票法著即公布(國務總理、司法部大臣)

#### 支票法

##### 第一章 支票之發出及方式

###### 第一條 支票應記載左列事項

- 一 證券之文言中以其證券作成所用之語記載之表示其爲支票之文字
- 二 應支付一定金額之單純委託

第九十二條 拒絶證書ノ方式及作成期間其ノ他爲替手形上及約束手形上ノ權利ノ行使又ハ保存ニ必要ナル行爲ノ方式ハ拒絶證書ヲ作ルベキ地又ハ其ノ行爲ヲ爲スベキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第九十三條 爲替手形又ハ約束手形ノ喪失又ハ盜難ノ場合ニ爲スベキ手續ハ支拂地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

### ●小切手法

(康德四年五月十三日勅令第九〇號)

朕依組織法(第四十一條)ニ依リ參議府ノ諮詢ヲ經テ小切手法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム(國務總理、司法部大臣)

#### 小切手法

##### 第一章 小切手ノ發出及方式

###### 第一條 小切手ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 證券ノ文言中ニ其ノ證券ノ作成ニ用フル語ヲ以テ記載スル小切手ナルコトヲ示ス文字
- 二 一定ノ金額ヲ支拂フベキ旨ノ單純ナル委託

(附覽八十七號)

(附覽八十七號)

### 第三款 民事訴訟法

#### ●民事訴訟法

(康德四年六月三十日勅令第二〇六號)

朕依組織法(第四十一條)經諮詢參議府裁可民事訴訟法著即公布(國務總理、司法部大臣)

#### 民事訴訟法目次

- 民事訴訟法
- 第一編 總 則
- 第一章 法 院
- 第一節 管 轄
- 第二節 法院職員ノ除斥、忌避及回避
- 第二章 當事人
- 第一節 當事人能力及訴訟能力
- 第二節 共同訴訟
- 第三節 訴訟參加
- 第四節 訴訟代理人及輔佐人
- 法務 第二章 民事訴訟法 第三款 民事訴訟法

### 第三款 民事訴訟法

#### ●民事訴訟法

(康德四年六月三十日勅令第二〇六號)

朕依組織法(第四十一條)ニ依リ參議府ノ諮詢ヲ經テ民事訴訟法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム(國務總理、司法部大臣)

#### 民事訴訟法目次

- 民事訴訟法
- 第一編 總 則
- 第一章 法 院
- 第一節 管 轄
- 第二節 法院職員ノ除斥、忌避及回避
- 第二章 當事者
- 第一節 當事者能力及訴訟能力
- 第二節 共同訴訟
- 第三節 訴訟參加
- 第四節 訴訟代理人及輔佐人

第三章 訴訟費用

第一節 訴訟費用之負擔

第二節 訴訟費用之擔保

第三節 訴訟上之救助

第四章 訴訟手續

第一節 送達

第二節 期日及期間

第三節 訴訟手續之中斷及中止

第二編 第一審之訴訟手續

第一章 地方法院之訴訟手續

第一節 訴之提起及變更

第二節 言詞辯論

第三節 證據

第一目 總則

第二目 證人訊問

第三目 鑑定

第四目 書證

第五目 檢證

第三章 訴訟費用

第一節 訴訟費用之負擔

第二節 訴訟費用之擔保

第三節 訴訟上之救助

第四章 訴訟手續

第一節 送達

第二節 期日及期間

第三節 訴訟手續之中斷及中止

第二編 第一審ノ訴訟手續

第一章 地方法院ノ訴訟手續

第一節 訴ノ提起及變更

第二節 口頭辯論

第三節 證據

第一款 總則

第二款 證人訊問

第三款 鑑定

第四款 書證

第五款 檢證

〔附錄四十六號〕

〔附錄八十七號〕

爲避免訴訟遲滯認爲有必要者得經審判官之許可以職權爲公示送達

對於同一當事人之嗣後公示送達以職權爲之

第一百四十六條 公示送達由法院書記官將應送達之書類黏貼於法院揭示場而爲之但得將保管應送達之書類不論何時應交付於應受送達人之旨揭示於揭示場以代送達書類之黏貼

法院得命將已有公示送達之事揭載於政府公報或新聞紙或以適當方法公示之但就應在外國應爲之送達得將有公示送達之事付郵通知

第一百四十七條 公示送達因自依前條第一項規定之黏貼或開始揭示之日起經過三星期而生其效力但第一百四十五條第三項之公示送達於黏貼或開始揭示之日之翌日生其效力  
前項期間不得縮短之

第一百四十八條 關於送達之審判官權限受命審判官、受託審判官及送達地之區法院審判官亦有之

法務 第二章 民事訴訟法 第三款 民事訴訟法

訴訟ノ遲滯ヲ避クル爲必要アリト認ムルトキハ審判官ノ許可ヲ受ケ職權ヲ以テ公示送達ヲ爲スコトヲ得

同一ノ當事者ニ對スル嗣後ノ公示送達ハ職權ヲ以テ之ヲ爲ス

第一百四十六條 公示送達ハ法院書記官送達スベキ書類ヲ法院ノ揭示場ニ貼附シテ之ヲ爲ス但シ送達書類ヲ保管シ何時ニテモ送達ヲ受クベキ者ニ交付スベキ旨ヲ揭示場ニ揭示シテ送達書類ノ貼附ニ代フルコトヲ得

法院ハ公示送達アリタルコトヲ政府公報若ハ新聞紙ニ揭載シ又ハ適當ノ方法ヲ以テ公示スベキコトヲ命ズルコトヲ得但シ外國ニ於テ爲スベキ送達ニ付テハ公示送達アリタルコトヲ郵便ニ付シテ通知スルコトヲ得

第一百四十七條 公示送達ハ前條第一項ノ規定ニ依ル貼附ヲ爲シ又ハ揭示ヲ始メタル日ヨリ三週間ヲ經過スルニ因リテ其ノ效力ヲ生ズ但シ第一百四十五條第三項ノ公示送達ハ貼附ヲ爲シ又ハ揭示ヲ始メタル日ノ翌日ニ於テ其ノ效力ヲ生ズ  
前項ノ期間ハ之ヲ短縮スルコトヲ得ズ

第一百四十八條 送達ニ關スル審判官ノ權限ハ受命審判官、受託審判官及送達地ノ區法院ノ審判官亦之ヲ有ス

第二節 期日及期間

第一百四十九條 期日由審判官定之

受命審判官或受託審判官之審問期日由其審判官定之

期日之指定因聲明或以職權爲之

期日以前顯著之事由者爲限得變更之

第一百五十條 期日之指定以日及時定之

期日非不得已者不得以星期日其他之一般休日定之

第一百五十一條 於期日之傳喚以送達傳票爲之但對於

就該事件已到場之人以告知其期日爲足

第一百五十二條 期日以事件之點呼開始之

第一百五十三條 期間之計算從民法

期間之末日值星期日其他之一般休日者期間以其翌日爲滿了

第一百五十四條 於定期間之裁判而未定始期者其期間自裁判生效力之時起開始進行

第二節 期日及期間

第一百四十九條 期日ハ審判官之ヲ定ム

受命審判官又ハ受託審判官ノ審問ノ期日ハ其ノ審判官之ヲ定ム

期日ノ指定ハ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ之ヲ爲ス

期日ハ顯著ナル事由存スル場合ニ限り之ヲ變更スルコトヲ得

第一百五十條 期日ノ指定ハ日及時ヲ定メテ之ヲ爲ス

期日ハ已ムコトヲ得ザル場合ニ非ザレバ日曜日其ノ他ノ一般ノ休日ニ之ヲ定ムルコトヲ得ズ

第一百五十一條 期日ニ於ケル呼出ハ呼出狀ヲ送達シテ之ヲ爲ス

但シ當該事件ニ付出席シタル者ニ對シテハ期日ヲ告知スルヲ以テ足ル

第一百五十二條 期日ハ事件ノ呼上ヲ以テ之ヲ開始ス

第一百五十三條 期間ノ計算ハ民法ニ從フ

期間ノ末日ガ日曜日其ノ他ノ一般ノ休日ニ當ルトキハ期間ハ其ノ翌日ヲ以テ滿了ス

第一百五十四條 期間ヲ定ムル裁判ニ於テ始期ヲ定メザルトキハ其ノ期間ハ裁判ガ效力ヲ生ジタル時ヨリ進行ヲ始ム

〔附覽四十六號〕

〔附覽四十六號〕

人或至有訴訟能力之當事人須承辦訴訟手續

第一百六十三條 有一定資格之人以自己之名爲他人爲

訴訟當事人而喪失其資格或死亡者訴訟手續中斷於此

情形有同一資格之人其他依法令應續行訴訟之人須承

擔訴訟手續

依第四十七條規定被選定之當事人全員喪失其資格或

死亡者訴訟手續中斷於此情形爲選定之人之總員或新

被選定爲當事人之人須承辦訴訟手續

第一百六十四條 第一百六十條第一項、第一百六十一

條第一項及第二條之規定於有訴訟代理人之間不適用

之

第一百六十五條 當事人受破產之宣告者關於破產財團

之訴訟手續中斷於此情形於有依破產法之承辦前有破

產手續之解止者破產人當然承辦訴訟手續

ス此ノ場合ニ於テハ法定代理人又ハ訴訟能力ヲ有スルニ至リタル當事者ハ訴訟手續ヲ受繼グコトヲ要ス

第一百六十三條 一定ノ資格ヲ有スル者ガ自己ノ名ヲ以テ他人ノ爲訴訟ノ當事者タル場合ニ於テ其ノ資格ヲ喪失シ又ハ死亡シタルトキハ訴訟手續ハ中斷ス此ノ場合ニ於テハ同一ノ資格ヲ有スル者其ノ他法令ニ依リ訴訟ヲ續行スベキ者ハ訴訟手續ヲ受繼グコトヲ要ス

第四十七條ノ規定ニ依リテ選定セラレタル當事者ノ全員ガ其ノ資格ヲ喪失シ又ハ死亡シタルトキハ訴訟手續ハ中斷ス此ノ場合ニ於テハ選定ヲ爲シタル者ノ總員又ハ新ニ當事者トシテ選定セラレタル者ハ訴訟手續ヲ受繼グコトヲ要ス

第一百六十四條 第一百六十條第一項、第一百六十一條第一項及前二條ノ規定ハ訴訟代理人アル間ハ之ヲ適用セズ

第一百六十五條 當事者ガ破產ノ宣告ヲ受ケタルトキハ破產財團ニ關スル訴訟手續ハ中斷ス此ノ場合ニ於テ破產法ニ依ル受繼アル迄ニ破產手續ノ解止アリタルトキハ破產者ハ當然訴訟手續ヲ受繼ス

ス此ノ場合ニ於テハ法定代理人又ハ訴訟能力ヲ有スルニ至リタル當事者ハ訴訟手續ヲ受繼グコトヲ要ス

第一百六十三條 一定ノ資格ヲ有スル者ガ自己ノ名ヲ以テ他人ノ爲訴訟ノ當事者タル場合ニ於テ其ノ資格ヲ喪失シ又ハ死亡シタルトキハ訴訟手續ハ中斷ス此ノ場合ニ於テハ同一ノ資格ヲ有スル者其ノ他法令ニ依リ訴訟ヲ續行スベキ者ハ訴訟手續ヲ受繼グコトヲ要ス

第四十七條ノ規定ニ依リテ選定セラレタル當事者ノ全員ガ其ノ資格ヲ喪失シ又ハ死亡シタルトキハ訴訟手續ハ中斷ス此ノ場合ニ於テハ選定ヲ爲シタル者ノ總員又ハ新ニ當事者トシテ選定セラレタル者ハ訴訟手續ヲ受繼グコトヲ要ス

第一百六十四條 第一百六十條第一項、第一百六十一條第一項及前二條ノ規定ハ訴訟代理人アル間ハ之ヲ適用セズ

第一百六十五條 當事者ガ破產ノ宣告ヲ受ケタルトキハ破產財團ニ關スル訴訟手續ハ中斷ス此ノ場合ニ於テ破產法ニ依ル受繼アル迄ニ破產手續ノ解止アリタルトキハ破產者ハ當然訴訟手續ヲ受繼ス



第一百六十六條 依破産法有關於破産財團之訴訟手續之承辦後有破産手續之解止者訴訟手續中斷於此情形破産人須承辦訴訟手續破産宣告後關於破産財團訴訟被提起而有破産手續之解止者亦同

第一百六十七條 訴訟手續之承辦對方亦得爲之

第一百六十八條 已有承辦訴訟手續之聲明者法院須通知對方

第一百六十九條 承辦訴訟手續之聲明法院須以職權調查之認爲無理由者以裁定却下之

關於裁判之送達後中斷之訴訟手續之承辦須由爲其裁判之法院爲裁判

第一百七十條 當事人雖未爲訴訟手續之承辦者法院亦得以職權命其續行

第一百七十一條 因天災其他之事故法院不能執行職務者訴訟手續於其事故終止前中止

第一百六十六條 破産法ニ依リテ破産財團ニ關スル訴訟手續ノ受

續アリタル後破産手續ノ解止アリタルトキハ訴訟手續ハ中斷ス此ノ場合ニ於テハ破産者ハ訴訟手續ヲ受繼グコトヲ要ス破産宣告後破産財團ニ關シ訴訟ヲ提起セラレタル場合ニ於テ破産手續ノ解止アリタルトキ亦同ジ

第一百六十七條 訴訟手續ノ受繼ハ相手方ニ於テモ亦之ヲ爲スコトヲ得

第一百六十八條 訴訟手續受繼ノ申立アリタルトキハ法院ハ之ヲ相手方ニ通知スルコトヲ要ス

第一百六十九條 訴訟手續受繼ノ申立ハ法院職權ヲ以テ之ヲ調査シ理由ナシト認ムルトキハ裁定ヲ以テ之ヲ却下スルコトヲ要ス

裁判ノ送達後中斷シタル訴訟手續ノ受繼ニ付テハ其ノ裁判ヲ爲シタル法院裁判ヲ爲スコトヲ要ス

第一百七十條 法院ハ當事者ガ訴訟手續ノ受繼ヲ爲サザル場合ニ於テモ職權ヲ以テ其ノ續行ヲ命ズルコトヲ得

第一百七十一條 天災其他ノ他ノ事故ニ因リ法院ガ職務ヲ行フコト能ハザルトキハ訴訟手續ハ其ノ事故ノ止ム迄中止ス

〔附錄八十七號〕

〔附錄八十七號〕

第一百七十二條 當事人因不定期間之障礙不能續行訴訟手續者法院得以裁定命其中止

前項裁定得取消之

第一百七十三條 判決之宣告雖訴訟手續中斷中亦得爲之

訴訟手續之中斷或中止停止期間之進行自訴訟手續承辦之通知或續行之時起更開始全期間之進行

第二編 第一審之訴訟手續

第一章 地方法院之訴訟手續

第一節 訴之提起及變更

第一百七十四條 訴之提起須以訴狀提出於法院爲之

第一百七十五條 訴狀須記載當事人、法定代理人或請求之趣旨及原因

關於準備書面之規定於訴狀準用之

第一百七十六條 確認之訴爲確定證據關係之書面之真否亦得提起之

法務 第二章 民事訴訟法 第三款 民事訴訟法

第一百七十二條 當事者ガ不定期間ノ故障ニ因リ訴訟手續ヲ續行

スルコト能ハザルトキハ法院ハ裁定ヲ以テ其ノ中止ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ裁定ハ之ヲ取消スコトヲ得

第一百七十三條 判決ノ宣告ハ訴訟手續ノ中斷中ト雖モ之ヲ爲スコトヲ得

訴訟手續ノ中斷又ハ中止ハ期間ノ進行ヲ止メ訴訟手續ノ受繼ノ通知又ハ續行ノ時ヨリ更ニ全期間ノ進行ヲ始ム

第二編 第一審ノ訴訟手續

第一章 地方法院ノ訴訟手續

第一節 訴ノ提起及變更

第一百七十四條 訴ノ提起ハ訴狀ヲ法院ニ提出シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第一百七十五條 訴狀ニハ當事者、法定代理人或ニ請求ノ趣旨及原因ヲ記載スルコトヲ要ス

準備書面ニ關スル規定ハ訴狀ニ之ヲ準用ス

第一百七十六條 確認ノ訴ハ法律關係ヲ證スル書面ノ真否ヲ確定スル爲ニモ之ヲ提起スルコトヲ得



第一百七十七條 請求將來之給付之訴以有預爲其請求之必要者爲限得提起之

第一百七十八條 數箇之請求以依同種之訴訟手續者爲限得以一訴爲之

第一百七十九條 訴狀違背第一百七十五條第一項規定者審判官須定相當期間命於其期間內應補正欠缺不從法律規定於訴狀貼用印紙者亦同

原告不補正欠缺者審判官須以裁定却下訴狀

對於前項裁定得爲即時抗告

抗告狀須添附被却下之訴狀

第一百八十條 訴狀須向被告送達之前條規定於不能送達訴狀者準用之

第一百八十一條 有訴之提起者審判官須定言詞辯論期日傳喚當事人

第一百八十二條 就繫屬於法院之事件當事人不得更行

第一百七十七條 將來ノ給付ヲ求ムル訴ハ豫メ其ノ請求ヲ爲ス必要アル場合ニ限リ之ヲ提起スルコトヲ得

第一百七十八條 數箇ノ請求ハ同種ノ訴訟手續ニ依ル場合ニ限リ一ノ訴ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第一百七十九條 訴狀ガ第百七十五條第一項ノ規定ニ違背スル場合ニ於テハ審判官ハ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ欠缺ヲ補正スベキコトヲ命ズルコトヲ要ス法律ノ規定ニ從ヒ訴狀ニ印紙ヲ貼用セザル場合亦同ジ

原告ガ欠缺ノ補正ヲ爲サザルトキハ審判官ハ裁定ヲ以テ訴狀ヲ却下スルコトヲ要ス

前項ノ裁定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

抗告狀ニハ却下セラレタル訴狀ヲ添附スルコトヲ要ス

第一百八十條 訴狀ハ之ヲ被告ニ送達スルコトヲ要ス

前條ノ規定ハ訴狀ノ送達ヲ爲スコト能ハザル場合ニ之ヲ準用ス

〔編覽八十七號〕

〔編覽四十六號〕

五 囑託必要之調査

於前項第一款之情形當事人本人或其法定代理人得經法院之許可使熟悉情事之人代自己到場

就第一項第四款所規定之檢證及鑑定並第五款所規定之調査之囑託準用關於證據調査之規定

第二百條 法院得命言詞辯論之限制、分離或併合或取消其命

第二百零一條 法院得命再開已終結之言詞辯論

第二百零二條 法院得於言詞辯論使翻譯官或通事當場

對於聾人或啞人得以文字發問或使陳述

關於鑑定人之規定於通事準用之

第二百零三條 法院爲使訴訟關係明確禁止不能爲必要之陳述之當事人、代理人或輔佐人之陳述爲續行辯論定新期日

五 必要ナル調査ヲ囑託スルコト

前項第一號ノ場合ニ於テ當事者本人又ハ其ノ法定代理人ハ法院ノ許可ヲ受ケ自己ニ代リ事情ヲ熟知セル者ヲ出頭セシムルコトヲ得

第一項第四號ニ規定スル檢證及鑑定並ニ第五號ニ規定スル調査ノ囑託ニ付テハ證據調査ノ規定ヲ準用ス

第二百條 法院ハ口頭辯論ノ制限、分離若ハ併合ヲ命ジ又ハ其ノ命ヲ取消スコトヲ得

第二百零一條 法院ハ終結シタル口頭辯論ノ再開ヲ命ズルコトヲ得

第二百零二條 法院ハ口頭辯論ニ翻譯官又ハ通事ヲ立會ハシムルコトヲ得

聾者又ハ啞者ニ對シテハ文字ヲ以テ問ヒ又ハ陳述ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百零三條 法院ハ訴訟關係ヲ明確ナラシムル爲必要ナル陳述ヲ爲スコト能ハザル當事者、代理人又ハ輔佐人ノ陳述ヲ禁止辯論續行ノ爲新期日ヲ定ムルコトヲ得

依前項規定已禁止陳述而認爲有必要者法院得命附添律師

禁止訴訟代理人之陳述或命律師之附添者須將其旨通知本人

第二百零四條 攻擊或防禦之方法除另有規定者外得於言詞辯論終結前提出之

第二百零五條 原告或被被告於最初爲言詞辯論之期日不到場或到場而不爲本案之辯論者得以其人提出之訴狀、答辯書其他之準備書面所記載之事項視爲陳述命到場之對方爲辯論

第二百零六條 當事人因故意或重大之過失遲於時機所提出攻擊或防禦之方法認爲使遲延訴訟之完結者法院得因聲明或以職權爲却下之裁定

攻擊或防禦之方法其趣旨不明瞭而當事人不爲必要之釋明或於應爲釋明之期日不到場者亦與前項同

前項ノ規定ニ依リテ陳述ヲ禁ジタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ法院ハ律師ノ附添ヲ命ズルコトヲ得  
訴訟代理人ノ陳述ヲ禁ジ又ハ律師ノ附添ヲ命ジタルトキハ本人ニ其ノ旨ヲ通知スルコトヲ要ス  
第二百零四條 攻擊又ハ防禦ノ方法ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外口頭辯論ノ終結ニ至ル迄之ヲ提出スルコトヲ得  
第二百零五條 原告又ハ被告ガ最初ニ爲スベキ口頭辯論ノ期日ニ出頭セズ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲ爲サザルトキハ其ノ者ノ提出シタル訴狀、答辯書其ノ他ノ準備書面ニ記載シタル事項ハ之ヲ陳述シタルモノト看做シ出頭シタル相手方ニ辯論ヲ命ズルコトヲ得  
第二百零六條 當事者ガ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ時機ニ後レテ提出シタル攻擊又ハ防禦ノ方法ハ之ガ爲訴訟ノ完結ヲ遲延セシムベキモノト認ムルトキハ法院ハ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ却下ノ裁定ヲ爲スコトヲ得  
攻擊又ハ防禦ノ方法ニシテ其ノ趣旨不明瞭ナラザルモノニ付當事者ガ必要ナル釋明ヲ爲サズ又ハ釋明ヲ爲スベキ期日ニ出頭セザルトキ亦前項ニ同ジ  
〔附則八十七號〕

●就民事訴訟代表國之件

(康德四年十二月一日) 勅令第三七五號

朕經諮詢參議府裁可就民事訴訟代表國之件著即公布

(國務總理、司法部長) 署

就民事訴訟代表國之件

第一條 國務總理大臣及各部大臣就係其所管或監督之事務之民事訴訟代表國

國務總理大臣及各部大臣得指定其所屬官吏使其就民事訴訟代表國

第二條 國務總理大臣以院令各部大臣以部令得定所屬官署中就係其掌事務之民事訴訟代表國者

第三條 於前條情形代表國而爲訴訟者爲官署之長或其長所指定之所屬官吏

附 則

本令自康德四年十二月一日施行

法務 第二章 民事訴訟法 第三款 民事訴訟法

〔附則六十八號〕

●民事訴訟ニ付國ヲ代表スルノ件

(康德四年十二月一日) 勅令第三七五號

朕參議府ノ諮詢ヲ經テ民事訴訟ニ付國ヲ代表スルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

(國務總理、司法部長) 署

民事訴訟ニ付國ヲ代表スルノ件

第一條 國務總理大臣及各部大臣ハ其ノ所管又ハ監督スル事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表ス

國務總理大臣及各部大臣ハ其ノ所屬官吏ヲ指定シ民事訴訟ニ付國ヲ代表セシムルコトヲ得

第二條 國務總理大臣ハ院令ヲ以テ各部大臣ハ部令ヲ以テ所屬官署中其ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表スルモノヲ定ムルコトヲ得

第三條 前條ノ場合ニ於テ國ヲ代表シテ訴訟ヲ爲ス者ハ官署ノ長又ハ其ノ長ノ指定シタル所屬官吏トス

附 則

本令ハ康德四年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

五九五



●關於司掌事務對於民事訴訟代  
表國者指定之件

(康慶五年二月五日)  
交通部令第一號

茲依康慶四年勅令第三百七十五號第二條關於其各自之司掌事務對於民事訴訟代表國者指定如左  
但於管理局長應受理之裁判所如有合於管理局之管轄區域以外時或對於同一人出國提起訴訟時則屬二以上之管理局之司掌事務時不在此限

郵政總局長  
郵政管理局長

本令自康慶五年一月二十日施行

●關於民事訴訟法第二百零八條  
所定之新期日傳喚之件

(康慶六年二月二日)  
司法部令第三七號

爲令選舉事查於民事訴訟法第二百零八條第二項所謂以後之期日除指接換同條第一項所定之新期日之期日而外宜指非接換以後之期日而言如當事人雙方皆於前開期日不到場或不爲

●司掌事務ニ關シ民事訴訟ニ付國ヲ代  
表スル者ノ指定ニ關スル件

(康慶五年二月五日)  
交通部令第一號

茲依康慶四年勅令第三百七十五號第二條ニ依リ各其ノ司掌事務ニ關シ民事訴訟ニ付國ヲ代表スル者ヲ左ノ通指定ス  
但シ管理局長ニ於テハ訴ヲ受理スベキ裁判所ガ當該管理局ノ管轄區域外ニアルトキ又ハ同一人ニ對シ國ヨリ訴訟ヲ提起スル場合ニ於テ二以上ノ管理局ノ司掌事務ニ係ルトキハ此ノ限ニ在ラズ

郵政總局長  
郵政管理局長

本令ハ康慶五年一月二十日ヨリ之ヲ施行ス

●民事訴訟法第二百零八條所定ノ新期日  
呼出ニ關スル件

(康慶六年二月二日)  
司法部令第三七號

民事訴訟法第二百零八條第二項ニ所謂其ノ後ノ期日トハ同條第一項所定ノ新期日ニ接換セル期日ハ勿論換換セザル其ノ後ノ期日ヲ指稱スルモノニシテ當事者雙方共ニ口頭辯論期日ニ出頭セズ又ハ辯論ヲ爲サズ

〔附覽八十七號〕

辯論而退庭前後有二次時期不論其期日之換與否於茲即觀爲  
辭已撤回其訴訟則因之而當然終了然當事人往往竟觀辭前開之  
趣旨以爲於第二百零八條所定之新期日及與此接換之期日已到  
場而爲辯論雖於以後之期日不到場或不爲辯論而退庭亦不發生  
同條第二項所定之效果者有之或雖有當事人雙方皆不到場或不  
爲辯論而退庭之事實然於同條第一項所定之新期日及於以後逐  
次所指定之官同辯論期日均照按時到場且爲辯論如斯其間涉於  
長期時或當事人將以前不到場等之事實忘却者有之其結果竟因  
微細之事故而不到場或不爲辯論而退庭以致依前開法條觀爲辭  
已撤回如斯雖保不無對於其結果之重大影響周章之舉例是以今  
後就第二百零八條所定之新期日或以後之期日於傳喚當事人時  
應隨時特於傳喚時以符號或依其他適宜之方法附載於本日期日當  
事人雙方不到場或不爲辯論而退庭時法律上當然視爲辭已撤回  
之趣旨再於前開新期日或以後之官同辯論期日當指定次日期日  
而以官同告知之際當時爲妥慎起見應請求與以注意等處置以期  
防止因遲起如前開之結果而使無意之當事人蒙不測之損害於  
未然爲要除分令外合行仰遵照由各地方法院轉飭所屬區  
審判機關一體遵照辦理此令

シテ退庭スルコト前後二回ニ及ブトキハ其ノ期日ノ換セルト否トヲ  
問ハズ其ノ取テ下アリタルモノト看做サレハハ之ニ因リ當然終了  
スベキモノナルトコロ當事者往往ニシテ前記ノ趣旨ヲ誤解シ第二百零八  
條所定ノ新期日及之ニ接換セル期日ニ出頭シ辯論ヲ爲シタル以上其ノ  
後ノ期日ニ出頭セズ又ハ辯論ヲ爲サズシテ退庭スルモノ同條第二項所定  
ノ效果ノ生ズルコトナキモノト思惟スルコトアルベク或ハ當事者雙方  
共ニ出頭セズ又ハ辯論ヲ爲サズシテ退庭シタル事實存スルモノ同條第一  
項所定ノ新期日ハ勿論其ノ後逐次指定セラレタル口頭辯論期日ニ其ノ  
都度出頭シ且辯論ヲ爲シテ其ノ間長期ニ互ルトキハ時ニ當事者ハ  
以前ニ於ケル事出頭等ノ事實ヲ失念スルニ至ルトアルベク其ノ結果  
些少ナル事故ニ因リテ出頭セズ又ハ辯論ヲ爲サズシテ退庭シタルガ爲  
前記法條ニ依リ辭ヲ取テ下アリタルモノト看做サルルニ至リ其ノ結果ノ  
重大ナルニ周章スルガ如キ事例ナキヲ保セザルベシ  
仍テ爾今第二百零八條所定ノ新期日又ハ其ノ後ノ期日ニ付當事者ヲ呼出  
ス場合ニ於テハ其ノ都度特ニ呼出狀ニ符號其ノ他適宜ノ方法ニ依リ本  
期日ニ當事者雙方出頭セズ又ハ辯論ヲ爲サズシテ退庭スルコトアルト  
キハ法律上當然辭ヲ取テ下アリタルモノト看做サルルニ至ルベキ旨ヲ附  
記スベク又前記新期日又ハ其ノ後ノ口頭辯論期日ニ於テ次日期日ヲ指  
定シ口頭ヲ以テ之ヲ告知スル場合ニ於テハ其ノ際念ノ爲注意ヲ與フル  
等ノ處置ヲ講ジ以テ前記ノ如キ結果ノ惹起ニ因リ惡意ナキ當事者ニ不  
測ノ損害ヲ被ラシムルコトヲ未然ニ防止センコトヲ期スベシ  
右遵照スルト共ニ高等法院ハ所屬縣裁判機關ニ地方法院ハ所屬區法  
院ニ轉令遵照セシムベシ

●舊行號債權執行辦法

(大同二年九月十三日)  
敕令第七四號

茲經諮詢參議府制定舊行號債權執行辦法著即公布此令

(國務總理、司法部長)

舊行號債權執行辦法

第一條 本法所謂舊行號者係指滿洲中央銀行組織辦法第六條之東三省官銀號、邊業銀行、吉林永衡官銀號及黑龍江官銀號而言

●舊行號ノ債權執行辦法

(大同二年九月十三日)  
敕令第七四號

茲ニ參議府ノ諮詢ヲ經テ舊行號ノ債權執行辦法ヲ制定シ之ヲ公布セシム

(國務總理、司法部長)

舊行號ノ債權執行辦法

第一條 本法ニ舊行號ト稱スルハ滿洲中央銀行組織辦法第六條ノ東三省官銀行、邊業銀行、吉林永衡官銀號及黑龍江官銀號ヲ謂フ

(附覽八十七號)

第二條 對於大同元年三月一日以前所發生舊行號之債權

權於是日以前根據行政機關之命令所爲之執行具備左列全部條件者於是日以後亦爲有效

- 一 大同元年三月一日以前業已開始其執行而在本法施行前完畢其執行者
- 二 大同元年三月一日是時關於其執行未繫屬訴訟者或已繫屬訴訟時其後該訴訟已撤銷者
- 三 本法施行前將其執行爲無效之裁判向未確定者
- 四 大同元年三月一日是時對於債務人未至主管官署所認可之清理程序中者

第三條 大同元年三月一日以前舊行號所取得之抵押權及其他不動產物權雖未經登記限於本法施行後一年以內仍得對抗第三者

附 則

本法自公布之日施行

法務 第二章 民事訴訟法 第三款 民事訴訟法

(附覽八十七號)

第二條 大同元年三月一日以前ニ發生シタル舊行號ノ債權ニ付

キ同日以前ニ行政機關ノ命令ニ基キ爲シタル執行ニシテ左記各號ノ凡テノ條件ニ適合スルモノハ同日以後ニ於テモ之ヲ有效トス

- 一 大同元年三月一日以前ニ已ニ其ノ執行ヲ開始シ本法施行前其ノ執行ヲ終了シタルコト
- 二 大同元年三月一日ニ於テ其ノ執行ニ關シ訴訟繫屬シ居ラザリシコト若シ訴訟繫屬シ居リタルトキハ其ノ後該訴訟ガ取下ゲラレタルコト
- 三 本法施行前其ノ執行ヲ無効トスル旨ノ裁判確定シ居ラザルコト
- 四 大同元年三月一日ニ於テ債務者ニ付主管官署ノ認可シタル清理手續中ニ在ラザリシコト

第三條 大同元年三月一日以前ニ舊行號ガ取得シタル抵押權及其他ノ不動產物權ハ未ダ登記ヲ經ザルモ本法施行後一年以內ニ限リ仍ホ第三者ニ對抗スルコトヲ得

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス



第四款 強制執行法及拍賣法

●強制執行法

(昭和四年六月三十日 勅令第二〇七號)

朕依組織法(第四十一條)經諮詢參議府裁可強制執行法ヲ著即公布(國務總理、司法部長大臣)

強制執行法目次

第一章 強制執行

第一節 總則

第二節 金錢債權之強制執行

第一目 對於動產之強制執行

第二目 對於債權之強制執行

第三目 對於不動產之強制執行

第四目 對於船舶之強制執行

第五目 對於其他之財產權之強制執行

第三節 就不以支付金錢爲標的之債權之強制執行

第四款 強制執行法及拍賣法

●強制執行法

(昭和四年六月三十日 勅令第二〇七號)

朕依組織法(第四十一條)ニ依リ參議府ノ諮詢ヲ經テ強制執行法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム(國務總理、司法部長大臣)

強制執行法目次

第一章 強制執行

第一節 總則

第二節 金錢ノ債權ニ付テノ強制執行

第一款 動產ニ對スル強制執行

第二款 債權ニ對スル強制執行

第三款 不動產ニ對スル強制執行

第四款 船舶ニ對スル強制執行

第五款 其他ノ財產權ニ對スル強制執行

第三節 金錢ノ支拂ヲ目的トセザル債權ニ付テノ強制執行

[續覽七十七號]

西安區法院	西豐區法院、東豐區法院、海龍區法院
安東區法院	鳳城區法院、輯安區法院、莊河區法院、寬甸縣司法公署、桓仁縣司法公署
通化區法院	柳河縣司法公署、輯安縣司法公署、臨江縣司法公署、輝南縣司法公署、金川縣司法公署、濛江縣司法公署、長白縣司法公署、撫松縣司法公署、敦化縣司法公署、蛟河縣司法公署、磐石縣司法公署、舒蘭縣司法公署、德惠縣司法公署、九台縣司法公署、農安縣司法公署、懷德縣司法公署、雙陽縣司法公署、伊通縣司法公署、梨樹縣司法公署、德惠縣司法公署、九台縣司法公署、農安縣司法公署、懷德縣司法公署、雙陽縣司法公署、伊通縣司法公署、梨樹縣司法公署
通遼區法院	王龍崗區法院、科爾沁右翼後旗審判廳、科爾沁左翼後旗審判廳、科爾沁右翼中旗審判廳、科爾沁左翼中旗審判廳、扎魯特旗審判廳、奈曼旗審判廳、阿魯科尔沁旗審判廳、巴林左翼旗審判廳、巴林右翼旗審判廳、林西縣審判廳、克什克騰旗審判廳
開魯區法院	扎魯特旗審判廳、奈曼旗審判廳、阿魯科尔沁旗審判廳、巴林左翼旗審判廳、巴林右翼旗審判廳、林西縣審判廳、克什克騰旗審判廳
哈爾濱區法院	五常縣司法公署、阿城區法院、呼蘭區法院、肇東區法院、蘭西區法院、肇州區法院、肇源區法院、寶清縣司法公署、密山縣司法公署、穆稜縣司法公署、東寧區法院、齊齊哈爾區法院、海倫區法院、肇慶縣司法公署、鐵嶺縣司法公署
綏化區法院	海倫區法院、肇慶縣司法公署、鐵嶺縣司法公署
牡丹江區法院	穆稜區法院、東寧區法院、齊齊哈爾區法院
佳木斯區法院	勃利區法院、依蘭區法院、富錦區法院、寶清縣司法公署、方正縣司法公署、通河縣司法公署、鳳山縣司法公署、饒河縣司法公署、饒安縣司法公署、撫遠縣司法公署、撫遠縣司法公署
錦州區法院	義州區法院、朝陽區法院、興城區法院、綏中區法院
黑山區法院	北鎮區法院、阜新區法院、盤山區法院、彰武區法院
承德區法院	寧城區法院、凌源區法院、建昌區法院、開場縣承審處、隆化縣承審處、豐寧縣承審處、青龍縣承審處、興隆縣承審處
赤峰區法院	建平區法院
齊齊哈爾區法院	扶餘區法院、林甸區法院、泰康區法院、訥河區法院、泰來縣司法公署
洮南區法院	白城子區法院、瞻榆縣司法公署、開通縣司法公署、瞻榆縣司法公署、瞻榆縣司法公署、瞻榆縣司法公署
克山區法院	北安區法院、拜泉區法院



黑河區法院	奇克達理司法縣公署、遜河理司法縣公署、烏雲理司法縣公署、佛山理司法縣公署、呼瑪理司法縣公署、阿爾泰理司法縣公署、漠河理司法縣公署
扎蘭屯區法院	阿榮旗審判署、喜扎嘎爾旗審判署、莫力達瓦旗審判署、巴彥旗審判署
海拉爾區法院	滿洲里區法院、新巴爾虎左翼旗審判署、陳巴爾虎旗審判署、額爾克納右翼旗審判署

附則  
本令自康德五年九月一日起施行

### 關於工場財團登錄、礦業財團登錄及礦業財團登記之手數料之件

(康德五年九月十九日 司法部令第二〇號)

茲將關於工場財團登錄、礦業財團登錄及礦業財團登記之手數料之件制定如左

關於工場財團登錄、礦業財團登錄及礦業財團登記之手數料之件

關於請求工場財團登錄、礦業財團登錄及礦業財團登記之手數料之件或請求登記簿、登記簿及其附屬書類之閱覽之手數料準用康德四年司法部令第二十九號之規定

附則  
本令自公布日施行

附則  
本令自康德五年九月一日起之ヲ施行ス

### 工場財團登錄、礦業財團登錄及礦業財團登記ニ關スル手數料ノ件

(康德五年九月十九日 司法部令第二〇號)

茲ニ工場財團登錄、礦業財團登錄及礦業財團登記ニ關スル手數料ノ件ヲ左ノ通制定ス

工場財團登錄、礦業財團登錄及礦業財團登記ニ關スル手數料ノ件

工場財團登錄簿、礦業財團登錄簿及礦業財團登記簿ノ原本若ハ抄本ノ交付ノ請求又ハ登錄簿、登記簿若ハ其ノ附屬書類ノ閱覽ノ請求ニ關スル手數料ニ付テハ康德四年司法部令第二十九號ノ規定ヲ準用ス

附則  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

### 關於印鑑證明書交付之件

(康德六年二月二日 司法部令第三六號)

各縣地方法院長

爲令進事查關於商業登記、法人登記、金融合作社登記及金融合作社聯合會登記於印鑑提出後由印鑑本人際請交付印鑑證明書時得不檢收手數料而交付之於此情形應在證明書附屬所添附之印鑑用紙與其附屬書類爲契印於證明書之末尾記載左開證明文及證明之年月日由登記官吏署名蓋章並蓋印處之印

右印鑑與備在於本登記處之印鑑對照並無差異特此證明

交付印鑑證明書時應於發文日期簿記載進行號數、交付年月日、印鑑證明書之種別、數及申請人之姓名並與證明書爲契印除分行外合或令仰遵照並由高等法院轉飭所屬各縣法院即便遵照辦理爲要此令

### 第九款 提存 (輯錄財務篇第八章)

(附錄八十七號)

### 印鑑證明書ノ交付ニ關スル件

(康德六年二月二日 司法部令第三六號)

各縣地方法院長

商業登記、法人登記、金融合作社登記及金融合作社聯合會登記ニ關シ印鑑ノ提出アリタル後印鑑本人ヨリ印鑑證明書交付ノ申請アリタルキハ手數料ヲ徵收セズ之ヲ交付スルコトヲ得ベシ此ノ場合ニ於テハ證明申請書ニ添附シタル印鑑用紙ト其ノ申請書トニ契印ヲ爲シ證明申請書ノ末尾ニ左ノ證明文及證明ノ年月日ヲ記載シ登記官吏署名捺印シ且證明處ノ印ヲ捺捺スベシ

右印鑑ハ當登記處ニ備ヘアル印鑑ニ照シ其ノ相違ナキコトヲ證明ス印鑑證明書ヲ交付スルトキハ發文日期簿ニ進行號數、交付年月日、印鑑證明書ノ種別、數及申請人ノ姓名ヲ記載シ且申請書ト契印ヲ爲スベシ尙各高等法院ハ各縣法院司法機關ニ各地方法院ハ所屬區法院ニ轉令シ知照セシムベシ

### 第九款 提存 (財務篇第八章ニ輯ム)

第四款 指紋檢證及犯罪票

●勞働者指紋事務處理規程

康慶六年三月十七日  
治安部訓令第二三號  
民生部訓令第二三號

關於實施勞働統計法施行規則並十本指紋登錄實施之件將勞働者指紋事務處理規程制定之速向所屬各機關轉令對此於運用上其其無遺憾

勞働者指紋事務處理規程

第一條 辦理勞働者指紋事務除依關於勞働統計法施行規則並十本指紋登錄實施之件外應依本規程  
第二條 本規程所稱指紋原紙者乃指依指紋登錄之勞働者登錄之附本而言

第三條 本規程所稱勞働者指紋事務係指指紋原紙之作成、保管、整理及其他關於指紋一切事務而言  
第四條 滿洲勞工協會(以下簡稱勞工協會)依指紋登錄之勞働者登錄時對勞働者一人須作成指紋原紙二份

因負傷或其他事由不能捺印指紋時須於指紋原紙上記入所要事項並將理由於備考欄內朱印之

法務 第三章 刑事法 第四款 指紋檢證及犯罪票

〔研覽八十七號〕

第四款 指紋檢證及犯罪票

●勞働者指紋事務處理規程

康慶六年三月十七日  
治安部訓令第二三號  
民生部訓令第二三號

勞働統計法施行規則並十本指紋登錄實施ニ關スル件ノ實施ニ關シ勞働者指紋事務處理規程ヲ制定シタルニ付連ニ所屬各機關ニ轉令シ之ガ運用上其無遺憾ナキヲ期スベシ

勞働者指紋事務處理規程

第一條 勞働者指紋事務ノ取扱ハ勞働統計法施行規則並十本指紋登錄實施ニ關スル件ニ依ルノ外本規程ニ依ル  
第二條 本規程ニ於テ指紋原紙ト稱スルハ指紋ニ依ル勞働者登錄原紙ノ附本ヲ謂フ

第三條 本規程ニ於テ勞働者指紋事務ト稱スルハ指紋原紙ノ作成、保管、整理其ノ他指紋ニ關スル一切ノ事務ヲ謂フ  
第四條 滿洲勞工協會(以下單ニ勞工協會ト稱ス)指紋ニ依リ勞働者登錄ヲ爲シタルトキハ勞働者一人ニ付指紋原紙二通ヲ作成スベシ

負傷其ノ他ノ事由ニ依リ指紋ヲ捺捺スルコト能ハザルトキハ指紋原紙ニ所要ノ事項ヲ記入シタル上其ノ事由ヲ備考欄ニ朱印スベシ

四三

法務 第三章 刑事法 第四款 指紋檢査及犯罪票

指紋原紙於每一句彙總依別表第一號樣式之送付表所載次序整理後送交所轄指紋管理室

第五條 既經作成指紋原紙之勞動者、嗣後因負傷或其他事由於指紋分類上發生異動時應作成指紋原紙二份於備考欄內將其事由朱書之遵照前條第三項之規定送交之

第六條 指紋管理室接到依前二條之規定送交之指紋原紙時、應依另定之指紋分類法分類之其一份於該管理室保管之他一份於每一句彙總之檢送付表(第一號)所載次序整理後送交指紋管理局

第七條 警察官署關於依指紋勞動者之登錄受勞工協會之要請時就其事務之一部或全部須與以必要之援助

第八條 指紋原紙於作成姓名小票後以左手為基準排列保管之

第九條 指紋管理局或指紋管理室發見重複原紙時應依別表第一號之指紋原紙將其必要事項轉記後將其一份廢棄之

第十條 指紋管理局或指紋管理室發見重複登錄者時應依別表第二號樣式作成重複登錄者發見通知書ヲ指紋管理局發見時通報關係指紋管理室及勞工協會於指紋管理室發見時通報指紋管理局及關係勞工協會出張所

第十一條 警察官吏發見合於勞動法施行規則第三十一條及第三十二條之勞動者而無有勞動票者時應速行報告所轄

四四

指紋原紙ハ一句毎ニ取讀メ別表第一號樣式ニ依ル送付表記載ノ順序ニ整理シテ所轄指紋管理室ニ送付スベシ

第五條 既ニ指紋原紙ヲ作成シタル勞動者ニシテ負傷其ノ他ノ事由ニ依リ指紋分類ニ異動ヲ生ジタルモノ有リタルトキハ指紋原紙二通ヲ作成シ備考欄ニ其ノ事由ヲ朱書シテ前條第三項ノ規定ニ準ジ送付スベシ

第六條 指紋管理室前二條ノ規定ニ依リ指紋原紙ノ送付ヲ受ケタルトキハ別ニ定ムル指紋分類法ニ依リ分類シ一通ヲ當該管理室ニ保管シ他ノ一通ハ一句毎ニ取讀メ送付表(第一號樣式)記載ノ順序ニ整理シテ指紋管理局ニ送付スベシ

第七條 警察官署指紋ニ依ル勞動者登錄ニ關シ勞工協會ノ要請ヲ受ケタルトキハ其ノ事務ノ一部若ハ全部ニ付必要ナル援助ヲ爲スベシ

第八條 指紋原紙ハ氏名小票ヲ作成シタル後左手基準ニ排列保管スベシ

第九條 指紋管理局又ハ指紋管理室重複原紙ヲ發見シタルトキハ指紋原紙ニ必要事項ヲ轉記シタル後其ノ他ノ一通ハ之ヲ廢棄スベシ

第十條 指紋管理局又ハ指紋管理室重複登錄者ヲ發見シタルトキハ別表第二號樣式ニ依リ重複登錄者發見通知書ヲ作成シ指紋管理局ニ在リテハ關係指紋管理室及勞工協會ニ指紋管理室ニ在リテハ指紋管理局及關係勞工協會出張所ニ通報スベシ

第十一條 警察官吏發見合於勞動法施行規則第三十一條及第三十二條ニ當スル勞動者ニシテ勞動票ヲ所持セザル者ヲ發見シタルトキハ速ニ

〔別表八十七號〕

〔別表八十七號〕

勞工協會出張所或所轄代行者或依第七條之規定辦理登錄之警察官吏

警察官吏對於勞動者發見其勞動票之登錄事項發生異動時速使報告所轄勞工協會出張所或所轄代行者或依第七條之規定辦理全部登錄事務之警察官吏

第十二條 勞工協會接受依指紋登錄之勞動者或因其屬備者登錄事項發生異動之意旨時依左記處理之

一 雇主發生異動時及轉住依指紋勞動者登錄實施地域內時作成指紋原紙二份於原紙上圖蓋印每一句彙總之添附送付表(第一號樣式)送呈指紋管理局並所轄指紋管理室

二 解雇或職業上發生異動時及轉住依指紋勞動者登錄實施地域外時依別表第三號樣式作成異動通知書二份於每一句彙總之依別表第四號樣式添附送付表送呈指紋管理局並所轄指紋管理室

三 如前款者再發生異動時亦同前款

第十三條 勞動票失效時或返納時勞工協會應依別表第五號樣式作成勞動票返納(失效)通知書二份送交指紋管理局並所轄指紋管理室

第十四條 勞工協會接受由關東州勞工協會對受勞工協會之認印而出國之勞動者入州檢印訖之通報時依別表第六號樣式作成出國通知書二份送交指紋管理局並所轄指紋管理室

法務 第三章 刑事法 第四款 指紋檢査及犯罪票

四五

所轄勞工協會出張所若ハ所轄代行者又ハ第七條ノ規定ニ依リ登錄ヲ行フ警察官吏ニ届出デシムベシ

警察官吏發見合於勞動法施行規則第三十一條及第三十二條ニ當スル勞動者ニシテ勞動票ヲ所持セザル者ヲ發見シタルトキハ速ニ所轄勞工協會出張所或所轄代行者又ハ第七條ノ規定ニ依リ登錄事務ノ全部ヲ行フ警察官吏ニ届出デシムベシ

第十二條 勞工協會指紋ニ依リ登錄ヲ受ケタル勞動者又ハ雇備者ヨリ登錄事項ニ異動ヲ生ジタル旨届出アリタルトキハ左記ニ依リ之ヲ處理スベシ

一 雇主ニ異動ヲ生ジタルトキ及指紋ニ依ル勞動者登錄實施地域内ニ轉住シタルトキハ指紋原紙二通ヲ作成シ原紙上圖蓋印ヲ捺捺シタル上一句毎ニ取讀メ送付表(第一號樣式)ヲ添附シテ指紋管理局並ニ所轄指紋管理室ニ送付スベシ

二 解雇又ハ職業ニ異動ヲ生ジタルトキ及指紋ニ依ル勞動者登錄實施地域外ニ轉住シタルトキハ別表第三號樣式ニ依リ異動通知書二通ヲ作成シ一句毎ニ取讀メ別表第四號樣式ニ依リ送付表ヲ添附シテ指紋管理局並ニ所轄指紋管理室ニ送付スベシ

三 前號ノ者更ニ異動ヲ生ジタルトキ亦前號ニ同ジ

第十三條 勞動票失效シタルトキ又ハ返納アリタルトキハ勞工協會ハ別表第五號樣式ニ依リ勞動票返納(失效)通知書三通ヲ作成シ指紋管理局並ニ所轄指紋管理室ニ送付スベシ

第十四條 勞工協會關東州勞工協會ヨリ勞工協會ノ檢印ヲ受ケ出國シタル勞動者ニ付入州檢印済ノ通報ヲ受ケタルトキハ別表第六號樣式ニ依リ出國通知書二通ヲ作成シ指紋管理局並ニ所轄指紋管理室ニ送



第十五條 勞工協會通知依指教登錄之勞働者死亡之事實時依別表第七號様式作成死亡通知書二份送交指教管理局並所轄指教管理室

第十六條 指教管理局及指教管理室依第十二條乃至第十五條之規定接受送呈之指教原紙或通知書時迅速一整理之指教管理局接受依前條規定之報告時應通報關係指教管理室

第十七條 司法警察官檢察或檢證受有勞働者登錄之變死者時作成照會原紙二份將其意旨記載之迅速呈送指教管理局及所轄指教管理室

第十八條 指教管理局或指教管理室接受依前條之規定送呈之照會原紙時與保管原紙對照之將其結果記入返送之

於前項之場合於指教管理局發見該當者時通知保管本人指教原紙之指教管理室及勞工協會於指教管理室發見時通知登錄之勞工協會出張所

第十九條 照會勞働者之身分及其他事項時依別表第八號様式作成照會原紙向指教管理局或所轄指教管理室照會之但不能捺押指教時須將不捺押之原紙以照會原紙所定事項記載之置於備考欄內將其身體及其他之特徵詳記照會之

〔輯覽八十七號〕

付スベシ

第十五條 勞工協會指教ニ依ル登錄ヲ受ケタル勞働者死亡ノ事實ヲ認知シタルトキハ別表第七號様式ニ依リ死亡通知書二通ヲ作成シ指教管理室ニ送付スベシ

第十六條 指教管理局及指教管理室第十二條乃至第十五條ノ規定ニ依リ指教原紙又ハ通知書ノ送付ヲ受ケタルトキハ迅速ニ整理スベシ指教管理局前條ノ規定ニ依リ報告ヲ受ケタルトキハ關係指教管理室ニ通報スベシ

第十七條 司法警察官勞働者登錄ヲ受ケタル變死者ヲ檢視又ハ檢證シタルトキハ照會原紙二通ヲ作成シ其ノ旨ヲ記載シタル上迅速ニ指教管理局及所轄指教管理室ニ送付スベシ

第十八條 指教管理局又ハ指教管理室前條ノ規定ニ依リ照會原紙ノ送付ヲ受ケタルトキハ保管原紙ト對照シ其ノ結果ヲ記入シテ返送スベシ

前項ノ場合ニ於テ該當者ヲ發見シタルトキハ指教管理局ニ在リテハ本人ノ指教原紙ヲ保管スル指教管理室及勞工協會ニ指教管理室ニ在リテハ登錄ヲナシタル勞工協會出張所ニ通知スベシ

第十九條 勞働者ノ身分其ノ他ノ事項ヲ照會セントスルトキハ別表第八號様式ニ依リ照會原紙ヲ作成シ指教管理局又ハ所轄指教管理室ニ照會スベシ但シ指教ヲ捺押スルコト能ハザルトキハ不捺押ノ備考欄照會原紙ニ所定事項ヲ記載シ且備考欄ニ身體其ノ他ノ特徵ヲ詳記シテ照會スベシ

指教管理局又ハ指教管理室前項ノ照會ヲ受ケタルトキハ迅速ニ其ノ結

〔輯覽八十七號〕

果ヲ回答スベシ

第二十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル指教原紙ハ之ヲ廢棄スベシ  
一 年齡七十歳ニ達シタル者但シ現ニ勞働ニ從事中ノ者ヲ除ク  
二 死亡シタルコト確實ト認ムル者

附 則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
勞工協會ニ於テ本規程施行前ニ作成シタル指教原紙ハ本規程ニ依リ作成セルモノト看做ス

省長及警察總監ハ本規程ニ定ムルモノノ外別ニ内規ヲ定ムルコトヲ得第十二條第一款中「雇主發生異動時」ニ於ケル異動通知ハ十本指教採取機メテ困難ナル地域ニ在リテハ當分ノ間同條第二款ノ異動通知書ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第二十條 指教原紙合於左記各款之一者廢棄之  
一 年齡達到七十歳者但臨現在從事勞働中者  
二 認爲確實死亡者

附 則

本規程自公布日施行之  
勞工協會於本規程施行前作成之指教原紙視為依本規程作成者

省長及警察總監除本規程所定之外得另定內規  
第十二條第一款中「雇主發生異動時」之異動通知在採取十指教採取困難之地域內者暫時得以前條第二款之異動通知書代之









第三號樣式

康德年 月 日

勞働者異動通知書

官署印

考	備	解雇事由	解雇時給額	解雇年月日	就勞箇所	現職(職名)	居住年月日	住所	採用時工資額	雇傭年月日	雇主	異動事項	登錄番號	本籍	生年月日	姓名
指食手左																

康德年 月 日

勞働者異動通知書

官署印

考	備	解雇事由	解雇時給額	解雇年月日	就勞箇所	現職(職名)	居住年月日	住所	採用時工資額	雇傭年月日	雇主	異動事項	登錄番號	本籍	生年月日	姓名
指食手左																

康德年 月 日

勞働者異動通知書

官署印

考	備	解雇事由	解雇時給額	解雇年月日	就勞箇所	現職(職名)	居住年月日	住所	採用時工資額	雇傭年月日	雇主	異動事項	登錄番號	本籍	生年月日	姓名
指食手左																

〔御覽八十七號〕

第四號樣式

康德年 月 日

勞働者異動通知書送付表

出張所

姓名	登錄番號	備考	姓名	登錄番號	備考

姓名	登錄番號	備考	姓名	登錄番號	備考

第六號樣式

法務  
第三章  
刑事法  
第四款  
指教檢證及犯罪票

勞働者出國通知書							
康徳年 月 日							
出張所							
姓名	本籍	生年月日	登出 張所	登録番號	出國年月日	備考	

姓名	本籍	生年月日	登出 張所	登録番號	出國年月日	備考	

五七

〔初覽八十七號〕

第五號樣式

法務  
第三章  
刑事法  
第四款  
指教檢證及犯罪票

勞働票(返納)通知書							
康徳年 月 日							
出張所							
姓名	本籍	生年月日	登出 張所	登録番號	返納 (失効)年月日	備考 (失効)	

姓名	本籍	生年月日	登出 張所	登録番號	返納 (失効)年月日	備考 (失効)	

五六

〔初覽八十七號〕





第八號檢式裏面

左手 親指 印象	食 指	中 指	環 指	小 指	無 指
右手 親指 印象	食 指	中 指	環 指	小 指	無 指
左手 平 面 印 象					
右手 平 面 印 象					

〔第八十七號〕

〔第八十七號〕

●指紋分類方式

(康徳六年三月十七日 治安部訓令第一二二號)

會 警 署 長  
警 署 長 官  
警 署 長 官  
警 署 長 官  
警 署 長 官  
警 署 長 官  
警 署 長 官  
警 署 長 官  
警 署 長 官  
警 署 長 官

伴於指紋管理局並指紋管理室設置指紋分類方式就如左之改正速向所屬各機關轉令對於運用上期其為無遺憾

滿洲國統一指紋分類法

第一條 指紋之分類依本法

第二條 於本法所謂指紋者即依指頭內面之隆線而形成之紋線

第三條 皮膚隆起部分謂之隆線將此區別如左之十七種

- 一 弓狀線 由一個起成爲弓狀或波狀流向反對側之隆線 (參照第一圖)
- 二 蹄狀線 由一個起其頭部形成馬蹄形環流原起側之隆線 (參照第二圖)
- 三 渦狀線 形成渦狀之隆線者 (參照第三圖)
- 四 環狀線 形成環狀之隆線者 (參照第四圖)
- 五 二重蹄狀線 一箇隆線聯曲成兩箇以上之相重蹄狀或渦狀而流向同一方向者 (參照第五圖)
- 六 雙蹄蹄狀線 一箇隆線聯曲成兩箇以上之相重蹄狀或

法務 第三章 刑事法 第四款 指紋檢査及犯罪票

●指紋分類方式

(康徳六年三月十七日 治安部訓令第一二二號)

會 警 署 長  
警 署 長 官  
警 署 長 官  
警 署 長 官  
警 署 長 官  
警 署 長 官  
警 署 長 官  
警 署 長 官  
警 署 長 官  
警 署 長 官

指紋管理局並指紋管理室設置指紋分類方式左ノ通改正シタルニ付速ニ所屬各機關ニ轉令シ之ヲ運用上萬遺憾ナキヲ期スベシ

滿洲國統一指紋分類法

第一條 指紋ノ分類ハ本法ニ依ル

第二條 本法ニ於テ指紋トハ指頭內面ニ於テ隆線ニ依リ形成セラルル紋線ヲ謂フ

第三條 皮膚ノ隆起スル部分ヲ隆線ト謂ヒ之ヲ左ノ十七種ニ區別ス

- 一 弓狀線 一方ノ側ヨリ起リ弓狀若ハ波狀ヲナシ反對側ニ流ルルモノヲ謂フ (第一圖參照)
- 二 蹄狀線 一方ノ側ヨリ起リ其ノ頭部ガ馬蹄形ヲナシ原起リタル側ニ環流スルモノヲ謂フ (第二圖參照)
- 三 渦狀線 渦ヲナスモノヲ謂フ (第三圖參照)
- 四 環狀線 環狀ヲナスモノヲ謂フ (第四圖參照)
- 五 二重蹄狀線 一箇ノ隆線ガ聯曲シテ二箇以上ノ相重ナル蹄狀若ハ渦狀ヲ形成シ同一方向ニ流ルルモノヲ謂フ (第五圖參照)
- 六 雙蹄蹄狀線 一箇ノ隆線ガ聯曲シテ二箇以上ノ相重ナル蹄狀若

六一

- 六 渦狀而流向反對側者(參照第六圖)
- 七 短線 極短者
- 八 弧狀線 形成弧狀者(參照第七圖)
- 九 鈎狀線 形成鈎狀者(參照第八圖)
- 十 分岐線 一箇線分為兩個以上時各線謂之分岐線(參照第九圖)
- 分岐線之幹謂幹線(參照第十圖)
- 十一 接合線 兩個以上之線接合成一箇線時謂之接合線(參照第十一圖)
- 十二 接觸線 互相接觸而未至於合一之各線謂之接觸線(參照第十二圖)
- 十三 島形線 單純分岐再單純接合之線(參照第十三圖)
- 十四 點 無長短者
- 十五 點線 點之相連而形成線狀者(參照第十四圖)
- 十六 棒狀線 於中核線內存有棒狀之線者(參照第十五圖)
- 十七 介在線 於形成或行外角二線線之中間介在者(參照第十六圖)
- 第四條 三角洲 因二線線相接合或將要接合而行而形成之三角島或類此者(參照第十七圖)
- 第五條 指紋大別如左之三種
- 一 弓狀紋

〔朝覽八十七號〕

- 六 渦狀ヲ形成シ反對側ニ流ルモノヲ謂フ(第六圖參照)
- 七 短線 極メテ短キモノヲ謂フ
- 八 弧狀線 弧狀ヲナスモノヲ謂フ(第七圖參照)
- 九 鈎狀線 鈎狀ヲナスモノヲ謂フ(第八圖參照)
- 十 分岐線 一線線ガ分レテ二箇以上トナルトキ分レタル各線線ヲ分岐線ト謂フ(第九圖參照)
- 分岐線ノ幹ヲ幹線ト謂フ(第十圖參照)
- 十一 接合線 二箇以上ノ線線ガ合一シテ一箇ノ線線トナルトキ其ノ線線ヲ接合線ト謂フ(第十一圖參照)
- 十二 接觸線 互ニ接觸シ未ダ合一スルニ至ラザル各線線ヲ接觸線ト謂フ(第十二圖參照)
- 十三 島形線 單純ニ分岐シ再ビ單純ニ接合スルモノヲ謂フ(第十三圖參照)
- 十四 點 長サヲ有セザルモノヲ謂フ
- 十五 點線 點ノ相連リテ線線ヲナスモノヲ謂フ(第十四圖參照)
- 十六 棒狀線 中核線線內ニ存スル棒狀ノ線線ヲ謂フ(第十五圖參照)
- 十七 介在線 或行外角ヲ形成スル二線線ノ中間ニ介在スル線線ヲ謂フ(第十六圖參照)
- 第四條 三角洲 二線線接合シ若ハ將ニ接合セントシテ或行シ因テ形成スル三角島若ハ之ニ類スルモノヲ謂フ(第十七圖參照)
- 第五條 指紋ヲ大別シテ左ノ三種トス
- 一 弓狀紋

〔朝覽八十七號〕

- 二 蹄狀紋
- 三 渦狀紋
- 第六條 弓狀紋 依弓狀線而形成之指紋者(參照第十八圖)
- 第七條 蹄狀紋 依蹄狀線而形成者與其流之反對側有三角洲者(參照第十九圖)
- 蹄狀紋更細別如左之三種
- 一 甲種蹄狀紋 蹄狀線向指側流者(參照第二十圖)
- 二 乙種蹄狀紋 蹄狀線向小指側流者(參照第二十一圖)
- 第八條 渦狀紋 依線線之獨立或混合而形成者於左右兩側有三角洲者
- 渦狀紋依其形狀細別爲左之七種
- 一 純渦狀紋 中心依渦狀線而形成者(參照第二十二圖)
- 二 環狀紋 中心依環狀線而形成者(參照第二十三圖)
- 三 二重蹄狀紋 中心依二重蹄狀線而形成者(參照第二十四圖)
- 四 雙胎蹄狀紋 中心依雙胎蹄狀線而形成者(參照第二十五圖)
- 五 有胎蹄狀紋 蹄狀線內存有弧狀線或鈎狀線之凸部或爲弓形與蹄狀線相對者(參照第二十六圖)

法務 第三章 刑事法 第四款 指紋檢證及犯罪票

- 二 蹄狀紋
- 三 渦狀紋
- 第六條 弓狀紋 弓狀線ニ因リ形成セラルル指紋ヲ謂フ(第十八圖參照)
- 第七條 蹄狀紋 蹄狀線ニ因リ形成セラレ其ノ流レト反對側ニ三角洲ヲ有スルモノヲ謂フ(第十九圖參照)
- 蹄狀紋ハ更ニ之ヲ左ノ二種ニ細別ス
- 一 甲種蹄狀紋 蹄狀線向指側ニ流ルモノヲ謂フ(第二十圖參照)
- 二 乙種蹄狀紋 蹄狀線向小指側ニ流ルモノヲ謂フ(第二十一圖參照)
- 第八條 渦狀紋 線線ノ獨立又ハ混合ニ因リ形成セラレ左右兩側ニ三角洲ヲ有スルモノヲ謂フ
- 渦狀紋ヲ其ノ形狀ニ依リ左ノ七種ニ細別ス
- 一 純渦狀紋 中心ガ渦狀線ニ因ツテ形成セラルモノヲ謂フ(第二十二圖參照)
- 二 環狀紋 中心ガ環狀線ニ因ツテ形成セラルモノヲ謂フ(第二十三圖參照)
- 三 二重蹄狀紋 中心ガ二重蹄狀線ニ因ツテ形成セラルモノヲ謂フ(第二十四圖參照)
- 四 雙胎蹄狀紋 中心ガ雙胎蹄狀線ニ因ツテ形成セラルモノヲ謂フ(第二十五圖參照)
- 五 有胎蹄狀紋 蹄狀線ノ内部ニ存スル弧狀線若ハ鈎狀線ノ凸部ガ弓形ヲナシ蹄狀線ト相對スルモノヲ謂フ(第二十六圖參照)

- 六 混合紋 依兩個以上獨立之紋樣混合而形成者
- 七 變體紋 不屬於任何種類者(參照第二十八圖)
- 第九條 中核蹄線 爲分類基準之蹄狀線者
- 第十條 中核蹄線之決定依左列方法
  - 一 蹄狀線一箇時以其蹄狀線爲中核蹄線(參照第二十九圖)
  - 二 蹄狀線有兩個以上時最內部之蹄狀線爲中核蹄線(參照第三十圖)
  - 三 於蹄狀線內並存有二箇以上之蹄狀線時將包圍此等並存有最初之蹄狀線爲中核蹄線(參照第三十一圖)
- 第十一條 內端 中核蹄線內之基點
- 第十二條 內端之決定依左列方法
  - 一 於中核蹄線之內部無虛線時包含中核蹄線之頭部並一假想圓於中核蹄線之頂點引一切線與假想圓之直徑平行之或延長與中核蹄線之頂點交點中以距外角遠者爲內端(參照第三十二圖)
  - 依前項所假想之假想圓之直徑將於蹄線頭部之半圓以下簡稱爲半圓
  - 二 中核蹄線內有蹄狀線時以存於半圓內之蹄狀線數依如左之區別定爲內端
    - 1 有一箇蹄狀線時以其頂點(參照第三十三圖)
    - 2 有二箇以上蹄狀線如奇數時以中央蹄狀線之頂點爲數

- 六 混合紋 二箇以上ノ獨立ノ紋樣ノ混合ニ因リ形成セラレルモノヲ謂フ(第二十七圖參照)
- 七 變體紋 何レノ種類ニモ屬セザルモノヲ謂フ(第二十八圖參照)
- 第九條 中核蹄線 分類ノ基準トナル蹄狀線ヲ謂フ
- 第十條 中核蹄線ノ決定ハ左ノ方法ニ依ル
  - 一 蹄狀線一箇ナルトキハ其ノ蹄狀線ヲ中核蹄線トナス(第二十九圖參照)
  - 二 蹄狀線二箇以上アルトキハ最内部ノ蹄狀線ヲ中核蹄線トナス(第三十圖參照)
  - 三 蹄狀線ノ内部ニ二箇以上ノ蹄狀線並存スルトキハ之等並存スル蹄狀線ヲ包ム最初ノ蹄狀線ヲ中核蹄線トナス(第三十一圖參照)
- 第十一條 內端 中核蹄線內ノ基點ヲ謂フ
- 第十二條 內端ノ決定ハ左ノ方法ニ依ル
  - 一 中核蹄線ノ内部ニ虛線ナキトキハ中核蹄線ノ頭部ヲ含ム假想圓ヲ描キ中核蹄線ノ頂點ニ於ケル切線ニ平行スル假想圓ノ直徑若ハ其ノ延長ト中核蹄線ノ脚トノ二ツノ交點ノ内外角ヨリ遠キモノヲ內端トス(第三十二圖參照)
  - 前項假想圓ノ直徑ニ依リ假想セラレタル蹄線頭部ニ於ケル半圓以下單ニ半圓ト稱ス
  - 二 中核蹄線內ニ蹄狀線アルトキハ半圓內ニ存スル蹄狀線ノ數ニ依リ左ノ區別ニ依リ內端ヲ定ム
    - 1 蹄狀線一箇アルトキハ其ノ頂點トス(第三十三圖參照)
    - 2 蹄狀線二箇以上ニシテ奇數ナルトキハ中央ノ蹄狀線ノ頂點トス

〔附圖八十七號〕

- 時以中央二線中距外角遠者之頂點(參照第三十四圖)
- 3 於中核蹄線之頂點有與切線平行之蹄狀線(以下稱橫線)時以距外角遠者之蹄狀線之尖端當做頂點(參照第三十五圖)
- 三 關於弧狀線及鈎狀線內端決定時將此當做蹄狀線 弧狀線及鈎狀線時以與中核蹄線頂點切線近者之尖端當做頂點(參照第三十六圖)
- 依前項其頂點不得決定之弧狀線者皆準用關於橫線之規定
- 一旦半圓內之弧狀線或鈎狀線雖然再出於半圓外者以其頂點爲內端(參照第三十七圖)
- 四 將接合線當做一箇蹄狀線以其頂點爲內端(參照第三十八圖)
- 中核蹄線內存有兩個以上之蹄狀線時將各蹄狀線當做於其頂點接合之接合線(參照第三十九圖)
- 五 有貫通蹄狀線之半圓內之蹄狀線時以其頂點爲內端(參照第四十圖)
- 六 蹄狀線於半圓內互相交叉時以其交點爲內端(參照第四十一圖)
- 七 中核蹄線內有蹄狀線時以其頂點爲內端(參照第四十二圖) 蹄狀線之延長上有蹄狀線時以其頂點爲內端但於弧狀線或鈎狀線時不在此限(參照第四十三圖)

- シ偶數ナルトキハ中央ノ二線ノ中外角ヨリ遠キ蹄狀線ノ頂點トス(第三十四圖參照)
- 3 中核蹄線ノ頂點ニ於ケル切線ニ平行スル蹄狀線(以下稱橫線)スニ在リテハ外角ヨリ遠キ蹄狀線ノ尖端ヲ頂點ト看做ス(第三十五圖參照)
- 三 弧狀線及鈎狀線ハ內端決定ニ關シテハ蹄狀線ト看做ス 弧狀線及鈎狀線ニ在リテハ中核蹄線ノ頂點ニ於ケル切線ニ近キ尖端ヲ以テ其ノ頂點ト看做ス(第三十六圖參照)
- 前項ニ依リ其ノ頂點ヲ決定シ得ザル弧狀線ニハ總テ橫線ニ關スル規定ヲ準用ス
- 一旦半圓內ニ出テタル弧狀線若ハ鈎狀線再ビ半圓外ニ出ルト雖モ其ノ頂點ヲ以テ內端トス(第三十七圖參照)
- 四 接合線ハ之ヲ一箇ノ蹄狀線ト看做シ其ノ頂點ヲ內端トス(第三十八圖參照)
- 中核蹄線內ニ並存スル二箇以上ノ蹄狀線アルトキハ各蹄狀線ヲ其ノ頂點ニ於テ接合スル接合線ト看做ス(第三十九圖參照)
- 五 蹄狀線ノ半圓內ヲ貫通スル蹄狀線アルトキハ其ノ蹄狀線ノ頂點ヲ內端トス(第四十圖參照)
- 六 蹄狀線五ニ其ノ半圓內ニ於テ交叉スルトキハ其ノ交點ヲ以テ內端トス(第四十一圖參照)
- 七 中核蹄線內ニ蹄狀線アルトキハ蹄狀線ヲ以テ內端トス(第四十二圖參照) 蹄狀線ノ延長ニ蹄狀線アルトキハ蹄狀線ヲ以テ內端トス但シ弧狀線又ハ鈎狀線ニ在リテハ此ノ限ニ在ラズ(第四十三圖參照)



橫線之上部有點時以其點爲內端(參照第四十四圖)

第十三條 外角 爲分類基準之三角洲

第十四條 外角之決定依左列方法

- 一 有一箇三角洲時以其三角洲爲外角(參照第四十五圖)
- 二 於同一方向有兩箇以上之完全三角洲時以距線中心其最近之三角洲爲外角(參照第四十六圖)
- 三 於同一方向有兩箇以上之不完全三角洲時以比較完全之三角洲爲外角(參照第四十七圖)
- 四 於同一方向有完全之三角洲與不完全之三角洲時以完全之三角洲爲外角(參照第四十八圖)

第十五條 標準三角洲 於同一方向有二箇以上之一箇之三角洲時以外角決定之基準一箇三角洲爲標準三角洲

第十六條 標準三角洲之決定依左列方法

- 一 於同一方向有二箇以上之一箇三角洲時以距線中心最近之一箇三角洲爲標準三角洲(參照第四十九圖)
- 第十七條 外角標準點 於外角之基準
- 第十八條 外角標準點之決定依左列方法

- 一 接合外角時以接合點爲外角標準點(參照第五十圖)
- 二 竝行外角時於二線竝行起點處之中央一點爲外角標準點(參照第五十一圖)

第十九條 追跡線 於渦狀紋時形成左外角下部之虛線(參照第五十二圖)

〔圖八十七號〕

橫線ノ上部ニ點アルトキハ點ヲ以テ內端トス(第四十四圖參照)

第十三條 外角ノ分類ノ基準トナル三角洲ヲ謂フ

第十四條 外角ノ決定ハ左ノ方法ニ依ル

- 一 三角洲一箇ナルトキハ其ノ三角洲ヲ外角トス(第四十五圖參照)
- 二 同一方向ニ完全ナル三角洲二箇以上アルトキハ較線ノ中心ニ最近キ三角洲ヲ外角トス(第四十六圖參照)
- 三 同一方向ニ不完全ナル三角洲二箇以上アルトキハ比較的全ナル三角洲ヲ外角トス(第四十七圖參照)
- 四 同一方向ニ完全ナル三角洲ト不完全ナル三角洲トアルトキハ完全ナル三角洲ヲ外角トス(第四十八圖參照)

第十五條 標準三角洲 同一方向ニ三角洲ノ一箇ニ箇以上アル場合ニ於テ外角決定ノ基準トナル三角洲ノ一箇ヲ標準三角洲ト謂フ

第十六條 標準三角洲ノ決定ハ左ノ方法ニ依ル

- 一 於同一方向有二箇以上アルトキハ較線ノ中心ヨリ最近キ三角洲ノ一箇ヲ標準三角洲トス(第四十九圖參照)
- 第十七條 外角標準點 外角ニ於ケル基準ヲ謂フ
- 第十八條 外角標準點ノ決定ハ左ノ方法ニ依ル

- 一 接合外角ニ在リテハ接合點ヲ以テ外角標準點トス(第五十圖參照)
- 二 竝行外角ニ在リテハ二線竝行ヲ初ムル中央ノ一點ヲ外角標準點トス(第五十一圖參照)

第十九條 追跡線 渦狀紋ニ於テ左外角ヲ形成スル下部ノ虛線ヲ謂フ(第五十二圖參照)

〔圖八十七號〕

第二十條 追跡線ノ起點 追跡線ガ追跡ヲ初ムル點ヲ謂フ

第二十一條 追跡線ノ起點ハ左ノ方法ニ依リ決定ス

接合外角ノトキハ接合點竝行外角ノトキハ竝行ヲ初ムル點ヲ追跡線ノ起點トス(第五十三圖參照)

第二十二條 追跡線ノ終點 追跡線ガ追跡ヲ終ル點ヲ謂フ

第二十三條 追跡線ノ終點ハ左ノ方法ニ依リ決定ス

一 追跡線右外角ノ內側ニ出ヅル場合ハ右外角ヲ二等分スル假想直線ノ追跡線ノ交點トス(第五十四圖參照)

二 追跡線右外角ノ外側ニ出ヅル場合ハ右外角標準點ヨリ追跡線ニ向ツテ下ス比較的垂直ナル假想直線ノ追跡線ノ交點トス(第五十五圖參照)

三 前二號ノ場合ニ於テ交點二箇以上アルトキハ最初ノ交點ヲ追跡線ノ終點トス(第五十六圖參照)

第二十四條 追跡線ノ追跡法

一 追跡線ハ其ノ終點マデ同一虛線ヲ追跡ス(第五十七圖參照)

二 追跡線中途ニ於テ消滅シ又ハ中断シテ其ノ同一線ヲ發見シ得ザルトキハ外側ノ虛線ヲ追跡ス(第五十八圖參照)

三 追跡線中途ニ於テ分岐スルトキハ幹線ヲ追跡ス(第五十九圖參照)

追跡線中途ニ於テ分岐シ幹線支線ノ區別明ナラザルトキハ外側ノ虛線ヲ追跡ス(第六十圖參照)

第二十五條 外端 外角標準點ト內端若ハ追跡線ノ終點トヲ結ブ假想直線ガ外角標準點ヨリシテ最初ニ觸ル點又ハ線ヲ謂フ

橫線之上部有點時以其點爲內端(參照第四十四圖)

第十三條 外角 爲分類基準之三角洲

第十四條 外角之決定依左列方法

- 一 有一箇三角洲時以其三角洲爲外角(參照第四十五圖)
- 二 於同一方向有兩箇以上之完全三角洲時以距線中心其最近之三角洲爲外角(參照第四十六圖)
- 三 於同一方向有兩箇以上之不完全三角洲時以比較完全之三角洲爲外角(參照第四十七圖)
- 四 於同一方向有完全之三角洲與不完全之三角洲時以完全之三角洲爲外角(參照第四十八圖)

第十五條 標準三角洲 於同一方向有二箇以上之一箇之三角洲時以外角決定之基準一箇三角洲爲標準三角洲

第十六條 標準三角洲之決定依左列方法

- 一 於同一方向有二箇以上之一箇三角洲時以距線中心最近之一箇三角洲爲標準三角洲(參照第四十九圖)
- 第十七條 外角標準點 於外角之基準
- 第十八條 外角標準點之決定依左列方法

- 一 接合外角時以接合點爲外角標準點(參照第五十圖)
- 二 竝行外角時於二線竝行起點處之中央一點爲外角標準點(參照第五十一圖)

第十九條 追跡線 於渦狀紋時形成左外角下部之虛線(參照第五十二圖)





第二十六條 外端ノ決定依左列方法

- 一 於乙種跡狀時外角標準點向內端引一假想直線出外角標準點起最初接觸之點或線爲外端(參照第六十一圖)
- 二 於渦狀時右外角標準點與追跡線之終點引一假想直線出右外角標準點起最初接觸之點或線爲外端(參照第六十二圖)

第二十七條 虛線ノ計算法 虛線ノ計算法依左列方法

- 一 於乙種跡狀時由外角標準點和內端與假想直線接觸之虛線皆以一箇計算之(參照第六十三圖)
- 二 於渦狀時由右外角標準點和追跡線之終點與假想直線接觸之虛線皆以一箇計算之(參照第六十四圖)
- 三 與假想直線相重之虛線以一箇計算之(參照第六十五圖)
- 四 一旦相交於假想直線內之虛線曲再與假想直線相交時其交點皆一一計算之(參照第六十六圖)
- 五 內端 追跡線ノ終點及外端ノ計算セズ

第二十八條 指紋依左之區別附以(0)至(9)之價

- 一 弓狀紋 弓狀紋時附以(1)之價(參照第六十八圖)
- 二 甲種蹄狀紋 甲種蹄狀紋時附以(2)之價(參照第六十九圖)
- 三 乙種蹄狀紋 乙種蹄狀紋時內端和外角標準點與假想直線接觸之虛線數依左之區別附以(3)乃至(6)之價

〔罰壹八十七號〕

- 一 乙種蹄狀紋ニ在リテハ外角標準點ト內端トヲ結ブ假想直線ガ外角標準ヨリシテ最初ニ觸ルル點又ハ線ヲ外端トス(第六十一圖參照)
- 二 渦狀紋ニ在リテハ右外角標準點ト追跡線ノ終點トヲ結ブ假想直線ガ右外角標準點ニヨリテ最初ニ觸ルル點又ハ線ヲ外端トス(第六十二圖參照)
- 三 假想直線ト重ナル虛線ハ一箇トシテ計算ス(第六十五圖參照)
- 四 一旦假想直線ト交リタル虛線ガ聯曲シテ再ビ假想直線ト交ル場合ハ其ノ交點ヲ夫夫一箇トシテ計算ス(第六十六圖參照)
- 五 內端 追跡線ノ終點及外端ハ之ヲ計算セズ
- 第二十八條 指紋ニハ左ノ區別ニ從ヒ夫夫(0)乃至(9)ノ價ヲ附ス
- 一 弓狀紋 弓狀紋ニハ(1)ノ價ヲ附ス(第六十八圖參照)
- 二 甲種蹄狀紋 甲種蹄狀紋ニハ(2)ノ價ヲ附ス(第六十九圖參照)
- 三 乙種蹄狀紋 乙種蹄狀紋ニハ內端ト外角標準點トヲ結ブ假想直線ニ觸ルル虛線ノ數ニ依リ左ノ區別ニ從ヒ夫夫(3)乃至(6)ノ價ヲ附ス

〔罰壹八十七號〕

- 1 虛線ノ數七箇以下時附以(3)之價(參照第七十圖)
- 2 虛線ノ數八箇乃至十一箇時附以(4)之價(參照第七十一圖)
- 3 虛線ノ數十二箇乃至十四箇時附以(5)之價(參照第七十二圖)
- 4 虛線ノ數十五箇以上時附以(6)之價(參照第七十三圖)
- 三 四 渦狀紋 渦狀紋時右外角標準點和追跡線ノ終點與假想直線接觸之虛線數依左之區別附以(7)乃至(9)之價
- 1 追跡線出於右外角ノ內側虛線數四箇以上時附以(7)之價(參照第七十四圖)
- 2 追跡線出於右外角ノ內側或外側虛線數三箇以下時附以(8)之價(參照第七十五圖)
- 3 追跡線出於右外角ノ外側虛線數四箇以上時附以(9)之價(參照第七十六圖)
- 五 外角缺欠或虛線損傷而得推定之確時附以所定之價(參照第七十七圖)
- 六 因外角缺欠而不得之確推定其價時依左之區別附價
- 1 蹄狀紋時皆附以(0)之價(參照第七十八圖)
- 2 渦狀紋時皆附以(9)之價(參照第七十九圖)

- 1 虛線ノ數七箇以下ノトキハ(3)ノ價ヲ附ス(第七十圖參照)
- 2 虛線ノ數八箇乃至十一箇ノトキハ(4)ノ價ヲ附ス(第七十一圖參照)
- 3 虛線ノ數十二箇乃至十四箇ノトキハ(5)ノ價ヲ附ス(第七十二圖參照)
- 4 虛線ノ數十五箇以上ノトキハ(6)ノ價ヲ附ス(第七十三圖參照)
- 四 渦狀紋 渦狀紋ニハ右外角標準點ト追跡線ノ終點トヲ結ブ假想直線ニ觸ルル虛線ノ數ニ因リ左ノ區別ニ從ヒ夫夫(7)乃至(9)ノ價ヲ附ス
- 1 追跡線右外角ノ內側ニ出デ虛線ノ數四箇以上ノトキハ(7)ノ價ヲ附ス(第七十四圖參照)
- 2 追跡線右外角ノ內側又ハ外側ニ出デ虛線ノ數三箇以下ノトキハ(8)ノ價ヲ附ス(第七十五圖參照)
- 3 追跡線右外角ノ外側ニ出デ虛線ノ數四箇以上ノトキハ(9)ノ價ヲ附ス(第七十六圖參照)
- 五 外角缺欠シ若ハ虛線損傷スルモ之ノ確ニ價ヲ推定シ得ルモノニハ所定ノ價ヲ附ス(第七十七圖參照)
- 六 外角缺欠シ爲ニ的確ニ價ヲ推定シ得ザルモノニハ左ノ區別ニ依リ價ヲ附ス
- 1 蹄狀紋ニハ總テ(0)ノ價ヲ附ス(第七十八圖參照)
- 2 渦狀紋ニハ總テ(9)ノ價ヲ附ス(第七十九圖參照)





第九條 警察官署ニハ指紋原紙作成簿ヲ備フベシ

於前項之帳簿ニハ被押捺者ノ氏名、出生年月日、罪名及指紋原紙之作成年月日ヲ記載スベシ

第十條 警察官署將指紋原紙作成時應添具送付表即刻向該管指紋管理局送付之

第十一條 依前條之規定接受指紋原紙之指紋管理局須依另定之指紋分類法分類之將其一份保管於該管理局其他一份須每一旬彙編依別表第三號樣式之指紋原紙送付表所記載之順序整理向指紋管理局送呈之

第十二條 指紋原紙須依左手爲基準排列保管之

第十三條 檢察廳對已作成指紋原紙之被疑者或被告人如發生左列各款情形之一時即刻於處分結果通知書上記載該事項向指紋管理局及其所在地管轄之指紋管理局送付之

一 爲不起訴處分時

二 有確定裁判時

三 其他認爲特有必要時

依前項之規定於指紋管理局送付之處分結果通知書依別表第四號樣式將處分結果通知書作成姓名表添附之接受處分結果通知書之指紋管理局須將其處分結果向指紋原紙作成官署通知之

第十四條 執行猶豫ノ宣告取消時須由取消之法院對置之檢察廳將其旨向指紋管理局通知之

〔附覽八十七號〕

第九條 警察官署ニハ指紋原紙作成簿ヲ備フベシ

前項ノ帳簿ニハ被押捺者ノ氏名、出生年月日、罪名及指紋原紙作成年月日ヲ記載スベシ

第十條 警察官署將指紋原紙作成シタルトキハ之ニ送付表ヲ添付シ送付ナク指紋管理局ニ送付スベシ

第十一條 前條ノ規定ニ依リ指紋原紙ノ送付ヲ受ケタル指紋管理局ハ別ニ定ムル指紋分類法ニ依リ分類シ一通リ當該管理局ニ保管シ他ノ一通ハ一旬毎ニ取調メ別表第三號樣式ニ依ル指紋原紙送付表記載ノ順序ニ整理シ之ヲ指紋管理局ニ送付スベシ

第十二條 指紋原紙ハ左手基準ニ排列保管スベシ

第十三條 檢察廳ハ指紋原紙ノ作成アリタル被疑者又ハ被告人ニ付左ノ各款ノ一ニ該當スル事由生ジタルトキハ通稱ナク處分結果通知書ニ該當事項ヲ記入シ之ヲ指紋管理局及其所在地管轄スル指紋管理局ニ送付スベシ

一 不起訴處分ヲ爲シタルトキ

二 確定裁判アリタルトキ

三 其ノ他特ニ必要アリト認ムルトキ

前項ノ規定ニ依リ指紋管理局ニ送付スル處分結果通知書ニハ別表第四號樣式處分結果通知書作成姓名表ヲ添付スベシ 處分結果通知書ノ送付ヲ受ケタル指紋管理局ハ其ノ處分結果ヲ指紋原紙作成官署ニ通知スベシ

第十四條 執行猶豫ノ宣告取消サレタルトキハ取消ヲ爲シタル法院對置ノ檢察廳ヨリ指紋管理局ニ其ノ旨ヲ通知スベシ

〔附覽八十七號〕

第十五條 監獄對於受刑者如發生左列各款情形之一時須作成別表第五號樣式之異動通知書二份向指紋管理局送付之

一 因恩赦或刑之更定等刑期發生變更時

二 因假釋或刑之執行停止於期滿前出獄時

三 因假釋或刑之執行停止之取消而復監時

四 變更姓名時

五 受移監時

六 死亡時

七 其他特認有必要時

勞務場留置中者死亡時亦同前項

第十六條 警察官署對已作成指紋原紙者認知有死亡之事實時須作成別表第六號樣式之死亡通知書向指紋管理局及管轄指紋管理局送呈之

第十七條 於檢察廳、監獄或警察官署發見前科時須依別表第七號樣式作成前科發見通知書二份向指紋管理局送呈之

第十八條 指紋管理局或指紋管理局發見前科時須依第七號樣式即刻向保管該當者之指紋原紙之指紋管理局或指紋管理局通知之

第十九條 依第十三條至前條之規定接受通知之官署應即時將指紋原紙加以整理在指紋管理局時須將異動通知書、前科發見通知書及其他之必要事項向保管該當者之指紋原紙之指紋

第十五條 監獄ハ受刑者ニ付左ノ各款ノ一ニ該當スル事由生ジタルトキハ別表第五號樣式ニ依ル異動通知書二通ヲ作成シ之ヲ指紋管理局ニ送付スベシ

一 恩赦又ハ刑ノ更定等ニ因リ刑期ニ變更ヲ生ジタルトキ

二 假釋放又ハ刑ノ執行停止ニ因リ期滿前出獄シタルトキ

三 假釋放又ハ刑ノ執行停止ノ取消ニ因リ復監シタルトキ

四 氏名ノ變更アリタルトキ

五 移監ヲ受ケタルトキ

六 死亡シタルトキ

七 其ノ他特ニ必要アリト認ムルトキ

勞務場留置中ノ者死亡シタルトキ亦前項ニ同ジ

第十六條 警察官署指紋原紙ノ作成アリタル者ニ付死亡ノ事實ヲ認知シタルトキハ別表第六號樣式ニ依ル死亡通知書ヲ作成シ之ヲ指紋管理局及所轄指紋管理局ニ送付スベシ

第十七條 檢察廳、監獄又ハ警察官署ニ於テ前科ヲ發見シタルトキハ別表第七號樣式ニ依リ前科發見通知書二通ヲ作成シ之ヲ指紋管理局ニ送付スベシ

第十八條 指紋管理局又ハ指紋管理局ニ於テ前科ヲ發見シタルトキハ第七號樣式ニ依リ通稱ナク之ヲ該當者ノ指紋原紙ヲ保管スル指紋管理局又ハ指紋管理局ニ通知スベシ

第十九條 第十三條乃至前條ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタル官署ハ通稱ナク指紋原紙ヲ整理スルト共ニ指紋管理局ニ在リテハ異動通知書、前科發見通知書其ノ他必要ナル事項ハ之ヲ該當者ノ指紋原紙ヲ保管ス

管理室通知之

第二十條 指紋管理局或指紋管理室對於受科刑之裁判者認知有左列事實時須向執行最終確定判決之法院對置之檢察廳通知之

- 一 發見罰金以上之新前科時
- 二 於監獄外死亡時

第二十一條 警察官署檢察犯罪嫌疑者時及其他認爲有必要時須作成別表第八號樣式之照會原紙向指紋管理局及管轄指紋管理室照會之依第五條之規定指紋原紙作成時亦同

於前項之場合不能採取指紋時須於照會用紙將所要求事項記載之且於備考欄內將身體及其他之特徵照原紙作成須知詳記之

第二十二條 警察官署關於犯罪嫌疑者接到依前條規定之回答時須將此添附事件記錄如左送案後時須即向檢察廳追送之

第二十三條 有現場指紋鑑定照會之必要時須將指紋其事由及可供參考之事項向指紋管理局及管轄指紋管理室照會之

第二十四條 合於左列各款情形之一者其指紋原紙廢棄之

- 一 年齡已滿八十歲者
- 二 已死亡者
- 三 因其他之事由已無保管之必要者

第二十五條 指紋管理室關於指紋事務須依別表第九號樣式作

〔訓覽八十七號〕

ル指紋管理室ニ通知スベシ

第二十條 指紋管理局又ハ指紋管理室科刑ノ裁判ヲ受ケタル者ニ付左ノ事實ヲ認知シタルトキハ最終ノ確定判決ヲ爲シタル法院對置ノ檢察廳ニ之ヲ通知スベシ

- 一 罰金以上ノ新ナル前科ヲ發見シタルトキ
- 二 監獄外ニ於テ死亡シタルトキ

第二十一條 警察官署犯罪嫌疑者ヲ檢擧シタルトキ其ノ他必要アリト認ムルトキハ別表第八號樣式ニ依ル照會原紙ヲ作成シ指紋管理局及所轄指紋管理室ニ照會スベシ第五條ノ規定ニ依リ指紋原紙ヲ作成シタルトキ亦同ジ

前項ノ場合ニ於テ指紋ヲ押捺スルコト能ハザルトキハ照會原紙ニ所要求事項ヲ記載シ且備考欄ニ身體其ノ他ノ特徵ヲ指紋原紙作成心得ニ詳記スベシ

第二十二條 警察官署犯罪嫌疑者ニ付前條ノ規定ニ依ル回答ヲ受ケタルトキハ之ヲ事件記錄ニ添附スベシ事件送致後ナルトキハ直ニ之ヲ檢察廳ニ追送スベシ

第二十三條 現場指紋ノ鑑定照會ヲ必要トスルトキハ其ノ事由及參考トナルベキ事項ヲ記載シ指紋管理局及所轄指紋管理室ニ照會スベシ

第二十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ノ指紋原紙ハ之ヲ廢棄スベシ

- 一 年齡八十歲ニ達シタルモノ
- 二 死亡シタルモノ
- 三 其ノ他ノ事由ニ因リ保管ノ必要ナキニ至リタルモノ

第二十五條 指紋管理室ハ指紋事務ニ關シ別表第九號樣式ニ依ル指紋

〔訓覽八十七號〕

成指紋事務處理月表及年表月表於翌月十日以前年表於翌年一月二十日以前向指紋管理局呈報之

第二十六條 省長及警察總監除本規程所定者之外得另定內規

第二十七條 本規程於依法令管掌檢察事務之檢察廳以外之司法機關準用之

附 則

本規程自公布日起施行

康德四年十一月三十日 司法部訓令 刑字第八五二號關於指紋事務處理規程及指紋原紙取扱規程並指紋分類方式之件廢止之

康德四年十一月三十日 司法部訓令 刑字第八五二號關於指紋事務處理規程及指紋原紙取扱規程並指紋分類方式之件廢止之

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

康德四年十一月三十日 司法部訓令 刑字第八五二號指紋事務處理規程及指紋原紙取扱規程並指紋分類方式ニ關スル件ハ之ヲ廢止ス

名署	指食手左	備分處院法廳	康德年 月 日	法檢察廳 名罪	分處	官送署致	其他前科	出獄事由 康德年 月 日	執行監獄	判決法院	刑之始期 康德年 月 日	刑之終期 康德年 月 日	刑名 刑名 刑名 (未決日算入)	罪名	判決姓名
登錄年月日	康德年 月 日	現職	職小分類	補發年月日	補發事由	登錄番號	第 號	職業中分類	職能	入國年月日	解雇事由	解雇時額	住所	居年月日	住日
登錄番號	第 號	職能	職能	入國年月日	解雇事由	解雇時額	住所	居年月日	住日	解雇事由	解雇時額	住所	居年月日	住日	住日
雇主姓名	雇主姓名	就勞所	現職(職名)	採用時額	解雇事由	解雇時額	住所	居年月日	住日	解雇事由	解雇時額	住所	居年月日	住日	住日
雇主住所	雇主住所	就勞所	現職(職名)	採用時額	解雇事由	解雇時額	住所	居年月日	住日	解雇事由	解雇時額	住所	居年月日	住日	住日
雇備年月日	康德年 月 日	入國年月日	解雇事由	解雇時額	住所	居年月日	住日	解雇事由	解雇時額	住所	居年月日	住日	解雇事由	解雇時額	住所

〔附錄八十七號〕

第一號樣式

姓名	別名	籍名	國籍	人種	性別	分類番號					
籍貫	住所		出生地		生年月日						
左手	食指	中指	環指	小指	拇指						
右手	食指	中指	環指	小指	拇指						
平面印象	左手		右手								
同居家族 交友	身體特徵		精神	教育	宗教	資產	嗜好				
	身長	體格	容貌	其他特徵	教育	宗教	資產	嗜好			
康德年 月 日						備考					
康德年 月 日						備考					
康德年 月 日						備考					

〔附錄八十七號〕









法務 第三編 刑事法 第四款 指紋檢證及犯罪票

康慶年 月 日										受刑事項異動通知書		監獄印					
姓名	月生日	籍貫	原紙作成官署	指食手左	考備	刑	判決姓名	刑名	刑期	判決法院	執行監獄	刑之始期	判決年月日	刑期	姓名	姓名	姓名

【朝覽八十七號】

康慶年 月 日										受刑事項異動通知書		監獄印					
姓名	月生日	籍貫	原紙作成官署	指食手左	考備	刑	判決姓名	刑名	刑期	判決法院	執行監獄	刑之始期	判決年月日	刑期	姓名	姓名	姓名

六六之一六

第六號樣式

康慶年 月 日										死亡通知書		官署印					
備考	死亡隱知之事實	死亡年月日	罪名	原紙作成年月日	原紙作成官署	生年月日	姓名	出生地	住所	本籍							

【朝覽八十七號】

康慶年 月 日										死亡通知書		官署印					
備考	死亡隱知之事實	死亡年月日	罪名	原紙作成年月日	原紙作成官署	生年月日	姓名	出生地	住所	本籍							

法務 第三章 刑事法 第四款 指紋檢證及犯罪票

六六之一七









- (四) 判決姓名、罪名及刑名、刑期間内均依判決之姓名、罪名、刑名及刑期記入之
- (五) 判決年月日、判決法院内將確定判決之年月日及確定判決宣告之法院名記入之
- (六) 執行監獄内將執行過刑之監獄名記入之
- (七) 其他前科内依重複發見等轉記之場合將必要之最近前科於本欄内記入後將其剩餘之前科簡明記入之
- 2 廳法院處分欄内將於廳法院處分而未於監獄執行者記入之
- 3 警察官署欄内不問其處分之最終與否將凡於警察官署所行之處分記入之
- 4 登錄年月日乃至入國年月日欄内將重複之勞動者登錄指教原紙之記載事項均於所定欄内轉記之
- 5 再發給年月日及事故欄内將勞動票再登錄之事由及年月日記入之
- 6 異動欄内將勞動者異動通知書記載之事項於所定欄内一一轉記之

- (一) 引續執行ト朱記スベシ
- (二) 判決姓名、罪名及刑名、刑期間ニハ夫夫判決ニ依ル氏名、罪名、刑名及刑期ヲ記スベシ
- (三) 未決算入日數ハ所定欄ニ朱記スベシ
- (ホ) 判決年月日、判決法院欄ニハ夫夫確定判決ノ年月日及確定判決ヲナシタル法院名ヲ記スベシ
- (ハ) 執行監獄欄ニハ其ノ刑ヲ執行シタル監獄名ヲ記スベシ
- (ニ) 刑ヲ數監獄ニ於テ執行シタルトキハ最後ニ執行シタル監獄名ヲ記スベシ
- (ト) 其ノ他前科欄ニハ重複發見等ニ依リ轉記スル場合必要ナル最近前科ヲ本欄ニ記入シタル後餘ノ前科ヲ簡明ニ記スベシ
- 2 廳法院處分欄ニハ廳法院ノ處分ニシテ監獄ニ於テ執行セザリシモノヲ記スベシ
- 3 警察官署欄ニハ其ノ處分ガ最終ノモノタルト否ト問ハズ總テ警察官署ニ於テナシタル處分ヲ記スベシ
- 4 登錄年月日乃至入國年月日欄ニハ重複セル勞動者登錄指教原紙ノ記載事項ヲ夫夫所定欄ニ轉記スベシ
- 5 補發年月日及補發事由欄ニハ勞動票補發ノ事由及年月日ヲ記スベシ
- 6 異動欄ニハ勞動者異動通知書記載ノ事項ヲ夫夫所定欄ニ轉記スベシ

〔朝覽八十七號〕

### 國務院法制處編纂

康德元年十一月六日發本印刷發行  
 康德六年四月十五日追錄第八拾七號印刷  
 康德六年四月二十日追錄第八拾七號發行

(定價國幣壹圓六角九分整)

滿洲國  
 法令輯覽  
 追錄  
 第八拾七號

發行者 大谷仁兵衛  
 印刷者 大谷仁兵衛  
 印刷所 大谷仁兵衛

發行所 新東京安大路  
 日本發賣所 東京市京橋區銀座  
 四七丁目一番地

株式會社 滿洲行政  
 株式會社 帝國地方行政

電話 三六六・三三四  
 電話 六六〇・六六一・六六二・六六三  
 電話 東京一三・一六一・二二〇五番

